IPSiO CX9000/CX7500

パソコンからの操作

1. ソフトウェアのインストール

2. ネットワーク接続の設定

3. 基本的な印刷方法と印刷の中止

4. いろいろな印刷方法

5. 機器の状態表示と設定

6. 付録

1. ソフトウェアのインストール

オートランプログラムについて

ご使用の OS が Windows 95/98/Me、Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 の場合、同梱の CD-ROM をパソコンに挿入すると、オートランプログラムとしてプリンタードライバーやユーティリティーなどの各種ソフトウェアのインストーラーが自動的に起動します。

重要

- OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。
- インストールの途中で [キャンセル] を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。キャンセルした場合は、再起動後、残りのソフトウェアまたはプリンタードライバーをインストールし直してください。
- Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 でインストーラーを使用するときは Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。

オートランプログラムでインストールできるソフトウェア

プリンタードライバー

Windows から印刷する場合に必要なソフトウェアです。印刷を始める前に必ずインストールしてください。

Ridoc IO Navi

ネットワークプリンターとしてお使いになるときに便利なユーティリティーです。P.211「Ridoc IO Navi を使用する」、または Ridoc IO Navi のヘルプを参照してください。

Ridoc IO Admin

管理者の方が使用するネットワークユーティリティーです。P.218「Ridoc IO Admin を使用する」、または Ridoc IO Admin のヘルプを参照してください。

補足

- プラグアンドプレイ機能が働いていると、Windows 2000/XP、Windows Server 2003 起動時には [新しいソフトウェアの検出ウィザード] が表示されます。Windows NT 4.0 起動時には [新しいソフトウェアの追加ウィザード] が表示されます。Windows 95/98/Me 起動時には、システムのバージョンにより [新しいソフトウェア] または、[デバイスドライバウィザード] が表示されます。この画面が表示されたときは、[キャンセル] をクリックして、本機に同梱の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットし、オートランでインストールしてください。
- オートランを無効にしたいときは、左側の [Shift] キーを押しながら CD-ROM を挿入し、パソコンが CD-ROM をアクセスし終わるまで左側の [Shift] キーを押したままにします。

参照

- プリンタードライバーの動作環境については、P.33「ドライバー（RPCS,USB 印刷サポート）」を参照してください。

おすすめインストール

プリンターをネットワーク接続（TCP/IP）または拡張 1284 ボードでパラレル接続している場合、「おすすめインストール」で同梱の CD-ROM から簡単にソフトウェアをインストールすることができます。

「おすすめインストール」では、プリンターをネットワーク接続している場合は「RPCS プリンタードライバー」と「Ridoc IO Navi」がインストールされ、TCP/IP ポートが設定されます。プリンターをパラレル接続している場合は「RPCS プリンタードライバー」がインストールされ、LPT1 ポートが設定されます。設定が完了すると本機が使用できる状態になります。

★ 重要

- 起動しているすべてのアプリケーションを終了し、パソコンが印刷中でないか確認してください。
- 必要な条件は以下のとおりです。
    - OS が Windows 95/98/Me、Windows 2000/XP、Windows Server 2003、または Windows NT 4.0 である。
    - ネットワーク接続（TCP/IP）の場合
        - イーサネットケーブルで本機とネットワークが接続されている。
        - TCP/IP プロトコルが設定されている。
        - 本機とパソコンに IP アドレスが設定されている。
        - 拡張無線 LAN ボードを装着している場合、正しい設定で接続されている。
    - パラレル接続の場合
        - パラレルケーブルで本機とパソコンが接続されている。
        - 双方向通信が成立している。

1. **本機に同梱の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。**

    インストーラーが起動します。

2. **セットアップ画面が表示されたら、[おすすめインストール] をクリックします。**

    [使用許諾] ダイアログが表示されます。

3. **ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。同意する場合は [同意します] をクリックし、[次へ] をクリックします。**

4. **[モデル名] をクリックし、使用する機種を選択します。**

TCP/IP の場合、[接続先] に IP アドレスが表示されているプリンターを選択します。

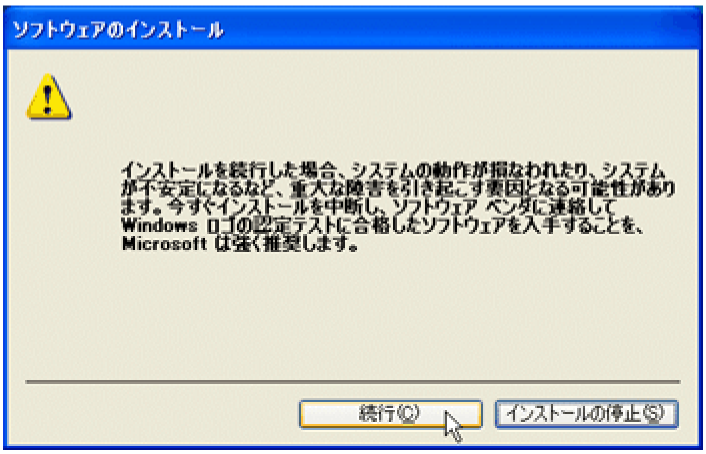
パラレル接続の場合、[接続先] にプリンターポートが表示されているプリンターを選択します。

5. [インストール] をクリックすると、プリンタードライバーがインストールされます。

6. [導入完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

補足

- インストールの途中で、「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面や、下のような画面が表示されることがあります。その場合、[はい] または [続行] を選択して、インストールを続行してください。



- ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windows を再起動してください。

プリンタードライバーのインストール

プリンタードライバーのインストール手順と設定方法の説明です。

パソコンとの接続方法により、プリンタードライバーのインストール方法が異なります。パラレル接続およびイーサネット接続の場合は、「おすすめインストール」もご利用になれます。無線LAN 接続の場合は、通信していることを確認のうえ、イーサネット接続と同じ方法でインストールしてください。

ネットワーク接続の場合（TCP/IP）

プリンターとパソコンを TCP/IP でネットワーク接続している場合のインストール方法です。

重要

- 起動しているすべてのアプリケーションを終了し、パソコンが印刷中でないかを確認してください。

1. **本機に同梱の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。**

   インストーラーが起動します。

2. **セットアップ画面が表示されたら、[プリンタードライバー] をクリックします。**



3. **ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。同意する場合は [同意します] をクリックし、[次へ] をクリックします。**
4. **[コンポーネントの選択] ダイアログでプリンタードライバーを選択し、[次へ] をクリックします。**
5. **[プリンター名] の左のチェックボックスにチェックを付け、使用する機種を選択します。プリンター名を変更するときは、[プリンター名の設定の変更] ボックスで変更します。**

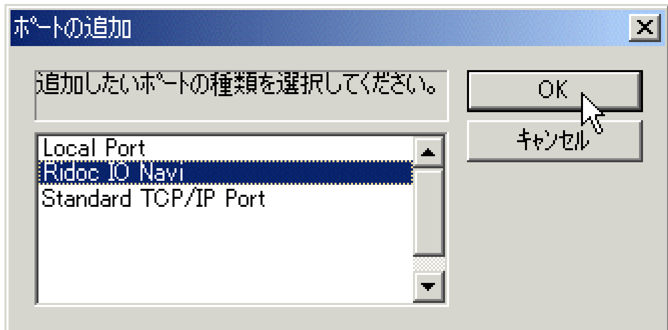
   通常使うプリンターに設定されているプリンター名は、太字で表示されます。

6. **[プリンター名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。**

   [コメント]、[ドライバー]、[ポート] は、ご使用の OS、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

7. **[ポート] を選択し、[追加] をクリックします。**

8. **「Ridoc IO Navi」を選択し、[OK] をクリックします。**

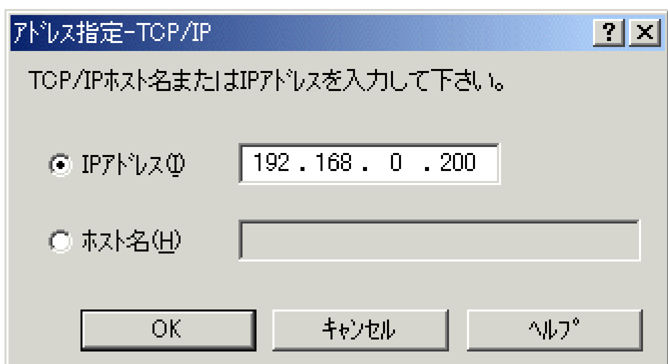


9. **「プロトコル選択」の [TCP/IP] をクリックし、[機器検索] をクリックします。**

   TCP/IP プロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。

10. **印刷するプリンターをクリックして選択します。**

    ここにはコンピューターからのブロードキャストに応答したプリンターだけが表示されます。ここに表示されないプリンターに印刷するときは、[アドレス指定] をクリックし、プリンターの IP アドレスまたはホスト名を直接入力してください。



11. **[OK] をクリックします。**

    [ポートの追加] ダイアログが閉じます。

12. **選択したプリンターのポートが [ポート] に表示されていることを確認します。**

13. **[共有] をダブルクリックし、共有の設定を展開します。**

    Windows NT 4.0、Windows 2000/XP、Windows Server 2003 では、代替ドライバーのチェックボックスが表示されます。インストールしたい代替ドライバーにチェックを付けると、インストールできます。

14. **プリンターを共有する場合は、[共有] の左のチェックボックスにチェックを付けます。**

15. **必要に応じて、ユーザーコードを設定します。ユーザーコードとして入力できるのは、半角数字最大 8 桁です。英字や記号はご使用になれません。**

    ユーザーコードを設定しておくと、パソコンごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Admin で確認できます。

16. **必要に応じて、通常使うプリンターの設定をします。**

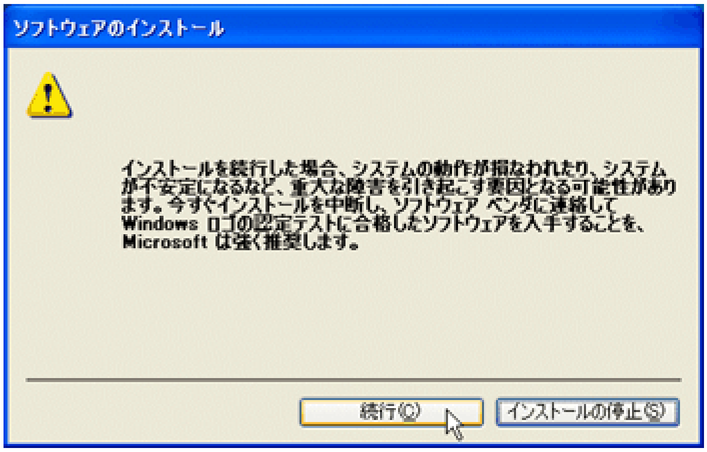
17. **[完了] をクリックすると、プリンタードライバーがインストールされます。**

18. [コンポーネントの選択] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

19. [導入完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

補足

- インストールの途中で、「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面や、下のような画面が表示されることがあります。その場合、[はい] または [続行] を選択して、インストールを続行してください。



- ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windows を再起動してください。
- パソコンごとの印刷枚数の統計を、Ridoc IO Admin で確認する方法は、Ridoc IO Admin のヘルプを参照してください。

参照

- 「新しいドライバーが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.25「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照して、インストールし直してください。

ネットワーク接続の場合（NetBEUI）

プリンターとパソコンを NetBEUI でネットワーク接続している場合のインストール方法です。

重要

- 起動しているすべてのアプリケーションを終了し、パソコンが印刷中でないかを確認してください。
- Windows XP、Windows Server 2003 は、NetBEUI には対応していません。
- ルーターを越えたプリンターには印刷できません。

1. 本機に同梱の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

2. セットアップ画面が表示されたら、[プリンタードライバー] をクリックします。



3. ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。同意する場合は [同意します] をクリックし、[次へ] をクリックします。

4. [コンポーネントの選択] ダイアログでプリンタードライバーを選択し、[次へ] をクリックします。

5. [プリンター名] の左のチェックボックスにチェックを付け、使用する機種を選択します。プリンター名を変更するときは、[プリンター名の設定の変更] ボックスで変更します。

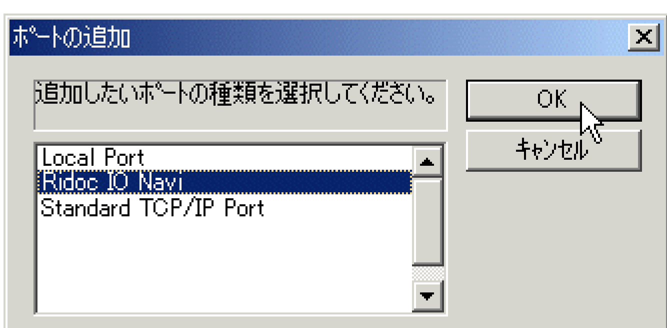
通常使うプリンターに設定されているプリンター名は、太字で表示されます。

6. [プリンター名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

[コメント]、[ドライバー]、[ポート] は、ご使用の OS、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

7. [ポート] を選択し、[追加] をクリックします。

8. 「Ridoc IO Navi」を選択し、[OK] をクリックします。

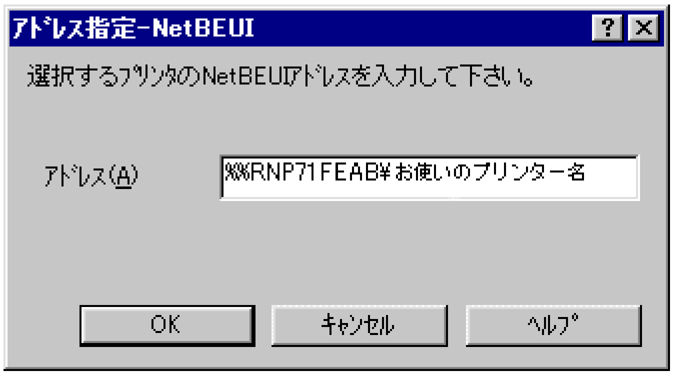


9. 「プロトコル選択」の [NetBEUI] をクリックし、[機器検索] をクリックします。

NetBEUI プロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。

10. 印刷するプリンターをクリックして選択します。

ここにはコンピューターからのブロードキャストに応答したプリンターだけが表示されます。ここに表示されないプリンターに印刷するときは、[アドレス指定] をクリックし、NetBEUI アドレスを直接入力してください。NetBEUI アドレスは、システム設定リストで確認できます。システム設定リストでは NetBEUI アドレスが「\\RNPxxxx\xxx」と表示されています。先頭の「\\」を「%%」に変更して入力してください。



11. [OK] をクリックします。

[ポートの追加] ダイアログが閉じます。

12. 選択したプリンターのポートが [ポート] に表示されていることを確認します。

13. [共有] をダブルクリックし、共有の設定を展開します。

Windows NT 4.0、Windows 2000/XP、Windows Server 2003 では、代替ドライバーのチェックボックスが表示されます。インストールしたい代替ドライバーにチェックを付けると、インストールできます。

14. プリンターを共有する場合は、[共有] の左のチェックボックスにチェックを付けます。

15. 必要に応じて、ユーザーコードを設定します。ユーザーコードとして入力できるのは、半角数字最大 8 桁です。英字や記号はご使用になれません。

ユーザーコードを設定しておくと、パソコンごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Admin で確認できます。

16. 必要に応じて、通常使うプリンターの設定します。

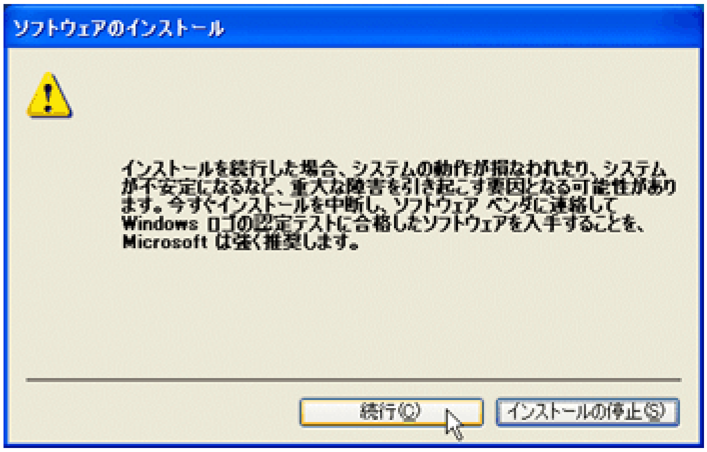
17. [完了] をクリックすると、プリンタードライバーがインストールされます。

18. [コンポーネントの選択] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

19. [導入完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

補足

- インストールの途中で、「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面や、下のような画面が表示されることがあります。その場合、[はい] または [続行] を選択して、インストールを続行してください。



- ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windows を再起動してください。
- パソコンごとの印刷枚数の統計を、Ridoc IO Admin で確認する方法は、Ridoc IO Admin のヘルプを参照してください。

参照

- 「新しいドライバーが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.25「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照して、インストールし直してください。

ネットワーク接続の場合（IPP）

IPP で印刷する場合の設定方法です。

重要

- 起動しているすべてのアプリケーションを終了し、パソコンが印刷中でないかを確認してください。

1. 本機に同梱の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

2. セットアップ画面が表示されたら、[プリンタードライバー] をクリックします。



3. ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。同意する場合は [同意します] をクリックし、[次へ] をクリックします。

4. [コンポーネントの選択] ダイアログでプリンタードライバーを選択し、[次へ] をクリックします。

5. [プリンター名] の左のチェックボックスにチェックを付け、使用する機種を選択します。プリンター名を変更するときは、[プリンター名の設定の変更] ボックスで変更します。

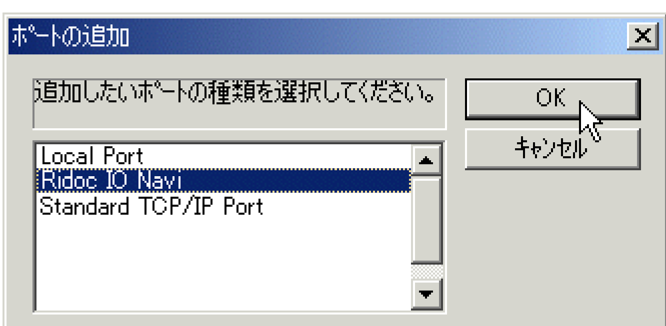
通常使うプリンターに設定されているプリンター名は、太字で表示されます。

6. [プリンター名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

[コメント]、[ドライバー]、[ポート] は、ご使用の OS、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

7. [ポート] を選択し、[追加] をクリックします。

8. 「Ridoc IO Navi」を選択し、[OK] をクリックします。



9. 「プロトコル選択」の [IPP] をクリックします。

IPP を設定するための、[ポートの追加] ダイアログが表示されます。

10. **[プリンタの URL] に「http://（本機のアドレス）/printer」のように入力します。**

    SSL（暗号化通信）の設定を有効にしている場合、「https://（本機のアドレス）/printer」と入力します。この場合、ご使用のパソコンに Internet Explorer がインストールされている必要があります。最新のバージョンをお使いください。Internet Explorer6.0 以降を推奨します。

11. **必要に応じて [IPP ポート名] にプリンターを区別するための名前を入力します。すでにある他の IPP ポート名と違う名前を入力してください。**

    入力を省略すると、[プリンタの URL] に入力したアドレスが IPP ポート名に設定されます。

12. **プロキシサーバーや IPP ユーザー名などの設定を行う場合は、[詳細設定] をクリックして必要な項目を設定し、[OK] をクリックします。**

13. **[OK] をクリックします。**

    [ポートの追加] ダイアログが閉じます。

14. **選択したプリンターのポートが [ポート] に表示されていることを確認します。**

15. **[共有] をダブルクリックし、共有の設定を展開します。**

    Windows NT 4.0、Windows 2000/XP、Windows Server 2003 では、代替ドライバーのチェックボックスが表示されます。インストールしたい代替ドライバーにチェックを付けると、インストールできます。

16. **プリンターを共有する場合は、[共有] の左のチェックボックスにチェックを付けます。**

17. **必要に応じて、ユーザーコードを設定します。ユーザーコードとして入力できるのは、半角数字最大 8 桁です。英字や記号はご使用になれません。**

18. **必要に応じて、通常使うプリンターの設定します。**

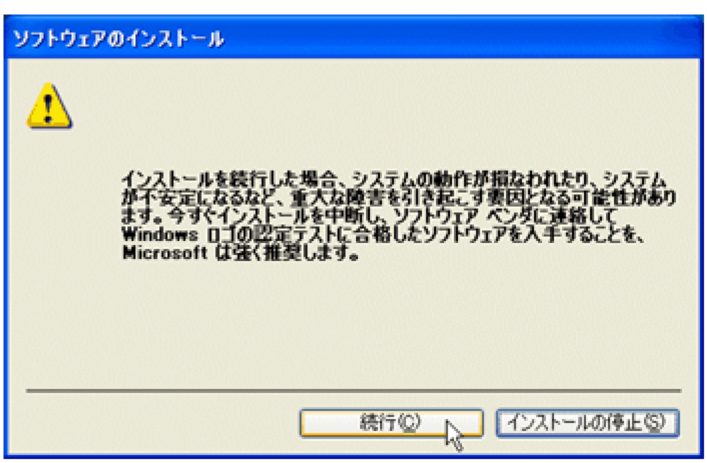
19. **[完了] をクリックすると、プリンタードライバーがインストールされます。**

20. **[コンポーネントの選択] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。**

21. **[導入完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。**

補足

- インストールの途中で、「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面や、下のような画面が表示されることがあります。その場合、[はい] または [続行] を選択して、インストールを続行してください。



- ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windows を再起動してください。

参照

- 「新しいドライバーが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.25「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照して、インストールし直してください。
- SSL（暗号化通信）の設定方法については、P.56「SSL（暗号化通信）の設定」を参照してください。
- SSL（暗号化通信）の設定が有効な場合、本機にアクセスするとき、「セキュリティの警告」が表示されることがあります。この場合、P.59「SSL（暗号化通信）の利用者側の設定」を参照して、ご使用のパソコンに証明書を登録してください。

ポートの設定を変更する

IPP の URL やプロキシサーバーの設定など、Ridoc IO Navi の設定を変更することができます。

Windows 98 の場合

1. **[プリンタ] ウィンドウを表示します。**
2. **印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューから [プロパティ] をクリックします。**
3. **[詳細] タブをクリックし、[ポートの設定] をクリックします。**

   [ポート] の設定画面が表示されます。

   [TCP ／ IP] の場合、プロトコル、代行印刷／並行印刷、プリンタグループの設定ができます。

Windows 2000/Windows NT 4.0 の場合

1. **[プリンタ] ウィンドウを表示します。**
2. **印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューから [プロパティ] をクリックします。**
3. **[ポート] タブをクリックし、[ポートの構成] をクリックします。**

   [ポートの構成] の設定画面が表示されます。

   [TCP ／ IP] の場合、プロトコル、代行印刷／並行印刷、プリンタグループの設定ができます。

Windows XP、Windows Server 2003 の場合

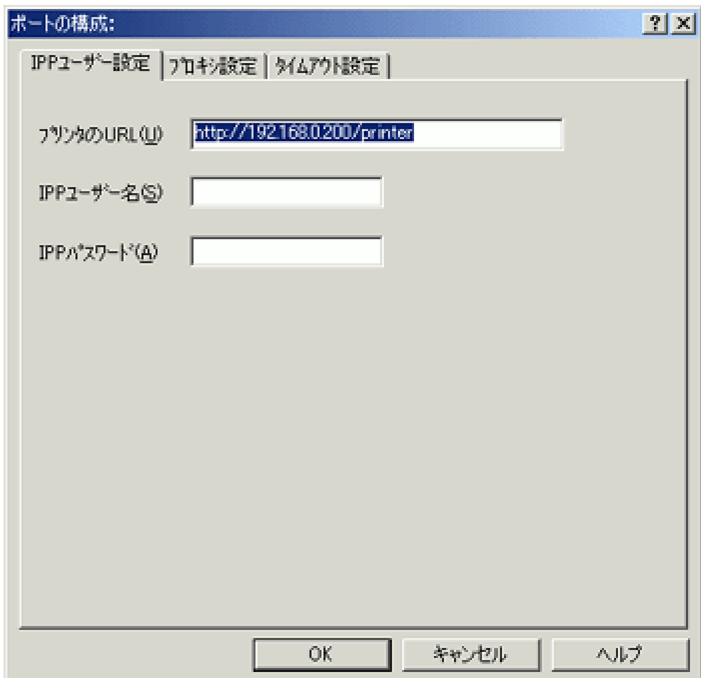
1. **[プリンタと FAX] ウィンドウを表示します。**
2. **印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューから [プロパティ] をクリックします。**
3. **[詳細] タブをクリックし、[ポートの設定] をクリックします。**

   [ポート] の設定画面が表示されます。

   [TCP ／ IP] の場合、プロトコル、代行印刷／並行印刷、プリンタグループの設定ができます。

補足

- NetBEUI プロトコルには、設定項目がありません。
- [代行印刷 / 並行印刷] タブの項目を設定できないときは、Ridoc IO Navi を起動し、タスクバーの Ridoc IO Navi アイコンを右クリックして [拡張機能設定] を選択し、[代行 / 並行印刷をポート毎に設定する] にチェックを付けます。
- IPP の場合、IPP ユーザー設定、プロキシ設定、タイムアウト設定ができます。



- Ridoc IO Navi のヘルプを参照してください。

USB 接続の場合

プリンターとパソコンを USB 接続している場合のインストール方法です。

USB 接続で印刷できるのは、Windows 98 SE、Windows Me、Windows 2000/XP、Windows Server 2003 です。

重要

- 起動しているすべてのアプリケーションを終了し、パソコンが印刷中でないか確認してください。

Windows 98 SE/Windows Me の場合

Windows 98 SE/Windows Me の場合、本機に同梱の CD-ROM に含まれる「USB 印刷サポート」が必要になります。以下の手順に従ってインストールしてください。

1. **[新しいハードウェアの追加ウィザード] で [次へ] をクリックします。**
2. **[使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）] を選択し、[次へ] をクリックします。**

3. [検索場所の指定] にチェックを付け、[参照] をクリックします。



[フォルダの参照] ダイアログが表示されます。

4. キーボードの左側の [Shift] キーを押しながら、本機に同梱の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

パソコンが CD-ROM を完全に認識するまで左側の [Shift] キーを押し続けます。

CD-ROM のオートランが起動した場合は、[終了] をクリックします。

5. ご使用の OS に合わせてドライバーを選択し、[次へ] をクリックします。

6. 表示されている [ドライバのある場所] を確認し、[次へ] をクリックします。

「USB 印刷サポート」がインストールされます。

7. [完了] をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされている場合、プラグアンドプレイが働き、USB ケーブルをポート先に指定したプリンターが [プリンタ] フォルダに自動的に追加されます。

8. プラグアンドプレイ画面にしたがって、プリンタードライバーをインストールします。

インストールが正常に終了すると、「USB00n」を [印刷先のポート先] に指定したプリンターが [プリンタ] フォルダに作成されます（「n」はプリンターの接続台数によって異なります）。

Windows 2000 の場合

USB ケーブルを初めて使用した場合、[新しいハードウェアの検出ウィザード] が表示され、Windows 2000 の「USB 印刷サポート」が自動的にインストールされます。

プリンタードライバーがインストールされている場合、プラグアンドプレイが働き、USB ケーブルをポート先に指定したプリンターが [プリンタ] フォルダに自動的に追加されます。

Administrators グループのメンバーとしてログインしてください。

1. プラグアンドプレイ画面にしたがって、プリンタードライバーをインストールします。

インストールが正常に終了すると、「USB00n」を [印刷先のポート先] に指定したプリンターが [プリンタ] フォルダに作成されます（「n」はプリンターの接続台数によって異なります）。

Windows XP、Windows Server 2003 の場合

USB ケーブルを初めて使用した場合、[新しいハードウェアの検出ウィザード] が表示され、Windows XP、Windows Server 2003 の「USB 印刷サポート」が自動的にインストールされます。

プリンタードライバーがインストールされている場合、プラグアンドプレイが働き、USB ケーブルをポート先に指定したプリンターが [プリンタと FAX] フォルダに自動的に追加されます。

1. **プラグアンドプレイ画面にしたがって、プリンタードライバーをインストールします。**

   インストールが正常に終了すると、「USB00n」を [印刷先のポート先] に指定したプリンターが [プリンタ] フォルダに作成されます（「n」はプリンターの接続台数によって異なります）。

参照

- インストールするプリンタードライバーの収録フォルダは、P.32「CD-ROM 収録ソフトウェアについて」を参照してください。

IEEE1394 SCSI プリント接続の場合

プリンターとパソコンを IEEE 1394 で SCSI プリント接続している場合のインストール方法です。

SCSI プリントは Windows 2000/XP、Windows Server 2003 で使用することができます。

重要

- 起動しているすべてのアプリケーションを終了し、パソコンが印刷中でないか確認してください。
- プリンタードライバーのインストール中に同じバスに接続された他のプリンターの電源を入れたり、新しい IEEE 1394 機器を接続しないでください。
- プリンタードライバーを削除するときは、削除する前にケーブルを抜いてください。
- 本機の設定で、「SCSI print」を有効にしておく必要があります。
- Windows 98/Me をインストールしたクライアントパソコンと本機を接続したときに「新しいデバイスの検出ウィザード」が表示されたときには、デバイスを無効にしてください。

参照

- 「SCSI print」の本機での設定方法は、使用説明書＜プリンター本体の操作＞「プリンター本体の設定」を参照してください。

Windows 2000 の場合

1. **本機とパソコンを IEEE 1394 インターフェースケーブルで接続します。**

   「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動し、「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」が表示されます。

2. **[次へ] をクリックします。**
3. **「次のデバイスをインストールします：不明なデバイス」が表示されていることを確認します。**
4. **「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」が選択されていることを確認し、[次へ] をクリックします。**

   「ドライバファイルの特定」が表示されます。

5. **[検索場所のオプション] の [場所を指定] を選択して [次へ] をクリックします。**
6. **キーボードの左側の [Shift] キーを押しながら、本機に同梱の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。**

パソコンが CD-ROM を完全に認識するまで左側の [Shift] キーを押し続けます。

CD-ROM のオートランが起動した場合は、[終了] をクリックします。

7. **[参照] をクリックして、使用するドライバーを選択し、[OK] をクリックします。**

8. **画面の指示にしたがってインストールします。**

   インストールが正常に終了すると、[プリンタ] フォルダに、「1394_00n」を [印刷のポート先] に指定したプリンターが [プリンタ] フォルダに作成されます（「n」はプリンターの接続台数によって異なります。）

補足

- 他のクライアントパソコンからデータを受信しているときにデータを送ると、他のクライアントパソコンからの受信および印刷終了後に、印刷が開始されます。
- 作成されたプリンターのアイコンは、ケーブルを抜くと「プリンターをオフラインで使用する」と表示され、ケーブルを接続すると「準備完了」と表示されます。
- インストールの途中で「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面が表示されることがありますが、[はい] を選択してインストールを続行してください。
- SCSI プリントによる印刷機能をインストールしない場合で、再起動やケーブルの抜き差しをするたびに「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されるときは、以下の手順でデバイスを無効にしてください。
  1. 「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」で、[次へ] をクリックします。
  2. 「ハードウェアデバイスドライバのインストール」で、「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」が選択されていることを確認し、[次へ] をクリックします。
  3. 「ドライバファイルの特定」で、「検索場所のオプション」のすべてのチェックを外し、[次へ] をクリックします。
  4. 「ドライバファイルの検索」で、「デバイスを無効にする」が選択されていることを確認し、[完了] をクリックします。

参照

- プリンタードライバーの収録フォルダについては、P.32「CD-ROM 収録ソフトウェアについて」を参照してください。

Windows XP、Windows Server 2003 の場合

1. **本機とパソコンを IEEE 1394 インターフェースケーブルで接続します。**

   「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動し、「このウィザードでは、次のハードウェアに必要なソフトウェアをインストールします：(プリンターの名前)」が表示されます。

2. **[一覧または特定の場所からインストールする] を選択し、[次へ] をクリックします。**

3. **「検索とインストールのオプションを選んでください。」が表示されたら、「次の場所で最適のドライバを検索する」を選択し、[次の場所を含める] を選択します。**

4. **キーボードの左側の [Shift] キーを押しながら、本機に同梱の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。**

   パソコンが CD-ROM を完全に認識するまで左側の [Shift] キーを押し続けます。

   CD-ROM のオートランが起動した場合は、[キャンセル] をクリックします。

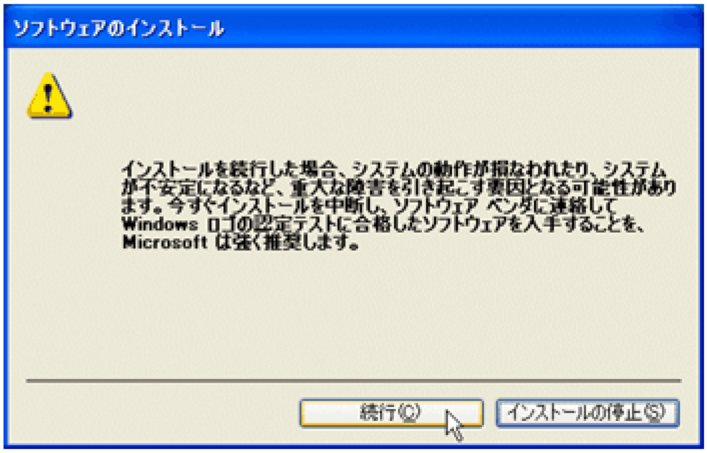
5. **[参照] をクリックして、使用するドライバーを選択し、[OK] をクリックします。**

6. **画面の指示にしたがってインストールします。**

   インストールが正常に終了すると、[プリンタと FAX] フォルダに、「1394_00n」を [印刷のポート先] に指定したプリンターが [プリンタ] フォルダに作成されます（「n」はプリンターの接続台数によって異なります。）

補足

- インストールの途中で以下の画面が表示されることがありますが、[続行] を選択してインストールを続行してください。



- SCSI プリントによる印刷機能をインストールしない場合で、再起動やケーブルの抜き差しをするたびに「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されるときは、以下の手順でデバイスを無効にしてください。
  1. 「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」で、[次へ] をクリックします。
  2. 「検索とインストールのオプションを選んでください。」が表示されたら、「次の場所で最適のドライバを検索する」を選択し、[リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）を検索]、[次の場所を含める] にチェックが付いていないことを確認し、[完了] をクリックします。
  3. [このソフトウェアをインストールする確認を今後表示しない] にチェックが付いていることを確認し、[完了] をクリックします。

参照

- プリンタードライバーの収録フォルダについては、P.32「CD-ROM 収録ソフトウェアについて」を参照してください。

パラレル接続の場合

プリンターとパソコンをパラレル接続している場合のインストール方法です。

重要

- 起動しているすべてのアプリケーションを終了し、パソコンが印刷中でないかを確認してください。

1. 本機に同梱の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

2. セットアップ画面が表示されたら、[プリンタードライバー] をクリックします。



3. ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。同意する場合は [同意します] をクリックし、[次へ] をクリックします。

4. [コンポーネントの選択] ダイアログでプリンタードライバーを選択し、[次へ] をクリックします。

5. [プリンター名] の左のチェックボックスにチェックを付け、使用する機種を選択します。プリンター名を変更するときは、[プリンター名の設定の変更] ボックスで変更します。

通常使うプリンターに設定されているプリンター名は、太字で表示されます。

6. [プリンター名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

[コメント]、[ドライバー]、[ポート] は、ご使用の OS、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

7. [共有] をダブルクリックし、共有の設定を展開します。

Windows NT 4.0、Windows 2000/XP、Windows Server 2003 では、代替ドライバーのチェックボックスが表示されます。インストールしたい代替ドライバーにチェックを付けると、インストールできます。

8. プリンターを共有する場合は、[共有] の左のチェックボックスにチェックを付けます。

9. 必要に応じて、ユーザーコードを設定します。ユーザーコードとして入力できるのは、半角数字最大 8 桁です。英字や記号はご使用になれません。

ユーザーコードを設定しておくと、パソコンごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Admin で確認できます。

10. 必要に応じて、通常使うプリンターの設定します。

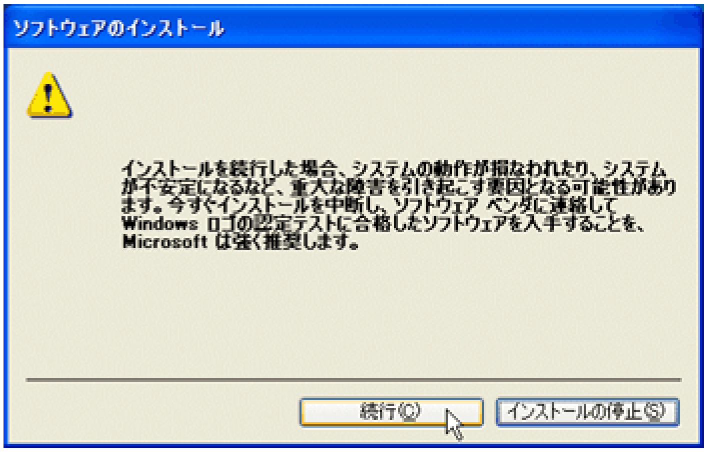
11. [完了] をクリックすると、プリンタードライバーがインストールされます。

12. [コンポーネントの選択] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

13. [導入完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

補足

- パソコンごとの印刷枚数の統計を、Ridoc IO Admin で確認する方法は、Ridoc IO Admin のヘルプを参照してください。
- インストールの途中で、「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面や、下のような画面が表示されることがあります。その場合、[はい] または [続行] を選択して、インストールを続行してください。



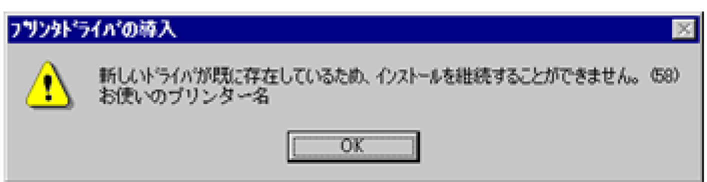
- ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windows を再起動してください。

参照

- 「新しいドライバーが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.25「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照して、インストールし直してください。

プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき

プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたときの操作方法に関する説明です。



- 上記のような (58) のメッセージ、または (34) のメッセージが表示されたときは、オートランプログラムによるインストールはできません。[プリンタの追加] または [プリンタのインストール] でインストールし直してください。

Windows 95/98/Me、Windows 2000、Windows NT 4.0 の場合

1. [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。
2. [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。

3. [プリンタの追加ウィザード] にしたがってインストールします。

   プリンタードライバーのディスクが CD-ROM の場合、RPCS のインストール元は CD-ROM の \DRIVERS\RPCS\WIN9X_ME、\DRIVERS\RPCS\WIN2K_XP、または \DRIVERS\RPCS\NT4 になります。インストーラーが起動したときは [キャンセル] をクリックして終了させます。

Windows XP Professional、Windows Server 2003 の場合

1. [スタート] ボタンをクリックし、[プリンタと FAX] をクリックします。
2. [プリンタの追加] をクリックします。
3. [プリンタの追加ウィザード] にしたがってインストールします。

   プリンタードライバーのディスクが CD-ROM の場合、RPCS のインストール元は CD-ROM の \DRIVERS\RPCS\WIN2K_XP になります。インストーラーが起動したときは [キャンセル] をクリックして終了させます。

Windows XP Home Edition の場合

1. [スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。
2. [プリンタとその他のハードウェア] をクリックします。
3. [プリンタと FAX] をクリックします。
4. [プリンタのインストール] をクリックします。
5. [プリンタの追加ウィザード] にしたがってインストールします。

   プリンタードライバーのディスクが CD-ROM の場合、RPCS のインストール元は CD-ROM の \DRIVERS\RPCS\WIN2K_XP になります。インストーラーが起動したときは [キャンセル] をクリックして終了させます。

オプション構成の設定

プリンターに装着したオプションを、プリンタードライバーに登録する方法の説明です。

双方向通信が働く条件

双方向通信が働いていると、本機にセットされている用紙サイズなどの情報が自動的にパソコンに伝わります。またパソコン側からもプリンターの状態を確認することができます。双方向通信が働く条件についての説明です。

本機とパソコンを直接ケーブルで接続している場合

- パソコンが双方向通信に対応している。
- プリンターのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている。

上記 2 つの条件のほかに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- 本機の USB2.0 ケーブルコネクターとパソコンの USB コネクターが、USB インターフェースケーブルで接続されている（Windows 98 SE/Me、Windows 2000/XP、Windows Server 2003 の場合）。
- 本機のパラレルコネクターとパソコンのパラレルコネクターが、双方向通信に対応したインターフェースケーブルで接続されている。
- 拡張 1394 ボードのコネクターとパソコンの IEEE 1394 コネクターが、ケーブルで接続されている（Windows 2000/XP、Windows Server 2003 の場合）。

補足

- 本機の「システム初期設定」の「インターフェース設定」で、「IEEE 1394」の「SCSI print」が「有効」で「SCSI print 双方向」が「する」に設定されている必要があります。詳しくは、使用説明書<プリンター本体の操作>「プリンター本体の設定」を参照してください。

ネットワークで接続している場合

- プリンターのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている。
- Ridoc IO Navi がインストールされている。

上記 2 つの条件のほかに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- Ridoc IO Navi ポートを使用し、プロトコルに TCP/IP を使っている。
- 標準 TCP/IP ポートのポート名を変更しないで使っている（Windows 2000/XP、Windows Server 2003 の場合）。
- Microsoft TCP/IP 印刷 IP アドレスを指定して使っている（Windows NT 4.0 の場合）。
- IPP プロトコル使用時に、ポート名に IP アドレスを含んでいる。

双方向通信が働かないとき

本機とパソコンが双方向通信していないときは、本機に取り付けたオプション、セットした用紙のサイズ・方向を設定する必要があります。

Windows 95/98/Me の場合

1. **[スタート] から [プリンタ] ウィンドウを表示します。**
2. **追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。**

   インストール後最初にプリンターのプロパティを表示する場合、または装着しているオプションを設定していない場合に、オプション設定を促す画面が表示されます。
3. **[OK] をクリックします。**
4. **[オプション選択] ボックスで、取り付けたオプションにチェックを付けます。**
5. **[給紙トレイ設定] で、設定するトレイをクリックして反転表示させ、[トレイ用紙サイズ][トレイ用紙セット方向][トレイ用紙種類] を正しく設定し、[OK] をクリックします。**
6. **[OK] をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。**

Windows 2000/Windows NT 4.0 の場合

1. **[スタート] から [プリンタ] ウィンドウを表示します。**
2. **追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。**

   インストール後最初にプリンターのプロパティを表示する場合、または装着しているオプションを設定していない場合に、オプション設定を促す画面が表示されます。
3. **[OK] をクリックします。**
4. **[オプション構成の変更 / 給紙トレイ設定] タブをクリックします。**
5. **[オプション選択] ボックスで、取り付けたオプションにチェックを付けます。**
6. **[給紙トレイ設定] で、設定するトレイをクリックして反転表示させ、[トレイ用紙サイズ][トレイ用紙セット方向][トレイ用紙種類] を正しく設定します。**
7. **[OK] をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。**

補足

- [プリンタ] フォルダでプリンタープロパティを変更するには、「プリンタの管理」または「フルコントロール」のアクセス許可が必要です。Administrators または Power Users グループのメンバーとしてログオンしてください。

Windows XP、Windows Server 2003 の場合

1. **[スタート] から [プリンタと FAX] ウィンドウを表示します。**
2. **追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。**

   インストール後最初にプリンターのプロパティを表示する場合、または装着しているオプションを設定していない場合に、オプション設定を促す画面が表示されます。

3. **[OK] をクリックします。**
4. **[オプション構成の変更 / 給紙トレイ設定] タブをクリックします。**
5. **[オプション選択] ボックスで、取り付けたオプションにチェックを付けます。**
6. **[給紙トレイ設定] で、設定するトレイをクリックして反転表示させ、[トレイ用紙サイズ][トレイ用紙セット方向][トレイ用紙種類] を正しく設定します。**
7. **[OK] をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。**

補足

- [プリンタと FAX] フォルダでプリンタープロパティを変更するには、「プリンタの管理」のアクセス許可が必要です。Administrators または Power Users グループのメンバーとしてログオンしてください。

Ridoc IO Navi のインストール

Ridoc IO Navi のインストール方法に関する説明です。

重要

- 起動しているすべてのアプリケーションを終了し、パソコンが印刷中でないか確認してください。

1. **本機に同梱の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。**

   インストーラーが起動します。

2. **セットアップ画面が表示されたら、[Ridoc IO Navi] をクリックします。**



   Ridoc IO Navi のインストーラーが起動します。

3. **[使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[はい] をクリックします。**

4. **コンポーネントの選択画面が表示されます。使用するソフトウェアを選択し、[次へ] をクリックします。**

5. **表示されるメッセージにしたがって Ridoc IO Navi をインストールします。**

参照

- Ridoc IO Navi については P.211「Ridoc IO Navi を使用する」、または Ridoc IO Navi のヘルプを参照してください。

Ridoc IO Admin のインストール

Ridoc IO Admin のインストール方法に関する説明です。

重要

- 起動しているすべてのアプリケーションを終了し、パソコンが印刷中でないか確認してください。

1. 本機に同梱の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

2. セットアップ画面が表示されたら、[Ridoc IO Admin] をクリックします。



Ridoc IO Admin のインストーラーが起動します。

3. [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[はい] をクリックします。

4. コンポーネントの選択画面が表示されます。使用するソフトウェアを選択し、[次へ] をクリックします。

5. 表示されるメッセージにしたがって Ridoc IO Admin をインストールします。

参照

- Ridoc IO Admin については P.218「Ridoc IO Admin を使用する」、または Ridoc IO Admin のヘルプを参照してください。

CD-ROM 収録ソフトウェアについて

ここでは、本機に同梱されている CD-ROM「ドライバー＆ユーティリティー」について説明しています。

ファイル一覧

CD-ROM「ドライバー＆ユーティリティー」に入っているファイルの一覧です。

ファイル名	参照
SETUP.EXE	P.7「オートランプログラムについて」
Windows 95/98/Me 用プリンタードライバー	P.33「RPCS プリンタードライバー」
Windows NT 4.0 用プリンタードライバー	P.33「RPCS プリンタードライバー」
Windows 2000/XP、Windows Server 2003 用プリンタードライバー	P.33「RPCS プリンタードライバー」
USB Printing Support ドライバー	P.33「USB 印刷サポート」
Ridoc IO Navi	P.34「Ridoc IO Navi」
Ridoc IO Admin	P.34「Ridoc IO Admin」
Ridoc Desk 2000 Lt	P.35「Ridoc Desk 2000 Lt」
拡張 1394 ボード（オプション用）ツール	P.35「拡張 1394 ボード用（オプション）ツール」
ICM（プリンター用カラープロファイルデータ）	P.35「ICM（RGB）」
True Type World Windows 版	P.35「TrueTypeWorld」
各種マニュアル（HTML ファイル）	P.38「各種マニュアル（HTML ファイル）」

ドライバー（RPCS,USB 印刷サポート）

Windows から印刷するために必要なソフトウェアです。RPCS、USB 印刷サポートが入っています。

重要

- Windows 98 SE/Me で USB 接続するためには、「USB 印刷サポート」をインストールする必要があります。

RPCS プリンタードライバー

RPCS プリンタードライバーのファイル格納場所と動作環境についての説明です。

ファイル格納場所

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダに格納されています。

- Windows 95/98/Me 用 RPCS プリンタードライバー

  DRIVERS\RPCS\WIN9X_ME
- Windows 2000/XP、Windows Server 2003 用 RPCS プリンタードライバー

  DRIVERS\RPCS\WIN2K_XP
- Windows NT 4.0 用 RPCS プリンタードライバー

  DRIVERS\RPCS\NT4

プリンタードライバーの動作環境

- パソコン

  対象 OS が問題なく動作する、PC/AT 互換機、NEC PC-9821 シリーズ
  - Windows NT 4.0 で使用する場合、RISC ベースのプロセッサ（MIPS R シリーズ、Alpha AXP、Power PC）環境では動作しません。
- 対象 OS

  Windows 95/98/Me 日本語版

  Windows 2000/XP、Windows Server 2003 日本語版

  Windows NT 4.0 日本語版
- ディスプレイ解像度

  SVGA 800×600 ドット以上

補足

- 詳しい使い方については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

参照

- RPCS プリンタードライバーのインストール方法は、P.8「おすすめインストール」、P.10「プリンタードライバーのインストール」を参照してください。

USB 印刷サポート

USB 印刷サポートのファイル格納場所についての説明です。

Windows 98 SE/Me で USB 接続して印刷するために必要なソフトウェアです。

ファイル格納場所

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダに格納されています。

DRIVERS\USBPRINT

参照

- インストール方法については、P.19「USB 接続の場合」を参照してください。

Ridoc IO Navi

Ridoc IO Navi の機能とファイル格納場所の説明です。

Ridoc IO Navi は以下のような機能を備えたソフトウェアです。プリンターをご使用になるすべての方がインストールされることをお勧めします。

- Windows 95/98/Me、Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 から TCP/IP、NetBEUI（Windows XP、Windows Server 2003 は除く）、IPP を使用して、Peer-to-Peer ネットワークで印刷する機能を提供します。
- TCP/IP、IPX/SPX を使用してネットワークにある機器の状態を常に監視できる機能を提供します。

ファイル格納場所

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダに格納されています。

NETWORK\RIDOCIO\NAVI

補足

- P.211「Ridoc IO Navi を使用する」、または Ridoc IO Navi のヘルプを参照してください。

参照

- インストール方法は、P.30「Ridoc IO Navi のインストール」を参照してください。

Ridoc IO Admin

Ridoc IO Admin のファイル格納場所についての説明です。

Ridoc IO Admin は TCP/IP、IPX/SPX を使用してネットワーク上のプリンターを監視するソフトウェアです。IP アドレスを持つ複数のネットワークプリンターの管理が可能です。ネットワーク管理者の方がお使いになることをお勧めします。

ファイル格納場所

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダに格納されています。

NETWORK\RIDOCIO\ADMIN

補足

- P.218「Ridoc IO Admin を使用する」、または Ridoc IO Admin のヘルプを参照してください。

参照

- インストール方法は、P.31「Ridoc IO Admin のインストール」を参照してください。

Ridoc Desk 2000 Lt

Ridoc Desk 2000 Lt のファイル格納場所についての説明です。

ファイル格納場所

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダに格納されています。

UTILITY\RIDOCDSK

拡張 1394 ボード用（オプション）ツール

拡張 1394 ボード用（オプション）ツールのファイル格納場所と対象 OS についての説明です。

ファイル格納場所

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダに格納されています。

UTILITY\1394

対象 OS

Windows 2000/XP、Windows Server 2003 日本語版

補足

- Readme ファイル、または拡張 1394 ボードに同梱の使用説明書を参照してください。

ICM（RGB）

ICM（プリンター用カラープロファイルデータ）のファイル格納場所についての説明です。

ファイル格納場所

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダに格納されています。

ICM

TrueTypeWorld

TrueTypeWorld のファイル格納場所と書体見本についての説明です。

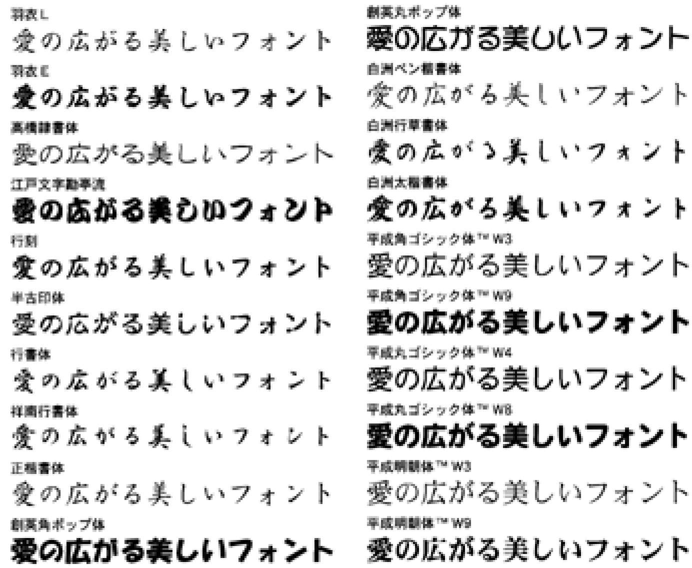
ファイル格納場所

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダに格納されています。

FONTS\WIN95NT

書体見本

以下の TrueType フォント 20 書体が収録されています。



各書体のフォント名、字母メーカーは以下のとおりです。

フォント名	書体名	字母メーカー名
HG ～（注）	羽衣 L	株式会社大谷デザイン研究所
HG ～（注）	羽衣 E	株式会社大谷デザイン研究所
HG ～（注）	高橋隷書体	株式会社ブリッジ
HG ～ &HGP ～& HGS ～	江戸文字勘亭流	株式会社晃文堂
HG ～ &HGP ～& HGS ～	行刻	株式会社シイアンドジィ
HG ～ &HGP ～& HGS ～	半古印体	株式会社シイアンドジィ
HG ～ &HGP ～& HGS ～	行書体	株式会社リコー
HG ～ &HGP ～& HGS ～	祥南行書体	有澤祥南
HG ～ &HGP ～& HGS ～	正楷書体	日本活字工業株式会社
HG ～ &HGP ～& HGS ～	創英角ポップ体	株式会社創英企画
HG ～ &HGP ～& HGS ～	創英丸ポップ体	株式会社創英企画
HG ～ &HGP ～& HGS ～	白洲ペン楷書体	日本書技研究所
HG ～ &HGP ～& HGS ～	白洲行草書体	日本書技研究所
HG ～ &HGP ～& HGS ～	白洲太楷書体	日本書技研究所
HG ～ &HGP ～& HGS ～	平成角ゴシック体 ™W3	（財）日本規格協会
HG ～ &HGP ～& HGS ～	平成角ゴシック体 ™W9	（財）日本規格協会

フォント名	書体名	字母メーカー名
HG ～ &HGP ～& HGS ～	平成丸ゴシック体 TMW4	（財）日本規格協会
HG ～ &HGP ～& HGS ～	平成丸ゴシック体 TMW8	（財）日本規格協会
HG ～ &HGP ～& HGS ～	平成明朝体 TMW3	（財）日本規格協会
HG ～ &HGP ～& HGS ～	平成明朝体 TMW9	（財）日本規格協会

※フォント名の『～』の個所には書体名が入ります。『HG ～』のみの場合は和文プロポーショナルに対応していません。

基本仕様

True Type World の基本仕様に関する説明です。

文字について

7,602 文字（MS 標準キャラクタセットに準拠、JIS 漢字第一水準、第二水準を含む）

フォーマット /Windows 95 日本語版準拠の TrueType Collection 形式（拡張子 : ttc）

補足

- Windows 95 以降で和文プロポーショナルフォントを使用できるようになります。
- フォントファイルに組み込まれたフォント情報によって書体表示名が異なります。

「HGP ～」	半角文字・非漢字についてプロポーショナルピッチの情報を格納
「HGS ～」	半角文字についてプロポーショナルピッチの情報を格納
「HG ～」	固定ピッチ情報のみ格納

- 和文プロポーショナル機能を使用するには、TrueType Collection に対応しているアプリケーションが必要です。

インストール対応 OS

TrueTypeWorld は、以下の OS に対してインストールすることができます。

- Windows NT 3.5
- Windows NT 3.51
- Windows 95/98/Me
- Windows 2000/XP

補足

- プリンタードライバーの対象 OS は、TrueType フォントの対象 OS とは異なります。

Windows へのインストール

True Type World の Windows へのインストール方法の説明です。

ここでは、操作例として Windows 95/98/Me へのインストール方法を説明しています。

重要

- すでに Windows 3.1 版の TrueTypeWorld がインストールされているパソコンには、同梱の CD-ROM 内の TrueTypeWorld をインストールしないでください。
- インストールされているフォント数が多いとシステムが不安定になる恐れがあります。

- リモートドライブ（ネットワーク上のドライブ）にインストールしないでください。アプリケーションからフォントを選択するときに他のフォントが見えなくなるなどの障害が発生する恐れがあります。

1. **[スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[コントロールパネル] をクリックします。**
2. **[コントロールパネル] の [フォント] をダブルクリックします。**
3. **[ファイル] メニューの [新しいフォントのインストール] をクリックします。**
4. **CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。**
5. **[ドライブ] ボックスのドロップダウンメニューから CD-ROM ドライブを選択します。**
6. **[フォルダ] ボックスで、[fonts]⇒[win95nt] の順にフォルダを開きます。**
7. **[フォントの一覧] ボックスにフォント名が表示されるので、インストールするフォントをクリックして反転表示させます。**
8. **[[FONTS] フォルダにフォントをコピーする] にチェックが付いていることを確認し、[OK] をクリックします。**

   これでインストールは終了です。

補足

- Windows をインストールしたハードディスクに、1 書体当たり約 2 〜 7MB（書体によって異なります）の空き容量が必要です。
- インストール後、フォント名は 3 つの書体名「HG 〜」、「HGP 〜」、「HGS 〜」で表示されます。たとえば「行書体」の場合、[コントロールパネル] の [フォント] フォルダの中では、フォント名が「HG 行書体＆ HGP 行書体＆ HGS 行書体」と表示されます。
- その他の OS へのインストール方法については、OS に同梱の説明書を参照してください。

各種マニュアル（HTML ファイル）

各種マニュアル（HTML ファイル）のファイル格納場所についての説明です。

ファイル格納場所

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダに格納されています。

MANUAL

2. ネットワーク接続の設定

パソコンの設定

ネットワーク接続するためのパソコン設定を行います。

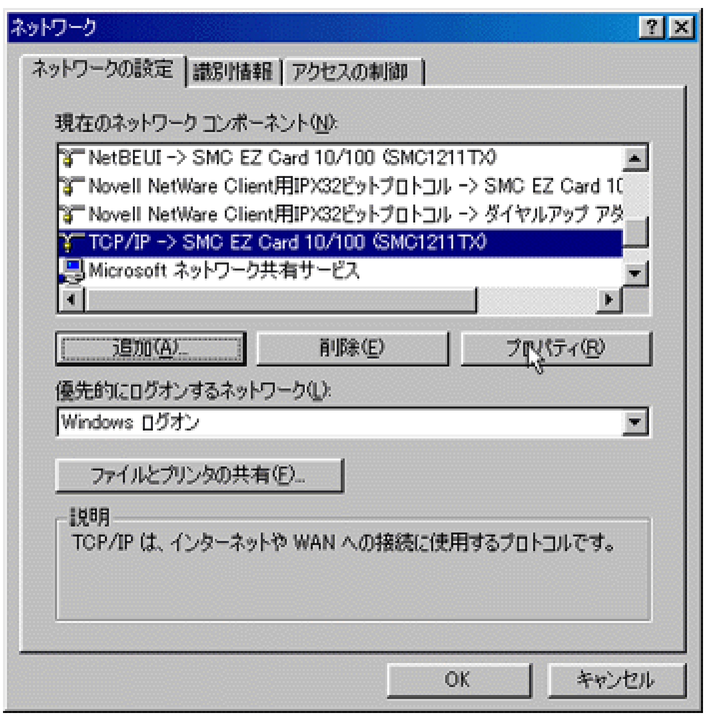
TCP/IP プロトコルの設定

TCP/IP プロトコルまたは IPP プロトコルを使って印刷する場合は、次の説明にしたがってネットワーク環境を設定してください。

Windows 95/98/Me の環境設定

Windows 95/98/Me に「TCP/IP プロトコル」が組み込まれていることを確認し、TCP/IP のプロパティを設定します。

1. [コントロールパネル] の [ネットワーク] アイコンをダブルクリックし、[ネットワークの設定] タブの [現在のネットワークコンポーネント] ボックスに、「TCP/IP」が組み込まれていることを確認します。



2. TCP/IP プロトコルが組み込まれていたら、プロパティを設定します。

設定内容はネットワーク管理者の方に確認し、正しく設定してください。

補足

- Windows Me で IEEE 1394(IP over 1394) をお使いの場合、TCP/IP がお使いの IEEE 1394 アダプターにバインドされているか確認してください。
- 「TCP/IP」が組み込まれていないときは、[ネットワークの設定] タブの [追加] をクリックして組み込んでください。組み込みの操作方法について詳しくは、Windows 95/98/Me のヘルプを参照してください。

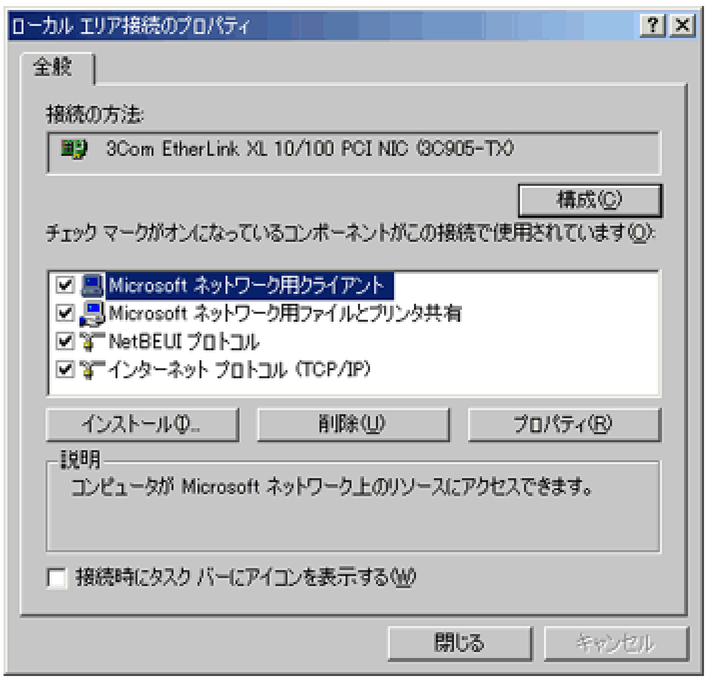
Windows 2000 の環境設定

Windows 2000 に「TCP/IP プロトコル」が組み込まれていることを確認し、TCP/IP のプロパティを設定します。

1. [コントロールパネル] の [ネットワークとダイヤルアップ接続] アイコンをダブルクリックします。

2. [ローカルエリア接続] を選択して、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。

3. [チェックマークがオンになっているコンポーネントがこの接続で使用されています] ボックスに、「インターネットプロトコル (TCP/IP)」が組み込まれていることを確認します。



4. TCP/IP プロトコルが組み込まれていたら、プロパティを設定します。

設定内容はネットワーク管理者の方に確認し、正しく設定してください。

補足

- TCP/IP プロトコルが組み込まれていないときは、[ローカルエリア接続のプロパティ] の [インストール] をクリックして組み込んでください。組み込みの操作方法について詳しくは、Windows 2000 のヘルプを参照してください。

Windows XP、Windows Server 2003 の環境設定

Windows XP、Windows Server 2003 に「TCP/IP プロトコル」が組み込まれていることを確認し、TCP/IP のプロパティを設定します。

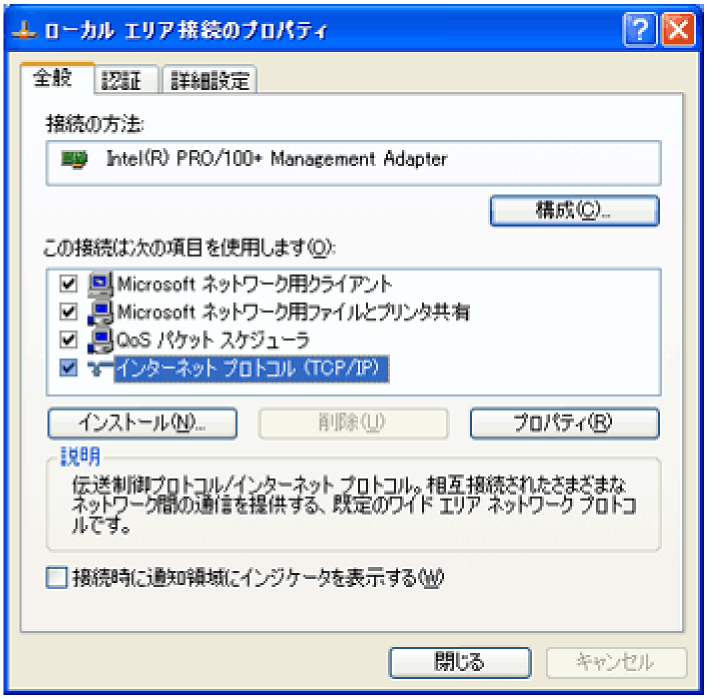
1. [コントロールパネル] の [ネットワークとインターネット接続] アイコンをダブルクリックします。

2. [ネットワーク接続] をクリックします。

3. [ローカルエリア接続] を選択して、[この接続の設定を変更する] をクリックします。

IP over 1394 を設定する場合には、[1394 接続] をクリックします。

4. [この接続は次の項目を使用します] ボックスに、「インターネットプロトコル (TCP/IP)」が組み込まれていることを確認します。



5. TCP/IP プロトコルが組み込まれていたら、プロパティを設定します。

設定内容はネットワーク管理者の方に確認し、正しく設定してください。

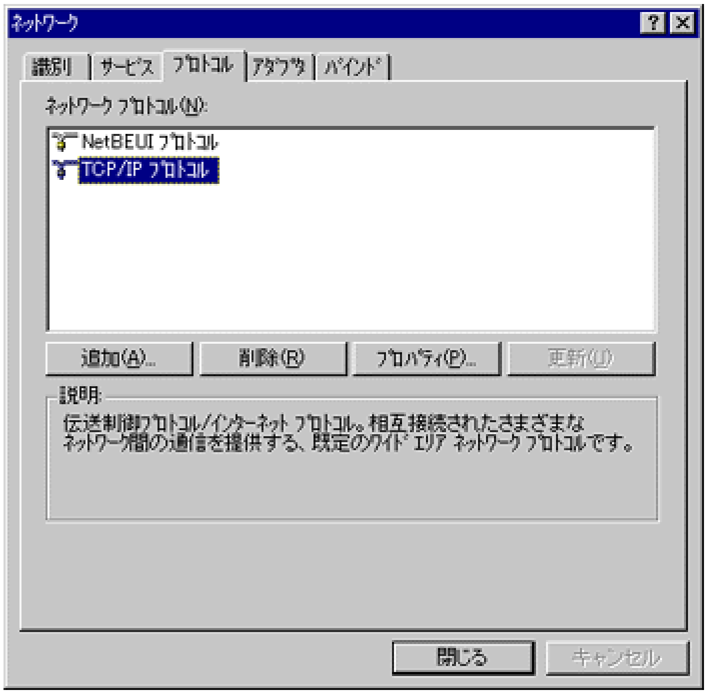
補足

- TCP/IP プロトコルが組み込まれていないときは、[ローカルエリア接続のプロパティ] の [インストール] をクリックして組み込んでください。組み込みの操作方法について詳しくは、Windows XP、Windows Server 2003 のヘルプを参照してください。

Windows NT 4.0 の環境設定

Windows NT 4.0 に「TCP/IP プロトコル」を組み込み、TCP/IP のプロパティを設定します。

1. [コントロールパネル] の [ネットワーク] アイコンをダブルクリックし、[プロトコル] タブの [ネットワークプロトコル] ボックスに、「TCP/IP プロトコル」が組み込まれていることを確認します。



2. TCP/IP プロトコルが組み込まれていたら、プロパティを設定します。

設定内容はネットワーク管理者の方に確認し、正しく設定してください。

補足

- 「TCP/IP プロトコル」が組み込まれていないときは、[プロトコル] タブの [追加] をクリックして組み込んでください。組み込みの操作方法については Windows NT 4.0 のヘルプを参照してください。

NetBEUI プロトコルの設定

NetBEUI プロトコルを使って印刷する場合は、以下の説明にしたがってネットワーク環境を設定してください。

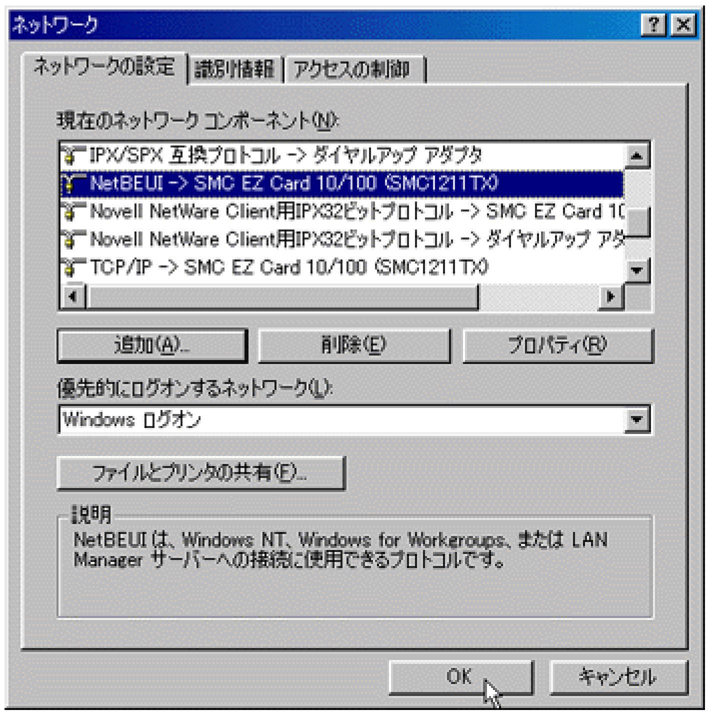
補足

- Windows XP、Windows Server 2003 では、NetBEUI プロトコルは使用できません。
- 本機では、操作部の表示、本書、および関連する各種ユーティリティーなど、NetBEUI プロトコルは、SMB と表記されていることがあります。

Windows 95/98/Me の環境設定

Windows 95/98/Me に「NetBEUI プロトコル」が組み込まれていることを確認し、NetBEUI を標準のプロトコルに設定します。

1. [コントロールパネル] の [ネットワーク] アイコンをダブルクリックし、[ネットワークの設定] タブの [現在のネットワークコンポーネント] ボックスに、「NetBEUI」が組み込まれていることを確認します。



2. [OK] をクリックし、[ネットワーク] ダイアログを閉じます。

補足

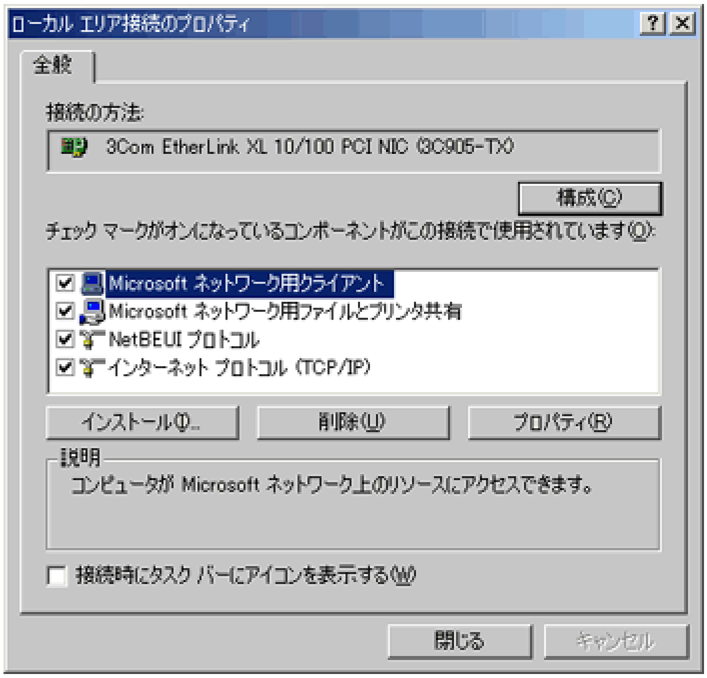
- 「NetBEUI」が組み込まれていないときは、[ネットワークの設定] タブの [追加] をクリックして組み込んでください。組み込みの操作方法について詳しくは、Windows 95/98/Me のヘルプを参照してください。
- 「ダイヤルアップアダプタ」が組み込まれている場合、設定によっては印刷できないことがあります。このようなときは、ダイヤルアップアダプタのプロパティを開き、[バインド] タブの「NetBEUI →ダイヤルアップアダプタ」のチェックを外してください。

Windows 2000 の環境設定

Windows 2000 に「NetBEUI プロトコル」が組み込まれていることを確認します。

1. [コントロールパネル] の [ネットワークとダイヤルアップ接続] アイコンをダブルクリックします。
2. [ローカルエリア接続] を選択して、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。

3. [チェックマークがオンになっているコンポーネントがこの接続で使用されています] ボックスに、「NetBEUI プロトコル」が組み込まれていることを確認します。



4. [OK] をクリックします。

補足

- NetBEUI プロトコルが組み込まれていないときは、[ローカルエリア接続のプロパティ] の [インストール] をクリックして組み込んでください。組み込みの操作方法について詳しくは、Windows 2000 のヘルプを参照してください。

Windows NT 4.0 の環境設定

Windows NT 4.0 に「NetBEUI プロトコル」を組み込み、LAN アダプタ（LANA）番号を変更します。

1. [コントロールパネル] の [ネットワーク] アイコンをダブルクリックし、[プロトコル] タブの [ネットワークプロトコル] ボックスに、「NetBEUI プロトコル」が組み込まれていることを確認します。
2. LANA 番号を変更します。[サービス] タブをクリックし、[ネットワークサービス] ボックスの「NetBIOS インターフェイス」をクリックして反転表示させ、[プロパティ] をクリックします。

3. **[ネットワークルート] 見出しの「Nbf プロトコル」に対応した LANA 番号をクリックして反転表示させ、[編集] をクリックします。**



4. **LANA 番号として「0」を入力します。**

   他のプロトコルの LANA 番号が「0」に設定されているときは、そのプロトコルを「0」以外に変更してください。

5. **[OK] をクリックします。**

6. **[閉じる] をクリックし、[ネットワーク] ダイアログを閉じます。**

7. **再起動するかどうか確認するメッセージが表示されるので、[はい] をクリックします。**

補足

- 「NetBEUI プロトコル」が組み込まれていないときは、[プロトコル] タブの [追加] をクリックして組み込んでください。組み込みの操作方法について詳しくは、Windows NT 4.0 のヘルプを参照してください。
- LANA 番号を変更したときは必ず再起動してください。

DHCP を使用する

本機を DHCP 環境で使用することができます。WINS サーバーが稼働している環境では、同時にプリンター名を WINS サーバーに登録することができます。

イーサネットインターフェース、IEEE 1394(IP over 1394) インターフェースを同時に装着する場合、以下に注意してください。

重要

- ネットワークに ISDN 回線を接続している環境で DHCP リレーエージェントを使用した場合、本機からパケットが送出されるたびに ISDN 回線が接続され、多大な通信料がかかることがあります。

それぞれ静的 IP アドレスを設定している場合

- IP アドレス：値が同じ場合には、イーサネットインターフェースが使用されます。
- サブネットマスク：値がオーバーラップした場合には、イーサネットインターフェースが使用されます。

- ゲートウェイアドレス：設定された値が使用されます。ゲートウェイアドレスは、インターフェースの設定したサブネット内にあるゲートウェイアドレスを設定してください。インターフェースの設定したサブネット範囲外の値が設定された場合は、「0.0.0.0」で動作します。

それぞれ DHCP サーバーから取得する設定の場合

- IP アドレス、サブネットマスク：それぞれに接続されたインターフェース上で動作する DHCP サーバーからリースされる値を設定します。このとき、IP アドレスの重複や、同じサブネット内の IP アドレスが設定された場合は、優先度の高いインターフェースにのみ有効な値が設定されます。工場出荷時の優先インターフェース設定はイーサネットです。
- AutoNet：優先順位の高いインターフェースに自動プライベートアドレス（169.254.xxx.xxx）が設定されます。工場出荷時の優先インターフェース設定は IEEE 1394(IP over 1394) です。
- ゲートウェイアドレス、DNS サーバーアドレス、ドメイン名：優先順位の高いインターフェースの DHCP サーバーから取得した値を設定します。

  ゲートウェイアドレスは、インターフェースの設定したサブネット範囲外の値が設定された場合は、「0.0.0.0」で動作します。工場出荷時の優先インターフェース設定はイーサネットです。

静的 IP アドレスと DHCP 取得値の設定が混在している場合

- IP アドレス、サブネットマスク：静的 IP アドレスと DHCP 取得値（IP アドレス）が同一になった場合や、静的サブネットマスク値と DHCP 取得サブネットマスク値がオーバーラップした場合は、静的 IP を設定したインターフェースが設定された値で動作します。DHCP 設定のインターフェースは、初期値となります。
- ゲートウェイアドレス：手動で設定した値で、動作します。

  ゲートウェイアドレスは、インターフェースの設定したサブネット範囲外の値が設定された場合は、「0.0.0.0」で動作します。静的 IP アドレスが設定されていない場合や、「0.0.0.0」に設定されている場合は、DHCP 取得値を設定したインターフェースが動作します。

補足

- 動作対象の DHCP サーバーは、Windows 2000 Server 日本語版、Windows NT 4.0 Server 日本語版、NetWare、および UNIX に標準添付されている DHCP サーバーです。
- 本機が DHCP から取得した IP アドレスは、システム設定リストで確認できます。
- WINS サーバーを使用する場合は、本機の設定項目で [WINS 設定] を [使用する] に設定してください。
- WINS サーバーを使用することで、リモートネットワークのプリンターポートでホスト名を使用できます。
- WINS サーバーを使用しない場合は、毎回同じ IP アドレスが割り当てられるように、本機に割り当てる IP アドレスを DHCP サーバーで予約してください。
- 複数の DHCP サーバーが存在する場合は、すべての DHCP サーバーに同じ予約をしてください。本機は最初に応答した DHCP サーバーからの情報で動作します。

AutoNet 機能を使用する

DHCP サーバーから IP アドレスが割り当てられなかった場合、本機は、臨時に 169.254.xxx.xxx ではじまるネットワーク上で使用されていない IP アドレスを自動選択して使用できます。

補足

- AutoNet 機能で自動選択された IP アドレスは、DHCP サーバーが IP アドレスの割り当てを再開すると、DHCP サーバーから割り当てられた IP アドレスを優先的に使用します。このとき、本機が再起動するため、一時的に印刷ができなくなります。
- 本機が使用している IP アドレスはシステム設定リストで確認できます。
- AutoNet モードで動作中の場合、WINS サーバーへのプリンター名の登録は行われません。
- AutoNet 機能で起動している機器以外とは通信できません。
- Mac OS 10.2.3 以上の場合、Autonet 起動以外との通信も可能です。ただし、Mac からの印刷に限定されます。

WINS サーバーを使用する場合

プリンターの起動時に、プリンターのプリンター名を WINS（Windows Internet Name Sarvice）サーバーに登録することができます。WINS サーバーにプリンター名を登録すると、DHCP 環境で使用している場合、Ridoc IO Navi のポート名にプリンターのプリンター名を使用して印刷できます。

ここでは、プリンターが WINS サーバーを使用できるようにする設定について説明します。

補足

- サポートする WINS サーバーは、Windows NT 4.0 Server Service Pack 4 以降または Windows 2000 Server の WINS マネージャーです。
- WINS サーバーの設定については、Windows のヘルプを参照してください。
- WINS サーバーが応答しない場合、ブロードキャストによるプリンター名の登録が行われます。
- 登録できるプリンター名は、半角英数字で 15 バイト以内です。

Web ブラウザを使用する方法

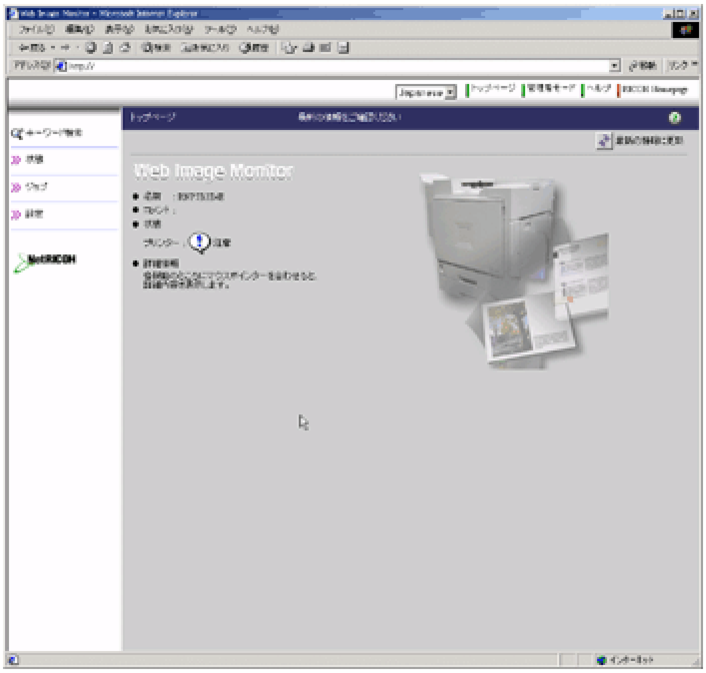
Web ブラウザを使って WINS サーバーを使用するための設定を行います。

重要

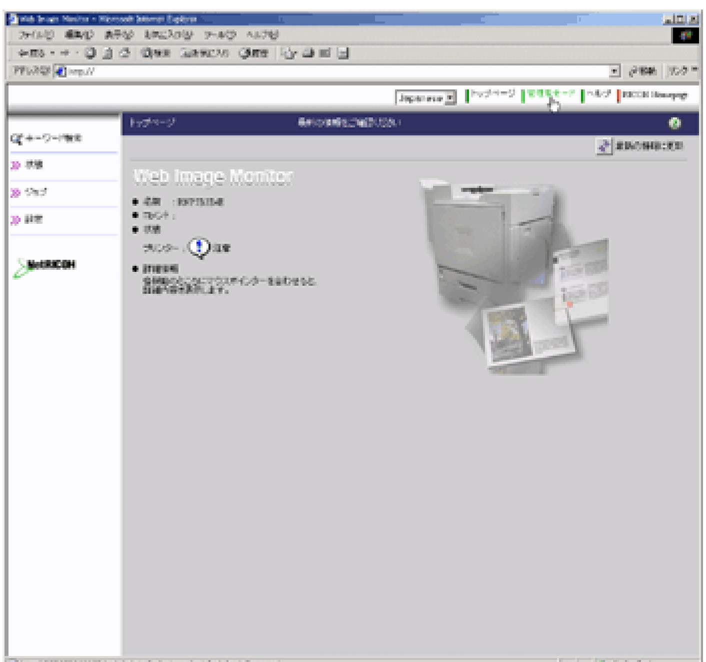
- プロキシサーバーをご使用の場合、本機との接続にプロキシサーバーを経由しない設定にしてください。詳しくはネットワーク管理者の方に確認してください。

1. **Web ブラウザを起動します。**
2. **アドレスバーに「http://（本機のアドレス）/」と入力し、設定を変更するプリンターにアクセスします。**

Web ブラウザのトップページが表示されます。



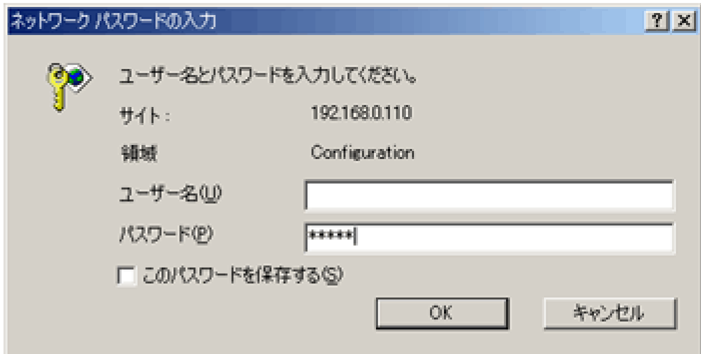
3. [管理者モード] をクリックします。



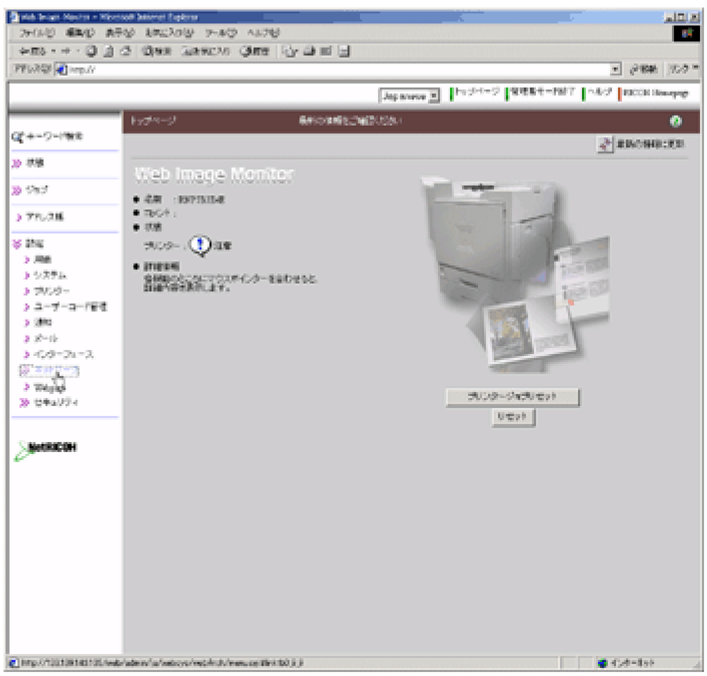
パスワードを入力するダイアログが表示されます。

4. パスワードを入力し、[OK] をクリックします。

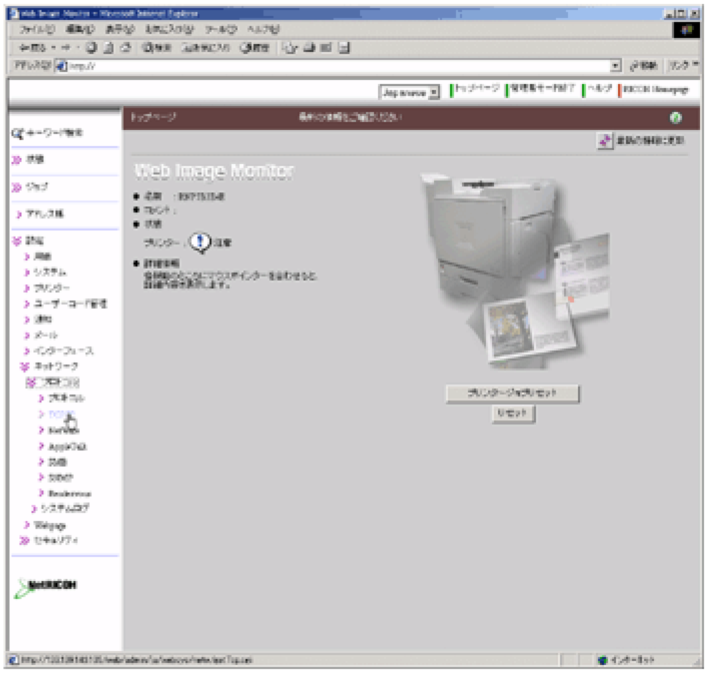
ユーザー名は空欄のまま、パスワードには「ricoh」と入力します。パスワードの「ricoh」は工場出荷時の設定です。パスワードは変更してください。



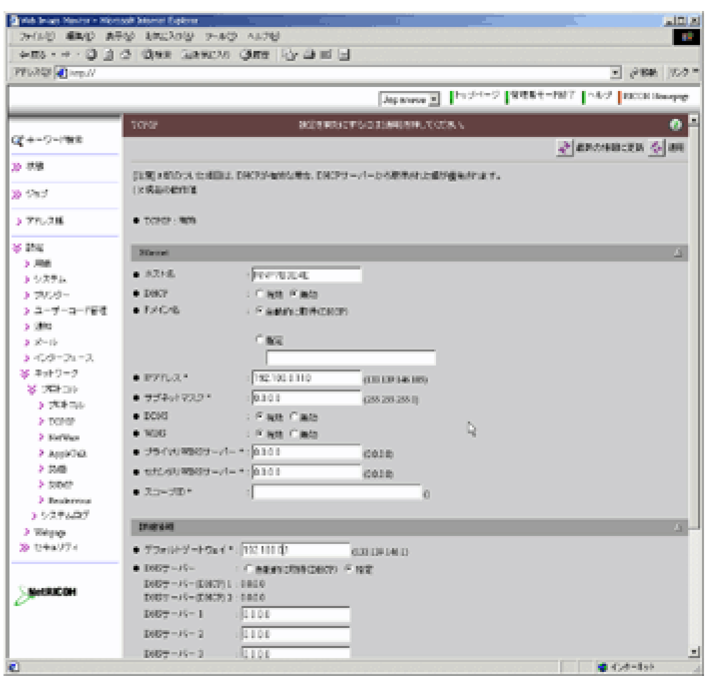
5. 左フレームの [設定] をクリックし、[ネットワーク] をクリックします。



6. [プロトコル] をクリックし、[TCP/IP] をクリックします。



7. [Ethernet] 欄の [WINS] が「有効」になっていることを確認し、[プライマリ WINS サーバー] と [セカンダリ WINS サーバー] にそれぞれ WINS サーバーの IP アドレスを入力します。



8. [適用] をクリックします。

9. Web ブラウザを終了します。

補足

- オプションの拡張 1394 ボードを装着して IP over 1394 を同時に使用する場合、[IP over 1394] 欄内でも同様の操作をしてください。

mshell を使用する方法

mshell を使って WINS サーバーを使用するための設定を行います。

1. **telnet を使用し、プリンターに接続します。**
2. **以下のコマンドを使用し、WINS を使用する設定にします。**

   wins インターフェース名 on

3. **以下のコマンドを使用し、プライマリ WINS サーバーとセカンダリ WINS サーバーの IP アドレスを入力します。**

   wins インターフェース名 primary IPaddress

   wins インターフェース名 secondary IPaddress

   現在の設定を確認するには、wins コマンドを使用します。

4. **telnet を終了します。**

補足

- 「インターフェース名」にはご使用のインターフェースの指定値を入力します。インターフェースの指定値について詳しくは、P.252「WINS 機能の設定」を参照してください。

ダイナミック DNS 機能を使用する

ダイナミック DNS とは、DNS サーバが管理しているレコード（A レコードおよび PTR レコード）を動的に更新（登録・削除）する機能です。本機が接続されているネットワーク環境に DNS サーバがあり、本機が DNS クライアントである場合、ダイナミック DNS 機能によって動的にレコードを更新することができます。

更新処理について

本機の IP アドレスが静的か DHCP から取得しているかによって、更新処理の動作が異なります。

静的 IP 設定の場合

IP アドレス、ホスト名が変更された場合、本機が A レコード、および PTR レコードを更新します。

また、A レコードを登録する際に、CNAME も登録します。登録できる CNAME は次のとおりです。

- イーサネット、IEEE802.11b の場合

  RNPXXXXXX（XXXXXX は MAC アドレスの下位３バイトの 16 進数）

- IEEE1394 の場合

  RNPXXXXXXXXXX（XXXXXXXXXX は MAC アドレスの下位３～７バイトの 16 進数）

DHCP 設定の場合

DHCP サーバーが本機の代理でレコードを更新します。次のどちらかになります。

- 本機がDHCP サーバーからIP アドレスを取得する際、DHCPサーバーがAレコードとPTRレコードを更新
- 本機が DHCP サーバーから IP アドレスを取得する際、本機が A レコードを更新し、DHCP サーバーが PTR レコードを更新

A レコードを登録する際に、CNAME も登録します。登録できる CNAME は次のとおりです。

- イーサネット、IEEE802.11b の場合

  RNPXXXXXX（XXXXXX は MAC アドレスの下位３バイトの 16 進数）

- IEEE1394 の場合

  RNPXXXXXXXXXX（XXXXXXXXXX は MAC アドレスの下位３～７バイトの 16 進数）

補足

- ダイナミック DNS 機能を使用しない場合、本機の IP アドレスが変更されると、DNS サーバで管理しているレコードを手動で更新する必要があります。
- 本機でレコードの更新を実行する場合、DNS サーバの設定が次のどちらかになっている必要があります。
- セキュリティ設定がされていない
- セキュリティ設定で、更新を許可するクライアント（本機）を IP で指定している
- DNS サーバーで動的更新のセキュリティが次に示す設定の場合、本機からレコードを更新することはできません。
- Windows 2000 Server の Microsoft DNS サーバー（ActiveDirectory 統合）

  メッセージ認証を用いた動的更新（TSIG）（ゾーンのプロパティで「動的更新を使用可能にしますか」の設定が「セキュリティで保護された更新のみ」の場合
- BIND

  メッセージ認証を用いた動的更新（TSIG、SIG(0)）
- イーサネットと IEEE1394（IP over 1394）の両方のインターフェースを DHCP サーバー稼働環境下で使用している場合、次に示す条件下では IP over 1394 からはレコードの更新ができません。
- イーサネットおよび IP over 1394 の両方が、DHCP サーバーから DNS サーバーアドレスを取得する設定で運用されている
- 両方の DHCP サーバーから異なる DNS サーバーアドレスが取得される

動作対象の DNS サーバー

静的 IP 設定の場合

- Windows 2000 Server に標準添付の Microsoft DNS サーバー
- BIND8.2.3 以降

DHCP 設定の場合で本機が A レコードを更新する場合

- Windows 2000 Server に標準添付の Microsoft DNS サーバー
- BIND8.2.3 以降

DHCP 設定の場合で、DHCP サーバーがレコードを更新する場合

- Windows 2000 Server に標準添付の Microsoft DNS サーバー
- BIND8.2.3 以降
- NetWare 5J 以降に標準添付の DNS サーバー

動作対象の DHCP サーバー

本機の代理で A レコードを更新することができる DHCP サーバーは次のとおりです。

- Windows 2000 Server（Service Pack 3 以降）に標準添付の Microsoft DHCP サーバー
- ISC DHCP 3.0 以降
- NetWare 5J 以降に標準添付の DHCP サーバー

ダイナミック DNS 機能の設定方法

telnet で dns コマンドを使用して設定します。詳細は、P.255「DNS」を参照してください。

ネットワーク接続するときの注意

ネットワーク接続するときの注意事項です。

ネットワークに ISDN 回線を接続している場合

ネットワークに ISDN 回線を接続している場合の注意事項です。

- リコー製のネットワークユーティリティーには周期的に装置と通信を行うものがあり、設定したアドレスの値によっては ISDN 回線が接続されたままの状態になり、多大な通信料がかかることがあります。装置のネットワークアドレスを設定するとき、及びネットワークユーティリティーの通信先のアドレスを指定するときは、回線の接続が発生しない値に設定してください。
- リモート側のネットワーク上に NetWare のファイルサーバが存在している場合、本機から送出されるパケットにより ISDN 回線が接続されたままの状態になり、多大な通信料がかかることがあります。これは NetWare の仕様によるものなので、この問題を回避するには次に示すネットワーク管理上での対応が必要です。ネットワーク管理上対応できない場合は、本機の設定で対応してください。

ネットワーク管理上の対応方法

ISDN ルーターで本機のパケットをフィルタリングし、本機のパケットが ISDN 回線に流れないように設定してください。

補足

- フィルタリングする本機の MAC アドレス（物理アドレス）は、本機から印刷するシステム設定リストの「イーサネットアドレス」に記載されています。
- ルーターの設定を変更できない場合は、次の手順で対応してください。

プリンターの設定による対応方法（NetWare を使用する場合）

1. **本書のセットアップ方法にしたがい、必ずファイルサーバを指定します。**

   Ridoc IO Admin では、イーサネットボード設定ツールのプロパティシートを開き、[NetWare] タブの [ファイルサーバ名] ボックスに、ファイルサーバ名を入力します。

2. **NetWare の使用環境に合わせてフレームタイプを固定します。**

参照

- 使用するフレームタイプを選択する方法について詳しくは、使用説明書<プリンター本体の操作>「プリンター本体の設定」を参照してください。

プリンターの設定による対応方法（NetWare を使用しない場合）

1. **ネットワークインターフェースボードは印刷していない間もネットワーク上にパケットを発行します。プロトコルの選択で NetWare を無効にします。**

参照

- プロトコルを無効にする方法について詳しくは、使用説明書<プリンター本体の操作>「プリンター本体の設定」を参照してください。

ダイヤルアップ関連機器をご使用の場合

本機をネットワークに接続してご使用になる際の、セットアップ時や設定の変更時などの注意事項です。

重要

- ダイヤルアップルーターを経由して配信サーバーと接続するように設定されている場合、配信サーバーへの接続時に回線の接続が発生し、通信料がかかることがあります。

ネットワーク環境にダイヤルアップルーターが接続されている場合

本機、Ridoc Document Router / Pro / Lt、Ridoc Auto Document リンク、Ridoc Desk 2000 / Lt においては、接続する配信サーバーを適切に設定してください。さらに、Ridoc Document Router / Pro / Lt の配信管理ツールで行う I/O 機器設定においては、その他の接続機器を適切に設定してください。

ネットワーク環境を変更したときは、接続機器やクライアントコンピュータの配信管理ツール、Ridoc Auto Document リンク、Ridoc Desk 2000 / Lt で、接続する配信サーバーを正しく設定しなおし、配信管理ツールの I/O 機器設定で、接続機器を正しく設定しなおしてください。

ダイヤルアップ接続しているパソコンをお使いの場合

- Ridoc Document Router / Pro / Lt は、ダイヤルアップ接続しているパソコンにインストールしないでください。
- ダイヤルアップ接続しているパソコンで、Ridoc Document Router / Pro / Lt、Ridoc Desk 2000 / Lt、Ridoc Auto Document リンク、TWAIN ドライバーを使用する場合、設定によっては配信サーバーや機器との接続のためにダイヤルアップ接続が行われることがあります。パソコンからインターネットに自動的に接続するように設定していると、接続確認のダイアログボックスが表示されずに回線がインターネットに接続され、通信料が発生することがあります。不要なダイヤルアップ接続を行わないために、必ず接続確認を表示する設定で運用してください。また、これらのソフトウェアを使用中に不要なダイヤルアップ接続が行われていないかを確認してください。

補足

- 具体的な設定項目などについては、Ridoc Document Router / Pro / Lt、Ridoc Desk 2000 / Lt の説明書やヘルプをご覧ください。

SSL（暗号化通信）の設定

SSL（暗号化通信）によって、本機を利用者側から認証させるためのサーバー証明書の作成、導入の設定方法です。

自己証明書と認証局証明書について

サーバー証明書は、機器自身で導入する自己証明書と、任意の認証局に証明書を申請し機器に導入する 2 つの運用形態があります。

設定の流れ（自己証明書）

1. **サーバー証明書の作成と導入**

   Web Image Monitor を使用し、管理者モードでサーバー証明書を作成し、導入します。

2. **SSL を有効にする**

   利用者側から本機を認証できるように [SSL/TLS] の設定を有効にします。

   Web Image Monitor を使用し、管理者モードで設定します。

設定の流れ（認証局証明書）

1. **サーバー証明書の作成**

   Web Image Monitor を使用し、管理者モードで証明書を作成します。

   証明書の作成後の申請や内容は認証局によって異なるため、認証局の要求する申請方法にしたがって手続きします。

2. **サーバー証明書の導入**

   Web Image Monitor を使用し、管理者モードでサーバー証明書を導入します。

3. **SSL を有効にする**

   利用者側から本機を認証できるように [SSL/TLS] の設定を有効にします。

   Web Image Monitor を使用し、管理者モードで設定します。

サーバー証明書の作成と導入（自己証明書）

Web Image Monitor を使用し、管理者モードでサーバー証明書を作成し、導入します。

サーバー証明書は、自己証明書を利用する場合の説明です。

1. **Web ブラウザを起動します。**
2. **Web ブラウザのアドレスバーに「http://（本機のアドレス）/」と入力し、本機にアクセスします。**
3. **管理者モードにします。**
4. **[設定]、[セキュリティ]、[サーバー証明] の順にクリックします。**

   [SSL サーバー証明] エリアが表示されます。

5. **[作成] をクリックします。**

   [証明書項目内容入力] エリアが表示されます。

6. **必要な設定項目を入力します。**
7. **[OK] をクリックします。**

   [SSL サーバー証明] エリアが表示されます。

   [証明書状態] に [導入済み] が表示され、本機にサーバー証明書が登録されます。

補足

- 本機からサーバー証明書を削除する場合は、[削除] をクリックします。

参照

- Web Image Monitor を管理者モードにする方法は、P.234「機器の設定を変更する」を参照してください。
- 表示項目や設定項目の詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。P.235「Web ブラウザのヘルプについて」

サーバー証明書の作成（認証局証明書）

Web Image Monitor を使用し、管理者モードでサーバー証明書を作成します。

サーバー証明書は、認証局証明書を利用する場合の説明です。

1. **Web ブラウザを起動します。**
2. **Web ブラウザのアドレスバーに「http://（本機のアドレス）/」と入力し、本機にアクセスします。**
3. **管理者モードにします。**
4. **[設定]、[セキュリティ]、[サーバー証明] の順にクリックします。**

   [SSL サーバー証明] エリアが表示されます。
5. **[要求] をクリックします。**

   [証明書項目内容入力] エリアが表示されます。
6. **必要な設定項目を入力します。**
7. **[OK] をクリックします。**

   [SSL サーバー証明] エリアが表示されます。

   [証明書状態] に [要求中] が表示されます。
8. **サーバー証明書を認証局に申請します。**

   申請方法は、認証局により異なります。申請先の認証局に確認してください。

   また、申請に必要な情報は、Web Image Monitor で作成したデータを利用してください。

補足

- サーバー証明書の内容は、Web Image Monitor を使用して作成できます。ただし、申請書の提出はできません。
- サーバー証明書の要求を取りやめる場合は、[取りやめ要求] をクリックします。

参照

- Web Image Monitor を管理者モードにする方法は、P.234「機器の設定を変更する」を参照してください。
- 表示項目や設定項目の詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。P.235「Web ブラウザのヘルプについて」

サーバー証明書の導入（認証局証明書）

Web Image Monitor を使用し、管理者モードでサーバー証明書を導入します。

サーバー証明書は、認証局証明書を利用する場合の説明です。認証局から送られてきたサーバー証明書の内容を導入します。

1. **Web ブラウザを起動します。**
2. **Web ブラウザのアドレスバーに「http://（本機のアドレス）/」と入力し、本機にアクセスします。**
3. **管理者モードにします。**
4. **[設定]、[セキュリティ]、[サーバー証明] の順にクリックします。**

   [SSL サーバー証明] エリアが表示されます。
5. **[導入] をクリックします。**
6. **サーバー証明書の内容を入力します。**

   表示された入力ボックスに認証局から送られてきたサーバー証明書の内容を入力します。
7. **[OK] をクリックします。**

   [SSL サーバー証明] エリアが表示されます。

   [証明書状態] に [導入済み] が表示され、本機にサーバー証明書が登録されます。

補足

- サーバー証明書を削除する場合は、[削除] をクリックします。

参照

- Web Image Monitor を管理者モードにする方法は、P.234「機器の設定を変更する」を参照してください。
- 表示項目や設定項目の詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。P.235「Web ブラウザのヘルプについて」

SSL を有効にする

本機にサーバー証明書を導入後、利用者側から本機を認証できるように SSL の設定を有効にします。

この設定は、サーバー証明書が自己証明書を利用する場合、または認証局証明書を利用する場合のどちらにも共通の設定方法です。Web Image Monitor を使用し、管理者モードで設定します。

1. **Web ブラウザを起動します。**
2. **Web ブラウザのアドレスバーに「http://（本機のアドレス）/」と入力し、本機にアクセスします。**
3. **管理者モードにします。**
4. **[設定]、[セキュリティ]、[SSL/TLS] の順にクリックします。**

   [SSL/TLS 設定] エリアが表示されます。
5. **[SSL/TLS] の「有効」をクリックします。**
6. **[適用] をクリックします。**

   SSL の設定が有効になります。

補足

- SSL を使用する場合、本機にアクセスするときは、「https://（本機のアドレス）/」と入力します。この場合、ご使用のパソコンに Internet Explorer 5.5 以降、または Netscape 7.0 以降がインストールされている必要があります。

参照

- Web Image Monitor を管理者モードにする方法は、P.234「機器の設定を変更する」を参照してください。
- 表示項目や設定項目の詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。P.235「Web ブラウザのヘルプについて」

SSL（暗号化通信）の利用者側の設定

本機にサーバー証明書を導入し、SSL（暗号化通信）の設定を有効にしている場合の利用者側の設定方法です。

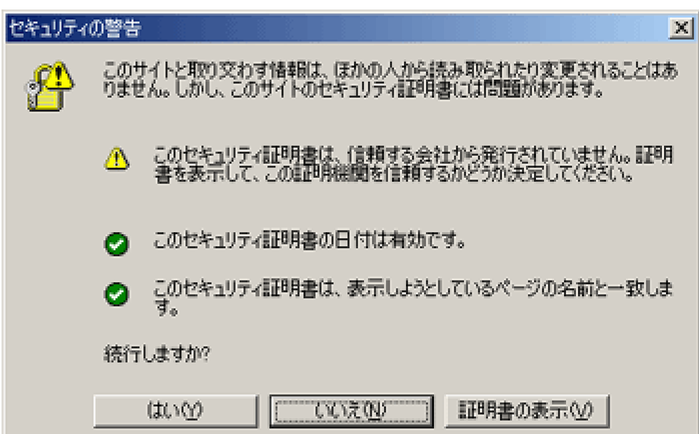
Web ブラウザや IPP で本機にアクセスするとき、セキュリティに関する警告ダイアログが表示された場合、利用者側のパソコンに証明書を登録します。

Web ブラウザを使用して証明書をインストールする

Web ブラウザで本機にアクセスするとき、アドレスバーに「https://（本機のアドレス）/」と入力します。

このとき、セキュリティに関する警告ダイアログが表示された場合、証明書を登録します。

ここでの操作は、Internet Explorer を例に説明しています。



1. **[セキュリティの警告] ダイアログが表示された場合、[証明書の表示] をクリックします。**

   [証明書] が表示されます。

   証明書の内容を確認してください。

   証明書の有効期限が切れているなど、問題がある場合は、管理者に問い合わせて適切な対応をしてください。

2. **[全般] タブから [証明書のインストール] をクリックします。**

   [証明書のインポートウィザード] が表示されます。

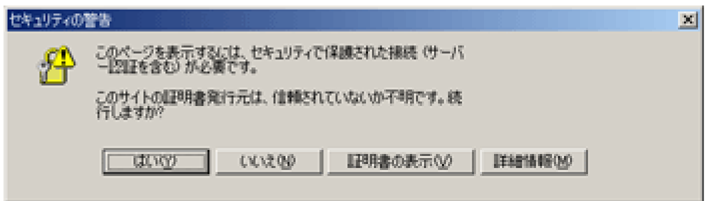
3. **[証明書のインポートウィザード] にしたがって、証明書を登録します。**

補足

- 証明書のインストールに関する操作は、Web ブラウザのヘルプを参照してください。
- 本機に導入しているサーバー証明書が認証局証明書の場合は、認証局に証明書ストアの場所を確認してください。

Ridoc IO Navi を使用して証明書をインストールする

IPP を使用し、IPP ポートの作成、変更、または印刷のために本機にアクセスするとき、[セキュリティの警告] ダイアログが表示された場合、証明書を登録します。



重要

- ご使用のパソコンに Internet Explorer がインストールされている必要があります。最新のバージョンをお使いください。Internet Explorer6.0 以降を推奨します。
- [証明書のインポートウィザード] で証明書ストアの場所は、[証明書をすべて次のストアに配置する] を選択し、[信頼されたルート] の [ローカルコンピュータ] を選択します。

1. **[セキュリティの警告] が表示された場合、[証明書の表示] をクリックします。**

   [証明書] が表示されます。

2. **[全般] タブから [証明書のインストール] をクリックします。**

   [証明書のインポートウィザード] が表示されます。

3. **[次へ] をクリックします。**
4. **[証明書をすべて次のストアに配置する] を選択し、[参照] をクリックします。**

   [証明書ストアの選択] が表示されます。

5. **[物理ストアを表示する] のチェックボックスをチェックし、[信頼されたルート証明機関] の [ローカルコンピュータ] を選択します。**
6. **[OK] をクリックします。**

   [証明書ストア :] にパスが表示されます。

7. **[次へ] をクリックします。**
8. **[完了] をクリックします。**
9. **[OK] をクリックします。**

   証明書が登録されます。

補足

- Ridoc IO Navi で IPP ポートの作成、または変更する場合、[プリンタの URL] に「https://（本機のアドレス）/printer」と入力し、本機にアクセスします。

3. 基本的な印刷方法と印刷の中止

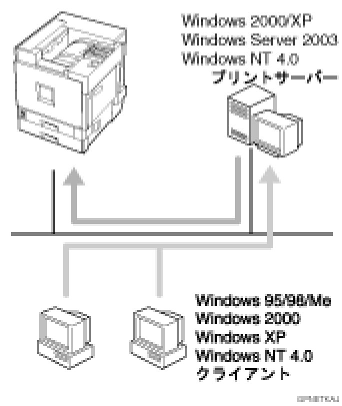
Windows で印刷する

Windows で印刷する場合の説明です。

プリントサーバーを使用する場合

Windows 2000/XP、Windows Server 2003 または Windows NT 4.0 をプリントサーバーとして使用した場合のクライアント側のセットアップ方法を説明します。

各クライアント側のパソコンで [プリンタの追加ウィザード] を実行し、プリントサーバーをネットワークプリンターとして追加します。



Windows 2000 ／ Windows NT 4.0 の場合

1. **[プリンタ] ウィンドウを表示します。**
2. **[プリンタの追加] をダブルクリックします。**
3. **[次へ] をクリックします。**
4. **[ネットワークプリンタ] をクリックし、[次へ] をクリックします。**
5. **[次へ] をクリックします。**
6. **[共有プリンタ] のネットワークツリー上で、プリントサーバーとして使用するパソコンの名前をダブルクリックします。**
7. **印刷するプリンターをクリックして反転表示させます。**
8. **プリンタへのネットワークパスが入力されていることを確認し、[次へ] をクリックします。**

   プリントサーバーにプリンタードライバーが組み込まれていないときはメッセージが表示されます。パソコンにプリンタードライバーを組み込むときは [OK] をクリックし、メッセージにしたがって操作を続けてください。
9. **通常使うプリンターにするかどうかを選択し、[次へ] をクリックします。**
10. **[完了] をクリックします。**

    [プリンタ] ウィンドウにプリンターのアイコンが追加されます。

Windows XP ／ Windows Server 2003 の場合

1. **[プリンタと FAX] ウィンドウを表示します。**
2. **[プリンタの追加] をダブルクリックします。**
3. **[次へ] をクリックします。**
4. **[ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ] をクリックし、[次へ] をクリックします。**
5. **[プリンタを参照する] をクリックし、[次へ] をクリックします。**
6. **ネットワークツリー上で、プリントサーバーとして使用するパソコンの名前をダブルクリックします。**
7. **印刷するプリンターをクリックして反転表示させます。**
8. **プリンタへのネットワークパスが入力されていることを確認し、[次へ] をクリックします。**

   プリントサーバーにプリンタードライバーが組み込まれていないときはメッセージが表示されます。パソコンにプリンタードライバーを組み込むときは [OK] をクリックし、メッセージにしたがって操作を続けてください。
9. **通常使うプリンターにするかどうかを選択し、[次へ] をクリックします。**
10. **[完了] をクリックします。**

    [プリンタと FAX] ウィンドウにプリンターのアイコンが追加されます。

補足

- Ridoc IO Navi ポートで本機を接続しているプリントサーバーをお使いの場合、クライアントからの代行印刷、並行印刷を行うことはできません。
- ここでの説明はパソコンが Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 プリントサーバーと正しく通信できる環境に設定されていることを前提にしています。設定されていない場合は、パソコンに必要なソフトウェアを組み込んでからセットアップを行ってください。
- プリントサーバーが Windows NT 4.0 の場合は、プリントサーバーに接続する前にプリンタードライバーをインストールしておいてください。

参照

- プリンタードライバーの参照先については、P.32「CD-ROM 収録ソフトウェアについて」を参照してください。

プリントサーバーを使用しない場合

プリントサーバーを使用しないで直接ネットワークプリンターとしての本機に印刷できます。設定できるポートの説明です。

Ridoc IO Navi

Ridoc IO Navi を使用して、TCP/IP、IPP、NetBEUI プロトコル経由で印刷することができます。Ridoc IO Navi は、本機に同梱の CD-ROM からインストールします。

Standard TCP/IP Port

標準 TCP/IP ポート (Standard TCP/IP Port) を使用して、TCP/IP プロトコル経由で印刷することができます。

LPR Port

LPR ポートを使用して、TCP/IP プロトコル経由で印刷することができます。

ポートを変更する

ポートを変更する手順についての説明です。ここではすでにプリンタードライバーがインストールされているものとして、説明しています。

Windows 98 ／ Windows 2000 ／ Windows NT 4.0 の場合

1. **[プリンタ] ウィンドウを表示します。**
2. **印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。**

   プリンターのプロパティが表示されます。
3. **[ポート] タブをクリックし、[ポートの追加] をクリックします。**

   Windows 98 では [詳細] タブをクリックします。

   以下の手順は使用するポートによって異なります。使用するポートを選択してください。
4. **[プリンタポート] ボックスを閉じます。**

   ポートが追加されます。
5. **[印刷するポート] ボックスに IP アドレスのポートが表示され、チェックボックスに印がついていることを確認し、[閉じる] をクリックします。**

Windows XP ／ Windows Server 2003 の場合

1. **[プリンタと FAX] ウィンドウを表示します。**
2. **印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。**

   プリンターのプロパティが表示されます。
3. **[ポート] タブをクリックし、[ポートの追加] をクリックします。**

   以下の手順は使用するポートによって異なります。使用するポートを選択してください。
4. **[プリンタポート] ボックスを閉じます。**

   ポートが追加されます。
5. **[印刷するポート] ボックスに IP アドレスのポートが表示され、チェックボックスに印がついていることを確認し、[閉じる] をクリックします。**

参照

- 使用するプロトコルのネットワーク環境を設定しておく必要があります。詳しくは、使用説明書<プリンター本体の操作>「プリンター本体の設定」、P.40「パソコンの設定」を参照してください。

Ridoc IO Navi

Ridoc IO Navi を使用して、TCP/IP、IPP、NetBEUI プロトコル経由で印刷するための設定方法の説明です。

TCP/IP の場合

プロトコルに TCP/IP を選択したときの設定方法です。

1. 「Ridoc IO Navi」を選択し、[新しいポート] をクリックします。

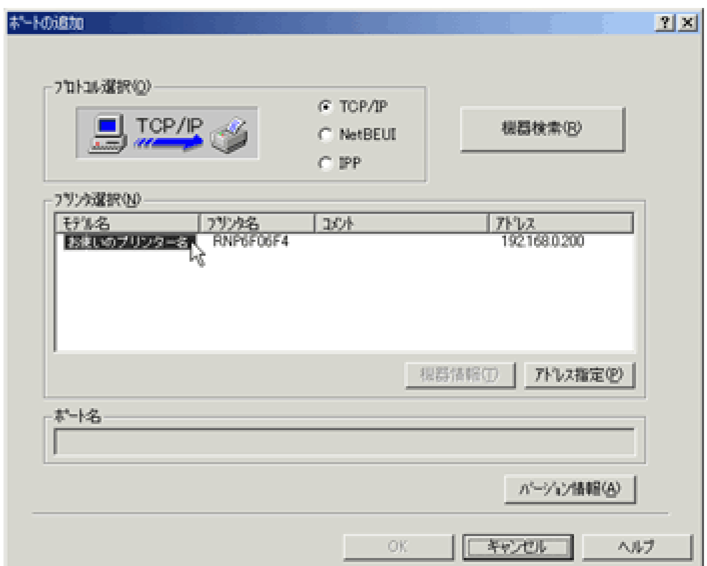


2. プロトコルを選択し、印刷するプリンターを選択します。[TCP/IP] をクリックします。

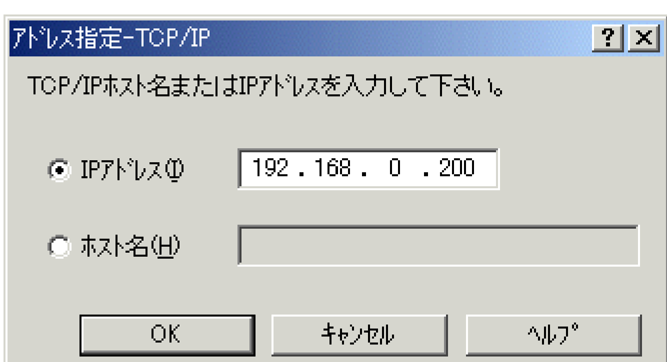
3. [機器検索] をクリックします。

TCP/IP プロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。

4. 印刷するプリンターをクリックして選択します。



ここにはパソコンからのブロードキャストに応答したプリンターだけが表示されます。ここに表示されないプリンターに印刷するときは、[アドレス指定] をクリックし、プリンターの IP アドレスまたはホスト名を直接入力してください。



5. [OK] をクリックします。
6. [OK] をクリックします。

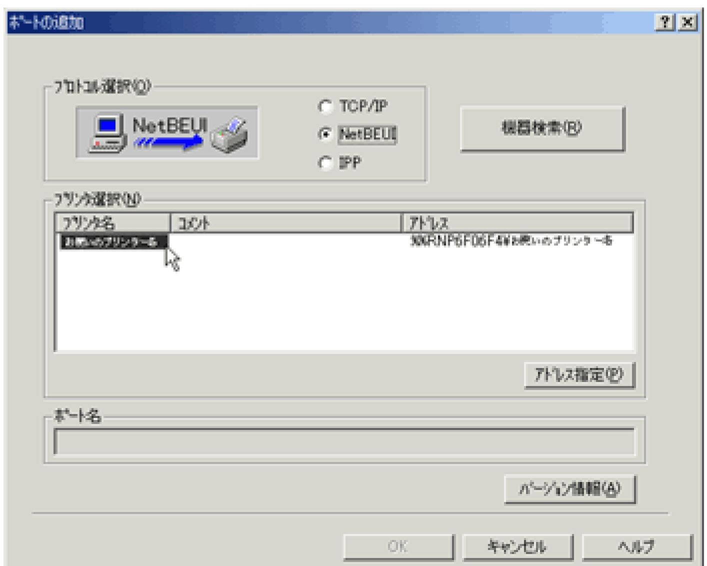
NetBEUI の場合

プロトコルに NetBEUI を選択するときの設定方法です。

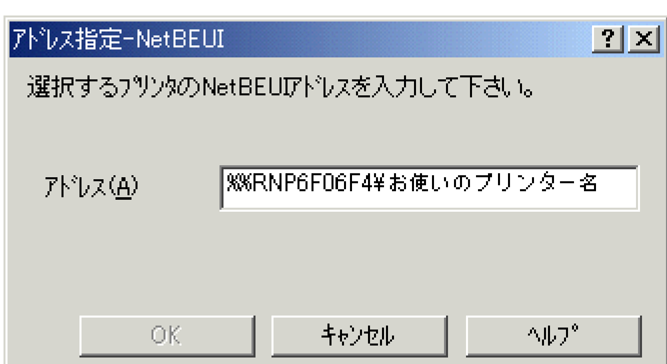
Windows XP、Windows Server 2003 は、NetBEUI には対応していません。

1. 「Ridoc IO Navi」を選択し、[新しいポート] をクリックします。
2. プロトコルを選択し、印刷するプリンターを選択します。[NetBEUI] をクリックします。
3. [機器検索] をクリックします。

   NetBEUI プロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。
4. 印刷するプリンターをクリックして選択します。



ここにはパソコンからのブロードキャストに応答したプリンターだけが表示されます。ここに表示されないプリンターに印刷するときは、[アドレス指定] をクリックし、NetBEUI アドレスを直接入力してください。NetBEUI アドレスは、システム設定リストで確認できます。システム設定リストでは NetBEUI アドレスが「\\RNPxxxx\xxx」と表示されています。先頭の「\\」を「%%」に変更して入力してください。



ルーターを越えたプリンターには印刷できません。

5. [OK] をクリックします。

6. [OK] をクリックします。

参照

- システム設定リストの印刷方法は、使用説明書<プリンター本体の操作>「プリンター本体の設定」を参照してください。

IPP の場合

プロトコルに IPP を選択するときの設定方法です。

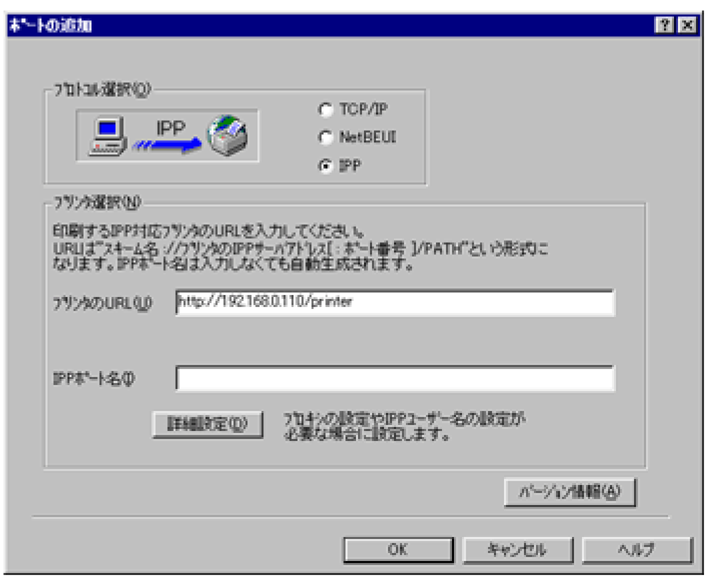
1. 「Ridoc IO Navi」を選択し、[新しいポート] をクリックします。

2. プロトコルを選択し、印刷するプリンターを選択します。[IPP] をクリックします。

3. [IPP の設定] ダイアログが表示されます。

4. [プリンタの URL] に「http://（本機のアドレス）/printer」のように入力します。

SSL（暗号化通信）の設定を有効にしている場合は、「https://（本機のアドレス）/printer」と入力します。この場合、ご使用のパソコンに Internet Explorer がインストールされている必要があります。最新のバージョンをお使いください。Internet Explorer6.0 以降を推奨します。



5. 必要に応じて [IPP ポート名] にプリンターを区別するための名前を入力します。すでにある他の IPP ポート名と違う名前を入力してください。

入力を省略すると、[プリンタの URL] に入力したアドレスが IPP ポート名に設定されます。

6. プロキシサーバーや IPP ユーザー名などの設定を行う場合は、[詳細設定] をクリックし、必要な項目を設定し、[OK] をクリックします。

7. [OK] をクリックします。

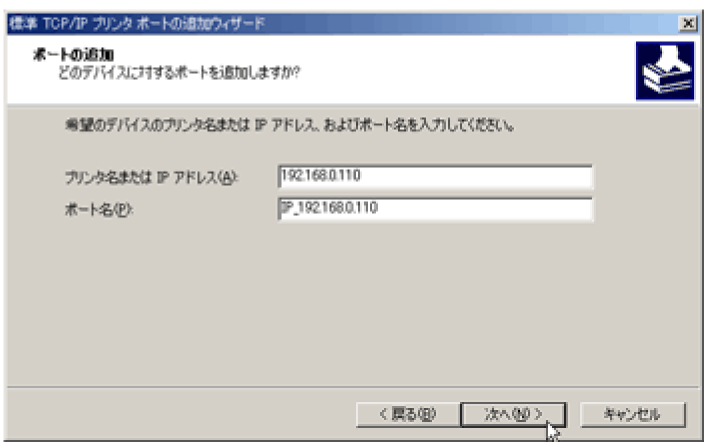
Standard TCP/IP Port

標準 TCP/IP ポート (Standard TCP/IP Port) を使用して、TCP/IP プロトコル経由で印刷するための設定方法の説明です。

1. **「Standard TCP/IP Port」を選択し、[新しいポート] をクリックします。**



2. **「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」の開始画面で、[次へ] をクリックします。**
3. **[プリンタ名または IP アドレス] ボックスにプリンター名または本機の IP アドレスを入力し、[次へ] をクリックします。**



[ポート名] ボックスには自動的にポート名が入力されます。必要があれば変更してください。

デバイスの種類を選択する画面が表示された場合は、「RICOH Network Printer C Model」を選択してください。

4. **「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」の完了画面で、[完了] をクリックします。**

補足

- 「Standard TCP/IP Port」が表示されない場合は、Windows のヘルプを参照して Standard TCP/IP の設定をしてください。

LPR Port

LPR ポートを使用して、TCP/IP プロトコル経由で印刷するための設定の説明です。

1. 「LPR Port」を選択し、[新しいポート] をクリックします。



[ポート名] ダイアログが表示されます。

2. ポート名を入力して [OK] をクリックします。

3. [LPD を提供しているサーバーの名前またはアドレス] ボックスに、本機の IP アドレスを入力します。

4. [サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名] ボックスに「lp」と入力し、[OK] をクリックします。



補足

- 「LPR Port」が表示されない場合は、「UNIX 用印刷サービス」（Windows 2000/XP）、または、「Microsoft TCP/IP 印刷」（Windows NT 4.0）が正しく組み込まれていません。組み込みの詳しい操作方法については Windows のヘルプを参照してください。

Windows からのファイル直接印刷

Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 から lpr、rcp、ftp コマンドを使って印刷できます。また、Windows 95/98/Me からは ftp コマンドを使って印刷できます。

重要

- この方法で印刷できるファイルは、本機が搭載しているエミュレーション用に作られたファイルです。搭載していないエミュレーションのファイルは印刷できません。

補足

- エミュレーション用に作られたファイルとは、たとえば RPDL 用のファイルなどです。

ここではセットアップのしかたと、印刷のしかたについて説明します。

セットアップ

直接印刷するための環境を設定します。

1. **本機のネットワーク環境を設定します。**
    - TCP/IP プロトコルを有効にする（工場出荷時は有効です）
    - IP アドレスなど TCP/IP に関する項目を設定する
2. **Windows に TCP/IP プロトコルを組み込み、ネットワーク環境を設定します。**

補足

- 印刷時に IP アドレスを使って本機を指定する場合のセットアップは、これで終了です。本機の指定にホスト名を使用するときは、P.72「IP アドレスの代わりにホスト名を使用する」に進んで、セットアップを続けてください。

参照

- ネットワーク環境の設定方法について詳しくは、『ハードウェア』「プリンター本体の設定」を参照してください。
- DHCP を使用して本機の IP アドレスを設定するときは、P.46「DHCP を使用する」を参照してください。

IP アドレスの代わりにホスト名を使用する

ホスト名が定義されていると、IP アドレスの代わりにホスト名を使って本機を指定することができます。使用するホスト名はネットワーク環境により異なります。

DNS を使用している場合

DNS サーバー上のデータファイルに設定したホスト名を使用します。

WINS を使用している場合

WINS サーバー上に設定したホスト名を使用します。

DHCP を使用して本機の IP アドレスを設定している場合

システム設定リストの「プリンター名」に印刷された名前をホスト名として使用します。

その他の場合

印刷を行うパソコンの hosts ファイルに本機の IP アドレスとホスト名を追加します。追加のしかたは OS により異なります。

hosts ファイルはネットワーク内で通信するホストの IP アドレスとホスト名を登録するファイルです。

Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 で hosts ファイルを編集するには、次のように操作します。

1. メモ帳などで hosts ファイルを開きます。

    hosts ファイルは次の場所にあります。

    \WINNT\SYSTEM32\DRIVERS\ETC\HOSTS

    \WINNT は Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0 のインストール先のディレクトリです。

    Windows Server 2003 の場合、hosts ファイルは次の場所にあります。

    \WINDOWS\SYSTEM32\DRIVERS\ETC\HOSTS

2. hosts ファイルに IP アドレスとホスト名を次の形式で追加します。

192.168.15.16 ricoh # NP

192.168.15.16 は IP アドレス、ricoh はプリンターのホスト名、# から行末まではコメントです。それぞれの項目をスペースかタブで区切り、1 行で入力します。

3. ファイルを上書き保存します。

Windows 95/98/Me で hosts ファイルを編集するには、次のように操作します。

1. \WINDOWS\HOSTS.SAM を同じディレクトリにコピーし、名前を HOSTS（拡張子を付けません）にします。
2. 作成した \WINDOWS\HOSTS ファイルをメモ帳などで開きます。
3. IP アドレスとホスト名を Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 の場合と同じ形式で追加し、ファイルを上書き保存します。

印刷方法

lpr、rcp、ftp コマンドを使った印刷方法を説明します。

コマンドはコマンドプロンプトウィンドウで入力します。

補足

- 印刷するファイルのデータ形式と本機のエミュレーションモードを合わせてください。テキストデータの場合は RPDL などテキスト印刷が可能なモードにします。
- タブコードや漢字コードが本機と合っていないと正常に印刷されません。タブ制御や漢字での印刷を行う場合は、使用するエミュレーションモードとデータの設定を一致させてください。
- 「print requests full」のメッセージが表示されたときは、印刷要求がフルの状態です。印刷要求が少なくなってから印刷し直してください。各コマンドを使用したときの最大セッション数は次の通りです。
    - lpr：5（スプール印刷機能 ON 時：10）
    - rcp：5
    - ftp：3
- ファイル名はコマンドを実行するディレクトリからのパスを含めた形で入力してください。

参照

- コマンドの中で指定する「オプション」は本機固有のオプションで、内容は UNIX から印刷する場合と同様です。詳しくは、P.129「オプション指定」を参照してください。

lpr

lpr コマンドを使った印刷方法の説明です。

IP アドレスを使って本機の名前を指定する場合

c:> lpr -S 本機の IP アドレス [-P オプション] [-Ol] \ パス名 \ ファイル名

IP アドレスの代わりにホスト名を使用する場合

c:> lpr -S 本機のホスト名 [-P オプション] [-Ol] \ パス名 \ ファイル名

補足

- バイナリーファイルを印刷する場合は -ol（小文字の o と、小文字の l）オプションを付けてください。

ホスト名が ricoh のプリンターに、C:\PRINT ディレクトリにある、名前が file1 の RPDL ファイルを印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。

c:> lpr -Sricoh -Pfiletype=R00 -Ol C:\PRINT\file1

rcp

rcp コマンドを使った印刷方法の説明です。

あらかじめ hosts ファイルに本機のホスト名を登録しておきます。

c:> rcp[-b]\ パス名 \ ファイル名 [\ パス名 \ ファイル名 ...] 本機のホスト名 :[オプション]

補足

- ファイル名には「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。
- バイナリーファイルを印刷する場合は、-b オプションを指定してください。
    - ホスト名が ricoh のプリンターに、C:\PRINT ディレクトリにある、名前が file1 と file2 の RPDL ファイルを印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。

      c:> rcp -b C:\PRINT\file1 C:\PRINT\file2 ricoh:filetype=R00

参照

- hosts ファイルに本機のホスト名を登録するには、P.72「IP アドレスの代わりにホスト名を使用する」を参照してください。

ftp

ftp コマンドを使った印刷方法の説明です。

印刷するファイルが 1 つの場合

ftp> put \ パス名 \ ファイル名 [オプション]

印刷するファイルが複数の場合

ftp> mput \ パス名 \ ファイル名 [\ パス名 \ ファイル名 ...]

ftp を起動してから印刷するまでの手順は次のようになります。

1. **本機の IP アドレス（または hosts ファイルに設定したプリンターのホスト名）を引数にして ftp コマンドを起動します。**

   % ftp 本機の IP アドレス

2. **必要に応じてユーザー名を入力し、パスワードは何も入力しないで [Return] キーを押します。**

   User:
   Password:

3. **バイナリーファイルを印刷するときは、ファイルのモードをバイナリーモードにします。**

   ftp> bin

4. **印刷するファイルを指定します。**
5. **ftp を終了します。**

   ftp> bye

補足

- ファイル名に「=」、「,」、「_」および「;」は使用できません。ファイル名をオプション文字列と判断してしまいます。
- mput コマンドではオプションを指定できません。
- mput コマンドではファイル名に「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。
- バイナリーファイルをアスキーモードで印刷すると、印刷データが変更され正しく印刷されないことがあります。

- C:\PRINT ディレクトリにある、file1 という名前のファイルを RPDL で印刷する例

  ftp> put C:\PRINT\file1 filetype=R00

- C:\PRINT ディレクトリにある、file1 と file2 という名前のファイルを印刷する例

  ftp> mput C:\PRINT\file1 file2

Windows ターミナルサービス /MetaFrame を使用する場合

Windows ターミナルサービス /MetaFrame を使用する場合の説明です。

動作環境

使用可能な OS と MetaFrame との組み合わせについての説明です。

Windows NT Server 4.0 Terminal Server Edition

- MetaFrame 1.8 SP3/FR1＋SP3/SP4
- MetaFrame XP 1.0 SP1/FR1

Windows 2000 Server

- MetaFrame 1.8 SP3/FR1＋SP3/SP4
- MetaFrame XP 1.0 SP1/SP2/FR1/FR2

制限

動作が制限される環境についての説明です。

「Windows ターミナルサービス」動作時

Windows ターミナルサービス環境下において、プリンタードライバーの一部の機能はグレイダウンし、使用できません。

Windows ターミナルサービスの機能を使用していない場合においても、Windows ターミナルサービスがインストールされている環境では、上記同様一部の機能が使用できません。

Windows NT Server 4.0、Terminal Server Edition または Windows 2000 Server ファミリでターミナルサービスを実行している環境で Ridoc IO Navi をインストールする場合は、必ずインストールモードでインストールをおこなって下さい。インストールモードでインストールを行うには、次の 2 通りの方法があります。

1. [コントロールパネル] の [アプリケーションの追加と削除] を使用して Ridoc IO Navi をインストールします。
2. MS-DOS コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

   CHANGE USER /INSTALL

   インストールモードを終了するには、MS-DOS コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

   CHANGE USER /EXECUTE

補足

- 詳しくは Windows のヘルプを参照してください。

「クライアントプリンタの自動作成機能」使用時

「クライアントプリンタの自動作成機能」とは、MetaFrame サーバーにログオンする時に、クライアント側で使用しているローカルプリンタの情報を基にして、MetaFrame サーバー側にて、そのクライアント専用の論理プリンタが自動的に作成される機能です。事前検証のうえ、運用してください。

- 大容量の画像データを印刷したり、ISDN などの電話回線を利用した WAN 環境でお使いになる場合、事前検証のうえ、運用してください。
- MetaFrame XP 1.0 以降をご使用の場合は、「Citrix 管理コンソール」より、「クライアントプリンターで使用可能な帯域幅」をお使いの環境に合わせて設定して、使用してください。
- サーバー側で印刷エラーが発生し、印刷ジョブや「クライアントプリンタの自動作成機能」で作成されたプリンターが削除されない場合、次の対処方法をおこなってください。
    - MetaFrame 1.8 SP3、MetaFrame XP 1.0 SP1/FR1

      レジストリにて「完了していない印刷ジョブを削除する」設定を実施します。（詳細については MetaFrame の Readme を参照してください。）
    - MetaFrame XP 1.0 FR2

      Citrix 管理コンソールの「プリンタの管理」のプロパティにて「ログオフ時に保留中の印刷ジョブを削除する」設定を実施します。

「プリンタードライバーの複製機能」使用時

事前検証のうえ、運用してください。

正しく複製がされない場合は、各サーバーにプリンタードライバーをインストールして、運用してください。

RPDL ドライバーを使用される場合

ユニバーサルプリンタードライバー利用時（MetaFrame XP 1.0 FR1、FR2）、クライアント側のドライバーが RPDL ドライバー（RPDL ミニドライバー含む）の場合、用紙サイズいっぱいに描画されたデータが、一部切れて印刷されてしまう場合があります。この場合は、印刷領域を「拡張」もしくは「最大」に設定して、ご使用ください。

参照

- 制限事項の詳細については、リコーホームページを参照してください。

http://www.ricoh.co.jp/PRODUCT/printer/meta_sub.html

Macintosh で印刷する

Macintosh の AppleTalk 環境でネットワークプリンターを使用する場合の設定のしかたを説明します。

セットアップの流れ

1.AppleTalk の変更

2. 本機の環境設定

3. プリンター名の変更

4. ゾーンの変更

補足

- ここでは Mac OS 9.1 または Mac OS X 10.1 を例に説明します。
- Mac OS 9.1 または Mac OS X 10.1 以外のバージョンをお使いの方は、本書の説明内容を参考に、それぞれのマニュアルを参照して設定してください。
- 対象となる Mac OS のバージョンは 8.6 以上、Mac OS X のバージョンは 10.1 以上です。
- Macintosh から印刷するには PostScript 3 を含む拡張エミュレーションカードが本機に増設されている必要があります。
- Mac OS で使用するためには、PostScript 3 を含むモジュールに同梱の CD に収録されている、Adobe PS プリンタードライバーが必要です。また、Mac OS X で使用するためには、PostScript 3 を含む拡張エミュレーションカードに同梱の CD に収録されている、PPD ファイルが必要です。

AppleTalk を変更する

AppleTalk の変更方法の説明です。

Mac OS の場合

Mac OS の場合の AppleTalk の変更方法の説明です。

1. **[コントロールパネル] を開き、[AppleTalk] アイコンをダブルクリックします。**
2. **[経由先] ポップアップメニューから「Ethernet」を選択します。**
3. **ゾーンを変更するときは、[現在のゾーン] ポップアップメニューから使用するゾーンの名前を選択します。**
4. **[AppleTalk] コントロールパネルを閉じます。**
5. **Macintosh を再起動します。**

Mac OS X の場合

Mac OS X の AppleTalk の変更方法の説明です。

1. **[System Preference] を開き、[ネットワーク] アイコンをクリックします。**
2. **[表示] ポップアップメニューから「内蔵 Ethernet」を選択します。**
3. **[AppleTalk] タブをクリックします。**
4. **ゾーンを変更する場合には、[AppleTalk ゾーン :] ポップアップメニューから使用するゾーンの名前を選択します。**
5. **設定が完了したら、[今すぐ適用] をクリックしてください。**

補足

- 一般ユーザーの場合、ゾーンの変更にはユーザ名とパスワードが必要です。管理者にお問い合わせください。
- 詳しくは、Macintosh のマニュアルを参照してください。

本機の環境設定

本機のシステム初期設定で AppleTalk プロトコルを有効にします（工場出荷時は有効です）。

参照

- 設定方法については、使用説明書＜プリンター本体の操作＞「プリンター本体の設定」を参照してください。

プリンター名の変更

同じネットワーク上に同機種の本機、またはプリンターを複数台接続するときは、必ずプリンター名を変更してください。同じプリンター名があると、Macintosh の [セレクタ] 上では PRINTER0、PRINTER1 のようにプリンター名の後に「0」「1」などの番号が付いて表示されます。Macintosh の AppleTalk 環境でプリンター名を変更するには、PostScript 3 を含んだ拡張エミュレーションカードに同梱の「PS3 設定ユーティリティー」を使用します。

補足

- プリンター名の変更のしかたについて詳しくは、『PostScript 3』使用説明書を参照してください。

ゾーンの変更

ネットワーク上にゾーンを設定している場合は、必要に応じて本機が所属するゾーンを変更します。

ゾーンを変更するには、PostScript 3 を含んだ拡張エミュレーションカードに同梱の「PS3 設定ユーティリティー」を使用します。

補足

- ゾーンの変更のしかたについて詳しくは、『PostScript 3』使用説明書を参照してください。

USB インターフェースを使う

ここでは、プリンターを USB 接続で使用する場合の設定方法を説明します。

Mac OS の場合

1. **ハードディスク内の [AdobePS Components] フォルダを開きます。**
2. **[デスクトップ・プリンタ Utility] をダブルクリックします。**
3. **[プリンタ：] ポップアップメニューから [AdobePS] を選択し、[デスクトップに作成 ...] から [プリンタ（USB）] を選択して、[OK] をクリックします。**
4. **[PostScriptTM プリンタ記述（PPD）ファイル] の [変更] をクリックします。**
5. **接続したプリンターの PPD ファイルを選択し、[選択] をクリックします。**
6. **[USB プリンタの選択：] で、[変更] をクリックします。**
7. **[USB プリンタの選択：] で、接続したプリンターを選択し、[OK] をクリックします。**
8. **[作成] をクリックします。**

   メッセージが表示されます。
9. **[保存する] をクリックします。**
10. **保存先と名称を指定し、[保存] をクリックします。**

    デスクトップにプリンターアイコンが表示されます。
11. **[デスクトップ・プリンタ Utility] を終了します。**

補足

- Mac OS では本体標準の USB ポートのみ対応しています。
- Macintosh と USB 接続で印刷する場合、エミュレーションが自動では切り替わりません。プリンターの操作パネルから、エミュレーションを「PS3」に切り替えてから印刷を行ってください。操作部の設定方法の詳細については、使用説明書＜プリンター本体の操作＞「プリンター本体の設定」を参照してください。

Mac OS X の場合

1. **プリントセンターを起動します。**
2. **[追加] をクリックします。**
3. **ポップアップメニューから [USB] を選択します。**

   接続しているプリンターが表示されます。
4. **プリンターを選択し、[プリンタの機種] ポップアップメニューから [RICOH] を選択します。**

   機種名の一覧が表示されます。
5. **機種名の一覧から接続しているプリンターの機種名を選択し、[追加] をクリックします。**

6. [プリンタリスト] を閉じ、プリントセンターを終了します。

補足

- Mac OS では本体標準の USB ポートのみ対応しています。
- Macintosh と USB 接続で印刷する場合、エミュレーションが自動では切り替わりません。プリンターの操作パネルから、エミュレーションを「PS3」に切り替えてから印刷を行ってください。操作部の設定方法の詳細については、使用説明書＜プリンター本体の操作＞「プリンター本体の設定」を参照してください。

Rendezvous を使う

Mac OS X 10.2.3 以降では、Rendezvous を使って本機に印刷できます。

1. **プリントセンターを起動します。**
2. **[追加] をクリックします。**
3. **ポップアップメニューから [Rendezvous] を選択します。**

   接続しているプリンターが表示されます。
4. **プリンターを選択し、[プリンタの機種] ポップアップメニューから [RICOH] を選択します。**

   機種名の一覧が表示されます。
5. **機種名の一覧から接続しているプリンターの機種名を選択し、[追加] をクリックします。**
6. **プリンタリストを閉じ、プリントセンターを終了します。**

NetWare で印刷する

NetWare でネットワークプリンターを使用する場合の設定のしかたを説明します。NetWare では本機を「プリントサーバ」または「リモートプリンタ」として接続することができます。

セットアップの流れ

- プリントサーバとして使用するとき

  1.Ridoc IO Admin のインストール

  2. ネットワークボードの設定

  3. 電源を入れ直す

- リモートプリンタとして使用するとき

  1.Ridoc IO Admin のインストール

  2. ネットワークボードの設定

  3.NetWare の設定

  4. プリントサーバの起動

補足

- NetWare が正しく動作し、プリントサービスを設定できる環境が整っていることを前提にしています。
- 操作例は次の条件で設定しています。
  - ファイルサーバの名前 ...CAREE
  - プリントサーバの名前 ...PSERV
  - プリンターの名前 ...R-PRN
  - キューの名前 ...R-QUEUE

参照

- あらかじめ本機の操作部を使って、NetWare を有効にしておきます。使用説明書<プリンター本体の操作>「プリンター本体の設定」を参照してください。

Ridoc IO Admin について

本機を NetWare 環境で使用するには、Ridoc IO Admin を使用して NetWare のプリント環境を設定します。

補足

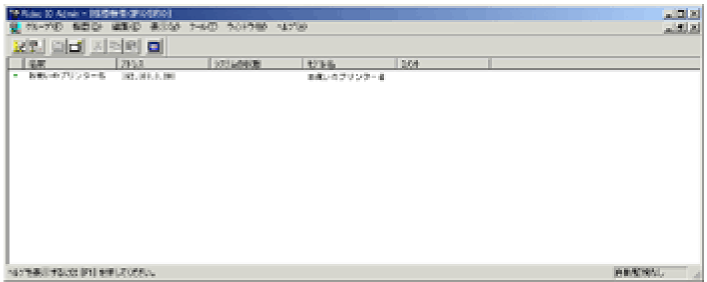
- 次の環境で Ridoc IO Admin を使用してプリント環境を設定するときは、Novell から提供されている NetWare クライアントがインストールされている必要があります。
- Windows 95/98/Me で、NDS モードのとき
- Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0 で NDS モードまたはバインダリモードのとき

参照

- Ridoc IO Admin のインストール方法は、P.31「Ridoc IO Admin のインストール」を参照してください。

Ridoc IO Admin に表示されるプリンターについて

Ridoc IO Admin には、ネットワークに接続されているプリンターの一覧が表示されます。



表示されるプリンター名から目的のプリンターがわからないときは、本機から「システム設定リスト」を印刷し、そのプリンター名と比較して目的のプリンターを探してください。

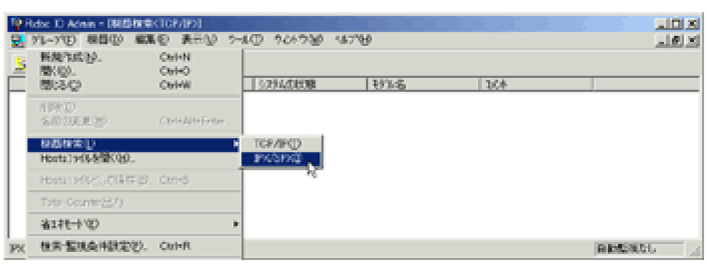
プリントサーバを使用する

NetWare を使用してプリントサーバーとして接続するための設定方法の説明です。

NetWare 3.xJ を使用する

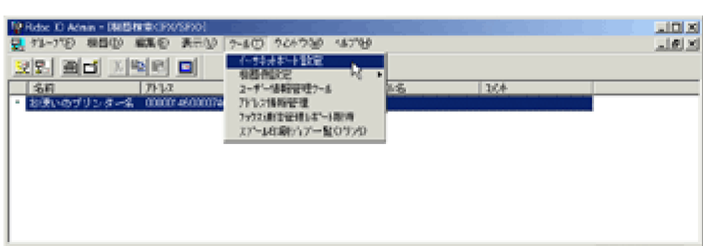
NetWare 3.xJ を使用し、プリントサーバーとして接続する設定方法の説明です。

1. **Supervisor または同等の権利を持つユーザーとしてログインします。**
2. **Ridoc IO Admin を起動します。**
3. **[グループ] メニューの [機器検索] をポイントし、[IPX/SPX] を選択します。**



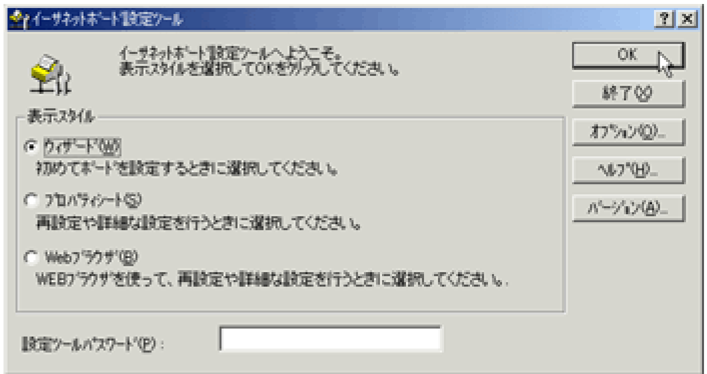
設定できるプリンターの一覧が表示されます。

4. **設定するプリンターをクリックして反転表示させ、[ツール] メニューの [イーサネットボード設定] をクリックします。**



イーサネットボード設定ツールが起動します。

5. **[ウィザード] をクリックして選択し、[OK] をクリックします。**



イーサネットボード設定ダイアログが表示されます。

6. **必要に応じて [デバイス名] と [コメント] を入力し、[次へ] をクリックします。**
7. **[NetWare] にチェックを付け、[次へ] をクリックします。**
8. **[バインダリモード] をクリックして選択し、[ファイルサーバ名] を入力し、[次へ] をクリックします。**
    - [ファイルサーバ名] には、プリントサーバを作成するファイルサーバ名（この例では CAREE）を、47 バイト以内の半角英数字で入力します。[参照] をクリックして一覧からファイルサーバを選択することもできます。
9. **[プリントサーバ名]、[プリンタ名]、[プリントキュー名] を入力し、[次へ] をクリックします。**
    - [プリントサーバ名] には、NetWare のプリントサーバ名（この例では、PSERV）を、47 バイト以内の半角英数字で入力します。
    - [プリンタ名] には、NetWare のプリンター名（この例では、R-PRN）を、47 バイト以内の半角英数字で入力します。
    - [プリントキュー名] には、NetWare 上に追加するプリントキュー名（この例の場合 R-QUEUE）を入力します。
10. **設定を確認し、[次へ] をクリックします。**



設定が反映され、イーサネットボード設定ツールが終了します。

11. **Ridoc IO Admin を終了します。**

12. 本機の電源を入れ直します。

補足

- 本機が設定どおり動作しているか確認するにはコマンドプロンプトで次のように入力します。

  F:> USERLIST

- 正しく動作していると、接続しているユーザー名としてプリントサーバ名（この例では PSERV）が表示されます。
- 表示されるプリンター名から設定するプリンターがわからないときは、本機から「システム設定リスト」を印刷し、そのプリンター名と比較して目的のプリンターを探してください。
- プリンターが表示されないときは、IPX/SPX プロトコルのフレームタイプの設定をパソコンと本機で一致させてください。パソコンのフレームタイプは Windows の [ネットワーク] ダイアログで変更します。
- メインウィンドウにはリコー以外のプリンターが表示されることがあります。
- イーサネットボード設定ツールはリコー以外のプリンターには対応していません。

参照

- 本機のフレームタイプ（[NW フレームタイプ]）を変更する方法は、使用説明書<プリンター本体の操作>「プリンター本体の設定」を参照してください。

NetWare 4.xJ、NetWare 5/5.1J、NetWare 6.0J を使用する

NetWare 4.xJ、NetWare 5/5.1J、NetWare 6.0J を使用し、プリントサーバーとして接続します。

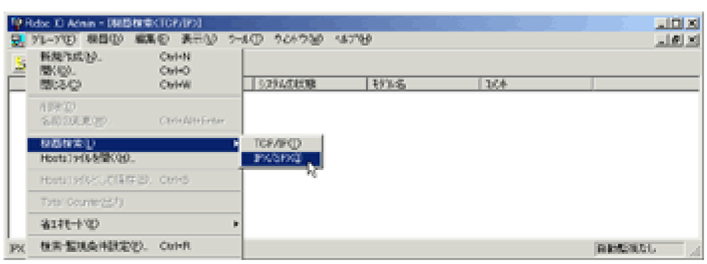
重要

- NetWare 4.xJ、NetWare 5/5.1J、NetWare 6.0J でプリントサーバとして使用する場合は、NDS モードで使用してください。
- NetWare 5/5.1J、NetWare 6.0J をお使いの場合は、本機をプリントサーバとしてお使いください。

1. サーバーに Admin でログインします。

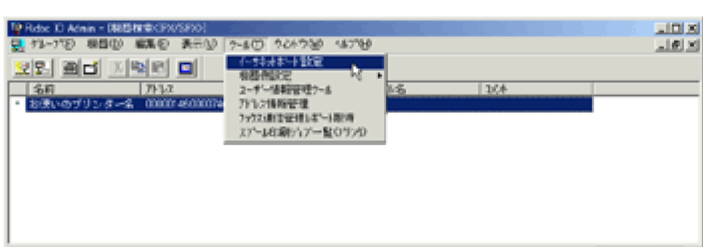
2. Ridoc IO Admin を起動します。

3. [グループ] メニューの [機器検索] をポイントし、[IPX/SPX] を選択します。



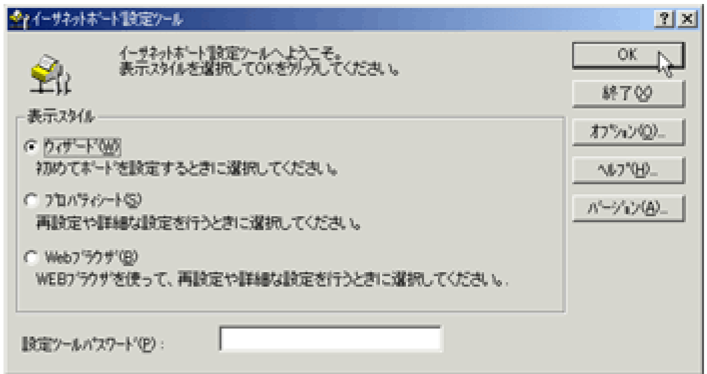
設定できるプリンターの一覧が表示されます。

4. 設定するプリンターをクリックして反転表示させ、[ツール] メニューの [イーサネットボード設定] をクリックします。



イーサネットボード設定ツールが起動します。

5. [ウィザード] をクリックして選択し、[OK] をクリックします。



イーサネットボード設定ダイアログが表示されます。

6. 必要に応じて [デバイス名] と [コメント] を入力し、[次へ] をクリックします。

7. [NetWare] にチェックを付け、[次へ] をクリックします。

8. [NDS モード] をクリックして選択し、[ファイルサーバ名]、[NDS ツリー]、[NDS コンテキスト名] を入力し、[次へ] をクリックします。

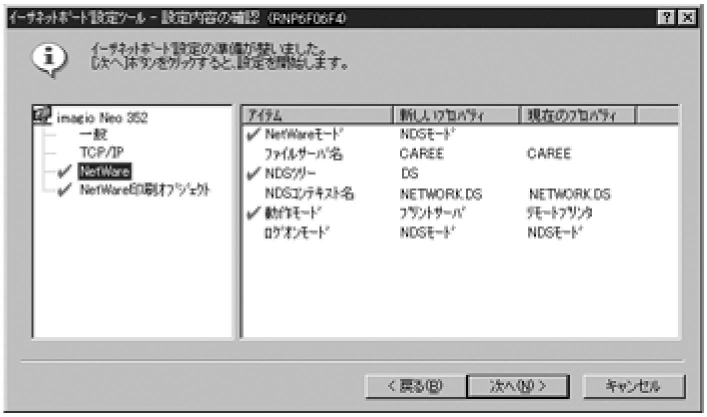
- [ファイルサーバ名] には、プリントサーバを作成するファイルサーバ名（この例では CAREE）を、47 バイト以内の半角英数字で入力します。[参照] をクリックして一覧からファイルサーバを選択することもできます。
- [NDS ツリー] には、プリントサーバを作成する NDS ツリー名を、32 バイト以内の半角英数字（-、_ 使用可）で入力します。[参照] をクリックして一覧から NDS ツリーと NDS コンテキスト名を選択することもできます。
- [NDS コンテキスト名] には、プリントサーバを作成するコンテキスト名を、127 バイト以内の半角英数字で入力します。コンテキスト名は Root からのオブジェクトを下の階層から順にピリオド (.) で区切って入力します。たとえば Root 上の組織オブジェクトが DS で、その下の部門オブジェクト NETWORK にプリントサーバを作成するときは、「NETWORK.DS」と入力します。

9. [プリントサーバ名]、[プリンタ名]、[プリントキュー名]、[キューボリューム] を入力し、[次へ] をクリックします。

- [プリントサーバ名] には、NetWare のプリントサーバ名（この例では、PSERV）を、47 バイト以内の半角英数字で入力します。
- [プリンタ名] には、NetWare のプリンター名（この例では、R-PRN）を、47 バイト以内の半角英数字で入力します。
- [プリントキュー名] には、NetWare 上に追加するプリントキュー名（この例の場合 R-QUEUE）を入力します。

  [キューボリューム] には、キューを作成するボリュームを入力します。ボリュームはオブジェクトを下の階層から順にピリオドで区切って入力します。[参照] をクリックして一覧からボリュームを選択することもできます。

10. 設定を確認し、[次へ] をクリックします。



11. [完了] をクリックします。

設定が反映され、イーサネットボード設定ツールが終了します。

12. Ridoc IO Admin を終了します。

13. 本機の電源を入れ直します。

補足

- 表示されるプリンター名から設定するプリンターがわからないときは、本機から「システム設定リスト」を印刷し、そのプリンター名と比較して目的のプリンターを探してください。
- プリンターが表示されないときは、IPX/SPX プロトコルのフレームタイプの設定をパソコンと本機で一致させてください。パソコンのフレームタイプは Windows の [ネットワーク] ダイアログで変更します。
- メインウィンドウにはリコー以外のプリンターが表示されることがあります。
- イーサネットボード設定ツールはリコー以外のプリンターには対応していません。
- 本機が設定どおり動作しているか確認するにはコマンドプロンプトで次のように入力します。

F:> NLIST USER /A/B

- 正しく動作していると、接続しているユーザー名としてプリントサーバ名（この例では PSERV）が表示されます。

参照

- NetWare 5/5.1JNetWare 6.0J のピュア IP 環境でお使いの方は、P.88「NetWare 5/5.1J、NetWare 6.0J のピュア IP 環境でお使いの方へ」を参照してください。
- 本機のフレームタイプ（[NW フレームタイプ]）を変更する方法は、使用説明書＜プリンター本体の操作＞「プリンター本体の設定」を参照してください。

NetWare 5/5.1J、NetWare 6.0J のピュア IP 環境でお使いの方へ

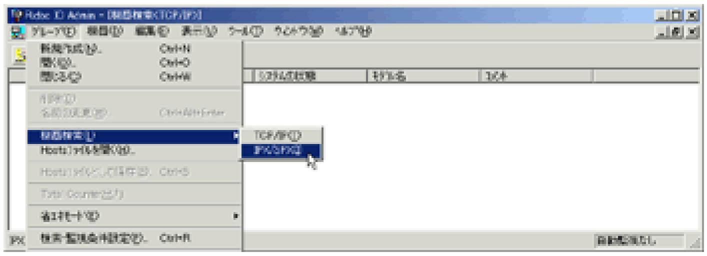
NetWare 5/5.1J、NetWare 6.0J のピュア IP 環境でキューベースのプリントサーバを作成する場合、NetWare アドミニストレータを使用してファイルサーバ上にプリントキューを作成する必要があります。

- ピュア IP 環境でお使いの場合は、リモートプリンタとして使用できません。
- ピュア IP 環境でお使いの場合は、本機で TCP/IP プロトコルが使用できるように設定してください。

1. サーバーに Admin でログインします。

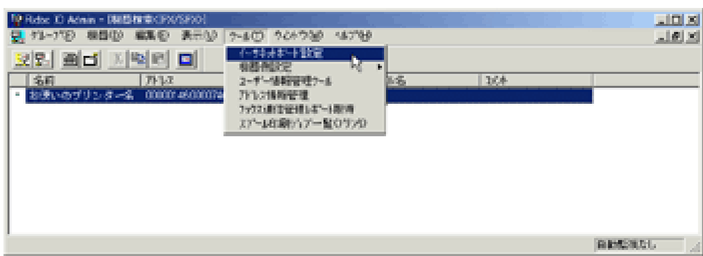
2. Ridoc IO Admin を起動します。

3. [グループ] メニューの [機器検索] をポイントし、[IPX/SPX] を選択します。



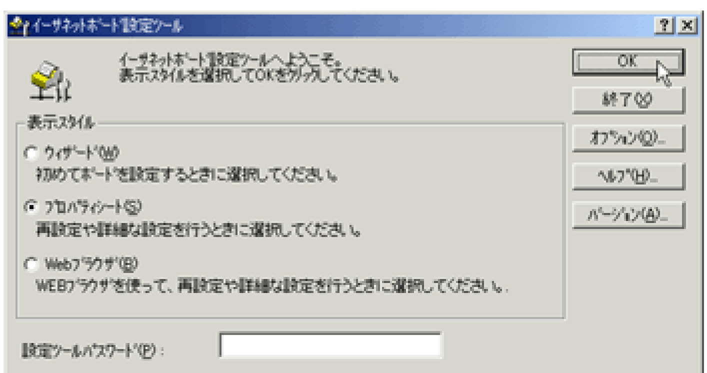
設定できるプリンターの一覧が表示されます。

4. 設定するプリンターをクリックして反転表示させ、[ツール] メニューの [イーサネットボード設定] をクリックします。



イーサネットボード設定ツールが起動します。

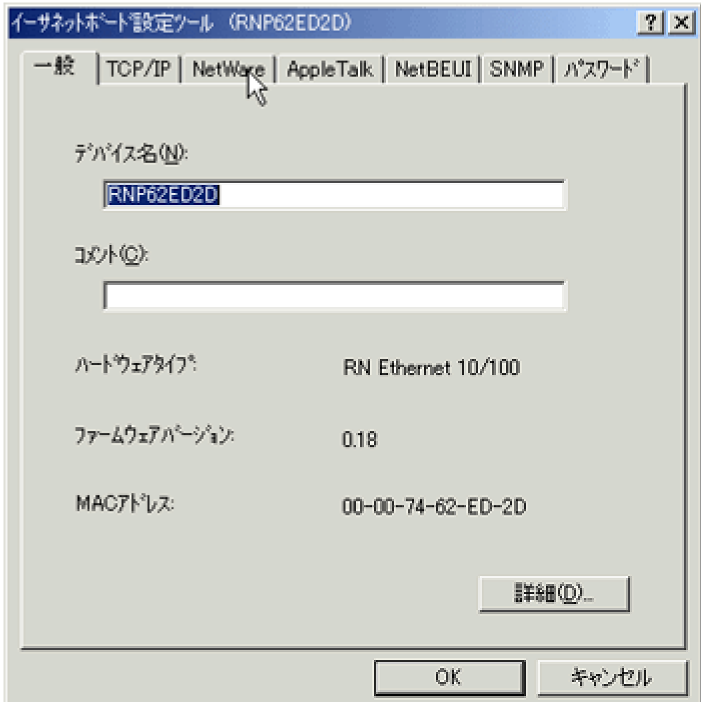
5. [プロパティシート] をクリックして選択し、[OK] をクリックします。



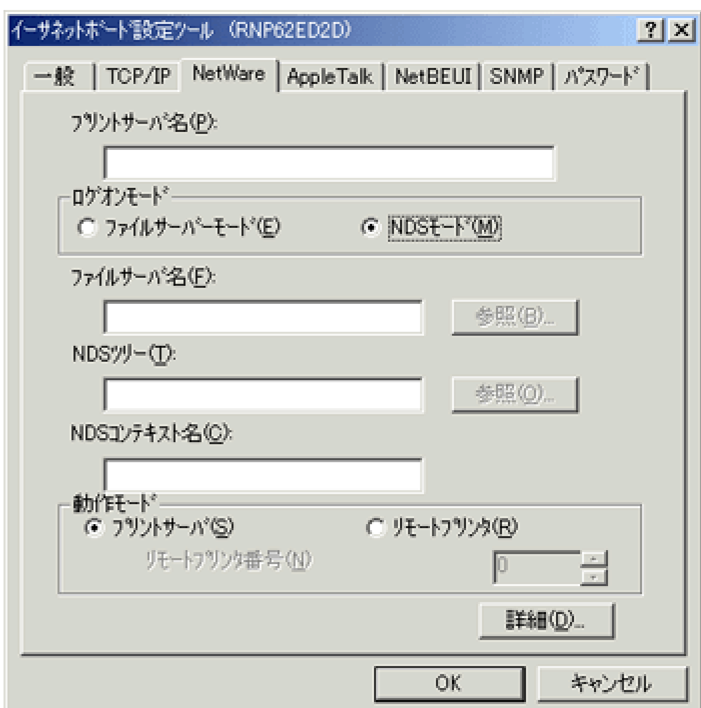
イーサネットボード設定ダイアログが表示されます。

6. 必要に応じて [デバイス名] と [コメント] を入力し、[次へ] をクリックします。

7. **[NetWare] タブをクリックします。**



8. **環境を設定します。**



[ログオンモード] グループで、[ファイルサーバーモード] か [NDS モード] を選択します。

[ファイルサーバーモード] を選択すると、[ファイルサーバ名] に入力した文字列を基に接続先を決定します。

[NDS モード] を選択すると、[NDS ツリー] に入力した文字列を基に接続先を決定します。

9.　[プリントサーバ名] ボックスに、プリントサーバの名前を入力します。

47 バイト以内の半角英数字で入力してください。

10.　[ファイルサーバ名] に、プリントサーバを作成するファイルサーバ名を入力します。

[参照] をクリックして、一覧からファイルサーバを選択することもできます。

47 バイト以内の半角英数字で入力してください。

11.　[NDS ツリー] には、ファイルサーバを作成する NDS ツリー名を入力します。

[参照] をクリックして、一覧から NDS ツリーと NDS コンテキスト名を選択することもできます。

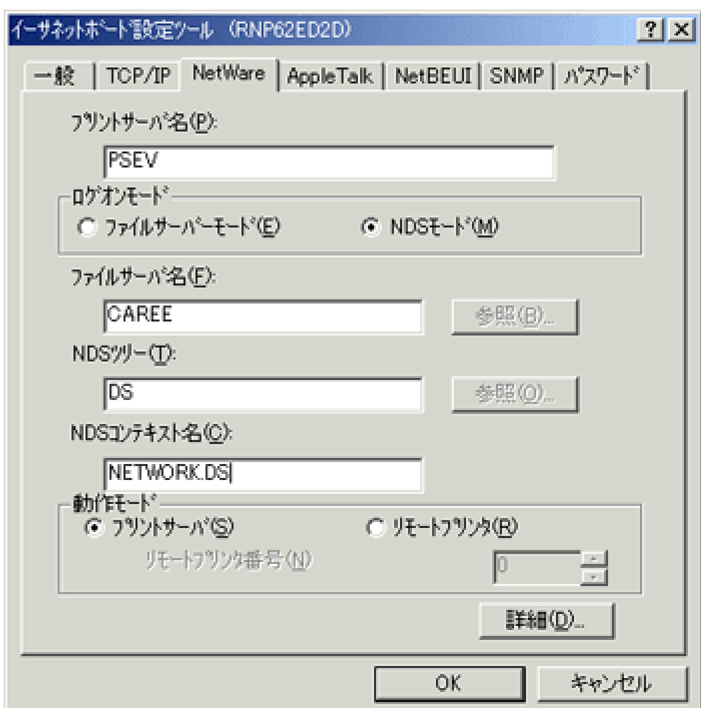
32 バイト以内の半角英数字（-、_ 使用可）で入力してください。

12.　NDS コンテキスト名に、プリントサーバのコンテキスト名を入力します。

127 バイト以内の半角英数字で入力してください。

コンテキスト名は Root からのオブジェクトを下の階層から順にピリオド (.) で区切って入力します。たとえば Root 上の組織オブジェクトが DS で、その下の部門オブジェクト NETWORK にプリントサーバを作成するときは、「NETWORK.DS」と入力します。

13.　[動作モード] グループの [プリントサーバ] をクリックして選択します。



14.　[OK] をクリックします。

イーサネットボード設定ツールが終了します。

15.　Ridoc IO Admin を終了します。

参照

- この後の操作は、P.109「NetWare 5/5.1J、NetWare 6.0J のピュア IP 環境で使用する」を参考に操作を行ってください。
- 本機で TCP/IP プロトコルが使用できるように設定するには、使用説明書<プリンター本体の操作>「プリンター本体の設定」を参照してください。
- IPXを使用しない場合は、Webブラウザでプリントサーバープロトコルを[TCP/IP+IPX]から[TCP/IP]に変更しておくことをお勧めします。Web ブラウザは、P.230「Web ブラウザを使用する」を参照してください。

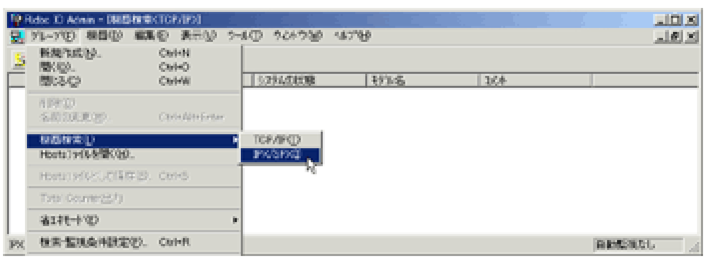
リモートプリンタとして使用する

NetWare を使用してリモートプリンタとして接続ための設定方法の説明です。

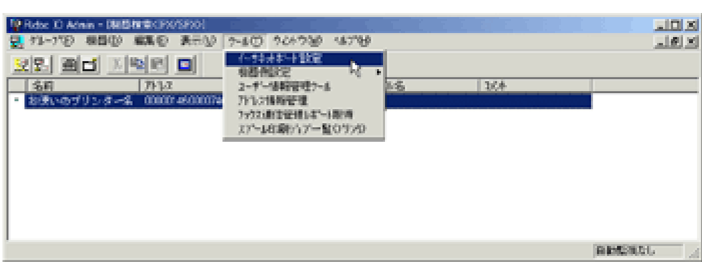
NetWare 3.xJ を使用する

NetWare3.xJ を使用し、リモートプリンタとして接続するための設定方法の説明です。

1. **Supervisor または同等の権利を持つユーザーとしてログインし、Ridoc IO Admin を起動します。**
2. **[グループ] メニューの [機器検索] をポイントし、[IPX/SPX] を選択します。**

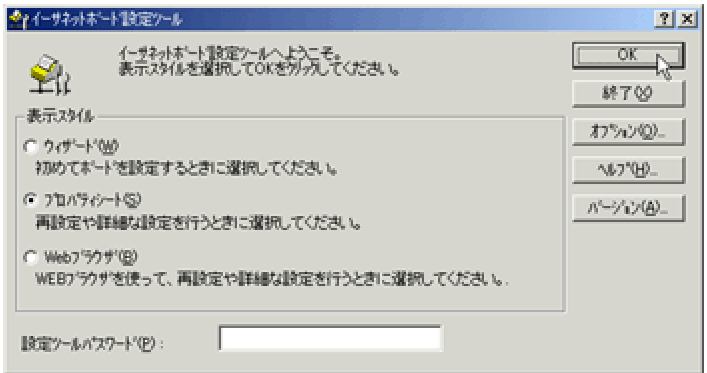
   

   設定できるプリンターの一覧が表示されます。
3. **設定するプリンターをクリックして反転表示させ、[ツール] メニューの [イーサネットボード設定] をクリックします。**

   イーサネットボード設定ツールが起動します。

4. [プロパティシート] をクリックして選択し、[OK] をクリックし、[NetWare] タブをクリックします。



イーサネットボード設定ダイアログが表示されます。

5. 環境を設定します。[プリントサーバ名] ボックスに、プリントサーバ名を入力します。

47 バイト以内の半角英数字で入力してください。

6. [ファイルサーバ名] に、プリントサーバを作成するファイルサーバ名を入力します。

[参照] をクリックして、一覧からファイルサーバを選択することもできます。

47 バイト以内の半角英数字で入力してください。

7. [動作モード] グループの [リモートプリンタ] をクリックして選択します。

8. [リモートプリンタ番号] ボックスに、リモートプリンタ番号を入力します。

プリントサーバ上に作成するプリンターの番号と一致させてください。

9. [OK] をクリックし、Ridoc IO Admin を終了します。

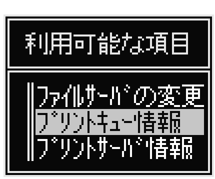
イーサネットボード設定ツールが終了します。

10. コマンドプロンプトで「PCONSOLE」と入力します。

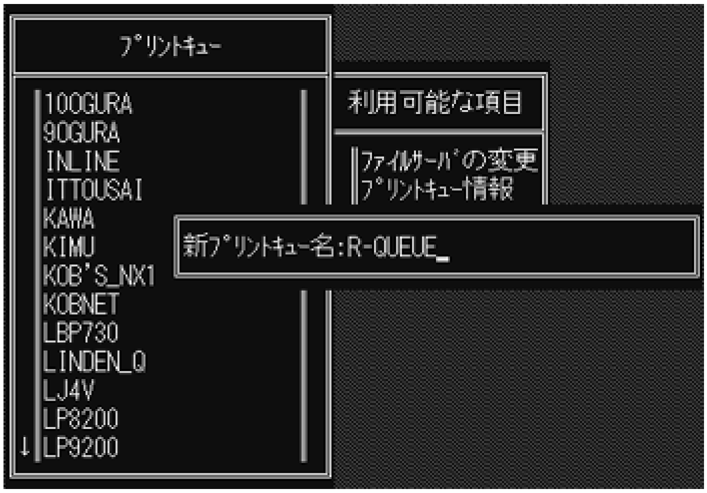
F:> PCONSOLE

11. プリントキューを作成します。[利用可能な項目] メニューから [プリントキュー情報] を選択します。

既存のプリントキューを使用する場合は、プリンターを作成する手順に進みます。



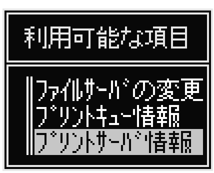
12. [Insert] キーを押し、プリントキュー名を入力します。



13. [Esc] キーを押します。

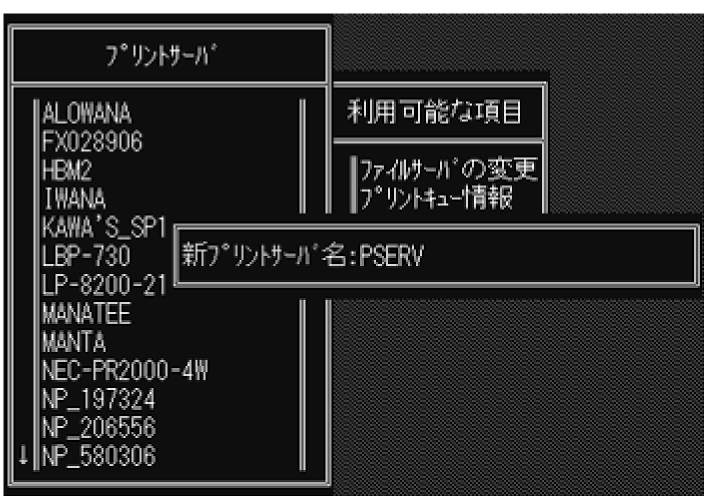
[利用可能な項目] メニューに戻ります。

14. プリンターを作成します。[利用可能な項目] メニューから [プリントサーバ情報] を選択します。



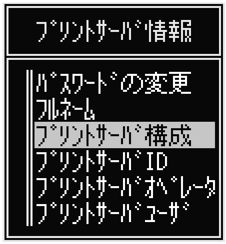
15. 新しいプリントサーバを作成する場合は、[Insert] キーを押し、プリントサーバ名を入力します。

既存のプリントサーバを使用する場合は、[プリントサーバ] 一覧から使用するプリントサーバを選択します。

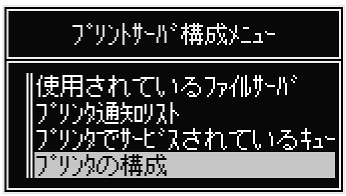


前の手順で設定した Ridoc IO Admin のプリントサーバ名と一致させてください。

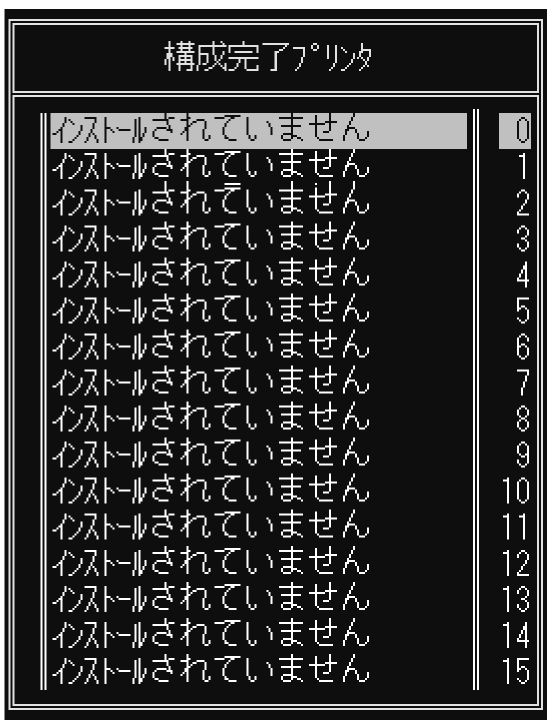
16. [プリントサーバ情報] メニューから [プリントサーバ構成] を選択します。



17. [プリントサーバ構成メニュー] から [プリンタの構成] を選択します。



18. 「インストールされていません」と表示されているプリンターを選択します。



前の手順で設定した Ridoc IO Admin のリモートプリンタ番号と一致させてください。

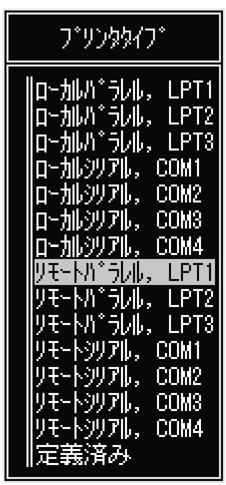
19. プリンターの名前を変更する場合は、新しい名前を入力します。

名前は選択したプリンターの番号に応じて「プリンタ X」と付けられています。

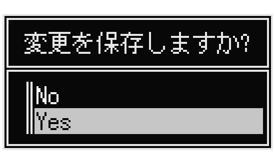


20. タイプとして [リモートパラレル，LPT1] を選択します。

IRQ、バッファサイズ、開始用紙、キューサービスモードは自動的に設定されます。



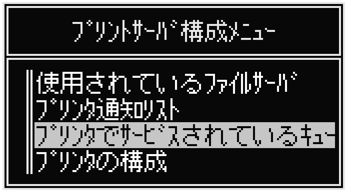
21. [Esc] キーを押し、確認画面で [Yes] を選択します。



22. [Esc] キーを押します。

[プリントサーバ構成メニュー] に戻ります。

23. 作成したプリンターにプリントキューを割り当てます。[プリントサーバ構成メニュー] から [プリンタでサービスされているキュー] を選択します。



24. 前の手順で作成したプリンターを選択します。

25. [Insert] キーを押し、プリンターに割り当てるキューを選択します。



複数のキューを選択することもできます。

26. 画面表示にしたがって、その他の項目を入力します。

入力後、プリンターにキューが割り当てられたことを確認してください。

27. 「終了しますか？」と表示されるまで [Esc] キーを押し、[Yes] を選択します。



PCONSOLE が終了します。

28. NetWare サーバのコンソールから次のように入力してプリントサーバを起動します。

すでに起動しているときは、いったん停止させてから起動します。

停止する

CAREE: unload pserver

起動する

CAREE: load pserver プリントサーバ名

本機が設定どおり動作していると、「印刷ジョブ待機中」と表示されます。

補足

- 表示されるプリンター名から設定するプリンターがわからないときは、本機から「システム設定リスト」を印刷し、そのプリンター名を比較して目的のプリンターを探してください。
- プリンターが表示されないときは、IPX/SPX プロトコルのフレームタイプの設定をパソコンと本機で一致させてください。パソコンのフレームタイプは Windows の [ネットワーク] ダイアログで変更します。
- メインウィンドウにはリコー以外のプリンターが表示されることがあります。
- イーサネットボード設定ツールはリコー以外のプリンターには対応していません。

参照

- 本機のフレームタイプ（[NW フレームタイプ]）を変更する方法は、使用説明書＜プリンター本体の操作＞「プリンター本体の設定」を参照してください。

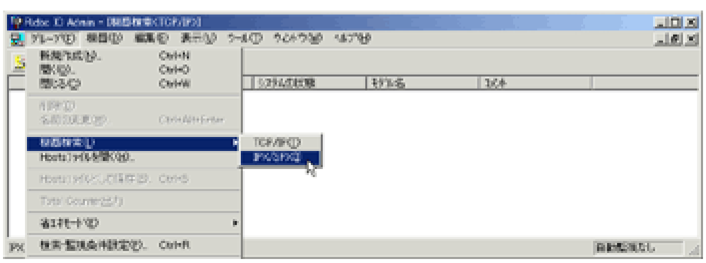
NetWare 4.xJ、NetWare 5/5.1J、NetWare 6.0J を使用する

NetWare 4.xJ、NetWare 5/5.1J、NetWare 6.0J を使用し、リモートプリンタとして接続するための設定方法の説明です。

重要

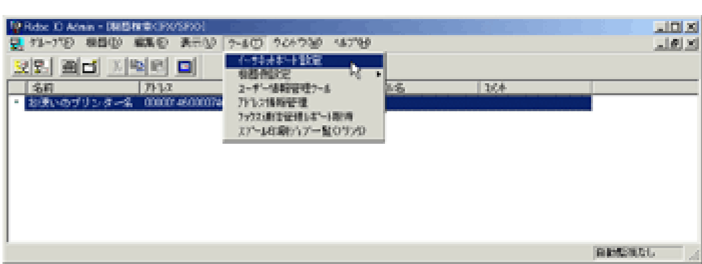
- NetWare4.xJ、NetWare 5/5.1J、NetWare 6.0J でリモートプリンタとして使用する場合は、NDS モードで使用してください。
- NetWare 5/5.1J、NetWare 6.0J のピュア IP 環境の場合、リモートプリンタとして使用できません。

1. **サーバーに Admin でログインし、Ridoc IO Admin を起動します。**
2. **[グループ] メニューの [機器検索] をポイントし、[IPX/SPX] を選択します。**



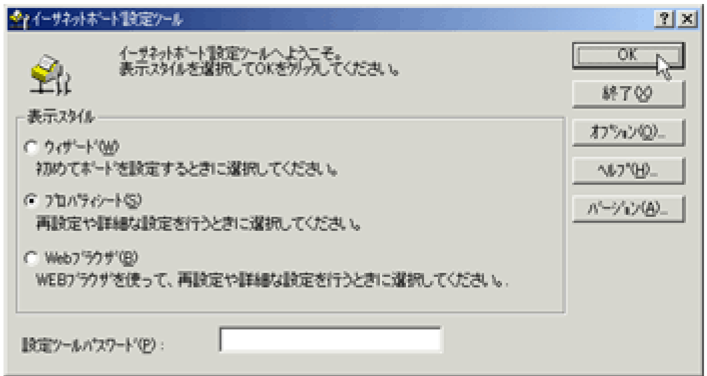
設定できるプリンターの一覧が表示されます。

3. **設定するプリンターをクリックして反転表示させ、[ツール] メニューの [イーサネットボード設定] をクリックします。**



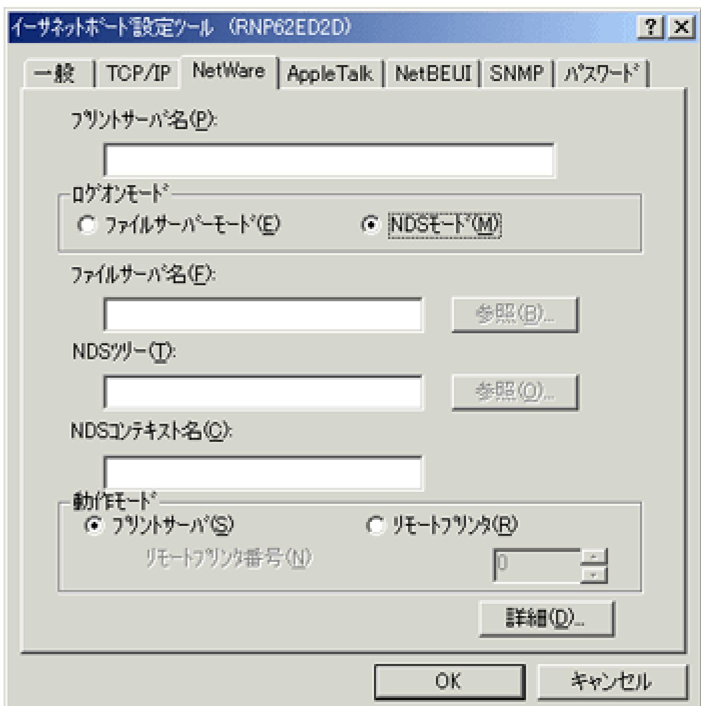
イーサネットボード設定ツールが起動します。

4. [プロパティシート] をクリックして選択し、[OK] をクリックします。



イーサネットボード設定ダイアログが表示されます。

5. [NetWare] タブをクリックし、環境を設定します。[ログオンモード] グループで [ファイルサーバーモード] か [NDS モード] を選択します。



[ファイルサーバーモード] を選択すると、[ファイルサーバ名] に入力した文字列を基に接続先を決定します。

[NDS モード] を選択すると、[NDS ツリー] に入力した文字列を基に接続先を決定します。

6. [プリントサーバ名] ボックスに、プリントサーバ名を入力します。

NetWare アドミニストレータで設定する [プリントサーバ名] と一致させてください。

47 バイト以内の半角英数字で入力してください。

7. [ファイルサーバ名] に、プリントサーバを作成するファイルサーバ名を入力します。

[参照] をクリックして、一覧からファイルサーバを選択することもできます。

47 バイト以内の半角英数字で入力してください。

8. **[NDS ツリー] には、ファイルサーバを作成する NDS ツリー名を入力します。**

[参照] をクリックして一覧から NDS ツリーと NDS コンテキスト名を選択することもできます。

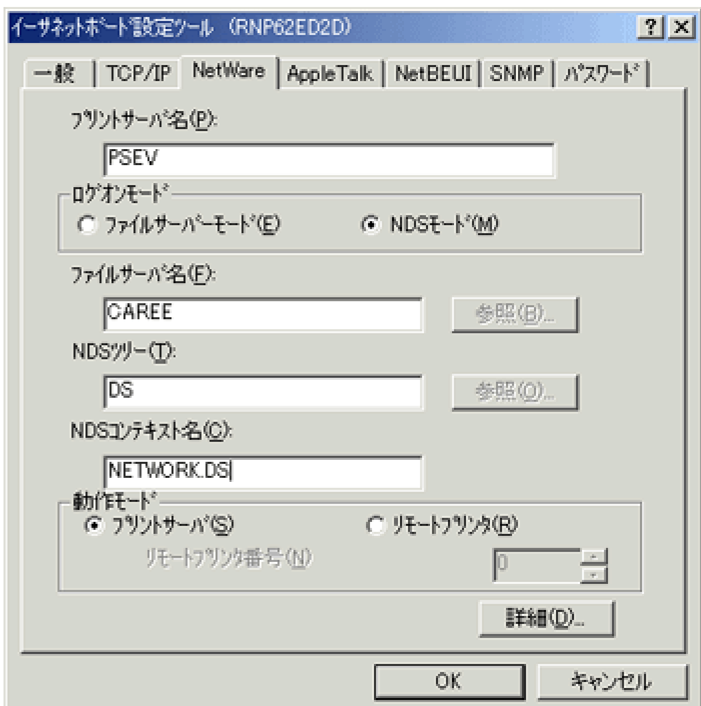
32 バイト以内の半角英数字（-、_ 使用可）で入力してください。

9. **NDS コンテキスト名に、プリントサーバのコンテキスト名を入力します。**

127 バイト以内の半角英数字で入力してください。

コンテキスト名は Root からのオブジェクトを下の階層から順にピリオド (.) で区切って入力します。たとえば Root 上の組織オブジェクトが DS で、その下の部門オブジェクト NETWORK にプリントサーバを作成するときは、「NETWORK.DS」と入力します。

10. **[動作モード] グループの [リモートプリンタ] をクリックして選択します。**



11. **[リモートプリンタ番号] ボックスに、リモートプリンタ番号を入力します。**

NetWare アドミニストレータで設定したプリントサーバに割り当てる [プリンタ番号] と一致させてください。

12. **[OK] をクリックし、Ridoc IO Admin を終了します。**

13. **Windows 上で NetWare アドミニストレータを起動します。**

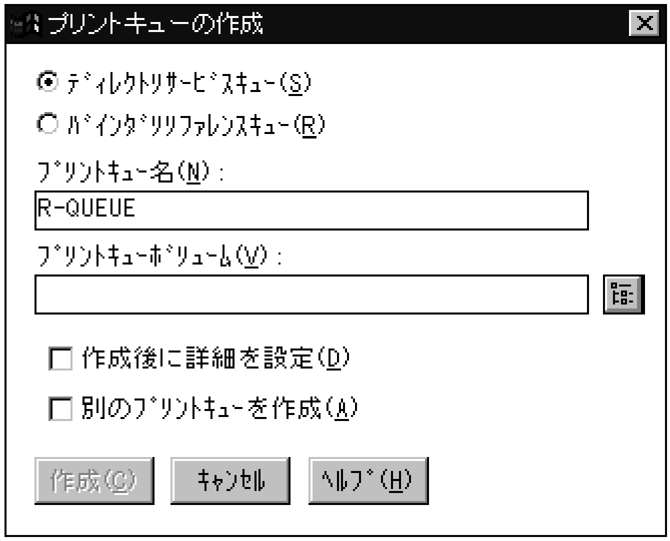
14. プリントキューを作成します。印刷オブジェクトを作成する部門オブジェクトまたは組織オブジェクトをディレクトリーツリーから選び、[オブジェクト] メニューの [作成] をクリックします。



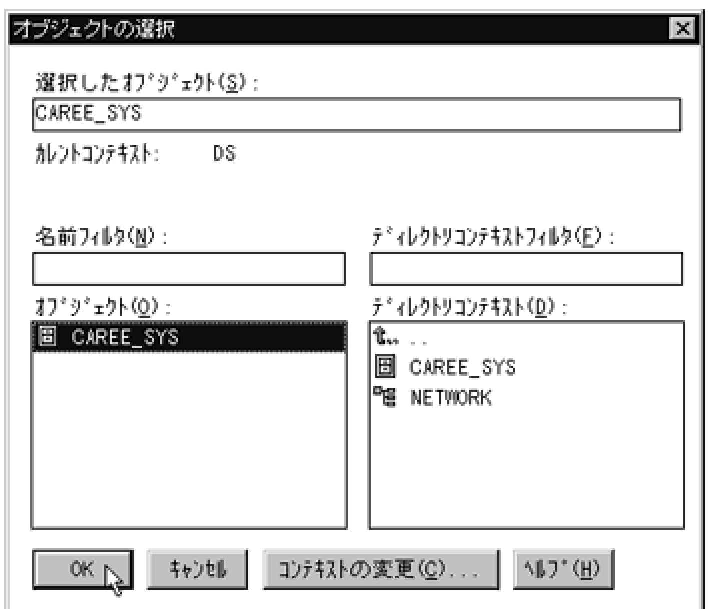
15. [オブジェクトクラス] ボックスの [プリントキュー] をクリックして反転表示させ、[OK] をクリックします。



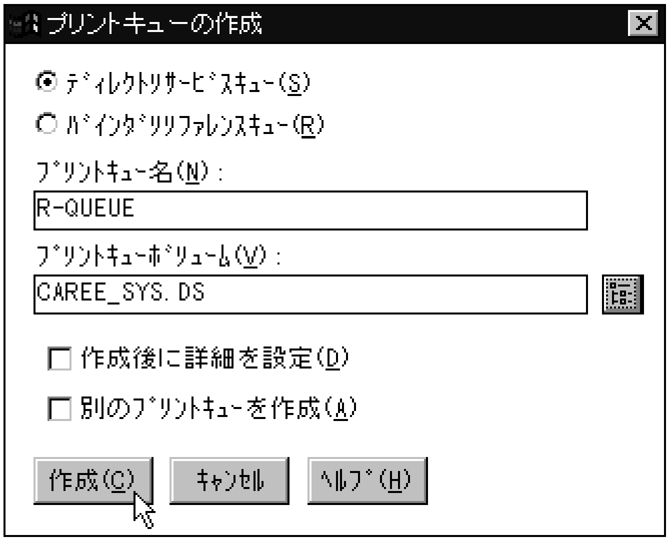
16. [プリントキュー名] ボックスに、プリントキュー名を入力します。



17. [プリントキューボリューム] ボックスのブラウズボタンをクリックし、[オブジェクト] ボックスでプリントキューを作成するボリュームをクリックして反転表示させ、[OK] をクリックします。

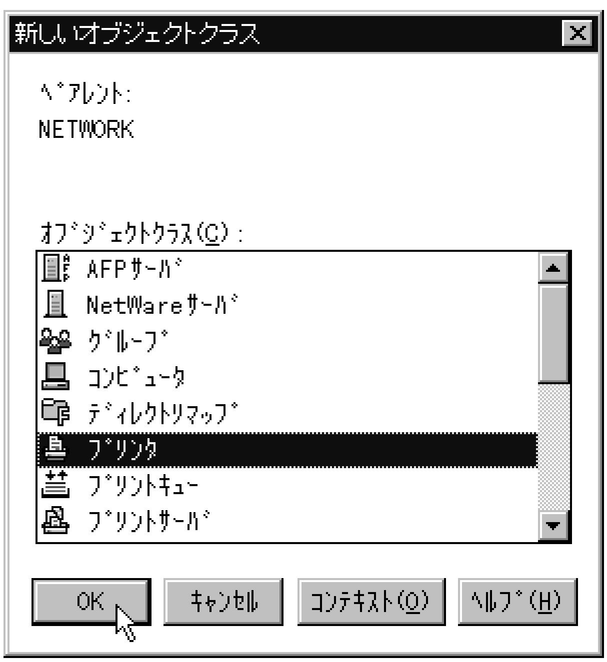


18. **設定内容を確認し、[作成] をクリックします。**

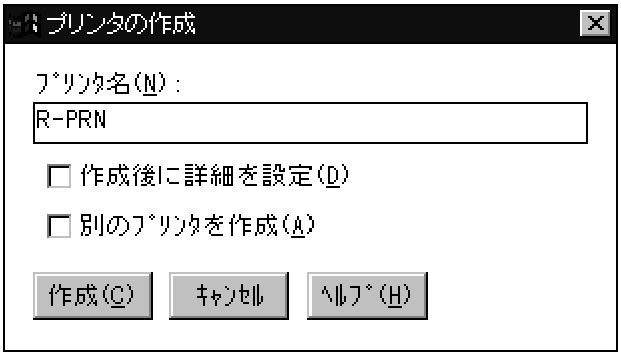


19. **プリンターを作成します。部門または組織オブジェクトを選び、[オブジェクト] メニューの [作成] をクリックします。**

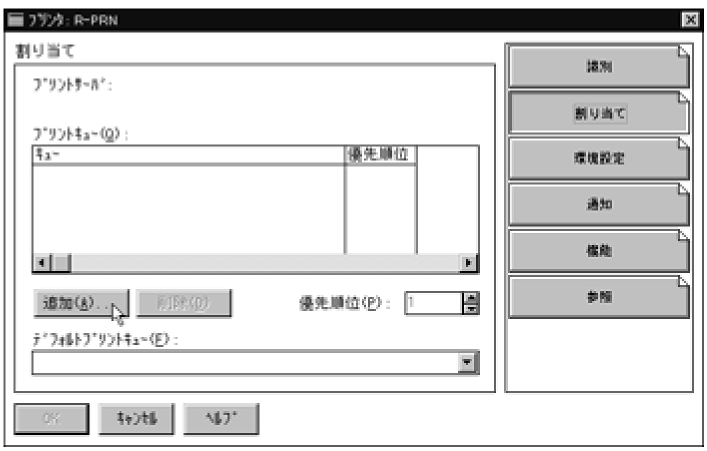
20. **[オブジェクトクラス] ボックスの「プリンタ」をクリックして反転表示させ、[OK] をクリックします。**



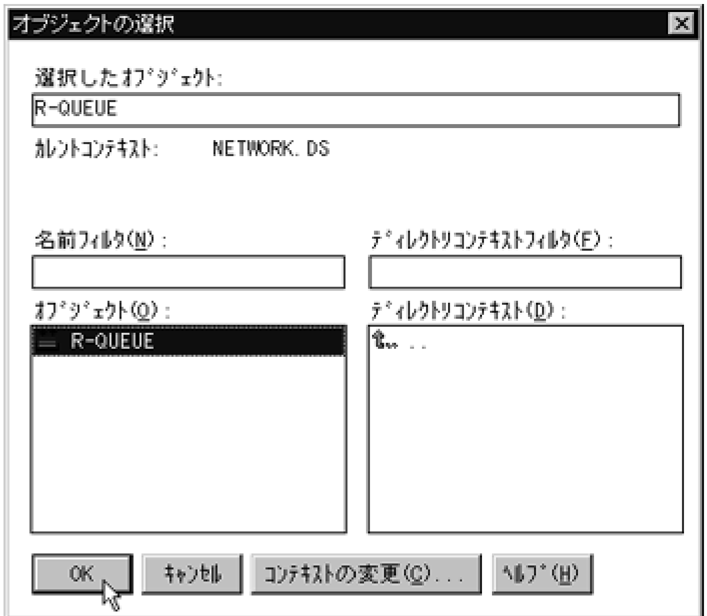
21. [プリンタ名] ボックスに、プリンター名を入力し、[作成後に詳細を設定] にチェックを付け、[作成] をクリックします。



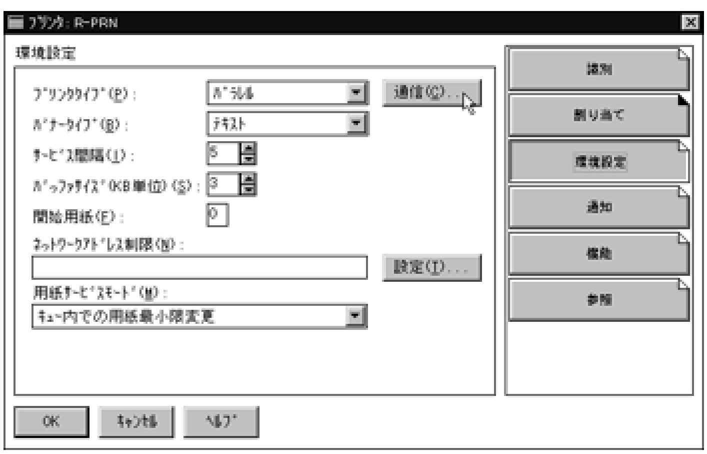
22. 作成したプリンターにプリントキューを割り当てます。[割り当て] をクリックし、[割り当て] グループの [追加] をクリックします。



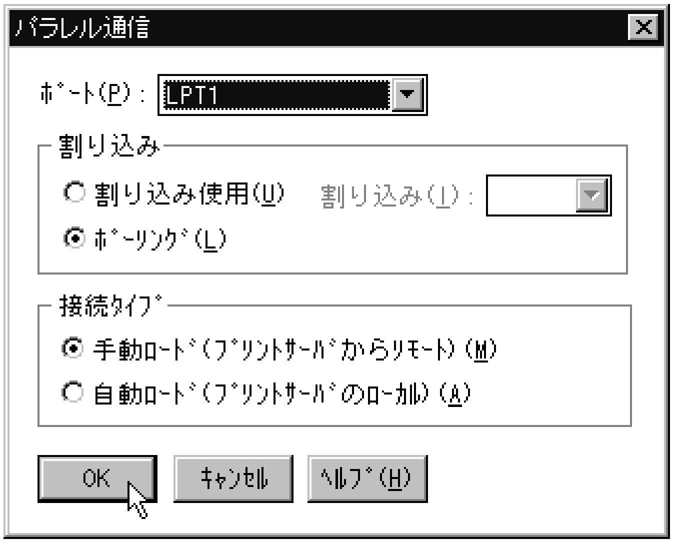
23. [オブジェクト] ボックスで手順で作成したキューをクリックして反転表示させ、[OK] をクリックします。



24. [環境設定] をクリックし、[プリンタタイプ] ボックスのドロップダウンメニューから [パラレル] を選択し、[通信] をクリックします。



25. [接続タイプ] グループの [手動ロード] をクリックし、[OK] をクリックします。



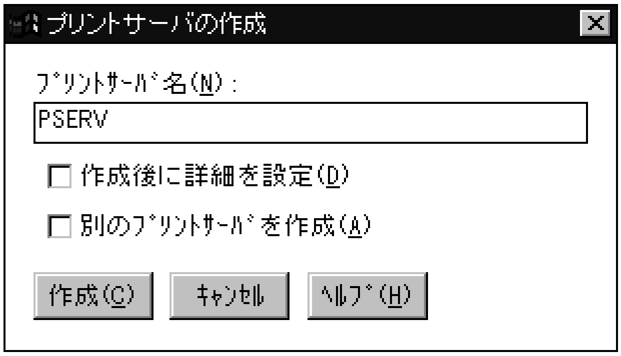
26. 設定内容を確認し、[OK] をクリックします。

27. プリントサーバを作成します。部門または組織オブジェクトを選び、[オブジェクト] メニューの [作成] をクリックします。

28. [オブジェクトクラス] ボックスの [プリントサーバ] をクリックして反転表示させ、[OK] をクリックします。

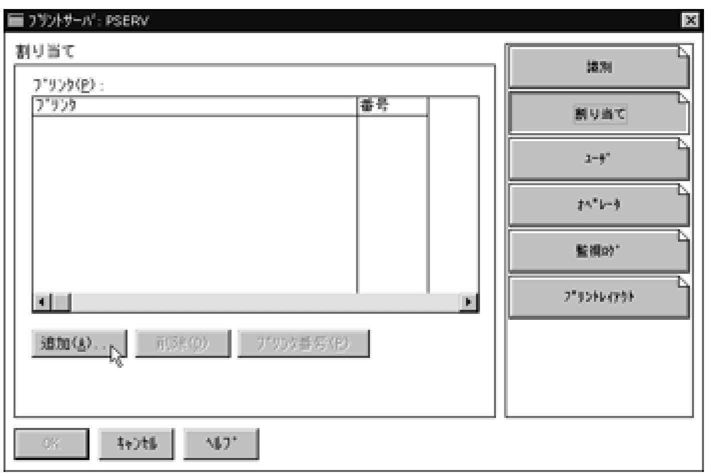


29. [プリントサーバ名] ボックスに、プリントサーバの名前を入力し、[作成後に詳細を設定] にチェックを付け、[作成] をクリックします。

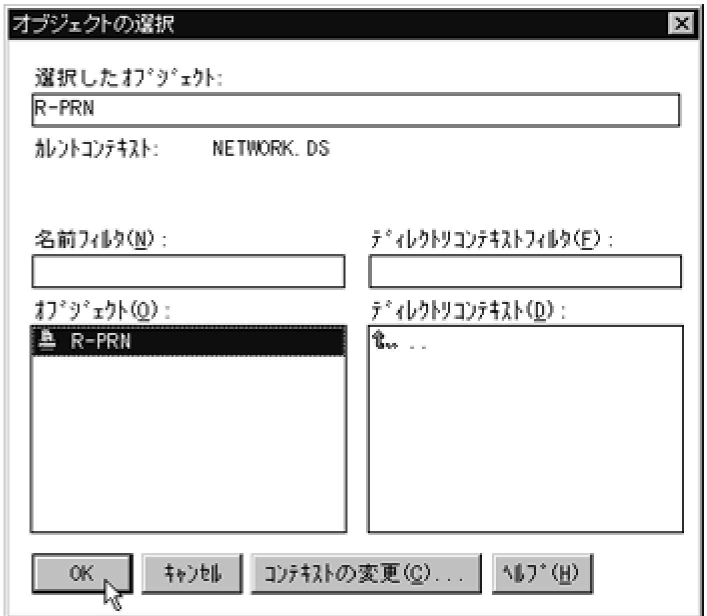


前の手順で設定した Ridoc IO Admin プリントサーバ名と一致させてください。

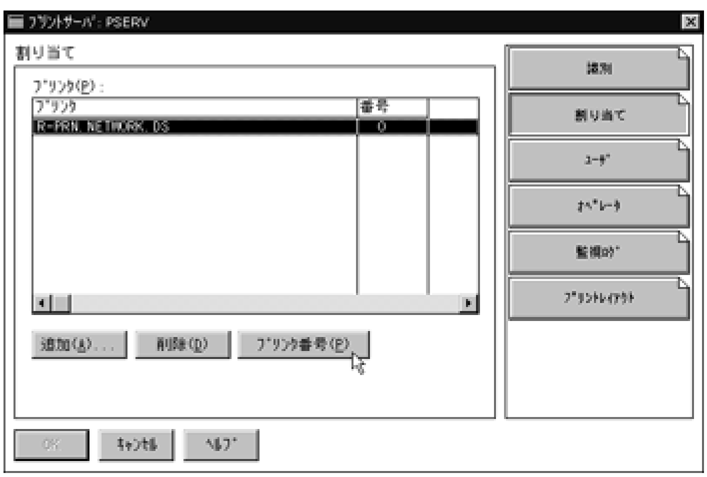
30. 作成したプリントサーバにプリンターを割り当てます。[割り当て] をクリックし、[割り当て] グループの [追加] をクリックします。



31. [オブジェクト] ボックスにある前の手順で作成したプリンターをクリックして反転表示させ、[OK] をクリックします。



32. [プリンタ] グループで前の手順で割り当てたプリンターをクリックして反転表示させ、[プリンタ番号] をクリックします。



33. プリンタ番号を入力し、[OK] をクリックします。



前の手順で設定した Ridoc IO Admin リモートプリンタ番号と一致させてください。

34. 設定内容を確認し、[OK] をクリックします。

35. **NetWare サーバのコンソールから次のように入力してプリントサーバを起動します。**

    すでに起動しているときは、いったん停止させてから起動します。

停止する

CAREE: unload pserver

起動する

CAREE: load pserver プリントサーバ名

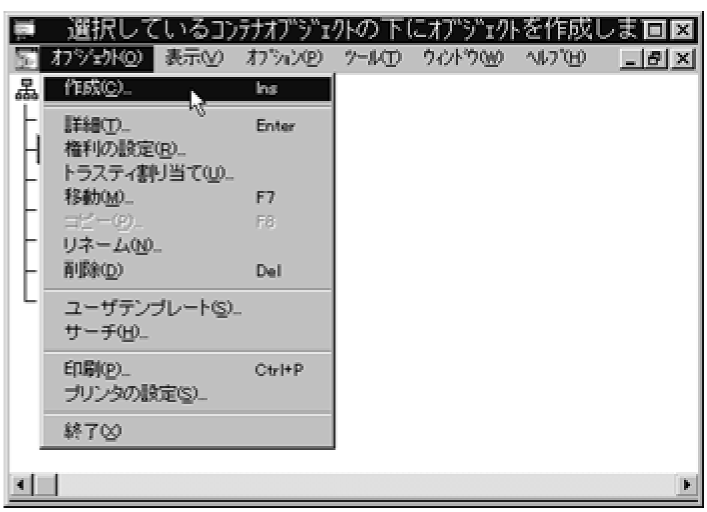
補足

- 表示されるプリンター名から設定するプリンターがわからないときは、本機から「システム設定リスト」を印刷し、そのプリンター名と比較して目的のプリンターを探してください。
- プリンターが表示されないときは、IPX/SPX プロトコルのフレームタイプの設定をパソコンと本機で一致させてください。パソコンのフレームタイプは Windows の [ネットワーク] ダイアログで変更します。本機のフレームタイプ（[NW フレームタイプ]）を変更する方法は、使用説明書＜プリンター本体の操作＞「プリンター本体の設定」を参照してください。
- メインウィンドウにはリコー以外のプリンターが表示されることがあります。
- イーサネットボード設定ツールはリコー以外のプリンターには対応していません。

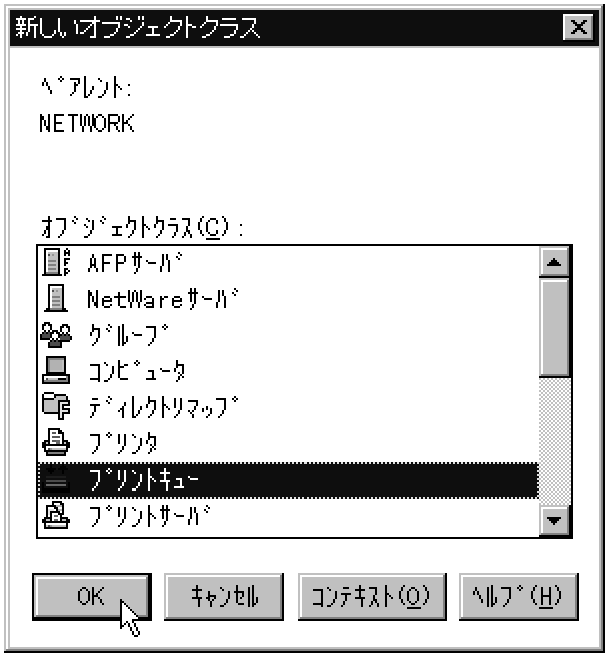
NetWare 5/5.1J、NetWare 6.0J のピュア IP 環境で使用する

NetWare 5/5.1J、NetWare 6.0J のピュア IP 環境で使用するための設定方法の説明です。

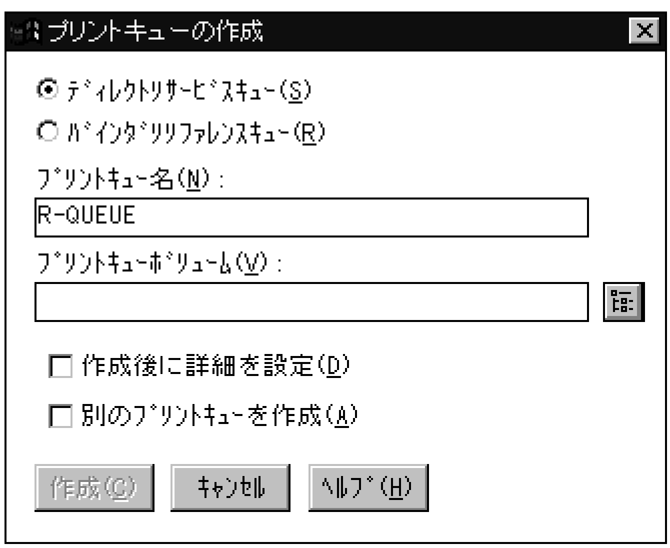
1. **Windows 上で NetWare アドミニストレータを起動します。**
2. **プリントキューを作成します。印刷オブジェクトを作成する部門オブジェクトまたは組織オブジェクトをディレクトリーツリーから選び、[オブジェクト] メニューの [作成] をクリックします。**



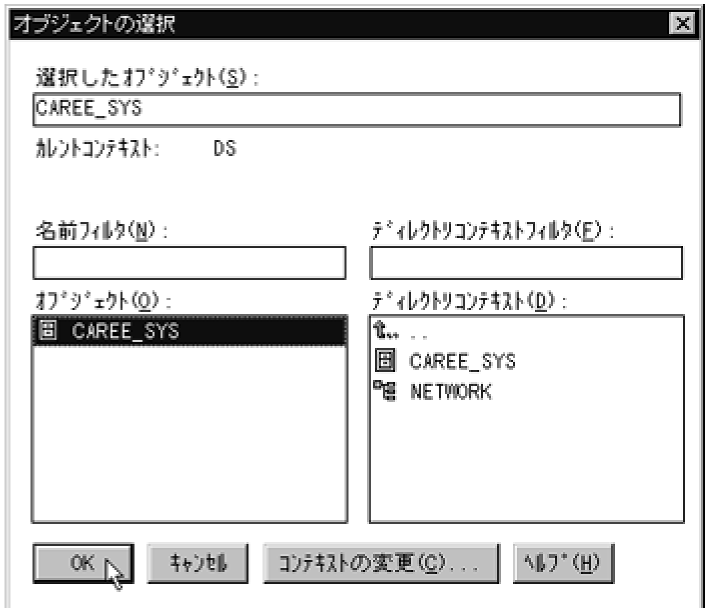
3. **[オブジェクトクラス] ボックスの [プリントキュー] をクリックして反転表示させ、[OK] をクリックします。**



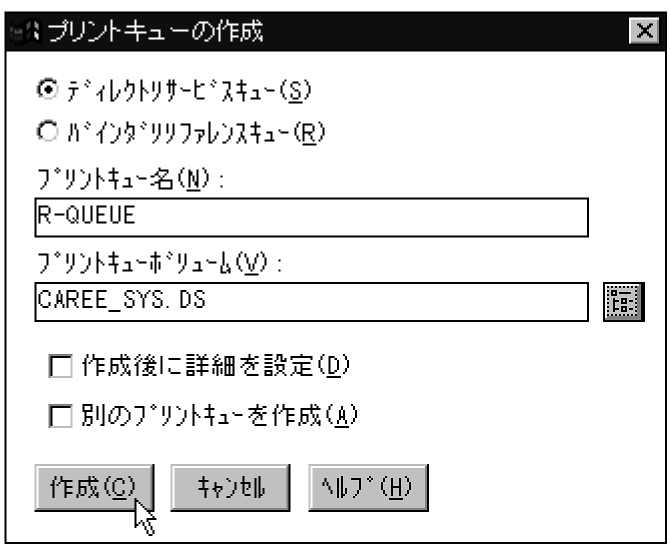
4. **[プリントキュー名] ボックスに、プリントキュー名を入力します。**



5. [プリントキューボリューム] ボックスのブラウズボタンをクリックし、[オブジェクト] ボックスでプリントキューを作成するボリュームをクリックして反転表示させ、[OK] をクリックします。

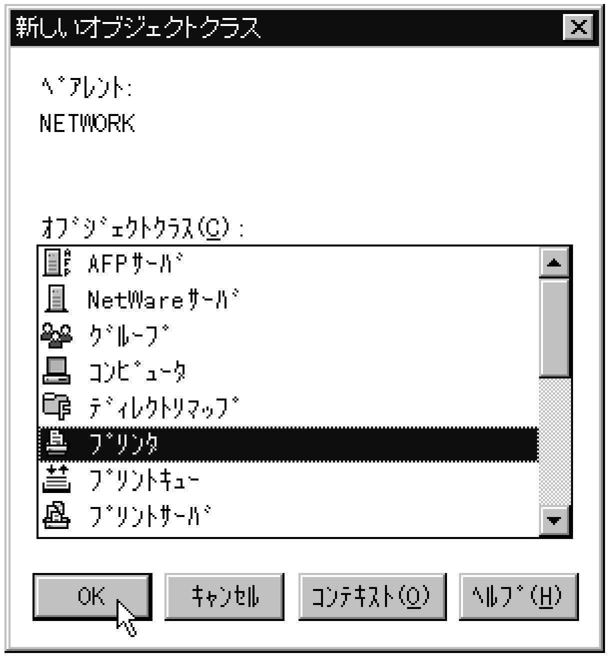


6. 設定内容を確認し、[作成] をクリックします。

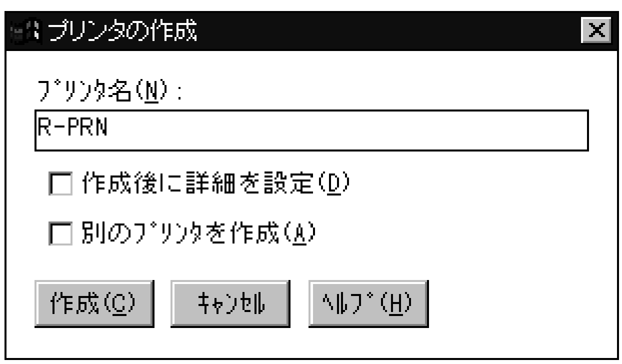


7. プリンターを作成します。部門または組織オブジェクトを選び、[オブジェクト] メニューの [作成] をクリックします。

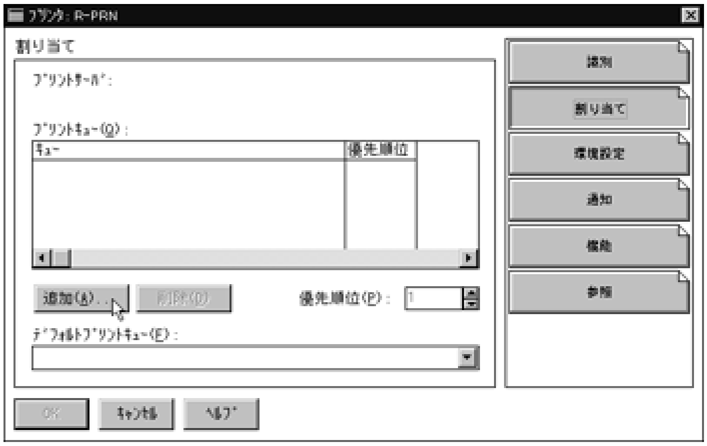
8. [オブジェクトクラス] ボックスの「プリンタ」をクリックして反転表示させ、[OK] をクリックします。



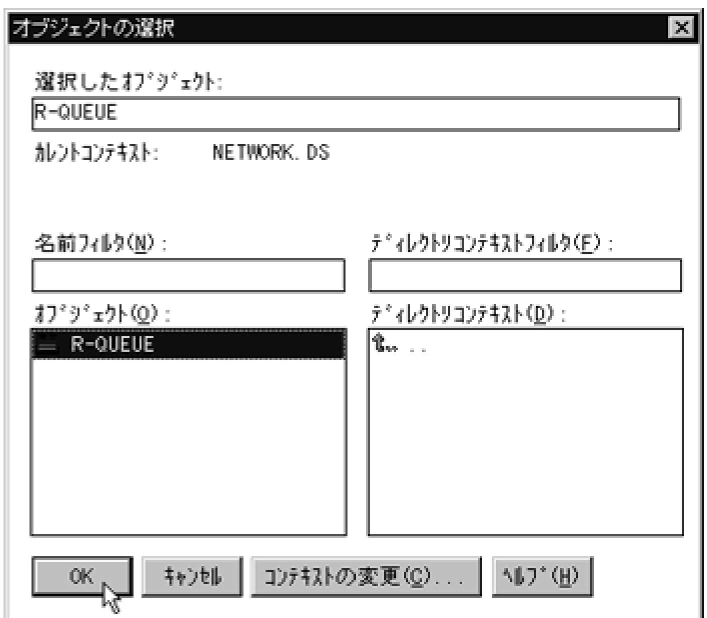
9. [プリンタ名] ボックスに、プリンター名を入力し、[作成後に詳細を設定] にチェックを付け、[作成] をクリックします。



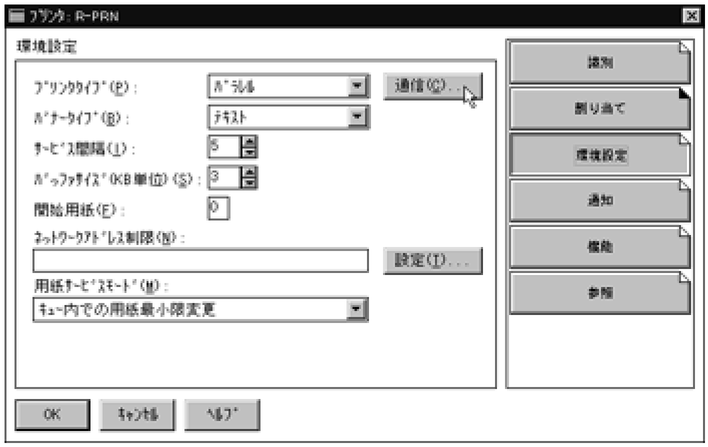
10. 作成したプリンターにプリントキューを割り当てます。[割り当て] をクリックし、[割り当て] グループの [追加] をクリックします。



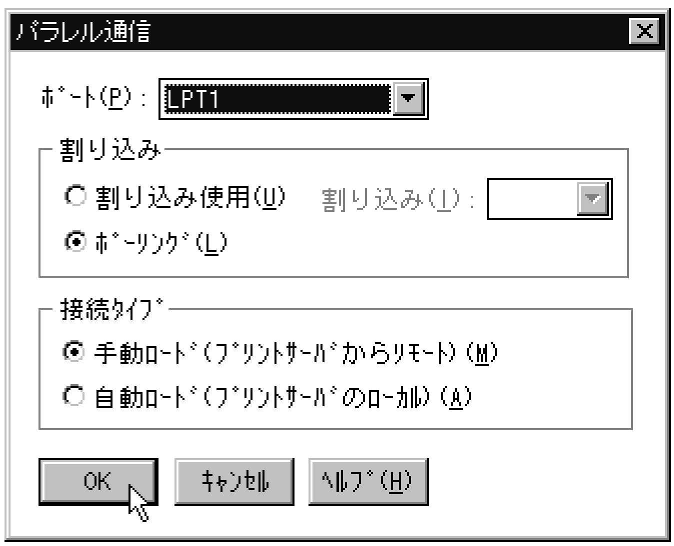
11. [オブジェクト] ボックスで手順で作成したキューをクリックして反転表示させ、[OK] をクリックします。



12. [環境設定] をクリックし、[プリンタタイプ] ボックスのドロップダウンメニューから [パラレル] を選択し、[通信] をクリックします。



13. [接続タイプ] グループの [手動ロード] をクリックし、[OK] をクリックします。



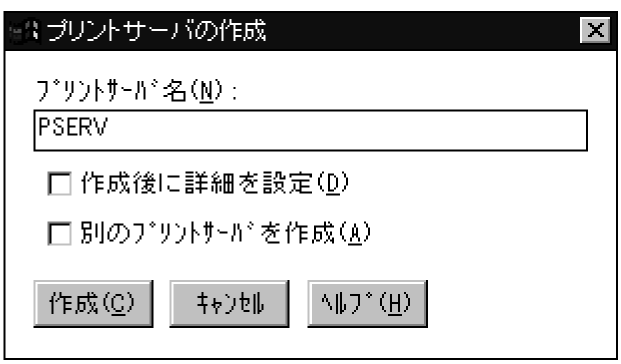
14. 設定内容を確認し、[OK] をクリックします。

15. プリントサーバを作成します。部門または組織オブジェクトを選び、[オブジェクト] メニューの [作成] をクリックします。

16. [オブジェクトクラス] ボックスの [プリントサーバ] をクリックして反転表示させ、[OK] をクリックします。

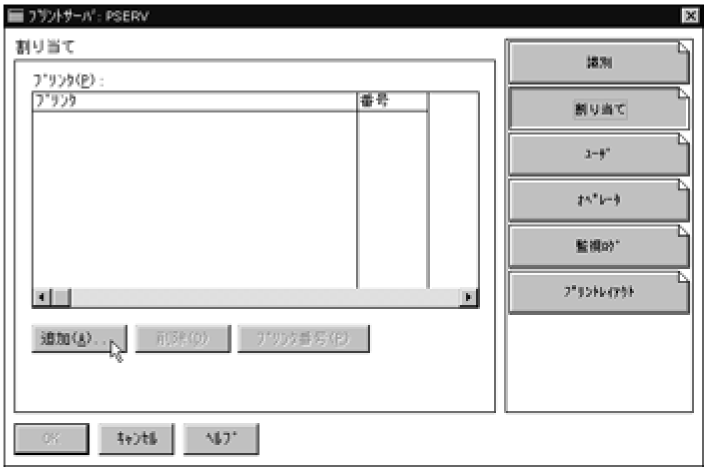


17. [プリントサーバ名] ボックスに、プリントサーバの名前を入力し、[作成後に詳細を設定] にチェックを付け、[作成] をクリックします。

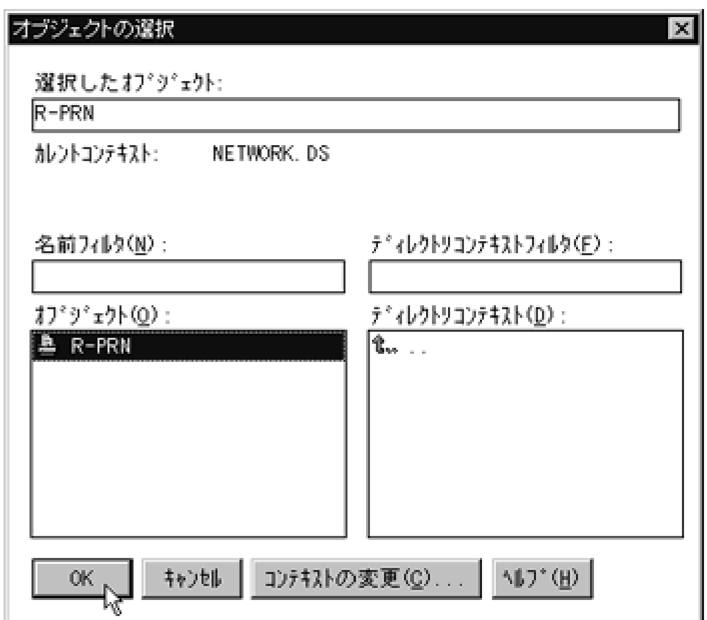


前の手順で設定した Ridoc IO Admin プリントサーバ名と一致させてください。

18. **作成したプリントサーバにプリンターを割り当てます。[割り当て] をクリックし、[割り当て] グループの [追加] をクリックします。**



19. **[オブジェクト] ボックスにある前の手順で作成したプリンターをクリックして反転表示させ、[OK] をクリックします。**



20. **設定内容を確認し、[OK] をクリックします。**

21. **NetWare サーバのコンソールから次のように入力してプリントサーバを起動します。**

すでに起動しているときは、いったん停止させてから起動します。

停止する

CAREE: unload pserver

起動する

CAREE: load pserver プリントサーバ名

クライアント側をセットアップする

NetWare のプリントサーバを使用した場合のクライアント側のセットアップ方法を説明します。

重要

- Novell Client は OS に同梱のバージョンまたは、最新のバージョンをお使いください。
- ここでの説明はクライアントに NetWare クライアントソフトウェアがインストールされ、NetWare のサーバと正しく通信できる環境に設定されていることを前提にしています。設定されていない場合は、クライアント側に必要なソフトウェアを組み込んでからセットアップを行ってください。
- NetWare のファイルサーバにログインした状態で操作してください。

Windows の設定

プリンタードライバーをインストールしたあと、印刷先のポートを NetWare のキューに変更する方法の説明です。

Windows 98 の場合

1. **印刷する本機のプリンタードライバーを、「ローカルプリンタ」としてインストールします。**

   インストールの途中で本機が使用するポートを選択しますが、どのポートを選んでもかまいません。通常は「LPT 1」を選んでください。

2. **[プリンタ] ウィンドウを表示します。**
3. **印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。**
4. **[詳細] タブをクリックし、[ポートの追加] をクリックします。**
5. **[ネットワーク] をクリックし、[参照] をクリックします。**
6. **ネットワークツリー上で、NetWare のファイルサーバの名前をダブルクリックします。**

   作成されているキューが展開されます。

7. **印刷するキューをクリックして反転表示させ、[OK] をクリックします。**
8. **[OK] をクリックします。**

   [印刷先のポート] ボックスに、本機へのネットワークパスが入力されます。

9. **[OK] をクリックしてプリンターのプロパティを閉じたあと、もう一度プリンターのプロパティを開きます。**
10. **[ポートの割り当て] タブをクリックします。**
11. **[見出しページ] と [ジョブ後に用紙を送る] のチェックを両方とも外します。**

    Windows のプリンタドライバー改ページを制御しているので、NetWare 上で設定する必要はありません。設定していると正しく印刷できない場合があります。

12. **[OK] をクリックし、プロパティを閉じます。**

Windows 2000 ／ Windows NT 4.0 の場合

1. **印刷する本機のプリンタードライバーを、「ローカルプリンタ」としてインストールします。**

   インストールの途中で本機が使用するポートを選択しますが、どのポートを選んでもかまいません。通常は「LPT 1」を選んでください。

2. **[プリンタ] ウィンドウを表示します。**
3. **印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。**
4. **[ポート] タブをクリックし、[ポートの構成] をクリックします。**
5. **[ネットワーク] をクリックし、[参照] をクリックします。**
6. **ネットワークツリー上で、NetWare のファイルサーバの名前をダブルクリックします。**

   作成されているキューが展開されます。

7. **印刷するキューをクリックして反転表示させ、[OK] をクリックします。**
8. **[OK] をクリックします。**

   [印刷先のポート] ボックスに、本機へのネットワークパスが入力されます。

9. **[OK] をクリックしてプリンターのプロパティを閉じたあと、もう一度プリンターのプロパティを開きます。**
10. **[ポートの割り当て] タブをクリックします。**
11. **[見出しページ] と [ジョブ後に用紙を送る] のチェックを両方とも外します。**

    Windows のプリンタドライバー改ページを制御しているので、NetWare 上で設定する必要はありません。設定していると正しく印刷できない場合があります。

12. **[OK] をクリックし、プロパティを閉じます。**

Windows XP の場合

1. **印刷する本機のプリンタードライバーを、「ローカルプリンタ」としてインストールします。**

   インストールの途中で本機が使用するポートを選択しますが、どのポートを選んでもかまいません。通常は「LPT 1」を選んでください。

2. **[プリンタと FAX] ウィンドウを表示します。**
3. **印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。**
4. **[ポート] タブをクリックし、[ポートの構成] をクリックします。**
5. **[ネットワーク] をクリックし、[参照] をクリックします。**
6. **ネットワークツリー上で、NetWare のファイルサーバの名前をダブルクリックします。**

   作成されているキューが展開されます。

7. **印刷するキューをクリックして反転表示させ、[OK] をクリックします。**
8. **[OK] をクリックします。**

   [印刷先のポート] ボックスに、本機へのネットワークパスが入力されます。

9. [OK] をクリックしてプリンターのプロパティを閉じたあと、もう一度プリンターのプロパティを開きます。

10. [ポートの割り当て] タブをクリックします。

11. [見出しページ] と [ジョブ後に用紙を送る] のチェックを両方とも外します。

Windows のプリンタドライバー改ページを制御しているので、NetWare 上で設定する必要はありません。設定していると正しく印刷できない場合があります。

12. [OK] をクリックし、プロパティを閉じます。

補足

- 操作例は次の条件で設定しています。
    - NetWare のバージョン ...4.1J
    - ファイルサーバの名前 ...CAREE
    - キューの名前 ...R-QUEUE

参照

- プリンタードライバーのインストール方法については、使用説明書＜プリンター本体の操作＞「印刷するための準備」を参照してください。

NetWare で印刷するときの注意

NetWare 環境で印刷する場合の注意事項です。

フォームフィードの設定

NetWare 上で用紙送り（フォームフィード）の設定をしないでください。Windows のプリンタードライバーで改ページの制御を行っているため、NetWare 上で設定する必要はありません。設定していると正しく印刷できない場合があります。

- 用紙送りしないようにするには、使用している OS に応じて次のように設定します。
    - Windows 95/98/Me の場合はプリンターのプロパティの [プリンタ設定] タブで、[フォームフィード] のチェックを外します。

バナーページの設定

NetWare 上でバナーページの設定をしないでください。

- バナーページを付けないようにするには、使用している OS に応じて次のように設定します。
    - Windows 95/98/Me の場合はプリンターのプロパティの [プリンタ設定] タブで、[バナーの使用] のチェックを外します。

本機のリセット後に印刷するとき

本機のリセット後に印刷するときの注意事項です。

- リモートプリンタとして使用している本機をリセットすると、プリンターは 30 〜 40 秒後にいったんプリントサーバから切断され、そのあと再び接続されます。リセット後、切断されるまでの間も印刷ジョブは受け付けられますが、このジョブは実際には廃棄されて印刷されないことがあります。これは NetWare の仕様によるものです。
- 本機をリモートプリンタとして使用していて、リセットした直後に印刷するときは、プリントサーバ上でプリンターのステータスが未接続になったことを確認するか、リセットしてから 2 分程度待って印刷してください。

UNIX で印刷する

UNIX で印刷する場合の説明です。

UNIX の設定

UNIX で本機をネットワークプリンターとして使用する場合の、セットアップと本機の状態表示のしかたを説明します。

セットアップの作業を簡単に行えるようにインストールシェルが用意されています。インストールシェルは通常のリモートプリンターのセットアップ作業（/etc/hosts の設定、/etc/printcap の設定、スプールディレクトリの作成）をシェルスクリプトにより自動化して行います。

セットアップの流れ

- インストールシェルに対応したワークステーションの場合
  1. プリンターへの IP アドレスの設定
  2. インストールシェルの実行
- インストールシェルに対応しないワークステーションの場合
  1. プリンターへの IP アドレスの設定
  2. /etc/hosts の設定
- インストールシェルに対応しないワークステーションの場合（lpr コマンドを使う場合）
  1. プリンターへの IP アドレスの設定
  2. /etc/hosts の設定
  3. /etc/printcap の設定
  4. スプールディレクトリの作成

重要

- インストールシェルは次の 6 種類のワークステーションに対応しています。これ以外のワークステーションの場合はインストールシェルを使わないでセットアップしてください。
  - SunOS 4.x.x
  - Solaris 2.x（SunOS 5.x）、Solaris7、Solaris8
  - HP-UX
  - RedHat Linux
  - UnixWare
  - OpenServer
- RedHat 7.1 以降では、インストール時のセキュリティ設定により rsh/telnet が使用できないことがあります。セキュリティレベルを rsh/telnet で使用できるレベルに変更しておいてください。変更方法については RedHat の使用説明書を参照してください。
- NIS(Network Information Service) や DNS を使用している場合は、あらかじめサーバー側の設定をし、インストールシェルを実行してください。
- 同梱のプリンター設定ツールでも同様の設定ができるものがあります。それらを使用するときは各ツールのヘルプを参照してください。

本機の環境設定

あらかじめ設定する必要のあるネットワーク環境の説明です。

- TCP/IP プロトコルを有効にする（工場出荷時は有効です）。
- IP アドレスなど TCP/IP に関する項目を設定する。

参照

- ネットワーク環境の設定方法は、使用説明書＜プリンター本体の操作＞「プリンター本体の設定」を参照してください。

IP アドレスの確認

IP アドレスを設定したら正しく設定されたかどうかをワークステーション側から確認する必要があります。その際の確認する方法の説明です。

1. **「# ping 192.168.15.16」と入力して確認します。（IP アドレスが 192.168.15.16 の場合）**

   正しく設定されていると「192.168.15.16 is alive」と表示されます。

   間違って設定されていると「no answer from 192.168.15.16」と表示されます。

補足

- NIS を使用している場合はマスターサーバー上の /etc/hosts に、DNS を使用している場合はネームサーバー上のデータファイルに、IP アドレスとホスト名を追加します。追加後、ホスト名を使って正しく設定されたか確認してください。

  # ping ホスト名

- サーバーに登録したホスト名は IP アドレスの代わりに使用できます。

インストールシェルの実行

本機に IP アドレスを設定したら、インストールシェルを使ってワークステーションの印刷環境をセットアップします。そのセットアップの方法の説明です。

インストールシェルは ftp を使って本機から取り出します。

1. **本機を使用するワークステーションに root でログインします。**

   root でログインしないとインストールシェルが起動しません。

2. **インストールシェルを本機から取り出します。インストールシェルをコピーするディレクトリに移動します。**
3. **ftp コマンドで、設定した IP アドレスに接続します。**

   ```
   # ftp 192.168.15.16
   Connected to 192.168.15.16
   220 printer FTP server ready.
   Name(192.168.15.16:root:)
   ```

4. **ユーザー名の入力待ち画面では何も入力しないで [Return] キーを押します。**

   ```
   331 Password required for root.
   Password:
   ```

5. **パスワードの入力待ち画面では何も入力しないで [Return] キーを押します。**

   ```
   230 User root logged in.
   ftp>
   ```

6. **インストールシェルを取り出します。**

   ```
   ftp> get install
   ```

7. **ftp を終了します。**

   ```
   ftp> bye
   221 Goodbye.
   #
   ```

8. **インストールシェルを起動します。**

   ```
   # sh ./install
   ```

   カレントディレクトリであることを示すピリオド（.）を付けてください。

9. **使用している OS を数字で指定します。**

   ```
   Network printer install shell
    Copyright RICOH CO.,LTD. 1994-2000
    Select your workstation OS type.
     1. SunOS 4.x.x
     2. Solaris 2.x, Solaris 7-8(SunOS5.x)
     3. HP-UX
     4. UnixWare
     5. Linux
     6. OpenServer
     7. Quit
   Enter <1-7>:
   1
   ```

   「7」を指定するとインストールシェルは終了します。

10. **本機の IP アドレスを入力します。**

    ```
    Enter Printer host IP address <xxx.xxx.xxx.xxx> [return=skip]:
    192.168.15.16
    ```

    ここで入力した IP アドレスが /etc/hosts に設定されます。

    すでに本機のホスト名が登録されているときは、何も入力しないで [Return] キーを押します。このとき /etc/hosts には何も追加されません。

11. **本機のホスト名を入力します。**

    ```
    Enter Printer host name :
    ricoh
    ```

    ここで入力した名前が /etc/hosts と /etc/printcap に設定されます。ただし、前の手順で IP アドレスを入力しなかったとき、/etc/hosts には何も追加されません。

12. **本機の名前を設定します。**

    そのまま [Return] キーを押すと「default」に表示されている名前に設定されます。この名前を変更したいときは新しい名前を入力します。

    ここで入力した名前が /etc/printcap に設定されます。

    「default」には前の手順で入力したホスト名に _prn を付けた名前が表示されます。前の手順でホスト名を入力しなかったときは ricoh_prn と表示されます。

13. 印刷時のオプションを指定します。

オプションを指定しないときはそのまま [Return] キーを押します。

Enter remote printer name [default lp]:
filetype=R00
hosts file is modified
#

インストールシェルによるセットアップが終了します。

ここでオプションを指定すると、入力した文字列が /etc/printcap の rp ケーパビリティに設定されます。lpr で印刷すると、このオプションを使って印刷されます。

同じプリンターに対して異なるオプションを指定して印刷するときは、インストールシェルをもう一度実行し、オプションごとにエントリーを作成してください。

14. テスト印刷してみます。

lpr -Pricoh_prn ファイル名

参照

- /etc/printcap について詳しくは、P.124「/etc/hosts への IP アドレスとホスト名の追加」を参照してください。
- /etc/hosts について詳しくは、P.125「/etc/printcap へのエントリーの追加」を参照してください。
- 指定できるオプションについて詳しくは、P.129「オプション指定」を参照してください。

インストールシェルの実行結果

インストールシェルを実行すると印刷環境が自動的にセットアップされます。

ここでは、SunOS 4.x でインストールシェルを実行した場合にセットアップされる内容について説明します。

補足

- インストールシェルを使わないでセットアップする場合は、ここでの説明を参考に各ワークステーションのマニュアルを参照してください。

/etc/hosts への IP アドレスとホスト名の追加

/etc/hosts に追加される行の説明です。

- /etc/hosts に次の行が追加されます。

  192.168.15.16 ricoh # Network Printer

- 192.168.15.16 は IP アドレス、ricoh は本機のホスト名、# から行末まではコメントです。

補足

- /etc/hosts はネットワーク内で通信するすべてのホストの IP アドレスとホスト名を登録するファイルです。それぞれの項目はスペースかタブで区切られ、1 行で入力されます。
- NIS や DNS を使用していない場合は、本機をネットワークプリンターとして使用するすべてのワークステーション上の /etc/hosts に追加が必要です。

/etc/printcap へのエントリーの追加

/etc/printcap に追加される行の説明です。

- これは lpr コマンドを使って印刷するための設定です。lpr コマンドを使って印刷するには、/etc/hosts ファイルの設定に加え、/etc/printcap にネットワークプリンターのためのエントリーを追加し、スプールディレクトリを作成する必要があります。

  ricoh_prn|Ricoh Network Printer:/
  :rm=ricoh:/
  :rp=filetype=R00:/
  :sd=/usr/spool/ricoh_prnd:/
  :lf=/usr/adm/ricoh_prnd-errs:/
  :mx#0:

補足

- /etc/printcap は本機の名前や属性を登録するファイルです。本機をネットワークプリンターとして使用するすべてのワークステーションの /etc/printacap に、ネットワークプリンターのためのエントリーが必要です。
- 同じプリンターに対し異なるオプションを指定して印刷するときは、オプションごとにエントリーを作成してください。
- 1 つのエントリーはコロン（：）で複数のフィールドに区切られています。読みやすくするために途中に改行を入れることができ、その場合は改行の前にバックスラッシュ（\）を入力します。
- 1 行目のフィールドは本機の名前です。ワークステーションから本機を指定するときに、この名前を使います。名前を「|」で区切ることにより複数の名前を定義できます。
- 2 行目以降のフィールドは本機の属性です。本機の属性はケーパビリティと呼ばれる 2 文字の名前で表されます。ケーパビリティについて詳しくは、次の表を参照してください。

ケーパビリティ	説明	ネットワークプリンターのための設定値
lp	本機のデバイス名	何も指定しない
rm	本機のホスト名	/etc/hosts に登録したホスト名
rp	オプション指定	印刷時のオプションを指定します。
sd	スプールディレクトリのパス名	作成するスプールディレクトリのパス名
lf	ログファイル名のパス名	ログを格納するファイルのパス名 たとえば /usr/adm/lpd-errs
mx	スプールディレクトリにコピー可能なファイルの最大サイズ。0 を指定すると無制限、指定しないと 1024k バイト。	指定しない、または適当な値

参照

- 指定できるオプションについて詳しくは、P.129「オプション指定」を参照してください。

スプールディレクトリの作成

/usr/spool/ ディレクトリにスプールディレクトリが作成されます。名前は本機の名前の最後に d を付けた名前です。

補足

- スプールディレクトリは、印刷を行うデータファイルの一時的なコピーが作成されるなど、印刷ジョブを制御するために使われます。本機をネットワークプリンターとして使用するすべてのワークステーション上に、ネットワークプリンターのためのスプールディレクトリが必要です。
- スプールディレクトリは /etc/printcap に書き込まれたネットワークプリンターのエントリーごとに作成します。
- スプールディレクトリは通常 /usr/spool の下に作成します。スプールディレクトリは、/etc/printcap の中の sd ケーパビリティで指定したパス名と一致させ、オーナーとグループを daemon、許可モードを 775 に設定します。以下はスプールディレクトリとして /usr/spool/ricoh_prnd を作成するときのコマンド入力例です。

```
# cd /usr/spool
# mkdir ricoh_prnd
# chown daemon ricoh_prnd
# chgrp daemon ricoh_prnd
# chmod 775 ricoh_prnd
```

ログファイルの作成

/usr/adm ディレクトリにエラーのログファイルが作成されます。名前は本機の名前の最後に d-errs を付けた名前です。

印刷方法

使用しているワークステーションに応じたコマンド入力の説明です。

BSD 系 UNIX ワークステーションの場合

% lpr -P 本機の名前 ファイル名 [ファイル名 ...]

名前が ricoh_prn の本機に、名前が file1 と file2 のファイルを印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。

% lpr -Pricoh_prn file1 file2

Solaris、HP-UX の場合

% lp -d 本機の名前 ファイル名 [ファイル名 ...]

名前が ricoh_prn の本機に、名前が file1 と file2 のファイルを印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。

% lp -dricoh_prn file1 file2

補足

- 本機の名前は、インストールシェル実行時に入力した名前です。
- ファイル名には「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。
- 印刷するファイルのデータ形式と本機のエミュレーションモードを合わせてください。テキストデータの場合は RPDL などテキスト印刷が可能なモードにします。
- タブコードや漢字コードが本機と合っていないと正常に印刷されません。タブ制御や漢字での印刷を行う場合は、使用するエミュレーションモードとデータの設定を一致させてください。

- 「print requests full」のメッセージが表示されたときは、印刷要求が最大の状態です。（最大 5 セッション、スプール印刷機能が ON の場合最大 10 セッション。）印刷要求が 4 セッション（スプール印刷機能が ON の場合 9 セッション）以下になってから印刷し直してください。
- 搭載メモリーの増減によるセッション数の変化はありません。

rsh、rcp、ftp コマンドによる印刷

rsh、rcp、ftp コマンドを使って印刷することもできます。

補足

- OpenServer 5.06 以上では、rsh コマンドを rcmd コマンドと読み替えてください。
- 印刷するファイルのデータ形式と本機のエミュレーションモードを合わせてください。テキストデータの場合は RPDL などテキスト印刷が可能なモードにします。
- タブコードや漢字コードが本機と合っていないと正常に印刷されません。タブ制御や漢字での印刷を行う場合は、使用するエミュレーションモードとデータの設定を一致させてください。
- 「print requests full」のメッセージが表示されたときは、印刷要求がフルの状態です。印刷要求が少なくなってから印刷し直してください。各コマンドを使用したときの最大セッション数は次の通りです。
    - rsh/rcp：5
    - ftp：3

rsh

rch コマンドを使って印刷する場合のコマンド入力の説明です。

% rsh 本機のホスト名 print [オプション] < [ファイル名]

補足

- 本機のホスト名は、インストールシェル実行時に入力した本機のホスト名です。

参照

- オプションは、本機固有のものを指定できます。詳しくは P.129「オプション指定」を参照してください。

rcp

rcp コマンドを使って印刷する場合のコマンド入力の説明です。

ファイルを指定して印刷する場合

%rcp ファイル名［ファイル名 ...］本機のホスト名 :［オプション］

ディレクトリすべてのファイルを印刷する場合

% rcp -r ディレクトリ名 本機のホスト名：[オプション]

補足

- 本機のホスト名は、インストールシェル実行時に入力したホスト名です。
- ファイル名には「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。

参照

- オプションは、本機固有のものを指定できます。P.129「オプション指定」を参照してください。

ftp

印刷するファイル数に応じて put または mput コマンドを使います。

印刷するファイルが 1 つの場合

ftp> put ファイル名［オプション］

印刷するファイルが複数の場合

ftp> mput ファイル名 ［ファイル名 ...］

重要

- ファイル名に「=」、「,」、「_」および「;」は使用できません。ファイル名をオプション文字列と判断してしまいます。
- mput コマンドではオプションを指定できません。

ftp を起動してから印刷するまでの手順は次のようになります。

1. **本機の IP アドレス（またはホスト名）を引数にして ftp コマンドを起動します。**

   % ftp 本機の IP アドレス

   プリンターのホスト名は、インストールシェル実行時に入力したホスト名です。

2. **必要に応じてユーザー名を入力し、パスワードは何も入力しないで [Return] キーを押します。**

   Name:
   Password:

3. **バイナリーファイルを印刷するときは、ファイルのモードをバイナリーモードにします。**

   ftp> bin

   バイナリーファイルをアスキーモードで印刷すると、印刷データが変更され正しく印刷されないことがあります。

4. **印刷するファイルを指定します。**

   file1 という名前のファイルを RPDL で印刷する例

   ftp> put file1 filetype=R00

   file1 と file2 という名前のファイルを印刷する例

   ftp> mput file1 file2

5. **ftp を終了します。**

   ftp> bye

補足

- mput コマンドではファイル名に「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。

オプション指定

オプションを使うことにより、本機固有のプリンター機能を使った印刷ができます。指定可能なオプションの種類と動作は、エミュレーションにより異なります。

Solaris 2.6 以上でオプションを指定する場合

- Solaris 2.6 以上で複数のオプションを指定するときは、セミコロン（；）で区切ります。また、オプションにイコール (=) やカンマ (,) を含めることはできません。filetype をオプションに指定するときは、イコールの代わりにアンダーライン (_) を使って、filetype_RPS 省略形は fil_RPS のように入力してください。
- Solaris 2.6 以上でオプションを指定するときは、各コマンドで指定できるオプション数が異なります。
  - rsh/rcp 1
  - lpr/ftp 文字列制限の範囲内で複数指定可能

オプションに入力できる文字列について

- 本機が認識できるオプション文字列は最大 512 バイト（PostScript 3 は最大 256 バイト）です。
- OS によってはオプションとして入力できる文字数に制限があります。オプションの省略形を使っても文字数の制限を超えてしまう場合は、本機のプログラム登録を使ってください。

オプションを指定するコマンドを入力する場合

- 複数のオプションを指定するときはカンマ (,) で区切って入力します。
- 印刷するファイルの中にオプション指定を制御するコマンドが含まれている場合は、その内容が優先します。
- イコール (=) を含まないオプションを単独で指定するときは、オプションの先頭にカンマ (,) を追加します。

補足

- RTIFF でのオプション指定については、『RTIFF 使用説明書』を参照してください。

参照

- lpr で印刷するときのオプションはインストールシェル実行時に入力します。一度設定したオプションを変更する方法は、P.139「オプション指定の変更方法」を参照してください。

エミュレーションとプログラム

印刷時に使用するエミュレーションまたはプログラムを指定します。

filetype（または fil）＝エミュレーションの指定値（またはプログラム登録番号の指定値）

- エミュレーション：指定値

  RPCS：RCS

  RPDL：R00

  R98：R98

  R16：R16

  R55：R55

RP-GL/2：RGL

PostScript3：RPS

RTIFF：RTF

PDF：PDF

- プログラム登録番号：指定値

プログラム 1：P01

プログラム 2：P02

プログラム 3：P03

プログラム 4：P04

プログラム 5：P05

プログラム 6：P06

プログラム 7：P07

プログラム 8：P08

プログラム 9：P09

プログラム 10：P10

プログラム 11：P11

プログラム 12：P12

プログラム 13：P13

プログラム 14：P14

プログラム 15：P15

プログラム 16：P16

PostScript 3 で印刷場合のコマンド例（本機のホスト名 ricoh ファイル名 file1）

- ＜rsh＞ % rsh ricoh print filetype＝RPS ＜ file1
- ＜rcp＞ % rcp file1 ricoh:filetype＝RPS
- ＜ftp＞ ftp＞ put file1 filetype＝RPS

ftp の cd コマンドの利用

ftp で印刷する場合は、cd コマンドでオプションを指定しておけば、put または mput コマンド使用時にそのオプションが有効になります。

ftp＞ cd オプション

補足

- 搭載していないエミュレーションは指定しても無効です。
- 現在設定されているオプションを表示するには pwd コマンドを使います。

ftp＞ pwd

漢字フィルター

漢字フィルターを使用すると、作成したテキストファイルと同じ漢字コードで印刷できます。

重要

- エミュレーションが RPDL のときだけ有効です。漢字フィルターを指定するときはエミュレーションとして RPDL（filetype=R00）を指定します。

filter（または flt）＝漢字コード指定値

- 漢字コード：指定値（省略値）

  EUC：EUC(E)

  JIS：JIS(J)

  シフト JIS：SJIS(S)

EUC 漢字コードのテキストファイルを印刷する場合のコマンド例（本機のホスト名 ricoh、ファイル名 file1）

<rsh> % rsh ricoh print filetype=R00,filter=EUC < file1

<rcp> % rcp file1ricoh:filetype=R00,filter=EUC

<ftp> ftp> put file1 filetype=R00,filter=EUC

給紙トレイ

給紙トレイを指定します。

重要

- PostScript 3 またはエミュレーションが RPDL のときだけ有効です。
- 増設していないトレイを指定しても無効です。

RPDL

- tray= 給紙トレイの指定値（給紙トレイ：指定値）

  給紙トレイ 1：1

  給紙トレイ 2：2

  ・

  ・

  ・

  手差しトレイ：T
- 給紙トレイの指定値は機器情報（例 :ftp の get info -）で得られる給紙トレイ番号に対応しています。
- 機器情報は、次の手順で見ることができます。

  1. コンソールを使用できるようにします。
  2. 「ftp （本機の IP アドレス）」と入力し、[Return] キーを押します。
  3. [Return] キーを 2 回押します。
  4. 「get info -」と入力し、[Return] キーを押します。

     機器情報が表示されます。

5. 「bye」と入力し、[Return] キーを押します。
6. 「exit」と入力し、[Return] キーを押します。

   ワークステーションの画面に戻ります。

- 給紙トレイ 2 の用紙に印刷する場合のコマンド例（本機のホスト名 ricoh、ファイル名 file1）

  ＜rsh＞ % rsh ricoh print tray＝2 < file1

  ＜rcp＞ % rcp file1 ricoh:tray＝2

  ＜ftp＞ ftp＞ put file1 tray＝2

PostScript 3

- tray＝ 給紙トレイの指定値（給紙トレイ：指定値）

  給紙トレイ 1：tray1

  給紙トレイ 2：tray2

  給紙トレイ 3：tray3

  給紙トレイ 4：tray4

  LCT：lct

  手差しトレイ：bypass

  自動トレイ選択：all

- トレイ 2 の用紙に印刷する場合のコマンド例（プリンターのホスト名 ricoh ファイル名 file1）

  ＜rsh＞ % rsh ricoh print tray＝tray2 < file1

  ＜rcp＞ % rcp file1 ricoh:tray＝tray2

  ＜ftp＞ ftp＞ put file1 tray＝tray2

用紙サイズ

用紙サイズを指定します。

重要

- PostScript 3 またはエミュレーションが RPDL のときだけ有効です。
- 存在しない用紙サイズは指定しても無効です。

PostScript 3

- paper＝ 用紙サイズの指定値

  指定値：a3（A3），a4（A4），a5（A5），a6（A6），jisb4（B4），jisb5（B5），jisb6（B6），ledger（11×17），letter（81/2×11），halfletter（51/2×81/2），legal（81/2×14），jpost（はがき），jpostd（往復はがき），custom（不定形サイズ），a3wide（12×18）

- A3 の用紙に印刷する場合ののコマンド例（本機のホスト名 ricoh ファイル名 file1）

  ＜rsh＞ % rsh ricoh print paper＝a3 < file1

  ＜rcp＞ % rcp file1 ricoh:paper＝a3

  ＜ftp＞ ftp＞ put file1 paper＝a3

RPDL

- paper＝ 用紙サイズの指定値（指定値：用紙サイズ）

  A3R：A3(ヨコ)

  A4R：A4(ヨコ)

  A4：A4(タテ)

  A5R：A5(ヨコ)

  A5：A5(タテ)

  B4R：B4(ヨコ)

  B5：B5(ヨコ)

  B5：B5(タテ)

  B6R：B6(ヨコ)

  A6R：A6(ヨコ)

  PCR：ハガキ(ヨコ)

  DLR：11×17(ヨコ)

  LGR：81/2×14(ヨコ)

  LTR：81/2×11(ヨコ)

  LT：81/2×11(タテ)

  HLR：51/2×81/2(ヨコ)

  28NR：A3 ノビ(ヨコ)

  WPC：往復ハガキ(タテ)

  WPCR：往復ハガキ(ヨコ)

- A3 の用紙に印刷する場合のコマンド例（本機のホスト名 ricoh ファイル名 file1）

  ＜rsh＞ % rsh ricoh print paper＝A3R ＜ file1

  ＜rcp＞ % rcp file1 ricoh:paper＝A3R

  ＜ftp＞ ftp＞ put file1 paper＝A3R

用紙種類

用紙の種類を指定します。

重要

- PostScript 3 のときだけ有効です。
- 存在しない用紙種類は指定しても無効です。

mediatype= 用紙種類の指定値

- 指定値：plain（普通紙）, letterhead（レターヘッド付き用紙）, transparency（OHP フィルム）, recycled（再生紙）, color（色紙）, special（特殊紙）, thick（厚紙）, plainduplexbackside（普通紙裏面印刷）、thickduplexbackside（厚紙裏面印刷）、plainorrecycled（普通紙 / 再生紙）

再生紙の用紙に印刷する場合のコマンド例（本機のホスト名 ricoh、ファイル名 file1）

<rsh> % rsh ricoh print mediatype=recycled < file1

<rcp> % rcp file1 ricoh:mediatype=recycled

<ftp> ftp> put file1 mediatype=recycled

排紙トレイ

排紙トレイを指定します。

重要

- PostScript 3 またはエミュレーションが RPDL のときだけ有効です。
- 存在しないトレイは指定しても無効です。

RPDL

bin= 排紙トレイの指定値

排紙トレイ番号 2 のトレイに排紙する場合のコマンド例（本機のホスト名 ricoh、ファイル名 file1）

<rsh> % rsh ricoh print bin=2 < file1

<rcp> % rcp file1 ricoh:bin=2

<ftp> ftp> put file1 bin=2

- 排紙トレイの指定値は機器情報（例 :ftp の get info -）で得られる排紙トレイ番号に対応しています。
- 機器情報は、次の手順で見ることができます。

1. コンソールを使用できるようにします。
2. 「ftp（本機の IP アドレス）」と入力し、[Return] キーを押します。
3. [Return] キーを 2 回押します。
4. 「get info -」と入力し、[Return] キーを押します。

   プリンター情報が表示されます。
5. 「bye」と入力し、[Return] キーを押します。
6. 「exit」と入力し、[Return] キーを押します。

   ワークステーションの画面に戻ります。

参照

- 排紙トレイ番号以外にアルファベットで指定することもできます。詳しくは P.271「機器情報」を参照してください。

PostScript 3

- outbin＝ 排紙トレイの指定値（排紙トレイ：指定値）

  本体排紙トレイ：upper または optionaloutbin1

  本体左上トレイ：lower

  2000 枚フィニッシャー排紙トレイ：finisherproof

  2000 枚フィニッシャー・トレイ 2：finishershift

  4 ビンプリントポスト 上トレイ 1 〜 4：optionaloutbin2 〜 5
- 本体左上トレイに排紙する場合のコマンド例（本機のホスト名 ricoh、ファイル名 file1）

  ＜rsh＞ % rsh ricoh print outbin＝lower ＜ file1

  ＜rcp＞ % rcp file1 ricoh:outbin＝lower

  ＜ftp＞ ftp＞ put file1 outbin＝lower

印刷部数

印刷部数を指定します。

重要

- PostScript 3 またはエミュレーションが RPDL のときだけ有効です。
- 漢字フィルターを指定すると、印刷部数の指定は無効になります。
- PostScript 3 の場合、「qty」と同時に指定しないでください。

copies= 印刷部数（1 〜 999）

10 印刷する場合のコマンド例（本機のホスト名 ricoh ファイル名 file1

＜rsh＞ % rsh ricoh print copies＝10 ＜ file1

＜rcp＞ % rcp file1 ricoh:copies＝10

＜ftp＞ ftp＞ put file1 copies＝10

ソート部数

ソートする印刷部数を指定します。

重要

- PostScript 3 または PDF のときに有効です。
- 「copies」と同時に指定しないでください。

qty= ソート部数（1 〜 999）

10 部ソートして印刷する場合のコマンド例（本機のホスト名 ricoh、ファイル名 file1）

＜rsh＞ % rsh ricoh print qty＝10 ＜ file1

＜rcp＞ % rcp file1 ricoh:qty＝10

＜ftp＞ ftp＞ put file1 qty＝10

両面印刷

両面印刷と綴じ方向を指定します。

重要

- PostScript 3、またはエミュレーションが RPDL のときだけ有効です。
- 本機オプションの両面ユニットが必要です。

RPDL

- bothside または bothleft（左とじ）

  bothright（右とじ）

  flip（上とじ）

  singleside（両面印刷の解除：片面印刷）

- 左とじで両面印刷する場合のコマンド例（本機のホスト名 ricoh、ファイル名 file1

  <rsh> % rsh ricoh print bothside < file1

  <rcp> % rcp file1 ricoh:bothside

  <ftp> ftp> put file1 bothside

補足

- 印刷オプションに漢字フィルターを指定している場合、両面印刷されないことがあります。このようなときは、漢字フィルターの指定をしないでください。
- 印刷データによって印刷したあと両面印刷が解除されないことがあります。次の印刷時にも両面印刷されるときは singleside を指定してください。

PostScript 3

duplex=on（両面印刷する）

duplex=off（両面印刷しない）

binding=longedge（両面印刷時の綴じ位置の設定：長辺）

binding=shortedge（両面印刷時の綴じ位置の設定：短辺）

binding=left（両面印刷時の綴じ位置の設定：左）

binding=top（両面印刷時の綴じ位置の設定：上）

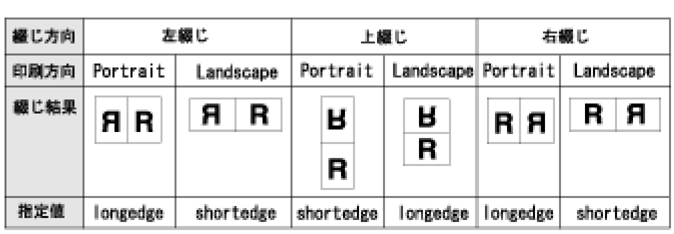
binding=right（両面印刷時の綴じ位置の設定：右

- 両面印刷で綴じ位置を長辺にする場合のコマンド例（本機のホスト名 ricoh、ファイル名 file1）

  <rsh> % rsh ricoh print duplex on, binding=longedge < file1

  <rcp> % rcp file1 ricoh:duplex on, binding=longedge

  <ftp> ftp> put file1 duplex on, binding=longedge



綴じ方向	左綴じ		上綴じ		右綴じ	
印刷方向	Portrait	Landscape	Portrait	Landscape	Portrait	Landscape
綴じ結果						
指定値	longedge	shortedge	shortedge	longedge	longedge	shortedge

解像度

印刷する解像度を指定します。

重要

- PostScript 3 または PDF のときに有効です。

resolution= 解像度（300,600,1200）

600dpi で印刷する場合のコマンド例（本機のホスト名 ricoh、ファイル名 file1）

＜rsh＞ % rsh ricoh print resolution＝600 < file1

＜rcp＞ % rcp file1 ricoh:resolution＝600

＜ftp＞ ftp＞ put file1 resolution＝600

補足

- 300dpi の印刷は本機の操作部で設定することはできません。オプション指定をした場合に限り使用できます。

ステープル

印刷物をステープルで綴じるときに指定します。

重要

- 本機にオプションの 2000 枚フィニッシャーが必要です。
- エミュレーションが PostScript 3 のときだけ有効です。

staple= ステープル位置の指定値（ステープル位置：指定値）

左上 1ヶ所：lefttop

右上 1 ヶ所：righttop

左上に斜めに 1 ヶ所：lefttopslantport または lefttopslantland

右上に斜めに 1 ヶ所：righttopslantport または righttopslantland

左 2 ヶ所：left2port または left2land

右 2 ヶ所：right2port または right2land

上 2 ヶ所：top2port または top2land

左上 1 所をステープルで綴じる場合のコマンド例（本機のホスト名 ricoh、ファイル名 file1

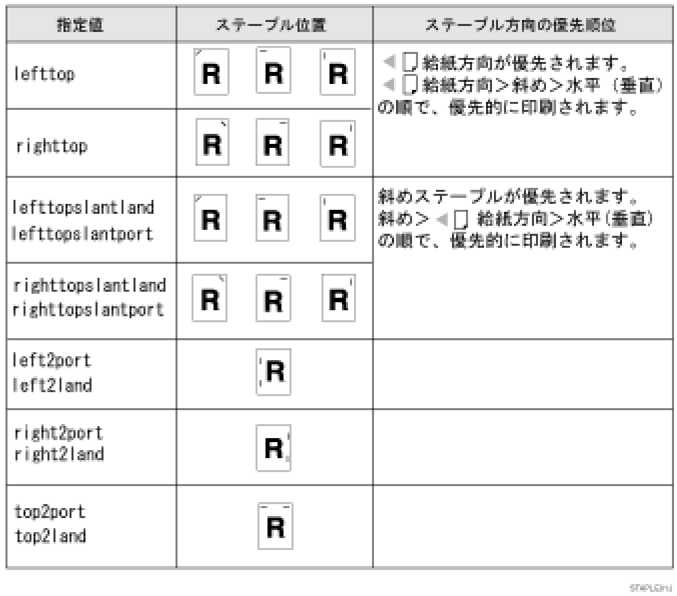
＜rsh＞ % rsh ricoh print staple＝lefttop < file1

＜rcp＞ % rcp file1 ricoh:staple＝lefttop

＜ftp＞ ftp＞ put file1 staple＝lefttop

参照

- ステープルについて詳しくは、使用説明書<プリンター本体の操作>「付録」を参照してください。



指定値	ステープル位置	ステープル方向の優先順位
lefttop	R R R	◀ 給紙方向が優先されます。 ◀ 給紙方向>斜め>水平（垂直）の順で、優先的に印刷されます。
righttop	R R R	
lefttopslantland lefttopslantport	R R R	斜めステープルが優先されます。 斜め>◀ 給紙方向>水平(垂直)の順で、優先的に印刷されます。
righttopslantland righttopslantport	R R R	
left2port left2land	R	
right2port right2land	R	
top2port top2land	R	

パンチ

印刷物にパンチ穴をあけるときに指定します。

重要

- 本機にオプションの 2000 枚フィニッシャーが必要です。
- エミュレーションが PostScript 3 のときだけ有効です。

punch= パンチ位置の指定値（パンチ位置：指定値）

左：leftport または leftland

右：rightport または rightland

上：topport または topland

用紙の左側にパンチする場合のコマンド例（本機のホスト名 ricoh、ファイル名 file1）

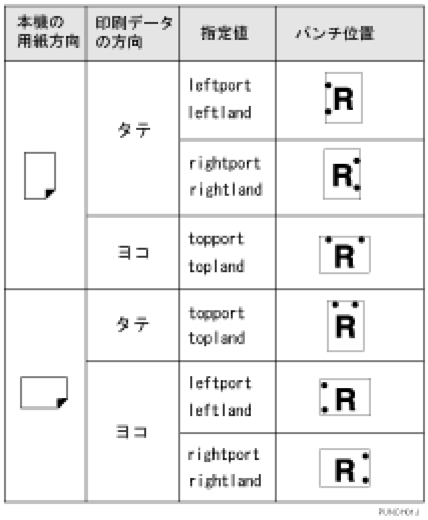
<rsh> % rsh ricoh print punch=leftport < file1

<rcp> % rcp file1 ricoh:punch=leftport

<ftp> ftp> put file1 punch=leftport

参照

- パンチについて詳しくは、使用説明書<プリンター本体の操作>「付録」を参照してください。



本機の用紙方向	印刷データの方向	指定値	パンチ位置
	タテ	leftport leftland	
	タテ	rightport rightland	
	ヨコ	topport topland	
	タテ	topport topland	
	ヨコ	leftport leftland	
	ヨコ	rightport rightland	

オプション指定の変更方法

lpr で印刷するときにはインストールシェル実行時に指定したオプションが使われます。一度設定したオプションを変更したい場合は、使用しているワークステーションに応じて次のように操作します。

BSD 系 UNIX ワークステーション

/etc/printcap から修正する本機のエントリーを削除し、インストールシェルを使ってもう一度セットアップします。セットアップの際に、新しいオプションを指定します。

または、/etc/printcap から修正する本機のエントリーを探し、その rp ケーパビリティを新しいオプション指定に修正します。

Solaris、HP-UX

修正する本機のエントリーを削除し、インストールシェルを使ってもう一度セットアップします。セットアップの際に、新しいオプションを指定します。プリンターのエントリーを削除するには、次のように操作します。

1. スケジューラを停止します。

   # /usr/sbin/lpshut

2. 本機を削除します。

   # /usr/sbin/lpadmin -x 本機の名前

3. スケジューラを再起動します。

   # /usr/lib/lp/lpsched

参照

- インストールシェルの使用について詳しくは、P.122「インストールシェルの実行」を参照してください。
- /etc/printcap について詳しくは、P.125「/etc/printcap へのエントリーの追加」を参照してください。

本機の状態表示

BSD 系 UNIX ワークステーションの場合、コマンドを使って本機の状態や情報を表示したりファイルにコピーしたりすることができます。

状態を表示する

本機の状態を表示するためのコマンドの説明です。

- lpq コマンドを使って本機の状態（ステータス）と印刷ジョブ情報を表示できます。

  % lpq -P 本機の名前

- rsh コマンドまたは ftp を使って、指定したパラメーターに応じた内容を表示できます。

  % rsh 本機のホスト名 パラメーター

  % ftp 本機のホスト名

  User: ユーザー名

  password:ftp> get パラメーター

- rsh、rcp、ftp で指定できるパラメーターには次の種類があります。

  （パラメーター：表示またはコピーできる内容⇒参照先）

  stat：機器の状態（ステータス）⇒P.264「機器の状態」

  stat：印刷ジョブの情報（印刷ジョブ情報）⇒P.263「印刷ジョブ情報」

  info：給紙トレイ、排紙トレイ、搭載しているエミュレーション（機器情報）⇒P.271「機器情報」

  prnlog：これまでに印刷した 20 件分の記録（プリントログ情報）⇒P.263「プリントログ情報」

  syslog：ネットワークインターフェースボードに関して発生したメッセージの記録（システムログ情報）⇒P.279「システムログ情報」

ファイルにコピーする

rcp コマンドまたは ftp を使って、指定したパラメーターに応じた内容をファイルにコピーできます。

% rcp 本機のホスト名：パラメーター ファイル名

% ftp 本機のホスト名
User: ユーザー名
password:
ftp> get パラメーター ファイル名

補足

- パラメーターの種類は表示する場合と同じです。

印刷の中止

印刷を中止する場合は、本機とパソコン両方から行います。中止する方法は印刷データの状態によって異なります。

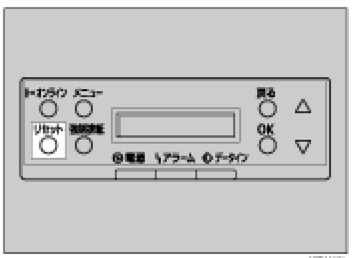
中止したいデータが印刷されているとき

印刷をキャンセルします。

重要

- データが印刷されていなくても、データインランプが点滅・点灯していればプリンターはデータを受信しています。
- 複数のコンピュータでプリンターを共有している場合は、他のコンピュータからのジョブを誤ってキャンセルしないように注意してください。

1. **オンラインランプが点灯していることを確認し、[リセット] キーを押します。**



操作部のディスプレイに「ジョブリセットシマスカ？」と表示されます。

2. **[▲]（上三角）または [▼]（下三角）キーを押して、印刷中のジョブだけを中止するか、すべてのジョブを中止するかを選択します。**
   - 印刷中のジョブだけを中止する場合

ジ゛ョブ゛リセットシマスカ？ カレントジ゛ョブ゛

   - すべてのジョブを中止する場合

ジ゛ョブ゛リセットシマスカ？ スベテノジ゛ョブ゛

印刷を継続する場合は、「インサツケイゾク」を選択して [OK] を押します。

3. **[OK] を押します。**

確認のメッセージが表示されます。[OK] を押さずに [戻る] を押すと、印刷は継続されます。

4. **[OK] を押します。**

「ジョブリセットチュウ」と表示され、印刷が中止されます。

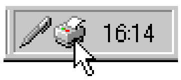
補足

- 印刷を中止したデータが再び印刷される場合は、インターフェース設定の「I/F 切替時間」を長く設定してください。

中止したいデータが印刷されていないとき

データが印刷されていなくても、データインランプが点滅・点灯していればプリンターはデータを受信しています。その場合の印刷中止の説明です。

1. **Windows のタスクバーのプリンターアイコンをダブルクリックします。**



印刷中のプリンターのウィンドウが開くので、印刷を中止する文書の状態を確認します。

2. **印刷を中止する文書のドキュメント名をクリックして反転表示させます。**
3. **[ドキュメント] メニューの [印刷中止] をクリックします。**



印刷が中止されます。

補足

- 印刷中のプリンターのウィンドウを開くには、[プリンタ] ウィンドウでプリンターのアイコンをダブルクリックする方法もあります。
- ネットワークプリンターとしてご使用の場合、他のユーザーのドキュメントをローカルのパソコンから削除することはできません。
- [プリンタ] メニューの [印刷ドキュメントの削除] をクリックすると、印刷待ち状態のすべてのドキュメントが削除されます。ただし、ネットワークプリンターとしてご使用の場合、他のユーザーのドキュメントをローカルのパソコンから削除することはできません。
- 印刷中止の選択をした文書の印刷が開始している場合は、プリンターのウィンドウからドキュメント名が消えるまで、多少時間がかかります。

4. いろいろな印刷方法

2 種類の設定画面

RPCS プリンタードライバーの設定画面は、「機能別ウィンドウ」と「ワンクリック設定」の 2 つの表示タイプがあります。

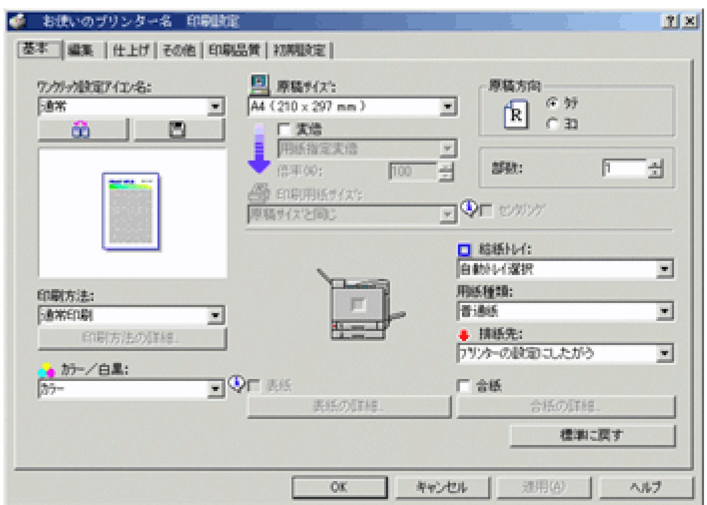
- プリンタードライバーをインストールした直後は「機能別ウィンドウ」が選択されています。

  [機能別ウィンドウ] と [ワンクリック設定] の表示タイプの切り替えは、[初期設定] タブの [ウィンドウタイプの切り替え] あるいは、[印刷機能] タブの [初期設定]-[ウィンドウタイプの切り替え] で選択します。

  機能別ウィンドウとワンクリック設定では、表示される項目が異なることがあります。

機能別ウィンドウ

印刷のたびに設定を変更することが多く、さまざまな印刷をする場合に便利なウィンドウタイプです。



ワンクリック設定

あまり印刷条件を変えず、いつも決まった印刷のしかたをする場合に便利なウィンドウタイプです。



補足

- [ワンクリック設定] の表示は、オプションの装着状態によって変化することがあります。
- プリンタードライバーをインストールした直後は、ワンクリック設定名のリストの中に、利用できない機能が登録されていることがあります。利用できない機能の登録を削除したいときは、[アイコンの管理] を使います。プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

プリンタードライバーの設定画面を表示する

プリンタードライバーの設定画面では、印刷に関する各種の設定ができます。ここではプリンタードライバーの設定画面の表示方法を説明します。

初期設定画面を表示する

Windows からプリンターのプロパティを表示させると、印刷に関する初期値を設定することができます。

Windows 95/98/Me の場合

1. **[スタート] から [プリンタ] ウィンドウを表示します。**
2. **初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。**

   プリンターのプロパティが表示されます。

Windows 2000 の場合（プロパティ）

1. **[スタート] から [プリンタ] ウィンドウを表示します。**
2. **初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。**

   プリンターのプロパティが表示されます。

補足

- アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

Windows 2000 の場合（印刷設定）

1. **[スタート] から [プリンタ] ウィンドウを表示します。**
2. **初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [印刷設定] をクリックします。**

   印刷設定が表示されます。

補足

- アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

Windows XP、Windows Server 2003 の場合（プロパティ）

1. **[スタート] から [プリンタと FAX] ウィンドウを表示します。**
2. **初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[プリンタのプロパティの設定] をクリックします。**

   プリンターのプロパティが表示されます。

補足

- Windows XP Professional、Windows Server 2003 でご使用の場合、プリンターのプロパティの内容を変更するには「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、Administrators または Power Users グループのメンバーとしてログオンしてください。
- プリンターのプロパティの設定をユーザーごとに変えることはできません。プリンタープロパティで行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの設定になります。
- アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

Windows XP、Windows Server 2003 の場合（印刷設定）

1. **[スタート] から [プリンタと FAX] ウィンドウを表示します。**
2. **初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [印刷設定] をクリックします。**

   印刷設定が表示されます。

補足

- Windows XP Professional、Windows Server 2003 でご使用の場合、印刷設定の内容を変更するには「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、Administrators または Power Users グループのメンバーとしてログオンしてください。
- 印刷設定をユーザーごとに変えることはできません。印刷設定で行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの設定になります。
- アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

Windows NT 4.0 の場合（プロパティ）

1. **[スタート] から [プリンタ] ウィンドウを表示します。**
2. **初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。**

   プリンターのプロパティが表示されます。

補足

- プリンターのプロパティの内容を変更するには「フルコントロール」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、Administrators または Power Users グループのメンバーとしてログオンしてください。
- プリンターのプロパティの設定をユーザーごとに変えることはできません。プリンタープロパティで行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの設定になります。
- アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

Windows NT 4.0 の場合（ドキュメントの既定値）

1. **[スタート] から [プリンタ] ウィンドウを表示します。**
2. **初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [ドキュメントの既定値] をクリックします。**

   ドキュメントの既定値が表示されます。

補足

- ドキュメントの既定値の内容を変更するには「フルコントロール」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、Administrators または Power Users グループのメンバーとしてログオンしてください。
- ドキュメントの既定値をユーザーごとに変えることはできません。プリンタープロパティで行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの設定になります。
- アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

アプリケーションから設定画面を表示する

アプリケーションからプリンターの設定画面を表示させると、印刷するアプリケーションだけに有効な設定ができます。

Windows 95/98/Me の場合

1. **[ファイル] メニューの [印刷] をクリックします。**
2. **[プリンタ名] を確認し、[プロパティ] をクリックします。**

   プリンターのプロパティが表示されます。

Windows 2000 の場合

1. **[ファイル] メニューの [印刷] をクリックします。**
2. **[プリンタ名] を確認し、[プロパティ] をクリックします。**

   プリンターのプロパティが表示されます。

Windows XP、Windows Server 2003 の場合

1. **[ファイル] メニューの [印刷] をクリックします。**
2. **[プリンターの選択] を確認し、[詳細設定] をクリックします。**

   [詳細設定] ダイアログが表示されます。

Windows NT 4.0 の場合

1. **[ファイル] メニューの [印刷] をクリックします。**
2. **[プリンタ名] を確認し、[プロパティ] をクリックします。**

   プリンターのプロパティが表示されます。

補足

- 実際の表示の手順はアプリケーションによって多少異なります。詳しくはアプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。
- ここでの設定は印刷するアプリケーションでのみ有効な設定です。
- アプリケーションによっては印刷の初期値を変更するものもあります。

いろいろな印刷方法

ここでは、プリンタードライバーの機能を使ったいろいろな印刷方法を説明します。また、各設定をワンクリック設定に登録しておくこともできます。

給紙するトレイを選択する

印刷する用紙の給紙トレイを選択できます。

- 通常、給紙トレイとして「自動トレイ選択」を選択しておくと、印刷用紙サイズと用紙種類に応じたトレイが自動的に選択されます。しかし、同じサイズの用紙が複数のトレイにセットされている場合は、意図した用紙に印刷されないことがあります。用紙を確実に選択するために、給紙するトレイを指定して印刷できます。

1. **アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **ウィンドウタイプとして「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブをクリックします。**

   「機能別ウィンドウ」を選択しているときは、[基本] タブをクリックします。
3. **[給紙トレイ] ボックスのドロップダウンメニューから給紙するトレイを選択します。**
4. **その他の印刷条件を必要に応じて指定し、[OK] をクリックします。**

   プリンタードライバーの設定画面が閉じます。
5. **印刷の指示をします。**

補足

- 「機能別ウィンドウ」選択時は、機器の絵の上でトレイをクリックしても選択できます。給紙するトレイは絵の中では青枠で示されます。
- 「自動トレイ選択」時、青枠は表示されません。

印刷する用紙の種類を選択する

印刷する用紙の種類を選択できます。

- サイズが同じで種類が異なる用紙がセットされている場合、意図した用紙に印刷されないことがあります。用紙を確実に選択するために、用紙の種類を指定して印刷できます。

1. **アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **ウィンドウタイプとして「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブをクリックします。**

   「機能別ウィンドウ」を選択しているときは、[基本] タブをクリックします。
3. **[用紙種類] ボックスのドロップダウンメニューから印刷する用紙の種類を選択します。**
4. **その他の印刷条件を必要に応じて指定し、[OK] をクリックします。**

   プリンタードライバーの設定画面が閉じます。
5. **印刷の指示をします。**

排紙するトレイを選択する

印刷された用紙の排紙先を選択できます。

1. **アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの設定画面を表示します**
2. **ウィンドウタイプとして「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブをクリックします。**

   「機能別ウィンドウ」を選択しているときは、[基本] タブをクリックします。
3. **[排紙先] ボックスのドロップダウンメニューから排紙するトレイを選択します。**
4. **その他の印刷条件を必要に応じて指定し、[OK] をクリックします。**

   プリンタードライバーの設定画面が閉じます。
5. **印刷の指示をします。**

補足

- 「機能別ウィンドウ」選択時は、機器の絵の上でトレイをクリックしても選択できます。排紙するトレイは絵の中では赤い下向き矢印で示されます。
- 「プリンターの設定にしたがう」選択時、赤い下向き矢印は表示されません。

複数部数を印刷する

同じ文書を複数部数指定して印刷できます。

1. **アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **ウィンドウタイプとして「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブをクリックします。**

   「機能別ウィンドウ」を選択しているときは、[基本] タブをクリックします。
3. **[部数] ボックスに印刷する部数（1 ～ 999）を入力します。**
4. **その他の印刷条件を必要に応じて指定し、[OK] をクリックします。**

   プリンタードライバーの設定画面が閉じます。
5. **印刷の指示をします。**

補足

- ソート機能を使用しない場合は 1 → 1、2 → 2、3 → 3 のようにページ単位で印刷されます。ソート機能を使用すると、1 → 2 → 3、1 → 2 → 3、のように部単位で印刷されます。

レイアウトを変える

レイアウトを変えて印刷できます。

用紙サイズに合わせて拡大・縮小する（用紙指定変倍）

原稿サイズと用紙サイズを指定すると、サイズに合わせて拡大・縮小して印刷できます。A3 の文書を A4 に縮小するような、定形サイズの変倍にはこの方法が便利です。

1. **アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **ウィンドウタイプとして「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブをクリックします。**

   「機能別ウィンドウ」を選択しているときは、[基本] タブをクリックします。
3. **[原稿サイズ] と [原稿方向] がアプリケーションで設定した内容と一致していることを確認します。**

   通常はアプリケーションで設定した内容が反映されていますが、アプリケーションによっては反映されないものがあります。内容が違うときは設定を変更してください。
4. **「機能別ウィンドウ」選択時は、[変倍] をクリックしてチェックを付け、ドロップダウンメニューから「用紙指定変倍」を選択します。**
5. **[印刷用紙サイズ] ボックスのドロップダウンメニューから印刷する用紙サイズを選択します。**

   実際に給紙トレイに入っているサイズを選択してください。「ワンクリック設定」選択時、先頭に × 印が付いている用紙は選択できません
6. **その他の印刷条件を必要に応じて指定し、[OK] をクリックします。**

   プリンタードライバーの設定画面が閉じます。
7. **印刷の指示をします。**

倍率を指定して拡大・縮小する（ズーム・独立変倍）

倍率を 1% 刻みに 20 ～ 300% の範囲で指定して印刷できます。余白を付けて少し小さめに印刷するなど、自由な設定ができます。

1. **アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **ウィンドウタイプとして「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブで [アイコンの変更／新規作成] をクリックし、[基本] タブをクリックします。**

   「機能別ウィンドウ」を選択しているときは、[基本] タブをクリックします。
3. **[変倍] をクリックしてチェックを付け、ドロップダウンメニューから「ズーム」または「独立変倍」を選択します。**
4. **ズームを選択したときは [倍率] ボックスに倍率を入力します。**

   入力範囲は 20 ～ 300% です。

5. **独立変倍を選択したときは縦横の倍率を入力するダイアログが表示されるので、それぞれの倍率を入力して [OK] をクリックします。**
6. **「ワンクリック設定」選択時は [名前をつけて保存] または [上書き保存] をクリックし、設定を保存します。**
7. **その他の印刷条件を必要に応じて指定し、[OK] をクリックします。**

   プリンタードライバーの設定画面が閉じます。
8. **印刷の指示をします。**

補足

- 指定のしかたには縦横を同じ倍率で指定する「ズーム」と、縦横の倍率をそれぞれ指定する「独立変倍」があります。

センタリングして印刷する

ズームまたは独立変倍を使って縮小した場合、用紙の片側に広い余白ができることがあります。このようなときにセンタリングの機能を使うと、画像を用紙の中央に印刷し、上下・左右の余白を均等にすることができます。

1. **アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **ウィンドウタイプとして「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブで [アイコンの変更／新規作成] をクリックし、[基本] タブをクリックします。**

   「機能別ウィンドウ」を選択しているときは、[基本] タブをクリックします。
3. **[変倍] をクリックしてチェックを付け、ドロップダウンメニューから「ズーム」または「独立変倍」を選択します。**
4. **倍率を指定します。**
5. **[センタリング] をクリックしてチェックを付けます。**
6. **「ワンクリック設定」選択時は [名前をつけて保存] または [上書き保存] をクリックし、設定を保存します。**
7. **その他の印刷条件を必要に応じて指定し、[OK] をクリックします。プリンタードライバーの設定画面が閉じます。**
8. **印刷の指示をします。**

補足

- センタリングを指定しないときは用紙の左上が基準になります。

複数のページを 1 枚の用紙に印刷する

複数ページを 1 ページにまとめて印刷できます。この機能を集約と呼びます。

1. **アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **ウィンドウタイプとして「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブで [アイコンの変更／新規作成] をクリックし、[編集] タブをクリックします。**

   「機能別ウィンドウ」を選択しているときは、[編集] タブをクリックします。

3. **[集約／拡大連写] をクリックしてチェックを付け、ドロップダウンメニューから集約する枚数を選択します。**

   「拡大連写」は集約とは異なる機能ですので選択しないでください。

4. **選択した集約枚数に応じてページの並べ方を示したアイコンが表示されるので、希望する並べ方のアイコンをクリックします。**

   アイコンは選択されている原稿方向に応じて縦または横で表示されます。

5. **集約したページを仕切る点線を印刷するときは [仕切り線] をクリックしてチェックを付けます。**

6. **「ワンクリック設定」選択時は [名前をつけて保存] または [上書き保存] をクリックし、設定を保存します。**

7. **その他の印刷条件を必要に応じて指定し、[OK] をクリックします。**

   プリンタードライバーの設定画面が閉じます。

8. **印刷の指示をします。**

補足

- 集約時は指定した用紙サイズと集約枚数に応じて自動的に拡大･縮小します。例えば A4 の原稿 2 ページ分を A4 の用紙に印刷するときは縮小し、A5 の原稿 4 ページ分を A3 の用紙に印刷するときは等倍で印刷します。
- 1 つの文書内に原稿方向の異なるページがある場合は、そのページの前で改ページします。
- 同じ機能を設定できるアプリケーションの場合は、アプリケーション側では機能を設定せず、プリンタードライバーだけで設定してください。

1 ページを複数枚に分けて印刷する

1 ページを複数枚の用紙に分けて印刷し、ポスター大の印刷物を作ることができます。この機能を拡大連写と呼びます。

重要

- [とじしろ] と同時に指定することはできません。

1. **アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの設定画面を表示します。**

2. **ウィンドウタイプとして「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブで [アイコンの変更／新規作成] をクリックし、[編集] タブをクリックします。**

   「機能別ウィンドウ」を選択しているときは、[編集] タブをクリックします。

3. **[集約／拡大連写] をクリックしてチェックを付け、ドロップダウンメニューから「拡大連写」を選択します。**

4. **連写する枚数のアイコンをクリックします。**

   アイコンは選択されている原稿方向に応じて縦または横で表示されます。

5. **「ワンクリック設定」選択時は [名前をつけて保存] または [上書き保存] をクリックし、設定を保存します。**

6. **その他の印刷条件を必要に応じて指定し、[OK] をクリックします。**

   プリンタードライバーの設定画面が閉じます。

7. **印刷の指示をします。**

補足

- 拡大率は指定した用紙サイズと分割枚数に応じて決まります。
- 用紙の端から 15mm の部分をのりしろとして印刷します。印刷された用紙を張り合わせるときは、端から 15mm を重ねると、継ぎ目が目立たなくなります。

180 度回転して印刷する

画像を 180 度回転して印刷します。

向きのある用紙に印刷する場合で、画像と用紙の向きが反対になるときに使用します。

1. **アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **ウィンドウタイプとして「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブで [アイコンの変更／新規作成] をクリックし、[その他] タブをクリックします。**

   「機能別ウィンドウ」を選択しているときは、[その他] タブをクリックします。
3. **[180 度回転] をクリックしてチェックを付けます。**
4. **「ワンクリック設定」選択時は [名前をつけて保存] または [上書き保存] をクリックし、設定を保存します。**
5. **その他の印刷条件を必要に応じて指定し、[OK] をクリックします。**

   プリンタードライバーの設定画面が閉じます。
6. **印刷の指示をします。**

書類を作る

会議資料などの書類を作るのに便利な機能を説明します。

印刷した用紙をソートする

会議資料など複数部数を印刷するときページ順に 1 部ずつ並べ替えて印刷します。

重要

- この機能を使用するにはオプションのハードディスクが装着されているか、トータルメモリーが 192M バイト以上である必要があります。

1. **アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **ウィンドウタイプとして「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブで [アイコンの変更／新規作成] をクリックし、[仕上げ] タブをクリックします。**

   「機能別ウィンドウ」を選択しているときは、[仕上げ] タブをクリックします。
3. **[ソート（一部ごと）] をクリックしてチェックを付けます。**
4. **「ワンクリック設定」選択時は [名前をつけて保存] または [上書き保存] をクリックし、設定を保存します。**
5. **[部数] ボックスに印刷する部数を入力します。**

6. その他の印刷条件を必要に応じて指定し、[OK] をクリックします。

プリンタードライバーの設定画面が閉じます。

7. 印刷の指示をします。

補足

- アプリケーションの印刷ダイアログに同様の機能がある場合、アプリケーション側では設定しないでください。
- プリンタードライバーでソートを指定すると、プリンターに送信する印刷データの量が少なくなり、アプリケーションでソート指定する場合に比べ速く印刷することができます。例えば 2 ページの文書を 3 部印刷する場合、アプリケーションでソートを指定するとパソコンからは 6 ページ分のデータがプリンターに送られますが、プリンタードライバーで指定するとパソコンからは 1 → 2 のように 2 ページ分のデータだけが送られ、プリンターで残りの 2 部が 1 → 2 → 1 → 2 の順で印刷されます。
- 集約、拡大連写、両面等の機能と組み合わせた場合でも文書の切れ目を正しく判断しますので、最終ページと 1 ページ目が同じ用紙に印刷されるようなことはありません。

用紙の両面に印刷する

プリンターに両面印刷ユニットが装着されている場合、用紙の両面に印刷することができます。

重要

- 1 つの文書内に原稿サイズの異なるページがある場合、そのページの前で改ページすることがあります。
- 手差しトレイから給紙する場合、この機能は指定できません。

1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの設定画面を表示します。

2. ウィンドウタイプとして「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブで [アイコンの変更／新規作成] をクリックし、[編集] タブをクリックします。

「機能別ウィンドウ」を選択しているときは、[編集] タブをクリックします。

3. [両面／製本] をクリックしてチェックを付けます。

4. 希望する用紙のとじかたのアイコンをクリックします。（イラスト参照あり）

アイコンは選択されている原稿方向に応じて縦または横で表示されます。

5. とじしろを付ける場合は [ヘッダー・フッター／印刷位置の調整／とじしろ] をクリックしてチェックを付けます。

とじしろの幅は [詳細] をクリックして設定します。

6. 「ワンクリック設定」選択時は [名前をつけて保存] または [上書き保存] をクリックし、設定を保存します。

7. その他の印刷条件を必要に応じて指定し、[OK] をクリックします。

プリンタードライバーの設定画面が閉じます。

8. 印刷の指示をします。

参照

- ここでは用紙の一辺でとじるレイアウトで印刷する方法を説明します。製本形態で印刷する方法については P.158「製本できるレイアウトで印刷する」を参照してください。

とじしろを付ける

とじしろを付けて印刷します。

1. **アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **ウィンドウタイプとして「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブで [アイコンの変更／新規作成] をクリックし、[編集] タブをクリックします。**

   「機能別ウィンドウ」を選択しているときは、[編集] タブをクリックします。
3. **[ヘッダー・フッター／印刷位置の調整／とじしろ] をクリックしてチェックを付けます。**
4. **[詳細] をクリックします。**

   [ヘッダー・フッター／印刷位置の調整／とじしろの詳細] ダイアログが表示されます
5. **[印刷位置の調整] グループで、[移動方向] のドロップダウンメニューから印刷位置を移動する方向を選択します。**

   選択した移動方向によって余白の位置（上下、左右）が変わります。
6. **余白を設定し、[OK] をクリックします。**

   [mm / inch 切り替え] をクリックすると長さの単位を変更できます。
7. **「ワンクリック設定」選択時は [名前をつけて保存] または [上書き保存] をクリックし、設定を保存します。**
8. **その他の印刷条件を必要に応じて指定し、[OK] をクリックします。**

   プリンタードライバーの設定画面が閉じます。
9. **印刷の指示をします。**

補足

- とじしろを付けるとアプリケーションで設定した余白の位置から、とじしろ分だけずらして印刷されます。とじしろの反対側の余白が狭くなりますので、十分に余白をとって文書を作成してください。
- アプリケーションでとじしろの設定をしたときは、プリンタードライバーでとじしろを設定しないでください。二重にとじしろが設定されることになります。

製本できるレイアウトで印刷する

プリンターに両面印刷ユニットが装着されている場合、製本できるレイアウトで用紙の両面に印刷することができます。

印刷された用紙を 1 枚ずつ二つ折りにしたあと重ねてとじる「ミニ本」形態と、用紙を重ねたまま二つ折りにする「週刊誌」形態があります。

重要

- [集約 / 拡大連写]、[とじしろ] と同時に指定することはできません。
- ミニ本形態を選択している場合、同時に [表紙] を指定することはできません。
- 「合紙」と同時に指定することはできません。
- 手差しトレイから給紙する場合、この機能は指定できません。

1. **アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **ウィンドウタイプとして「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブで [アイコンの変更／新規作成] をクリックし、[編集] タブをクリックします。**

   「機能別ウィンドウ」を選択しているときは、[編集] タブをクリックします。

3. **[両面／製本] をクリックしてチェックを付けます。**
4. **希望する製本形態のアイコンをクリックします。**

   アイコンは選択されている原稿方向に応じて縦または横で表示されます。
5. **「ワンクリック設定」選択時は [名前をつけて保存] または [上書き保存] をクリックし、設定を保存します。**
6. **その他の印刷条件を必要に応じて指定し、[OK] をクリックします。**

   プリンタードライバーの設定画面が閉じます。
7. **印刷の指示をします。**

補足

- 表紙と組み合わせる場合、製本の設定を先に行ってください。また表紙を給紙するトレイは両面可能なトレイを選択してください。

参照

- 中央で折らず、用紙の一辺でとじる場合は、P.157「用紙の両面に印刷する」を参照してください。

印刷した用紙をステープラーでとじる

プリンターにフィニッシャーが装着されている場合、印刷した用紙を 1 部ずつステープラーでとじることができます。

重要

- 両面印刷と同時に指定する場合、ステープルできる位置は両面のとじ位置と同じ方向です。
- パンチと同時に指定する場合、ステープルできる位置はパンチの位置と同じ方向です。
- 手差しトレイから給紙する場合、ステープルの指定はできません。

1. **アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **原稿方向、原稿サイズ、印刷用紙サイズ、給紙トレイを設定します。**
3. **ウィンドウタイプとして「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブで [アイコンの変更／新規作成] をクリックし、[仕上げ] タブをクリックします。**

   「機能別ウィンドウ」を選択しているときは、[仕上げ] タブをクリックします。
4. **[ステープル] をクリックしてチェックを付けます。**
5. **フィニッシャーの種類と手順 2 で設定した組み合わせに応じてステープル可能な位置を示したアイコンが表示されるので、希望する位置のアイコンをクリックします。**

   アイコンは選択されている原稿方向に応じて縦または横で表示されます。
6. **「ワンクリック設定」選択時は [名前をつけて保存] または [上書き保存] をクリックし、設定を保存します。**
7. **その他の印刷条件を必要に応じて指定し、[OK] をクリックします。**

   プリンタードライバーの設定画面が閉じます。
8. **印刷の指示をします。**

補足

- フィニッシャーの種類、原稿方向、印刷用紙サイズ、用紙のセット方向によって指定できるステープルの位置が異なります。詳しくは P.201「ステープルについて」を参照してください。

印刷した用紙にパンチ穴をあける

プリンターにパンチ機能を搭載したフィニッシャーが装着されている場合、印刷した用紙にパンチ穴をあけることができます。

重要

- 両面印刷と同時に指定する場合、パンチできる位置は両面のとじ位置と同じ方向です。
- ステープルと同時に指定する場合、パンチルできる位置はステープルの位置と同じ方向です。
- 手差しトレイから給紙する場合、パンチの指定はできません。

1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの設定画面を表示します。

2. 原稿方向、原稿サイズ、印刷用紙サイズ、給紙トレイを設定します。

3. ウィンドウタイプとして「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブで [アイコンの変更／新規作成] をクリックし、[仕上げ] タブをクリックします。

4. [パンチ] をクリックしてチェックを付けます。

5. フィニッシャーの種類と手順 2 で設定した組み合わせに応じてパンチ可能な位置を示したアイコンが表示されるので、希望する位置のアイコンをクリックします。

アイコンは選択されている原稿方向に応じて縦または横で表示されます。

6. 「ワンクリック設定」選択時は [名前をつけて保存] または [上書き保存] をクリックし、設定を保存します。

7. その他の印刷条件を必要に応じて指定し、[OK] をクリックします。

プリンタードライバーの設定画面が閉じます。

8. 印刷の指示をします。

補足

- フィニッシャーの種類、原稿方向、印刷用紙サイズ、用紙のセット方向によって指定できるパンチの位置が異なります。詳しくは P.203「パンチについて」を参照してください。

データを重ね合わせて印刷する

アプリケーションで作成した文書を、別に作成した合成用データと重ね合わせて印刷します。この機能を合成といいます。

重要

- [拡大連写] と同時に指定することはできません。

1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの設定画面を表示します。

2. ウィンドウタイプとして「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブで [アイコンの変更／新規作成] をクリックし、[編集] タブをクリックします。

「機能別ウィンドウ」を選択しているときは、[編集] タブをクリックします。

3. [スタンプ印字／合成] をクリックしてチェックを付け、ドロップダウンメニューから重ね合わせる合成セットを選択します。

選択した合成セットの内容を変更するときは、[編集] をクリックします。

新しい合成セットを作成するときは、[合成の追加] をクリックします。

4. 「ワンクリック設定」選択時は [名前をつけて保存] または [上書き保存] をクリックし、設定を保存します。

5. **その他の印刷条件を必要に応じて指定し、[OK] をクリックします。**

   プリンタードライバーの設定画面が閉じます。

6. **印刷の指示をします。**

補足

- 合成機能を使って印刷する場合は、あらかじめ「合成用データ」と「合成セット」を作成しておく必要があります。
  - 合成用データ

    重ね合わせる画像を合成できる形式で保存したデータのことです。
  - 合成セット

    合成用データと合成時に指定できる設定（画像の重ねかたや印刷するページ）を組み合わせ、1 つのセットとして名前を付けて登録します。登録されたそれぞれの組み合わせのことを合成セットと呼びます。合成印刷時は合成する画像や重ねかたに応じて合成セットを選択します。
- 重ね合わせは用紙の左上を基準に行われます。印刷する文書と合成用データの原稿サイズや方向が異なる場合、合成する画像が欠けたり、はみ出すことがあります。
- アプリケーションによっては、期待する結果を得られない場合があります。

参照

- 合成用データの作成方法は、P.183「新しい合成用データを作成したり削除する」を参照してください。
- 合成セットの作成方法は P.161「新しい合成セットを作成する」を参照してください。

新しい合成セットを作成する

合成用データと合成時に指定できる、画像の重ね方や印刷するページの設定をくみあわせ、1 つのセットとして名前を付けて登録します。登録されたそれぞれの組み合わせのことを合成セットと呼びます。

1. **プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **ウィンドウタイプとして「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブで [アイコンの変更／新規作成] をクリックし、[編集] タブをクリックします。**

   「機能別ウィンドウ」を選択しているときは、[編集] タブをクリックします。
3. **[スタンプ印字／合成] をクリックしてチェックを付けます。**
4. **[合成の追加] をクリックします。**
5. **[合成の追加] ダイアログで合成の詳細を指定し、[OK] をクリックします。**

   合成セットが登録され、ドロップダウンメニューに表示されます。

補足

- 同じ合成用データでも合成のしかたを変えて印刷するときは、組み合わせごとに合成セットを登録しておきます。

イメージや文字をスタンプのように重ねて印刷する

作成した文書にイメージデータや文字をスタンプのように重ねて印刷します。

重要

- [印刷品質 - ユーザー設定] ダイアログの [イメージデータに変換して印刷する] は、設定しても無効になります。

1. **アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **ウィンドウタイプとして「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブで [アイコンの変更／新規作成] をクリックし、[編集] タブをクリックします。**

「機能別ウィンドウ」を選択しているときは、[編集] タブをクリックします。

3. [スタンプ印字／合成] をクリックしてチェックを付け、ドロップダウンメニューから印刷するスタンプを選択します。

選択したスタンプの内容を変更するときは、[編集] をクリックします。

新しいスタンプを作成するときは、[イメージスタンプの追加] または [文字スタンプの追加] をクリックします。

4. 「ワンクリック設定」選択時は [名前をつけて保存] または [上書き保存] をクリックし、設定を保存します。

5. その他の印刷条件を必要に応じて指定し、[OK] をクリックします。

プリンタードライバーの設定画面が閉じます。

6. 印刷の指示をします。

補足

- ビットマップファイル（拡張子 .BMP）を使ったスタンプを「イメージスタンプ」、文字データを使ったスタンプを「文字スタンプ」と呼びます。両方を併用することはできません。

参照

- いくつかのスタンプがあらかじめ用意されていますが、それ以外にも固有のスタンプを作成することができます。詳しくは P.162「新しいスタンプを作成する」を参照してください。

新しいスタンプを作成する

スタンプ機能で使用する固有のスタンプを作成します。

1. プリンタードライバーの設定画面を表示します。

2. ウィンドウタイプとして「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブで [アイコンの変更／新規作成] をクリックし、[編集] タブをクリックします。

「機能別ウィンドウ」を選択しているときは、[編集] タブをクリックします。

3. [スタンプ印字／合成] をクリックしてチェックを付けます。

4. イメージスタンプを作成する場合は [イメージスタンプの追加]、文字スタンプを作成する場合は [文字スタンプの追加] をクリックします。

5. [スタンプ印字 - 追加 （イメージスタンプ）] ダイアログ、[スタンプ印字 - 追加 （文字スタンプ）] ダイアログでスタンプの詳細を指定し、[OK] をクリックします。

スタンプが登録され、ドロップダウンメニューに表示されます。

補足

- スタンプにはビットマップファイル（拡張子 .BMP）を使った「イメージスタンプ」と、文字データを使った「文字スタンプ」があります。

1 枚目だけ用紙の種類を変更する

1 枚目の用紙だけを異なるトレイから給紙できます。1 枚目を表紙として別の用紙にしたいときにお使いください。

重要

- [合紙] と同時に指定することはできません。
- 「ミニ本」形態の両面印刷と同時に指定することはできません。
- 「週刊誌」形態の両面印刷時、[表紙の詳細] ダイアログで「表紙の片面にのみ印刷する」は選択できません。

1. **アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **ウィンドウタイプとして「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブで [アイコンの変更／新規作成] をクリックし、[基本] タブをクリックします。**

   「機能別ウィンドウ」を選択しているときは、[基本] タブをクリックします。
3. **[給紙トレイ] ボックスのドロップダウンメニューから表紙以外のページを給紙するトレイを選択します。**

   表紙以外のページに 「自動トレイ選択」は使用できません。「自動トレイ選択」のまま次の手順で [表紙] を選択すると、給紙トレイは 「トレイ 1」に切り替わります。
4. **[表紙] をクリックしてチェックを付けます。**
5. **[表紙の詳細] をクリックします。**

   表紙を給紙するトレイが黄色の左向き三角 で示されます。
6. **[表紙を給紙するトレイ] ボックスのドロップダウンメニューからトレイを選択します。**

   手差しトレイを選択した場合、操作部やプリンタードライバーで用紙サイズの設定を変更する必要はありません。表紙以外のページと同じサイズの用紙をセットしてください。
7. **[表紙への印刷] グループで、表紙への印刷形態を選択します。**

   印刷する場合は、選択したトレイに同じサイズの用紙がセットされていることを確認してください。

   印刷しない表紙は印刷枚数としてカウントされません。
8. **[OK] をクリックします。**
9. **「ワンクリック設定」選択時は [名前をつけて保存] または [上書き保存] をクリックし、設定を保存します。**
10. **その他の印刷条件を必要に応じて指定し、[OK] をクリックします。**

    プリンタードライバーの設定画面が閉じます。
11. **印刷の指示をします。**

補足

- 表紙以外のページと同じサイズ・方向の用紙を表紙として選択してください。
- 表紙以外のページはすべて同じトレイの用紙に印刷されます。原稿サイズが混在している文書を印刷した場合、選択したトレイの用紙より大きいサイズのページは画像が欠けることがあります。
- この機能を使用するにはオプションのハードディスクが装着されているか、トータルメモリーが 192M バイト以上である必要があります。

ページの間に別の用紙を挟む

2 つのトレイから 1 枚ずつ給紙します。OHP フィルムに印刷する場合で、他のトレイの用紙をフィルムの間に挟んだりするときにお使いください。

重要

- 合紙以外のページと同じサイズ・方向の用紙を合紙として選択してください。
- 以下の機能は、組み合わせて使用することができません。
  - 表紙・ソート（一部ごと）
  - 両面 / 製本
  - 試し印刷
- 印刷部数は一部に限定されます。

1. **アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **ウィンドウタイプとして「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブで [アイコンの変更／新規作成] をクリックし、[基本] タブをクリックします。**

   「機能別ウィンドウ」を選択しているときは、[基本] タブをクリックします。
3. **[給紙トレイ] ボックスのドロップダウンメニューから合紙以外のページを給紙するトレイを選択します。**

   合紙以外のページに 「自動トレイ選択」は使用できません。「自動トレイ選択」のまま次の手順で [合紙] を選択すると、給紙トレイは 「トレイ 1」に切り替わります。
4. **[合紙] をクリックしてチェックを付けます。**

   合紙を給紙するトレイが緑色の右向き三角で示されます。
5. **[合紙の詳細] をクリックします。**
6. **[合紙を給紙するトレイ] ボックスのドロップダウンメニューからトレイを選択します。**

   手差しトレイを選択した場合、操作部やプリンタードライバーで用紙サイズの設定を変更する必要はありません。合紙以外のページと同じサイズの用紙をセットしてください。
7. **[合紙への印刷] グループが表示されている場合は、合紙への印刷形態を選択します。**

   印刷する場合は、選択したトレイに同じサイズの用紙がセットされていることを確認してください。

   印刷しない合紙は印刷枚数としてカウントされません。
8. **[OK] をクリックします。**
9. **「ワンクリック設定」選択時は [名前をつけて保存] または [上書き保存] をクリックし、設定を保存します。**
10. **その他の印刷条件を必要に応じて指定し、[OK] をクリックします。**

    プリンタードライバーの設定画面が閉じます。
11. **印刷の指示をします。**

あらかじめ登録された不定形サイズの用紙に印刷する

不定形サイズの文書を作成し、印刷することができます。

1. **アプリケーションのページ設定画面を開きます。**

   ページ設定画面は一般的に [ファイル] メニューの [ページ設定] をクリックすると表示できますが、アプリケーションによっては操作が異なるものもあります。ご使用のアプリケーションに応じて操作してください。

2. **ページ設定画面から印刷するプリンターの設定画面を表示します。**
3. **ウィンドウタイプとして「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブをクリックします。**

   「機能別ウィンドウ」を選択しているときは、[基本] タブをクリックします。

4. **[原稿サイズ] ボックスのドロップダウンメニューから、印刷する不定形サイズの用紙を選択します。**

   あらかじめ登録しておいた不定形サイズの中から選択します。

5. **[給紙トレイ] が、印刷する用紙がセットされているトレイと同じことを確認します。**
6. **[原稿方向] を選択します。**

   アプリケーションで作成する文書の向きと、セットした用紙が送られる向きに応じて選択してください。

7. **[OK] をクリックし、プリンタードライバーの設定画面を閉じます。**
8. **アプリケーションのページ設定画面の印刷の向きと、[原稿方向] で選択した方向が一致していることを確認します。**

   違うときは設定を変更してください。

9. **ページ設定画面を閉じます。**
10. **アプリケーションで文書を作成します。**
11. **印刷の指示をします。**

補足

- セットした用紙サイズをプリンタードライバーに登録しておきます。登録のしかたはプリンタードライバーヘルプの「不定形サイズを登録する」を参照してください。
- 不定形サイズの用紙に印刷するには、手差しトレイが必要です。

参照

- 不定形サイズの用紙をセットできるトレイと用紙のサイズについては、使用説明書<プリンター本体の操作>「用紙について」を参照してください。

登録されていない不定形サイズの用紙に印刷する

不定形サイズの文書を作成し、印刷することができます。

1. **アプリケーションのページ設定画面を開きます。**

   ページ設定画面は一般的に [ファイル] メニューの [ページ設定] をクリックすると表示できますが、アプリケーションによっては操作が異なるものもあります。ご使用のアプリケーションに応じて操作してください。

2. **ページ設定画面から印刷するプリンターの設定画面を表示します。**
3. **ウィンドウタイプとして「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブをクリックします。**

   「機能別ウィンドウ」を選択しているときは、[基本] タブをクリックします。
4. **[原稿サイズ] ボックスのドロップダウンメニューから、「不定形サイズ」を選択します。**

   [不定形サイズの登録] ダイアログが表示されます。
5. **用紙のサイズを入力します。**

   [mm ／ inch 切り替え] をクリックすると長さの単位を変更できます。
6. **[給紙トレイ] ボックスのドロップダウンメニューから用紙をセットする給紙トレイを選択します。**
7. **[トレイ用紙セット方向] グループで、セットした用紙の方向を選択します。**
8. **[OK] をクリックします。**

   不定形サイズとして登録する場合は [不定形サイズ登録画面を開く] をクリックします。
9. **[給紙トレイ] が、印刷する用紙がセットされているトレイと同じことを確認します。**
10. **[原稿方向] を選択します。**

    アプリケーションで作成する文書の向きと、セットした用紙が送られる向きに応じて選択してください。
11. **[OK] をクリックし、プリンタードライバーの設定画面を閉じます。**
12. **アプリケーションのページ設定画面の印刷の向きと、[原稿方向] で選択した方向が一致していることを確認します。**

    違うときは設定を変更してください。
13. **ページ設定画面を閉じます。**
14. **アプリケーションで文書を作成します。**
15. **あらかじめ選択したプリンターに印刷の指示をします。**

補足

- 不定形サイズの用紙に印刷するには、手差しトレイが必要です。
- 不定形サイズの登録のしかたはプリンタードライバーヘルプ「不定形サイズを登録する」を参照してください。

参照

- 不定形サイズの用紙をセットできるトレイと用紙のサイズについては、使用説明書<プリンター本体の操作>「用紙について」を参照してください。

ヘッダーやフッターを付けて印刷する

文書の各ページの上部余白に印刷される文字列をヘッダー、下部余白に印刷される文字列をフッターといいます。

1. **アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **ウィンドウタイプとして「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブで [アイコンの変更／新規作成] をクリックし、[編集] タブをクリックします。**

   「機能別ウィンドウ」を選択しているときは、[編集] タブをクリックします。

3. **[ヘッダー・フッター／印刷位置の調整／とじしろ] をクリックしてチェックを付けます。**
4. **[詳細] をクリックします。**

   [ヘッダー・フッター／印刷位置の調整／とじしろの詳細] ダイアログが表示されます。
5. **[ヘッダー・フッター] グループで必要に応じて各項目を設定し、[OK] をクリックします。**

   [日付と時刻]、[ページ番号]、[文字列] のうち 2 項目以上が同じ位置に設定された場合、「日付と時刻△文字列△ページ番号」（△は半角スペース）の順で印刷されます。
6. **「ワンクリック設定」選択時は [名前をつけて保存] または [上書き保存] をクリックし、設定を保存します。**
7. **その他の印刷条件を必要に応じて指定し、[OK] をクリックします。**

   プリンタードライバーの設定画面が閉じます。
8. **印刷の指示をします。**

補足

- ヘッダー、フッターには、日時、ページ、ファイル名など文字列のほか、全角 16 文字／半角 32 文字までの文字列を設定することができます。
- 変倍して印刷した場合は、ヘッダー・フッターも変倍されます。
- ヘッダー・フッターは、ページごとに印刷されます。たとえば、複数ページをまとめて印刷（集約）しても、ヘッダー・フッターは各ページに印刷されます。

印刷品質を調整する

印刷品質を調整できます。

文書種類に適した設定で印刷する

印刷品質を調整するための詳しい知識がなくても、簡単な操作で文書に適した設定を選択することができます。

1. **アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **[印刷品質] タブをクリックします。**
3. **[文書種類] グループで、印刷する文書の種類に合ったアイコンをクリックします。**

アイコンが半輝度表示して選択できないときは、[ユーザー設定] をクリックしてチェックを外します。

4. **[画質と速度のバランス] の項目が表示されている場合は、画質と速度のどちらを優先するかを選択します。**
   - この項目は機種によっては表示されません。
5. **その他の印刷条件を必要に応じて指定し、[OK] をクリックします。**

   プリンタードライバーの設定画面が閉じます。
6. **印刷の指示をします**

詳細な印刷品質を変更し、好みの設定で印刷する

印刷品質に関する詳細項目を変更し、好みの設定で印刷できます。印刷する前に、あらかじめユーザー設定と呼ばれる詳細な設定を登録しておき、どの設定で印刷するかを印刷時に選択します。

1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの設定画面を表示します。

2. [印刷品質] タブをクリックします。

3. [ユーザー設定] をクリックしてチェックを付けます。

4. 使用する印刷品質の設定がすでに登録してあるときは、リストボックス中のユーザー設定をクリックして反転表示させます。

5. その他の印刷条件を必要に応じて指定し、[OK] をクリックします。

プリンタードライバーの設定画面が閉じます。

6. 印刷の指示をします。

補足

- ユーザー設定の登録用として 8 種類のアイコンが用意されています。各アイコンに 1 つの設定を登録できます。

参照

- 印刷品質の設定を登録していないときは、P.168「好みの印刷品質を登録する」を参照して登録してください。

好みの印刷品質を登録する

好みの印刷品質で印刷したいときは、あらかじめ以下の操作でユーザー設定を登録しておきます。

1. プリンタードライバーの設定画面を表示します。

2. [印刷品質 - ユーザー設定] ダイアログを開きます。

3. それぞれのタブで設定を変更します。

[画質調整]、[バランス調整]、[カラーマッチング]、[その他] タブの設定を変更します。

4. ユーザー設定に付ける名前を [ユーザー設定名] ボックスに入力します。

入力文字数は半角 32 文字（全角 16 文字）以内です。

5. [OK] をクリックし、設定を保存します。

6. [OK] をクリックし、プリンタードライバーの設定画面を閉じます。

印刷解像度を変える

複数の解像度をサポートしている機種の場合は、印刷する解像度を選択できます。

補足

- 解像度とは 1 インチ（25.4mm）当たりに印刷できるドット数のことで、dpi という単位で表されます。
- 数字が大きいほど解像度が高く、文字や画像を細かく表現できますが、そのぶん時間がかかります。速く印刷したい場合は解像度を下げてください。
- この印刷を行うときは、あらかじめ設定を「ユーザー設定」として保存しておき、印刷時にその設定を選択します。

印刷する解像度をユーザー設定に保存するには

1. **プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **[印刷品質 - ユーザー設定] ダイアログを開きます。**
3. **[画質調整] タブの [解像度] ボックスのドロップダウンメニューから、印刷する解像度を選択します。**
4. **ユーザー設定に付ける名前を [ユーザー設定名] ボックスに入力します。**

   入力文字数は半角 32 文字（全角 16 文字）以内です。
5. **[OK] をクリックし、設定を保存します。**
6. **[OK] をクリックし、プリンタードライバーの設定画面を閉じます。**

参照

- ユーザー設定を使った印刷のしかたについては P.168「詳細な印刷品質を変更し、好みの設定で印刷する」を参照してください。

イメージデータの画質と印刷速度を変更する

解像度の高いイメージデータを含む文書や画像を印刷する場合、高品質で印刷するほど処理するデータ量が多くなるため、印刷にかかる時間も長くなってしまいます。イメージデータの印刷方式を変えることにより、画質と速度のどちらを優先して印刷するか選択することができます。

補足

- この印刷を行うときは、あらかじめ設定を「ユーザー設定」として保存しておき、印刷時にその設定を選択します。

イメージデータの印刷方式をユーザー設定に保存するには

1. **プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **[印刷品質 - ユーザー設定] ダイアログを開きます。**
3. **[画質調整] タブの [イメージ印刷方式] ボックスのドロップダウンメニューから、印刷方式を選択します。**
4. **ユーザー設定に付ける名前を [ユーザー設定名] ボックスに入力します。**

   入力文字数は半角 32 文字（全角 16 文字）以内です。
5. **[OK] をクリックし、設定を保存します。**
6. **[OK] をクリックし、プリンタードライバーの設定画面を閉じます。**

補足

- [イメージ印刷方式] の設定項目の補足説明は、以下のとおりです。
    - カラー印刷の場合
        - 標準

          画質と速度のバランスがとれた設定で印刷します。イメージデータの解像度を落とさずに印刷しますが、画質が多少劣化することがあります。
        - 高品質

          画質を優先して印刷します。時間はかかりますが、画質の劣化を最小限に抑え、最も高い品質で印刷できます。

    - 速度優先
      イメージデータの解像度が約 200dpi 以上の場合に解像度を落として印刷します。画質は多少粗くなりますが、印刷速度は速くなります。
- 白黒印刷の場合
    - 標準
      イメージデータの解像度が約 300dpi 以上の場合に解像度を落として印刷します。
    - 高品質
      解像度を落とさずに印刷します。時間はかかりますが、最も高い品質で印刷できます。
    - 速度優先
      イメージデータの解像度が約 200dpi 以上の場合に解像度を落として印刷します。画質は多少粗くなりますが、印刷速度は速くなります。

参照

- ユーザー設定を使った印刷のしかたについては P.168「詳細な印刷品質を変更し、好みの設定で印刷する」を参照してください。

ディザパターンを変更する

ディザとは物理的に再現できない色や濃淡を、細かいドット（点）の集まりとして擬似的に表現する技術のことです。

補足

- ディザパターンとは擬似的な表現を行うためのドットを作り出す元となるデータのことで、このデータを変えることにより、疑似表現の特性を変えることができます。実際に印刷する画像に合ったパターンを選択してください。
- この印刷を行うときは、あらかじめ設定を「ユーザー設定」として保存しておき、印刷時にその設定を選択します。

使用するディザパターンをユーザー設定に保存するには

1. **プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **[印刷品質 - ユーザー設定] ダイアログを開きます。**
3. **[画質調整] タブをクリックします。**
4. **原稿全体に対して設定する場合は [原稿全体を設定] をクリックします。**

   原稿の要素ごとに設定する場合は [要素ごとに設定] をクリックして、設定する原稿要素 [文字]、[図形／表／グラフ]、[写真／イメージ] を選択します。
5. **[ディザリング設定] ボックスのドロップダウンメニューから、印刷する画像に合ったディザパターンを選択します。**

   選択したパターンによっては、細い線が切れたりすることがあります。そのときは、目的に応じて他の設定を選択してください。

   [要素ごとに設定] を選択している場合、[文字]、[図形／表／グラフ]、[写真／イメージ] を選択してから、それぞれに使用するディザパターンを設定します。
6. **ユーザー設定に付ける名前を [ユーザー設定名] ボックスに入力します。**

   入力文字数は半角 32 文字（全角 16 文字）以内です。
7. **[OK] をクリックし、設定を保存します。**
8. **[OK] をクリックし、プリンタードライバーの設定画面を閉じます。**

参照

- ユーザー設定を使った印刷のしかたについては P.168「詳細な印刷品質を変更し、好みの設定で印刷する」を参照してください。

トナーを節約して印刷する

プリンターにトナーセーブ機能が搭載されている場合、トナーを節約して印刷できます。

1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの設定画面を表示します。

2. [印刷品質] タブをクリックします。

3. 機種に応じて以下のいずれかの操作を行います。

- [トナーセーブ] チェックボックスがある場合は、クリックしてチェックを付けます。さらにドロップダウンメニューが表示されているときはセーブするレベルを選択します。数字が大きいほどトナーの消費を抑えます。
- [文書種類] グループに [トナーセーブ] アイコンがある場合は、アイコンをクリックします。

4. その他の印刷条件を必要に応じて指定し、[OK] をクリックします。

プリンタードライバーの設定画面が閉じます。

5. 印刷の指示をします

補足

- 印刷がかすれたり、細い線が印刷されなかったりすることがありますので、試し印刷用としてお使いください。

TrueType フォントの印刷方法を設定する

文書中で使用している TrueType フォントの印刷方法を選択できます。

1. プリンタードライバーの設定画面を表示します。

2. [印刷品質 - ユーザー設定] ダイアログを開きます。

3. [その他] タブの [TrueType フォントの置き換え編集] ボタンをクリックし、印刷方法を選択します。

[置換テーブルに従って置き換える] を選択した場合は、置き換えるフォントの組み合わせを指定できます。

4. ユーザー設定に付ける名前を [ユーザー設定名] ボックスに入力します。

入力文字数は半角 32 文字（全角 16 文字）以内です。

5. [OK] をクリックし、設定を保存します。

6. [OK] をクリックし、プリンタードライバーの設定画面を閉じます。

補足

- Windows は TrueType フォントの採用により、文字のサイズや書体を自由自在に変えるマルチフォント / マルチサイズの表現が可能となっています。また、画面で「みたまま」の印刷結果となることが特長のひとつとなっています。
- TrueType フォントを使用すると、画面で「みたまま」のフォントをイメージデータとして印刷することができるので、美しいアウトラインフォントでの印刷となります。しかし、イメージデータでの印刷では、データ量が多くなるので、印刷に時間がかかります。

- 画面でプリンターフォントを指定すると、印刷は高速となりますが、画面上では美しいアウトライン表示ができなくなります。こうしたことから画面上は TrueType フォントを使用し、印刷にプリンターフォントを使用すると、美しく高速な印刷ができることになります。この機能を「TrueType フォントの置き換え」といいます。
- さらに、Windows に標準で搭載されている TrueType フォントのＭＳ 明朝 / ＭＳ ゴシック、ＭＳ Ｐ 明朝 / ＭＳ Ｐ ゴシックは、リコー製のプリンターと同じ字母のフォント（プリンターフォント）を採用しているので、プリンターのフォントに置き換えても画面上の TrueType フォントとほぼ同様の印刷結果が得られることになります。
- この印刷を行うときは、あらかじめ設定を「ユーザー設定」として保存しておき、印刷時にその設定を選択します。

参照

- ユーザー設定を使った印刷のしかたについては P.168「詳細な印刷品質を変更し、好みの設定で印刷する」を参照してください。

置き換えるフォントを指定する

TrueType フォントをプリンターフォントに置き換えて印刷する場合、TrueType フォントと置き換えるプリンターフォントの組み合わせを指定できます。

置き換えるフォントを指定するには（Windows 95 / 98 / Me の場合）

1. **[プリンタ] ウィンドウからプリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **[印刷品質 - ユーザー設定] ダイアログを開きます。**
3. **[その他] タブをクリックします。**
4. **[TrueType フォントの置換編集] ボタンをクリックします。**
5. **[置換テーブルに従って置き換える] をクリックします。**
6. **[置換テーブル] ボックスの左列にパソコンにインストールされている TrueType フォントが表示されているので、置き換えたいフォントをクリックして反転表示させます。**
7. **[置き換えるプリンターフォント] ボックスで、置き換えるプリンターフォントをクリックします。**

   置き換えを行わないときは「送信形式ビットマップ」を選択します。このとき TrueType フォントはイメージに展開して送信されます
8. **ユーザー設定に付ける名前を [ユーザー設定名] ボックスに入力します。**

   入力文字数は半角 32 文字（全角 16 文字）以内です。
9. **[OK] をクリックし、設定を保存します。**
10. **[OK] をクリックし、プリンタードライバーの設定画面を閉じます。**

置き換えるフォントを指定するには（Windows 2000 / XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 の場合）

1. **プリンタープロパティを開き、[TrueType フォントの置換編集] タブをクリックします。**
2. **[置換テーブル] ボックスの左列にパソコンにインストールされている TrueType フォントが表示されているので、置き換えたいフォントをクリックして反転表示させます。**
3. **[置き換えるプリンターフォント] ボックスで、置き換えるプリンターフォントをクリックします**

置き換えを行わないときは「送信形式ビットマップ」を選択します。このとき TrueType フォントはイメージに展開して送信されます

4. **[OK] をクリックし、プリンタープロパティを閉じます。**

補足

- 文字の種類 （和文、欧文、シンボル）を変えて指定したときはイメージに展開して印刷されます。
- Windows 95/98/Me、Windows NT 4.0 の場合、アプリケーションから開いた設定画面では登録できません。

指定した置き換えフォントで印刷するには

1. **印刷時に TrueType フォントの印刷方法として [置換テーブルに従って置き換える] を選択します。**

   詳しくは、P.171「TrueType フォントの印刷方法を設定する」を参照してください。

文字サイズに応じた太字処理をして印刷するかどうか選択する

通常の太字処理を行うと、文字の大きさにかかわらず一定値で太くなるため、小さい文字の場合は文字がつぶれたり、大きい文字の場合は変化がわかりにくくなりがちです。このような状況を防ぎ、文字の大きさに応じて太字処理を行うことができます。

文字サイズに応じた太字処理をしての印刷をユーザー設定に保存するには

1. **プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **[印刷品質 - ユーザー設定] ダイアログを開きます。**
3. **文字サイズに応じた太字処理をして印刷する場合は、[画質調整] タブの [太い文字をより強調する] をクリックしてチェックを付けます。**
4. **ユーザー設定に付ける名前を [ユーザー設定名] ボックスに入力します。**

   入力文字数は半角 32 文字（全角 16 文字）以内です。
5. **[OK] をクリックし、設定を保存します。**
6. **[OK] をクリックし、プリンタードライバーの設定画面を閉じます。**

補足

- Windows 2000 / XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 で使用できる機能です。
- この印刷を行うときは、あらかじめ設定を 「ユーザー設定」として保存しておき、印刷時にその設定を選択します。

カラーを調整する

白黒印刷を指定したり、明るさ、コントラストを調整するなど、カラーに関係した設定を行います。

白黒で印刷する

ブラックのトナーだけを使って白黒で印刷します。

1. **アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **ウィンドウタイプとして「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブをクリックします。**

   「機能別ウィンドウ」を選択しているときは、[基本] タブをクリックします。
3. **[カラー／白黒] ボックスのドロップダウンメニューから「白黒」を選択します。**
4. **その他の印刷条件を必要に応じて指定し、[OK] をクリックします。**

   プリンタードライバーの設定画面が閉じます。
5. **印刷の指示をします**

補足

- カラー印刷に比べ高速に印刷できますので、カラー印刷の必要がない文書は白黒で印刷すると効率的です。また、黒 1 色の文書は白黒で印刷することで、カラー印刷時に比べはっきりとした黒色を再現することができます。
- アプリケーションで白黒印刷を指定したときは「白黒」を選択してください。

明るさ、コントラストを調整する

画像の明度とコントラストを調整します。

調整した明度とコントラストをユーザー設定に保存するには

1. **プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **[印刷品質 - ユーザー設定] ダイアログを開きます。**
3. **[バランス調整] タブをクリックします。**
4. **原稿全体に対して調整する場合は [原稿全体を設定] をクリックします。**

   原稿の要素ごとに調整する場合は [要素ごとに設定] をクリックして、調整する原稿要素 [文字]、[図形／表／グラフ]、[写真／イメージ] を選択します。
5. **明度とコントラストを調整します。**

   調整はスライダをドラッグするか、[-][+] をクリックして行います。

   [要素ごとに設定] を選択している場合、[文字]、[図形／表／グラフ]、[写真／イメージ] を選択してから、それぞれの明度とコントラストを調整します。
6. **ユーザー設定に付ける名前を [ユーザー設定名] ボックスに入力します。**

   入力文字数は半角 32 文字（全角 16 文字）以内です。

7. [OK] をクリックし、設定を保存します。
8. [OK] をクリックし、プリンタードライバーの設定画面を閉じます。

補足

- 明度とコントラストについての補足説明については、以下のとおりです。
    - 明度

      画像全体の明るさのことです。明度を上げると明るくなり、下げると暗くなります。
    - コントラスト

      画像の明るい部分と暗い部分の対比のことです。コントラストを上げると明るさの対比がはっきりとし、下げるとなだらかになります。
- この印刷を行うときは、あらかじめ設定を「ユーザー設定」として保存しておき、印刷時にその設定を選択します。

彩度を調整する

彩度を調整して印刷します。

調整した彩度をユーザー設定に保存するには

1. プリンタードライバーの設定画面を表示します。
2. [印刷品質 - ユーザー設定] ダイアログを開きます。
3. [バランス調整] タブをクリックします。
4. 原稿全体に対して調整する場合は [原稿全体を設定] をクリックします。

   原稿の要素ごとに調整する場合は [要素ごとに設定] をクリックして、調整する原稿要素 [文字]、[図形／表／グラフ]、[写真／イメージ] を選択します。
5. 彩度を調整します。

   調整はスライダをドラッグするか、[-][+] をクリックして行います。

   [要素ごとに設定] を選択している場合、[文字]、[図形／表／グラフ]、[写真／イメージ] を選択してから、それぞれの彩度を調整します。
6. ユーザー設定に付ける名前を [ユーザー設定名] ボックスに入力します。

   入力文字数は半角 32 文字（全角 16 文字）以内です。
7. [OK] をクリックし、設定を保存します。
8. [OK] をクリックし、プリンタードライバーの設定画面を閉じます。

補足

- 彩度とは色の鮮やかさのことです。彩度を上げると鮮やかな色になり、彩度を下げるとグレーに近づき色の深みが増します。
- この印刷を行うときは、あらかじめ設定を「ユーザー設定」として保存しておき、印刷時にその設定を選択します。

参照

- ユーザー設定を使った印刷のしかたについては P.168「詳細な印刷品質を変更し、好みの設定で印刷する」を参照してください。

カラーバランスを調整する

赤（R)、緑（G)、青（B）の強さを変えて、色のバランスを調整します。

調整したカラーバランスをユーザー設定に保存するには

1. **プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **[印刷品質 - ユーザー設定] ダイアログを開きます。**
3. **[バランス調整] タブをクリックします。**
4. **原稿全体に対して調整する場合は [原稿全体を設定] をクリックします。**

   原稿の要素ごとに調整する場合は [要素ごとに設定] をクリックして、調整する原稿要素 [文字]、[図形／表／グラフ]、[写真／イメージ] を選択します。
5. **カラーバランスを調整します。**

   調整はスライダをドラッグするか、[-][+] をクリックして行います。[<][>] をクリックすると 3 つのスライダを同時に調整できます。
   - カラーバーは上からシアン（C)、マゼンタ（M)、イエロー（Y）と、赤（R)、緑（G)、青（B）に対応し、それぞれが補色の関係にあります。

     [要素ごとに設定] を選択している場合、[文字]、[図形／表／グラフ]、[写真／イメージ] を選択してから、それぞれのカラーバランスを調整します。
6. **ユーザー設定に付ける名前を [ユーザー設定名] ボックスに入力します。**

   入力文字数は半角 32 文字（全角 16 文字）以内です。
7. **[OK] をクリックし、設定を保存します。**
8. **[OK] をクリックし、プリンタードライバーの設定画面を閉じます。**

補足

- カラーバランスを調整する場合、補色の概念を知っておくと役立ちます。補色とは、光の 3 原色（RGB）または色材の 3 原色（CMY）において、1 つの原色に対し他の 2 つの原色を混ぜた色のことです。赤（R）とシアン（C)、緑（G）とマゼンタ（M)、青（B）とイエロー（Y）は補色の関係にあります。
- この印刷を行うときは、あらかじめ設定を「ユーザー設定」として保存しておき、印刷時にその設定を選択します。
- 特定の色を強くするには、その色自身を強くする（補色を減らす）方法と、その色以外を弱くする（補色を相対的に減らす）方法があります。また、両方を組み合わせて調整する方法もよく使われます。たとえば赤を強くするには、赤自身を強くする（シアンを減らす）方法と、緑と青を弱くする（マゼンタとイエローを増やす）方法があります。赤を強くすると明度が上がり、画像は明るい感じになります。したがって、この方法は暗い画像を補正する場合に向いています。緑と青を弱くすると画像の明度は下がり、暗い感じになります。この方法は明るい画像の補正に向いています。

参照

- ユーザー設定を使った印刷のしかたについては P.168「詳細な印刷品質を変更し、好みの設定で印刷する」を参照してください。

カラーマッチングのパターンを変更する

ディスプレイ上の色は RGB の 3 色で表現されますが、プリンターからは CMYK の 4 色で印刷されます。そのため、印刷時には RGB カラーから CMYK カラーへの変換を行う必要があります。カラー変換時に使用するパターンを変更することで、ディスプレイ上の色に対する印刷時の色合いを調整することができます。

カラーマッチングのパターンをユーザー設定に保存するには

1. **プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **[印刷品質 - ユーザー設定] ダイアログを開きます。**
3. **[カラーマッチング] タブをクリックします。**
4. **原稿全体に対して設定する場合は [原稿全体を設定] をクリックします。**

   原稿の要素ごとに設定する場合は [要素ごとに設定] をクリックして、設定する原稿要素 [文字]、[図形／表／グラフ]、[写真／イメージ] を選択します。
5. **[カラーマッチング] ボックスのドロップダウンメニューから、使用するパターンを選択します。**

   [要素ごとに設定] を選択している場合、[文字]、[図形／表／グラフ]、[写真／イメージ] を選択してから、それぞれのカラーマッチングのパターンを設定します。
6. **ユーザー設定に付ける名前を [ユーザー設定名] ボックスに入力します。**

   入力文字数は半角 32 文字（全角 16 文字）以内です。
7. **[OK] をクリックし、設定を保存します。**
8. **[OK] をクリックし、プリンタードライバーの設定画面を閉じます。**

補足

- この印刷を行うときは、あらかじめ設定を「ユーザー設定」として保存しておき、印刷時にその設定を選択します。

参照

- ユーザー設定を使った印刷のしかたについては P.168「詳細な印刷品質を変更し、好みの設定で印刷する」を参照してください。

カラーマッチングの選択肢を追加する

開発元から提供されるカラープロファイルをリストに追加し、使用することができます

重要

- ICM と同時に指定することはできません。

カラーマッチングのパターンをユーザー設定に保存するには

1. **プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **[印刷品質 - ユーザー設定] ダイアログを開きます。**
3. **[カラーマッチング] タブをクリックします。**
4. **[カラーマッチング] の [追加] ボタンをクリックします。[カラーマッチング - 追加] ダイアログが開きます。**
5. **[参照] ボタンをクリックします。[カラープロファイル選択] ダイアログが開きます。**

カラープロファイルデータを選択します。

6. **[OK] をクリックし、[カラープロファイル選択] ダイアログを閉じます。**
7. **[カラーマッチング名] ボックスに名前を入力します。**
8. **[OK] をクリックし、[カラーマッチング - 追加] ダイアログを閉じます。**

カラーマッチングをプリンターでおこなう

カラーマッチング処理をプリンター側で行います。印刷処理における負荷がプリンター側にかかるため、プリンタードライバー（パソコン）側でカラーマッチング処理する場合に比べ、パソコンの性能や印刷データによっては速く印刷できることがあります。

★ 重要

- ICM と同時に指定することはできません。

1. **プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **[印刷品質 - ユーザー設定] ダイアログを開きます。**
3. **[カラーマッチング] タブをクリックします**
4. **[カラーマッチングをプリンターでおこなう] にチェックを付けます。**
5. **[OK] をクリックし、プリンタードライバーの設定画面を閉じます。**

グレースケールを黒 1 色で印刷するか、CMYK で印刷するか選択する

文書中の黒またはグレー部分を黒 1 色で印刷するか、CMYK による 4 色で印刷するかを選択できます。

グレースケールの印刷方法をユーザー設定に保存するには

1. **プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **[印刷品質 - ユーザー設定] ダイアログを開きます。**
3. **[画質調整] タブをクリックします。**
4. **原稿全体に対して設定する場合は [原稿全体を設定] をクリックします。**

   原稿の要素ごとに設定する場合は [要素ごとに設定] をクリックして、設定する原稿要素 [文字]、[図形／表／グラフ]、[写真／イメージ] を選択します。
5. **[グレー印刷方式] ボックスのドロップダウンメニューから、印刷する方式を選択します。**

   [要素ごとに設定] を選択している場合、[文字]、[図形／表／グラフ]、[写真／イメージ] を選択してから、それぞれのグレースケールの印刷方法を設定します。
6. **ユーザー設定に付ける名前を [ユーザー設定名] ボックスに入力します。**

   入力文字数は半角 32 文字（全角 16 文字）以内です。

7. **[OK] をクリックし、設定を保存します。**
8. **[OK] をクリックし、プリンタードライバーの設定画面を閉じます。**

補足

- この印刷を行うときは、あらかじめ設定を「ユーザー設定」として保存しておき、印刷時にその設定を選択します。

参照

- ユーザー設定を使った印刷のしかたについては P.168「詳細な印刷品質を変更し、好みの設定で印刷する」を参照してください。

黒を重ねて印刷する（ブラックオーバープリント）

黒い部分を他の色に重ねて印刷します。黒と他の色との間にすき間があく場合にそれを解消する効果があります。

黒を重ねて印刷をユーザー設定に保存するには

1. **プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **[印刷品質 - ユーザー設定] ダイアログを開きます。**
3. **黒を重ねて印刷する場合は、[画質調整] タブの [黒を重ねて印刷（ブラックオーバープリント）] をクリックしてチェックを付けます。**
4. **ユーザー設定に付ける名前を [ユーザー設定名] ボックスに入力します。**

   入力文字数は半角 32 文字（全角 16 文字）以内です。
5. **[OK] をクリックし、設定を保存します。**
6. **[OK] をクリックし、プリンタードライバーの設定画面を閉じます。**

ICM を使用する

Windows に搭載された ICM の機能を使ってカラー補正を行います。

ICM の使用をユーザー設定に保存するには

1. **プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **[印刷品質 - ユーザー設定] ダイアログを開きます。**
3. **[カラーマッチング] タブをクリックします。**
4. **原稿全体に対して設定する場合は [原稿全体を設定] をクリックします。**
   - 原稿の要素ごとに設定する場合は [要素ごとに設定] をクリックして、設定する原稿要素 [文字]、[図形／表／グラフ]、[写真／イメージ] を選択します。
5. **ICM を使用する場合は、[ICM を使用する] をクリックしてチェックを付けます。**
   - チェックを付けると [カラーマッチングをプリンターでおこなう] は選択できなくなります。Windows はプリンターのプロパティの [色の管理] タブで関連付けられたプロファイルを使ってカラー補正を行います。

     チェックを付けると [画質調整] タブの [写真・イメージ画像を補正する] は選択できなくなります。

6. **カラー補正の処理方法を [ICM の方法]、[ICM の目的 （インテント）] ボックスのドロップダウンメニューから選択します。**
   - [ICM の方法] が「ホストシステムによる ICM 処理」の場合、[ICM の目的（インテント）] の設定は原稿全体に対して有効です。「プリンタードライバーによる ICM 処理」の場合は原稿要素ごとに有効です。
7. **ユーザー設定に付ける名前を [ユーザー設定名] ボックスに入力します。**

   入力文字数は半角 32 文字（全角 16 文字）以内です。
8. **[OK] をクリックし、設定を保存します。**
9. **[OK] をクリックし、プリンタードライバーの設定画面を閉じます。**

補足

- ICM は機器の入出力間で色の整合を行うためのカラーマネジメントシステムです。この機能を使うと、ディスプレイに表示された色とできるだけ同じ色で印刷されるように、Windows でカラー補正が行われます。
- この機能を使用するときは、プリンタードライバーといっしょに配布されたカラープロファイルをプリンターに追加してください。カラープロファイルは配布メディアの •ICM フォルダに収録されています。なお、カラープロファイルを追加する方法については、Windows のヘルプで「カラープロファイル」をキーワードに検索し、参照してください。
- Windows 95 と Windows NT 4.0 では、この機能は使用できません。
- この印刷を行うときは、あらかじめ設定を「ユーザー設定」として保存しておき、印刷時にその設定を選択します。

参照

- ユーザー設定を使った印刷のしかたについては P.168「詳細な印刷品質を変更し、好みの設定で印刷する」を参照してください。

文字を黒で印刷するかどうか選択する

色付き文字を印刷するときの方法です。画面では文字が見えても印刷すると薄くなってしまうときなどに、黒色の文字として印刷できます。

文字の印刷色をユーザー設定に保存するには

1. **プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **[印刷品質 - ユーザー設定] ダイアログを開きます。**
3. **文字を黒で印刷する場合は、[画質調整] タブの [文字を黒で印刷する] をクリックしてチェックを付けます。**
   - 要素ごとに設定を選択している場合、使用できません。
4. **ユーザー設定に付ける名前を [ユーザー設定名] ボックスに入力します。**

   入力文字数は半角 32 文字（全角 16 文字）以内です。
5. **[OK] をクリックし、設定を保存します。**
6. **[OK] をクリックし、プリンタードライバーの設定画面を閉じます。**

補足

- この印刷を行うときは、あらかじめ設定を「ユーザー設定」として保存しておき、印刷時にその設定を選択します。

参照

- ユーザー設定を使った印刷のしかたについては P.168「詳細な印刷品質を変更し、好みの設定で印刷する」を参照してください。

デジタルカメラで撮影した写真の色合いを補正する

デジタルカメラで撮影した写真の色合いを補正します。露出オーバー、露出アンダー気味の画像データに効果があります。

写真・イメージ画像補正の使用をユーザー設定に保存するには

1. **プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **[印刷品質 - ユーザー設定] ダイアログを開きます。**
3. **デジタルカメラで撮影した画像の色を補正する場合は、[画質調整] タブの [写真・イメージ画像を補正する] をクリックしてチェックを付けます。**
    - チェックを付けると [カラーマッチング] タブの [ICM を使用する] は選択できなくなります。
4. **ユーザー設定に付ける名前を [ユーザー設定名] ボックスに入力します。**

    入力文字数は半角 32 文字（全角 16 文字）以内です。
5. **[OK] をクリックし、設定を保存します。**
6. **[OK] をクリックし、プリンタードライバーの設定画面を閉じます。**

補足

- 露出とは、撮影時の明るさのことです。背景と被写体との間に極端な明暗差がある場合、被写体の露出がアンダー（暗い）やオーバー（白っぽい）になってしまいます。
- この印刷を行うときは、あらかじめ設定を「ユーザー設定」として保存しておき、印刷時にその設定を選択します。

参照

- ユーザー設定を使った印刷のしかたについては P.168「詳細な印刷品質を変更し、好みの設定で印刷する」を参照してください。

CMYK の特定の色だけで印刷する

カラー印刷はシアン・マゼンタ・イエロー・ブラックの 4 色を使って行いますが、この中の特定の色だけを使って印刷することができます。

CMYK の特定の色だけの印刷をユーザー設定に保存するには

1. **プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **[印刷品質 - ユーザー設定] ダイアログを開きます。**
3. **[その他] タブをクリックし、[CMYK に色分解して、指定した色のみで印刷する] グループで印刷時に使用する色を選択します。**
    - 使用する色だけにチェックを付けます。
4. **ユーザー設定に付ける名前を [ユーザー設定名] ボックスに入力します。**

    入力文字数は半角 32 文字（全角 16 文字）以内です。
5. **[OK] をクリックし、設定を保存します。**

6. **[OK] をクリックし、プリンタードライバーの設定画面を閉じます。**

補足

- 白黒印刷時は設定が無効になります。
- この印刷を行うときは、あらかじめ設定を「ユーザー設定」として保存しておき、印刷時にその設定を選択します。

参照

- ユーザー設定を使った印刷のしかたについては P.168「詳細な印刷品質を変更し、好みの設定で印刷する」を参照してください。

Job Binder を使って印刷する

Job Binder は、複数のアプリケーションで作成した文書を、１つの文書としてまとめて印刷するためのアプリケーションです。プリンターにソート、ステープル、パンチ、両面などの機能があれば、それらの機能と組み合わせて印刷することもできます。

- あらかじめパソコンに Job Binder をインストールしておくと、Job Binder を使った印刷ができます。
- Job Binder を使って印刷するには、はじめに以下の手順で印刷データを Job Binder に送り、ファイルとして保存しておきます。保存できたら次に Job Binder を起動して印刷するファイルを指定し、印刷を実行します。

1. **アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **ウィンドウタイプとして「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブをクリックします。**

   「機能別ウィンドウ」を選択しているときは、[基本] タブをクリックします。
3. **[印刷方法] ボックスのドロップダウンメニューから「Job Binder に保存する」を選択します。**
4. **[印刷方法の詳細] をクリックします。**
5. **[ファイル名] ボックスに保存するファイル名を入力し、[OK] をクリックします。**

   入力文字数は半角 64 文字（全角 32 文字）以内です。拡張子は必要ありません。

   保存先フォルダは Job Binder で設定されていますので、ここにはファイル名だけを入力してください。
6. **その他の印刷条件を必要に応じて指定し、[OK] をクリックします。**

   Job Binder に保存する場合、半輝度になっている項目は設定できません。また、[印刷品質 - ユーザー設定] ダイアログの一部の項目は設定が反映されません。仕上げの方法やレイアウトを変えて印刷したいときは、Job Binder からの印刷時にプリンターの設定画面を開いて指定してください。
7. **印刷の指示をします。**
8. **ファイルが保存されたら、Job Binder を起動して印刷を実行します。**

補足

- Job Binder の操作については、Job Binder のヘルプを参照してください。
- Job Binder を使用するには Ridoc Desk 2000 Lt がインストールされている必要があります。詳しくは Ridoc Desk 2000 Lt の説明書を参照してください。

新しい合成用データを作成したり削除する

重ね合わせる画像を合成用データとして作成したり、削除します。

合成用データを作成するには

1. **アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **ウィンドウタイプとして「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブをクリックします。**

   「機能別ウィンドウ」を選択しているときは、[基本] タブをクリックします。
3. **[印刷方法] ボックスのドロップダウンメニューから「合成用データとして保存する」を選択します。**
4. **[印刷方法の詳細] をクリックします。**
5. **[ファイル名] ボックスに保存するファイル名を入力し、[OK] をクリックします。**

   ファイル名は半角 32 文字（全角 16 文字）以内です。ご使用の OS が Windows 95/98/Me の場合、入力できるファイル名は半角 8 文字（全角 4 文字）以内となります。
6. **その他の印刷条件を必要に応じて指定し、[OK] をクリックします。**
7. **印刷の指示をします。**

   ファイルが保存されます。

補足

- 複数ページの文書から合成用データを作成した場合、1 ページめだけが合成用データとして保存されます。
- 合成用データは、どのアプリケーションからでも通常の印刷と同じ感覚で自由に作成することができます。
- 合成用ファイルとして保存する場合、印刷品質を除く項目（半輝度になっている項目）は設定できません。

合成用データを削除するには

1. **プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **ウィンドウタイプとして「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブをクリックします。**

   「機能別ウィンドウ」を選択しているときは、[基本] タブをクリックします。
3. **[印刷方法] ボックスのドロップダウンメニューから「合成用データとして保存する」を選択します。**
4. **[印刷方法の詳細] をクリックします。**
5. **削除するファイルを選択します。**
6. **[削除] をクリックします。**
7. **削除を確認するメッセージが表示されるので、[OK] をクリックします。**

   合成用ファイルが削除されます。

補足

- これ以外の方法として、エクスプローラーなどで合成用ファイル（拡張子 .RPO）を削除してもかまいません。

アプリケーションごとの不具合への対処

ページ全体をイメージデータとして印刷する

ページ全体をイメージデータとして印刷します。画面表示に、より近い印刷結果を得ることができますが、より多くのデータを処理するため印刷に非常に時間がかかります。印刷結果が画面と異なる場合に使用してください。

重要

- スタンプ印刷と同時に指定することはできません。

この設定をユーザー設定に保存するには

1. **プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **[印刷品質 - ユーザー設定] ダイアログを開きます。**
3. **[その他] タブをクリックし、[イメージデータに変換して印刷する] をクリックしてチェックを付けます。**
4. **ユーザー設定に付ける名前を [ユーザー設定名] ボックスに入力します。**

   入力文字数は半角 32 文字（全角 16 文字）以内です。
5. **[OK] をクリックし、設定を保存します。**
6. **[OK] をクリックし、プリンタードライバーの設定画面を閉じます。**

補足

- [印刷品質 - ユーザー設定]ダイアログの[画質調整]タブにある[グレー印刷方式]の設定にかかわらず､黒またはグレー部分は CMYK4 色で印刷されます。
- この印刷を行うときは、あらかじめ設定を「ユーザー設定」として保存しておき、印刷時にその設定を選択します。

参照

- ユーザー設定を使った印刷のしかたについては P.168「詳細な印刷品質を変更し、好みの設定で印刷する」を参照してください。

イメージデータの処理方法を変更する

アプリケーションによっては印刷に時間がかかったり、正しい色で印刷されなかったりすることがあります。そのような場合、イメージデータ処理を変更することにより正しく印刷できることがあります。

この設定をユーザー設定に保存するには

1. **プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **[印刷品質 - ユーザー設定] ダイアログを開きます。**
3. **[その他] タブをクリックし、[特定アプリケーションのイメージデータ処理を変更する] をクリックしてチェックを付けます。**
4. **ユーザー設定に付ける名前を [ユーザー設定名] ボックスに入力します。**

   入力文字数は半角 32 文字（全角 16 文字）以内です。
5. **[OK] をクリックし、設定を保存します。**

6. **[OK] をクリックし、プリンタードライバーの設定画面を閉じます。**

補足

- イメージデータ処理を変更することにより正しく印刷できなくなるアプリケーションもありますので、通常はチェックを外して使用してください。
- この印刷を行うときは、あらかじめ設定を「ユーザー設定」として保存しておき、印刷時にその設定を選択します。

参照

- ユーザー設定を使った印刷のしかたについては P.168「詳細な印刷品質を変更し、好みの設定で印刷する」を参照してください。

スプール方式を変える

スプール方式を EMF に設定すると、印刷処理から解放されるまでの時間が短くなります。正しく印刷できない場合、スプール方式を変更すると印刷できることがあります。

1. **アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **ウィンドウタイプとして「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブで [アイコンの変更／新規作成] をクリックし、[その他] タブをクリックします。**

   「機能別ウィンドウ」を選択しているときは、[その他] タブをクリックします。
3. **[EMF スプールする] をクリックしてチェックを付けます。**
4. **「ワンクリック設定」選択時は [名前をつけて保存] または [上書き保存] をクリックし、設定を保存します。**
5. **その他の印刷条件を必要に応じて指定し、[OK] をクリックします。**

   プリンタードライバーの設定画面が閉じます。
6. **印刷の指示をします。**

補足

- Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 で使用できる機能です。
- ウィンドウタイプとして「ワンクリック設定」を選択しているときは、ワンクリック設定に登録してから印刷します。

TrueType フォントの展開処理を変更する

一部の外字などを使用する場合、文字化け等が起こることがあります。そのような場合、TureType フォントの展開処理を変更することにより、正しく印刷できることがあります。

この設定をユーザー設定に保存するには

1. **プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **[印刷品質 - ユーザー設定] ダイアログを開きます。**
3. **[その他] タブをクリックし、[TrueType フォントの展開処理を変更する] をクリックしてチェックを付けます。**
4. **ユーザー設定に付ける名前を [ユーザー設定名] ボックスに入力します。**

   入力文字数は半角 32 文字（全角 16 文字）以内です。
5. **[OK] をクリックし、設定を保存します。**

6. [OK] をクリックし、プリンタードライバーの設定画面を閉じます。

補足

- 同時に変倍を行うと、文字が劣化して印刷される場合があります。
- 印刷に多少時間がかかります。
- この印刷を行うときは、あらかじめ設定を 「ユーザー設定」として保存しておき、印刷時にその設定を選択します。

参照

- ユーザー設定を使った印刷のしかたについては、P.168「詳細な印刷品質を変更し、好みの設定で印刷する」を参照してください。

便利な機能

便利な機能の説明です。

最後のページから印刷する

ページ順を逆にし、最後のページから印刷することができます。

印刷面が上になって排紙されるトレイを使用するとき、文書をページ順に揃えることができます。

1. **アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **ウィンドウタイプとして「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブで [アイコンの変更／新規作成] をクリックし、[その他] タブをクリックします。**

   「機能別ウィンドウ」を選択しているときは、[その他] タブをクリックします。
3. **[逆順印刷] をクリックしてチェックを付けます。**
4. **「ワンクリック設定」選択時は [名前をつけて保存] または [上書き保存] をクリックし、設定を保存します。**
5. **その他の印刷条件を必要に応じて指定し、[OK] をクリックします。**

   プリンタードライバーの設定画面が閉じます。
6. **印刷の指示をします。**

補足

- アプリケーションに同様の機能がある場合、アプリケーション側では設定しないでください。

白紙のページも印刷する

余分な用紙が排紙されないよう、通常は白紙のページを印刷しないように設定されていますが、白紙として印刷することもできます。

1. **アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **ウィンドウタイプとして「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブで [アイコンの変更／新規作成] をクリックし、[その他] タブをクリックします。**

   「機能別ウィンドウ」を選択しているときは、[その他] タブをクリックします。
3. **[白紙を節約する] が選択されているときは、クリックしてチェックを外します。**
4. **「ワンクリック設定」選択時は [名前をつけて保存] または [上書き保存] をクリックし、設定を保存します。**
5. **その他の印刷条件を必要に応じて指定し、[OK] をクリックします。**

   プリンタードライバーの設定画面が閉じます。
6. **印刷の指示をします。**

補足

- 白紙を印刷しない設定は、アプリケーションや印刷データによっては反映されないことがあります。
- [白紙を節約する] を選択しているときは、[スペースを印刷する] が選択可能となります。スペースや白の図形部分は残して印刷したいときは、[スペースを印刷する] をクリックしてチェックをつけます。スペースや白の図形部分も節約して印刷しないときは、チェックは付けないでください。

用紙サイズいっぱいに印刷する

CAD 用アプリケーションなどで通常の印刷領域より外側にデータを作成した場合でも、印刷領域を広げることにより用紙サイズいっぱいに印刷することができます。

1. **アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **ウィンドウタイプとして「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブで [初期設定] をクリックします。**

   「機能別ウィンドウ」を選択しているときは、[初期設定] タブをクリックします。
3. **[印刷領域] ボックスのドロップダウンメニューから「最大」を選択します。**
4. **「ワンクリック設定」選択時は、[OK] をクリックして [初期設定] ダイアログを閉じます。**
5. **その他の印刷条件を必要に応じて指定し、[OK] をクリックします。**

   プリンタードライバーの設定画面が閉じます。
6. **印刷の指示をします。**

プリンタードライバーの設定内容を保存する

プリンタードライバーの設定内容を保存しておき、必要なときに呼び出して使用できます。印刷するデータや印刷のしかたに応じて最適な設定を保存しておくと、次に印刷するとき簡単に設定し直すことができます。

1. **プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **プリンタードライバーの設定内容を、保存したい状態に設定します。**
3. **[その他] タブをクリックします。**
4. **[設定内容の保存／呼び出し] をクリックします。**
5. **[ファイル名] ボックスに保存するファイル名を入力します。**

   入力文字数は半角 8 文字（全角 4 文字）以内です。

   設定ファイルの拡張子は .RST です。
6. **[保存] をクリックします。**

   ダイアログが閉じ、設定が保存されます。

補足

- ウィンドウタイプとして「機能別ウィンドウ」を選択しているときに使用できる機能です。
- Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 のプリンタープロパティの設定内容は保存されません。
- 保存しておいた設定内容をワンクリック設定として呼び出し、登録することもできます。

プリンタードライバーの設定内容を呼び出したり削除する

保存しておいたプリンタードライバーの設定内容を呼び出したり、削除します。

補足

- ウィンドウタイプとして「機能別ウィンドウ」を選択しているときに使用できる機能です。

設定内容を呼び出す場合

プリンタードライバーの設定内容を呼び出す方法の説明です。

1. **プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **[その他] タブをクリックします。**
3. **[設定内容の保存／呼び出し] をクリックします。**
4. **呼び出すファイルを選択します。**
5. **[呼び出し] をクリックします。**

   ダイアログが閉じ、保存されていた設定にプリンタードライバーが設定されます。
6. **[OK] をクリックし、プリンタードライバーの設定画面を閉じます。**

設定内容を削除する場合

プリンタードライバーの設定内容を削除する方法の説明です。

1. **プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **[その他] タブをクリックします。**
3. **[設定内容の保存／呼び出し] をクリックします。**
4. **削除するファイルを選択します。**
5. **[削除] をクリックします。**
6. **削除を確認するメッセージが表示されるので、[OK] をクリックします。**

   設定ファイルが削除されます。

補足

- これ以外の方法として、エクスプローラーなどで設定ファイル（拡張子 .RST）を削除してもかまいません。

PDF ファイルを直接印刷する

PDF ファイルを開くアプリケーションを起動することなく、PDF ファイルを本機に直接送信して印刷することができます。

重要

- オプションの PS3 拡張エミュレーションカード、または PDF ダイレクトプリント拡張エミュレーションカードが必要です。
- Adobe 純正の PDF のみ可能です。
- 対応している PDF ファイルのバージョンは、1.3、1.4、1.5 です。
- PDF バージョン 1.4 の固有機能である Transparency、JBIG2 には対応していません。

- PDF バージョン 1.5 の固有機能には対応していません。
- 日本語フォントは第 2 水準までの対応です。それ以外の文字が含まれている場合、正常に印刷できない場合があります。
- PDF 中で指定されているフォントが、埋め込まれていない場合は、フォント印刷の代替が発生し、異なる書体で印刷される場合があります。

Ridoc Desk 2000（Lt）を使用する場合

個人文書管理ソフト Ridoc Desk 2000（Lt）に PDF ファイルを登録し、PDF ファイルを直接本機に送って印刷することができます。

補足

- RPCS プリンタードライバーがインストールされている必要があります。
- Ridoc Desk 2000（Lt）のバージョンによっては、PDF ダイレクトプリントは実行できません。本機に同梱の CD に収録されている Ridoc Desk 2000（Lt）をご使用ください。
- PDF ダイレクトプリントの印刷条件は、PDF ダイレクトプリントのプロパティで設定できます。
- パスワードが設定されている PDF ファイルを印刷する場合、次の 2 つの設定が必要です。
- PDF ダイレクトプリントのプロパティで PDF パスワードを入力
- 本機の操作パネルから、[PDF 設定] メニューの [パスワード変更] で PDF パスワードを設定
- Ridoc Desk 2000（Lt）でグループパスワードを設定している場合、本機の操作パネルから、[PDF 設定] メニューの [グループパスワード] でグループパスワードを設定する必要があります。

参照

- 操作方法の詳細は、Ridoc Desk 2000（Lt）のヘルプを参照してください。

コマンドを使用する場合

Windows および UNIX から、ftp、lpr などのコマンドを使用して PDF ファイルを直接印刷できます。

参照

- Windows でコマンドを使用した印刷については、P.71「Windows からのファイル直接印刷」を参照してください。
- UNIX でコマンドを使用した印刷については、P.121「UNIX で印刷する」を参照してください。

印刷方向について

プリンタードライバーで [両面] と [集約] の設定時には、必ず PDF 原稿の向きに合わせて [タテ] もしくは [ヨコ] のどちらかを選択してください。

ステープルとパンチについて

プリンタードライバーで [ステープル] と [パンチ] の設定における上下左右の位置は、ポートレート文書においての位置を表しています。ランドスケープ文書のステープル、パンチは意図しない結果になる場合があります。

印刷終了後にプリンターのエミュレーションを切り替える

複数のパソコンでプリンターを共有している場合で、その中に DOS で印刷しているパソコンがあるときに使用する機能です。

通常、DOS から印刷するには、使用するアプリケーションに応じてプリンターのエミュレーションを設定しておく必要があります。印刷後のエミュレーションとして DOS から印刷するときのエミュレーション（または、プログラム）を選択しておくと、次の印刷が DOS からの場合でもエミュレーションを切り替えずに印刷することができます。

1. **アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの設定画面を表示します。**
2. **ウィンドウタイプとして「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブで [アイコンの変更／新規作成] をクリックし、[その他] タブをクリックします。**

   「機能別ウィンドウ」を選択しているときは、[その他] タブをクリックします。
3. **[印刷後のエミュレーション] ボックスのドロップダウンメニューからエミュレーションを選択します**

   Windows だけでお使いの場合は、「なし」または「直前のエミュレーション」を選択してください。

   「直前のエミュレーション」を選択すると、印刷前に設定されていたエミュレーションに戻ります。
4. **「ワンクリック設定」選択時は [名前をつけて保存] または [上書き保存] をクリックし、設定を保存します。**
5. **その他の印刷条件を必要に応じて指定し、[OK] をクリックします。**

   プリンタードライバーの設定画面が閉じます。
6. **印刷の指示をします。**

試し印刷する

複数部数印刷する場合など、最初に 1 部だけ印刷し、その結果を確認した後に操作部を使用して残り部数を印刷できます。内容や印刷の指定を間違えたときなどに大量のミスプリントを防ぐことができます。

重要

- 拡張 HDD が必要です。
- 以下の場合、文書は本機に蓄積されません。蓄積されなかった文書は、エラー履歴で確認できます。
  - 試し印刷と機密印刷の文書が、本機に合計して 30 ジョブ蓄積されているときに送信された 31 番目の文書
  - 1 文書あたり 1,000 ページを超える文書を送信した場合
- 試し印刷として蓄積できる最大総ページ数は、機密印刷と合わせて 1,100 ページです。

参照

- エラー履歴について詳しくは P.194「エラー履歴を確認する」を参照してください。

2 部目以降を印刷する

2 部目以降を印刷する方法の説明です。

1. **プリンタードライバーのプロパティの [基本] タブで、[印刷方法] のドロップダウンメニューから [試し印刷] を選択します。**

   「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブをクリックします。
2. **[初期設定] タブの [ユーザー ID] ボックスにユーザー ID を半角英数字 8 文字以内で入力します。**

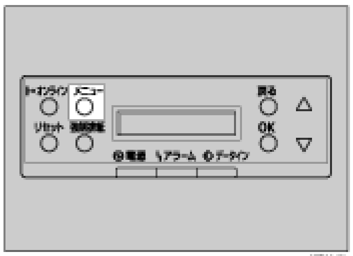
   「ワンクリック設定」を選択しているときは、[初期設定] ダイアログで設定します。

3. **印刷の指示をします。**

   1 部目が印刷され、拡張 HDD に文書が蓄積されます。

4. **印刷結果を確認し、操作部から 2 部目以降を印刷する指示します。**

5. **操作部の [メニュー] キーを押します。**

6. **[▲]（上三角）または [▼]（下三角）キーを使用して、「タメシインサツブンショ」を表示させ、[OK] キーを押します。**

＜メニュー＞ 　タメシインサツ　フ゛ンショ

   蓄積されている文書の印刷指示を出した時間とユーザー ID が表示されます。

7. **[▲]（上三角）または [▼]（下三角）キーを使用して、印刷する文書を表示させ、[OK] キーを押します。**

＜タメシインサツ　フ゛ンショ＞ 　０８：５６　ＡＢＣＤ１２３４

8. **「1. インサツ」が表示されているのを確認して、[OK] キーを押します。**

＜センタク　フ゛ンショ＞ １．インサツ

   残りの印刷部数が表示されます。印刷をキャンセルする場合は [戻る] キーを押します。

9. **[OK] キーを押します。印刷部数を変更する場合は [▲]（上三角）または [▼]（下三角）キーを使用して、部数を設定してから [OK] キーを押します。**

フ゛スウ：　　６（１－９９９） ＯＫ キーテ゛　インサツサレマス

   文書が印刷され、拡張 HDD に蓄積されていた文書は削除されます。

文書を消去する

試し印刷の内容を確認し、2 部目以降を印刷しない場合は、本機に蓄積されている文書を消去します。

1. **プリンタードライバーのプロパティの [基本] タブで、[印刷方法] のドロップダウンメニューから [試し印刷] を選択します。**

   「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブをクリックします。

2. **[初期設定] タブの [ユーザー ID] ボックスにユーザー ID を半角英数字８文字以内で入力します。**

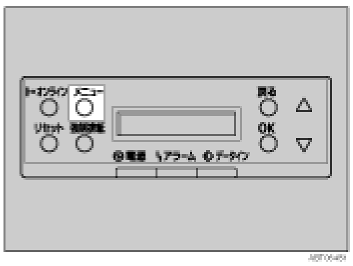
   「ワンクリック設定」を選択しているときは、[初期設定] ダイアログで設定します。

3. **印刷の指示をします。**

   １部目が印刷され、拡張 HDD に文書が蓄積されます。

4. **印刷結果を確認し、操作部から削除する指示します。**

5. **操作部の [メニュー] キーを押します。**



6. **[▲]（上三角）または [▼]（下三角）キーを使用して、「タメシインサツブンショ」を表示させ、[OK] キーを押します。**

   ＜メニュー＞
   　タメシインサツ　ブ゛ンショ

   蓄積されている文書の印刷指示を出した時間とユーザー ID が表示されます。

7. **[▲]（上三角）または [▼]（下三角）キーを使用して、削除する文書を表示させ、[OK] キーを押します。**

   ＜メニュー＞
   キミツインサツブ゛ンショ

8. **[▲]（上三角）または [▼]（下三角）キーを使用して、「2. ショウキョ」を表示させ、[OK] キーを押します。**

   ＜センタク　ブ゛ンショ＞
   ２．ショウキョ

   消去をキャンセルする場合は [戻る] キーを押します。

9. **文書を確認し、[OK] キーを押します。**

   ０８：５６　ＡＢＣＤ１２３４
   ＯＫ キーデ゛　ショウキョサレマス

   「ショウキョサレマシタ」というメッセージが表示され、試し印刷文書の選択画面に戻ります。

10. [オンライン] キーを押します。

通常の画面に戻ります。

インサツデ゛キマス ＲＰＣＳ

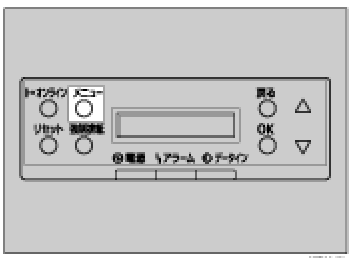
エラー履歴を確認する

文書が本機に蓄積できなかった場合は、履歴が残り操作部で確認することができます。

重要

- エラー履歴に表示されるのは最新の 20 件だけです。またプリンターの電源を切った場合、それまでの履歴は消去されます。

1. 操作部の【メニュー】キーを押します。



2. [▲]（上三角）または [▼]（下三角）キーを使用して、「タメシインサツブンショ」を表示させ、[OK] キーを押します。

＜メニュー＞ タメシインサツフ゛ンショ

蓄積されている文書の印刷指示をっ出した時間とユーザー ID が表示されます。

3. [▲]（上三角）または [▼]（下三角）キーを使用して、「エラーブンショ」を表示させ、[OK] キーを押します。

＜メニュー＞ エラー　フ゛ンショ

4. [▲]（上三角）または [▼]（下三角）キーを使用して、履歴を確認します。

＜エラー　フ゛ンショ＞ ０６：５３　ＥＦＧＨ４５６７

履歴を確認し終わったら、[戻る] キーを押します。

試し印刷文書の選択画面に戻ります。

5. [オンライン] キーを押します。

通常の画面に戻ります。

機密印刷する

ネットワークでプリンターを共有している場合など、他人に見られたくない文章を印刷するときなどに有効な機能です。いったん本機にデータを蓄積し、操作部を使用して蓄積したデータを印刷することができます。機密印刷を使うと本機の操作部からパスワードを入力しないと印刷できなくなりますので、他人に見られる心配がありません。

重要

- 拡張 HDD が必要です。
- 以下の場合、文書は本機に蓄積されません。蓄積されなかった文書は、エラー履歴で確認できます。
  - 試し印刷と機密印刷の文書が、本機に合計して 30 ジョブ蓄積されているときに送信された 31 番目の文書
  - 1 文書あたり 1,000 ページを超える文書を送信した場合
- 機密印刷として蓄積できる最大総ページ数は、試し印刷と合わせて 1,100 ページです。

参照

- エラー履歴について詳しくは P.198「エラー履歴を確認する」を参照してください。

操作部を使って印刷する

機密文書を操作部を使って印刷します。

1. **プリンタードライバーのプロパティの [基本] タブで、[印刷方法] のドロップダウンメニューから [機密印刷] を選択します。**

   「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブをクリックします。

2. **[初期設定] タブの [ユーザー ID] ボックスにユーザー ID を半角英数字８文字以内で入力します。**

   「ワンクリック設定」を選択しているときは、[初期設定] ボタンをクリックし、[初期設定] ダイアログで設定します。

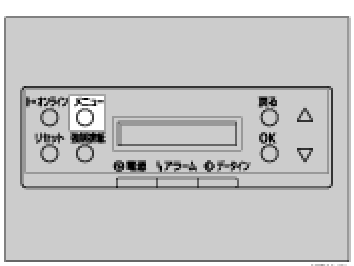
3. **[基本] タブの [印刷方法の詳細] ボタンをクリックし、[印刷方法の詳細] ダイアログでパスワードを半角数字４文字以内で入力します。**

   「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷方法の詳細] ボタンをクリックし、[印刷方法の詳細] ダイアログでパスワードを半角数字 4 文字以内で入力します。

4. **印刷の指示をします。**

   文書が拡張 HDD に蓄積されます。

5. **操作部でパスワードを入力し、印刷する指示します。**
6. **操作部の [メニュー] キーを押します。**



7. **[▲]（上三角）または [▼]（下三角）キーを使用して、「キミツインサツブンショ」を表示させ、[OK] キーを押します。**

```
＜メニュー＞
　キミツインサツ　フ゛ンショ
```

蓄積されている文書の印刷指示を出した時間とユーザー ID が表示されます。

8. **[▲]（上三角）または [▼]（下三角）キーを使用して、印刷する文書を表示させ、[OK] キーを押します。**

```
＜キミツインサツ　フ゛ンショ＞
　０７：３６　ＤＣＢＡ４３２１
```

9. **パスワードを入力するために、[▲]（上三角）または [▼]（下三角）キーを使用して、任意の数字を表示させ、[OK] キーを押します。**

```
ハ゜スワート゛：
[１－－－]
```

10. **カーソルが次の位に移動します。**

```
ハ゜スワート゛：
[１２－－]
```

11. **同様にすべての位を設定し、[OK] キーを押します。**
12. **「1. インサツ」が表示されているのを確認して、[OK] キーを押します。**

```
＜センタク　フ゛ンショ＞
１．インサツ
```

印刷部数が表示されます。印刷をキャンセルする場合は [戻る] キーを押します。

13. **[OK] キーを押します。**

```
０７：３６　ＤＣＢＡ４３２１
ＯＫ キーテ゛　インサツサレマス
```

文書が印刷され、拡張 HDD に蓄積されていた文書は削除されます。

文書を消去する

機密印刷の文書として蓄積された文書を本機から消去する方法の説明です。

1. **プリンタードライバーのプロパティの [基本] タブで、[印刷方法] のドロップダウンメニューから [機密印刷] を選択します。**

「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブをクリックします。

2. **[初期設定] タブの [ユーザー ID] ボックスにユーザー ID を半角英数字８文字以内で入力します。**

   「ワンクリック設定」を選択しているときは、[初期設定] ボタンをクリックし、[初期設定] ダイアログで設定します。

3. **[基本] タブの [印刷方法の詳細] ボタンをクリックし、[印刷方法の詳細] ダイアログでパスワードを半角数字４文字以内で入力します。**

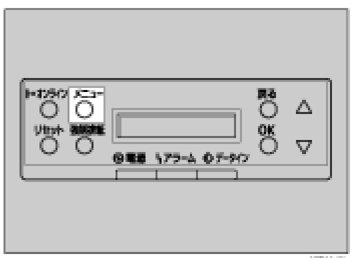
   「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷方法の詳細] ボタンをクリックし、[印刷方法の詳細] ダイアログでパスワードを半角数字 4 文字以内で入力します。

4. **印刷の指示をします。**

   文書が拡張 HDD に蓄積されます。

5. **操作部でパスワードを入力し、削除する指示します。**

6. **操作部の [メニュー] キーを押します。**



7. **[▲]（上三角）または [▼]（下三角）キーを使用して、「キミツインサツブンショ」を表示させ、[OK] キーを押します。**

   ＜センタク　ブ゛ンショ＞
   ２．ショウキョ

   蓄積されている文書の印刷指示を出した時間とユーザー ID が表示されます。

8. **[▲]（上三角）または [▼]（下三角）キーを使用して、削除する文書を表示させ、[OK] キーを押します。**

   ＜キミツインサツ　ブ゛ンショ＞
   ０７：３６　ＤＣＢＡ４３２１

9. **パスワードを入力するために、[▲]（上三角）または [▼]（下三角）キーを使用して、任意の数字を表示させ、[OK] キーを押します。**

   ハ゜スワート゛：
   [１ーーー]

10. **カーソルが次の位に移動します。**

    ハ゜スワート゛：
    [１２ーー]

11. **同様にすべての位を設定し、[OK] キーを押します。**

12. 「2. ショウキョ」が表示されているのを確認して、[OK] キーを押します。

```
＜センタク　ブ゛ンショ＞
２．ショウキョ
```

消去をキャンセルする場合は [戻る] キーを押します。

13. 消去する文書を確認し、[OK] キーを押します。

```
０７：３６　ＤＣＢＡ ４３２１
ＯＫ キーデ゛　ショウキョサレマス
```

「ショウキョサレマシタ」というメッセージが表示され、機密印刷文書の選択画面に戻ります。

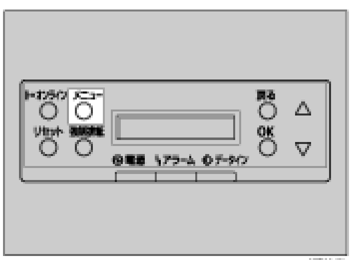
エラー履歴を確認する

文書が本機に蓄積できなかった場合は、履歴が残り操作部で確認することができます。

重要

- エラー履歴に表示されるのは最新の 20 件だけです。また主電源を「Off」にすると、それまでの履歴は消去されます。

1. 操作部の [メニュー] キーを押します。



2. [▲]（上三角）または [▼]（下三角）キーを使用して、「キミツインサツブンショ」を表示させ、[OK] キーを押します。

```
＜メニュー＞
　キミツインサツ　ブ゛ンショ
```

蓄積されている文書の印刷指示を出した時間とユーザー ID が表示されます。

3. [▲]（上三角）または [▼]（下三角）キーを使用して、「エラーブンショ」を表示させ、[OK] キーを押します。

```
＜キミツインサツ　ブ゛ンショ＞
　エラー　ブ゛ンショ
```

4. [▲]（上三角）または [▼]（下三角）キーを使用して、履歴を確認します。

```
＜エラー　ブ゛ンショ＞
　０８：５６　ＨＧＦＥ ７６５４
```

履歴を確認し終わったら、[戻る] キーを押します。

機密印刷文書の選択画面に戻ります。

5. [オンライン] キーを押します。

通常の画面に戻ります。

強制印刷する

印刷時に指定した用紙サイズ、用紙種類に合致するトレイがないときや、本機にセットした用紙がなくなったとき、強制印刷する操作について説明します。

トレイを選んで印刷するとき

1. 操作部ディスプレイに、トレイ選択のメッセージが表示されます。

2. [強制排紙] キーを押して、使用するトレイを表示させます。

3. [OK] キーを押します。

確認のメッセージが表示されます。

4. [OK] キーを押します。

選択したトレイで印刷を行います。

印刷を中止するとき

1. [リセット] キーを押します。

2. [▲]（上三角）または [▼]（下三角）キーを押して、印刷中のジョブだけを中止するか、すべてのジョブを中止するかを選択します。

- 印刷中のジョブだけを中止する場合

```
ジ゛ョフ゛リセットシマスカ？
カレントジ゛ョフ゛
```

- すべてのジョブを中止する場合

```
ジ゛ョフ゛リセットシマスカ？
スベテノジ゛ョフ゛
```

印刷を継続する場合は、「インサツケイゾク」を選択して [OK] を押します。

3. [OK] を押します。

確認のメッセージが表示されます。[OK] を押さずに [戻る] を押すと、印刷は継続されます。

4. [OK] を押します。

「ジョブリセットチュウ」と表示され、印刷が中止されます。

補足

- ステープル、パンチが設定されている場合は、設定を解除することによってトレイを変更できます。
- エラースキップの設定がされている場合は、設定時間経過後いずれかのトレイの用紙で印刷されます。エラースキップについて詳しくは使用説明書＜プリンター本体の操作＞「プリンター本体の設定」を参照してください。
- 用紙サイズが小さいトレイを選択すると端が切れるなど正しく印刷されないことがあります。
- 印刷を中止したデータが再び印刷される場合は、インターフェース設定の「I/F 切替時間」を長く設定してください。

印刷時の注意

印刷するときの注意事項です。

フィニッシャーについて

フィニッシャーを本機に取り付けることにより、印刷した用紙の仕分けやステープル、パンチが可能になります。ここでは、フィニッシャーを使用する際の注意事項を記載しています。ご使用になる前に必ずお読みください。

プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、必ずプリンタードライバーでオプションの設定をしてください。

両面 / 製本印刷、集約印刷、ステープル、パンチを使用するときには、必ずプリンタードライバーで原稿サイズと原稿方向を設定してください。

補足

- ご使用になるアプリケーションによっては印刷時の設定が有効にならず、意図しない印刷結果になることがあります。
- プリンタードライバーでステープルやソート（部単位印刷）の設定をするときは、アプリケーションの部単位印刷設定が無効になっていることを確認してください。アプリケーションの部単位印刷を有効にして印刷をすると、意図しない印刷結果になることがあります。

参照

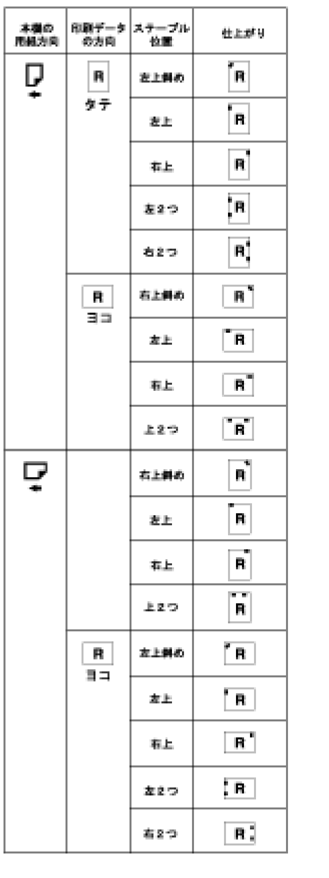
- ステープルをお使いになるときは、あわせて P.201「ステープルについて」も参照してください。
- パンチをお使いになるときは、あわせて P.203「パンチについて」も参照してください。

ステープルについて

本機では、オプションのフィニッシャーを取り付けると、複数部数の印刷をするときに印刷物を 1 部ずつステープルすることができます。

ステープルの位置

印刷方向、用紙セット方向によって、指定できるステープル位置は異なります。ステープルできる位置に関する説明です。



補足

- PostScript 3 をご使用の場合は、ステープルされる位置は異なります。詳しくは、『PostScript 3』使用説明書を参照してください。

ステープルを行うときの注意事項

ステープルを行うときの注意事項です。

- オプションの 2000 枚フィニッシャー装着時のみ有効です。
- フィニッシャーを接続しているのにステープルの設定ができない場合は、プリンタードライバーでオプション装置が正しく設定されていない可能性があります。[オプション構成の変更／給紙トレイ設定] でオプション装置を正しく設定してください。⇒プリンタードライバーのヘルプ

- ステープルができる用紙サイズと可能枚数は、次のとおりです。
    - A3、11×17、B4、Legal の場合、30 枚のステープルが可能です。
    - A4、B5、Letter の場合、50 枚のステープル t が可能です。
- 手差しトレイから給紙する場合は、ステープルできません。
- 用紙サイズが混在する場合、ステープルできる用紙サイズの組み合わせは次のとおりです。
    - A3と A4
    - B4と B5
    - 11"×17"と 8 1 /2"×11"
- 両面の指定をしているときは、ステープル位置ととじ方向を合わせてください。
- ステープルするときには、必ずプリンタードライバーで原稿用紙サイズと原稿方向を設定してください。
- 以下の条件のときにステープル印刷は解除されます。
    - ステープル可能な枚数を超えた場合
    - ステープル不可能な用紙サイズが選択された場合
    - ステープル可能個所以外のステープル位置を指定した場合
    - 両面印刷時に両面とじ方向とステープル印刷のとじ位置に矛盾がある場合
    - 1 つのジョブデータ内で途中に異なる用紙サイズ（A4と A3のようにタテの幅が異なる用紙）が指定され、用紙サイズの混載が発生した場合
    - 手差しトレイから給紙した場合
    - エラースキップを ON にした場合にステープルの針がなくなると、メッセージ表示後ステープルを解除して印刷を続けます。

補足

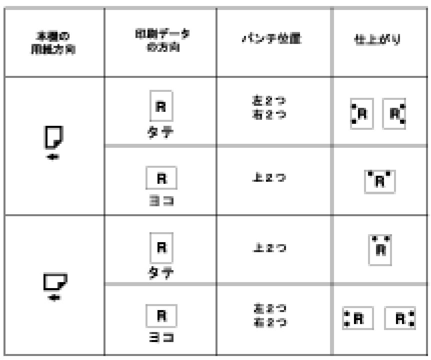
- ご使用になるアプリケーションによっては印刷時の設定が有効にならず、意図しない印刷結果になることがあります。
- プリンタードライバーでステープルの設定をするときは、アプリケーションの部単位印刷設定が無効になっていることを確認してください。アプリケーションの部単位印刷設定を有効にして印刷をすると、意図しない印刷結果になることがあります。
- 紙づまりの位置によって、エラー対処後の印刷再開動作は異なります。
    - 2000 枚フィニッシャーで紙づまりが発生した場合：紙づまりの位置によって、印刷中のデータの先頭ページまたは紙づまりが発生したページから印刷を再開します。
    - 本機側で紙づまりが発生した場合：印刷中のデータの紙づまりが発生したページから印刷を再開します。
- 本機側で紙づまりが発生した場合でも、フィニッシャーカバーの開閉を行わないとエラーが解除されない場合があります。

パンチについて

オプションの 2000 枚フィニッシャーを取り付けると、印刷物にパンチ穴をあけることができます。

パンチの位置

印刷方向、プリンターの用紙セット方向によって、指定できるパンチ位置が異なります。パンチできる位置は次のとおりです。



補足

- 印刷 1 枚ごとにパンチ穴を開けるため、パンチ穴の位置に多少のばらつきが生じます。
- PostScript 3 をご使用の場合は、パンチされる位置は異なります。詳しくは、『PostScript 3』使用説明書を参照してください。

パンチを行うときの注意事項

パンチを行うときの注意事項です。

- オプションの 2000 枚フィニッシャー装着時のみ有効です。
- 2000 枚フィニッシャーを接続しているのにパンチの設定ができない場合は、プリンタードライバーのオプション装置が正しく設定されていない可能性があります。[オプション構成の変更／給紙トレイ設定] で、オプション装置を正しく設定してください。⇒プリンタードライバーのヘルプ
- パンチができる用紙サイズは、次のとおりです。
    - A4、A3、B4、11×17、Legal
- 手差しトレイから給紙する場合は、パンチできません。
- 両面の指定をしているときは、パンチ位置ととじ方向を合わせてください。
- ステープルと同時に指定する場合は、同じ側に指定してください。
- パンチするときには、必ずプリンタードライバーで原稿用紙サイズと原稿方向を設定してください。
- 以下の条件のときにパンチは解除されます。
    - パンチ不可能な用紙サイズが選択された場合
    - パンチ可能個所以外のパンチ位置を指定した場合
    - 両面印刷時に両面とじ方向とパンチ位置に矛盾がある場合

- エラースキップを ON にした場合にパンチくずがいっぱいになると、メッセージ表示後パンチを解除して印刷を続けます。
- ステープルと同時に指定するときにステープル位置とパンチ位置に矛盾がある場合

補足

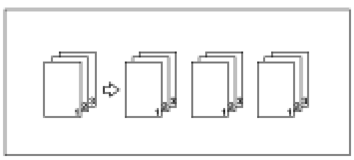
- ご使用するアプリケーションによっては印刷時の設定が有効にならず、意図しない印刷結果になることがあります。

ソートについて

会議資料など複数部数の印刷をする場合、ページ順に仕分けして印刷できます。この機能を「ソート」といいます。ソートは、パソコンから送信されてきたデータをメモリーに読み込むことによって行います。ソートには次の 2 種類があります。

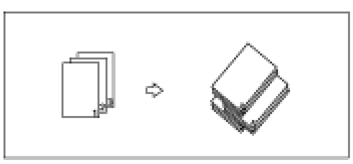
ソート

1 部ずつそろえて印刷します。



シフトソート

1 部または各動作ごとの印刷が排出されるたびに、次の印刷をずらして排出するので、部や動作の区切りがわかります。



重要

- シフトソートするにはオプションの 2000 枚フィニッシャーが必要です。

補足

- RPCS を選択しているとき、ソートの設定はプリンタードライバーで行います。
- RPCS 以外を選択しているときは、次のような動作になります。
    - ソートの設定はプリンタードライバーから行います。
    - 2000 枚フィニッシャーを接続しているのにシフトソートの設定ができない場合は、オプション装置が正しく設定されていない可能性があります。[オプション構成の変更／給紙トレイ設定] でオプション装置を正しく設定してください。⇒プリンタードライバーのヘルプ
- 一部目でエラースキップが発生した場合は、ソートは解除されます。
- 一部目で強制印刷が発生した場合は、ソートは解除されます。

スプール印刷について

スプール印刷とは、パソコンから転送される印刷ジョブを一時的に本機に蓄積して印刷する機能です。スプール印刷をすると、大容量のデータのとき、パソコンが早く印刷処理から開放されます。

重要

- 拡張 HDD が必要です。
- スプール印刷中は、ハードディスクへのアクセスが行われ、データインランプが点滅します。スプール印刷中に本機やパソコンの電源を切ると、ハードディスクが破損するおそれがあります。スプール印刷中は本機やパソコンの電源を切らないでください。

スプール印刷を設定する

Web ブラウザと telnet で設定できます。

- Web ブラウザ（管理者モード）の場合

  [設定] の [システム] の [スプール印刷] を [有効] にします。

- telnet の場合

  「spoolsw spool on」で設定します。

Web ブラウザからスプールジョブを閲覧・削除する

Web ブラウザを起動し、URL としてプリンターの IP アドレスを指定すると、トップページが表示されます。

管理者モードに移行して（パスワードの入力が必要です）、左のフレームに表示されているメニューからを [ジョブ]、[プリンター]、[スプール] の順にクリックすると、スプールジョブが表示されます。削除するには削除したいファイル名の [削除] にチェックをしてパスワードを入力し、[削除] ボタンをクリックします。⇒P.230「Web ブラウザを使用する」

補足

- 工場出荷時の設定パスワードは「ricoh」です。パスワードは変更してください。
- 「LPR」「IPP」「SMB」「diprint」「BMLinkS」以外のプロトコルで受信したデータは、スプール印刷できません。
- 一度に最大 150 ジョブまでスプールできます。
- スプール印刷をすると、1 ページ目の印刷開始は遅くなります。
- プリンターに蓄積されたスプールジョブは Web ブラウザから閲覧・削除することができます。

表紙について

表紙用の用紙に印刷します。または、1 ページ目の前に表紙用の用紙を挿入します。

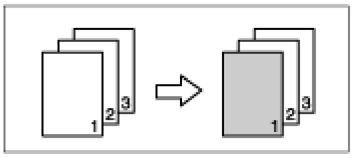
補足

- ソートの設定が必要です。
- 表紙用の用紙は印刷する用紙と同じサイズのものを同じ方向にセットします。

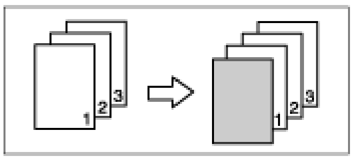
表紙

原稿の 1 ページ目を表紙用の用紙に印刷します。

- 表紙用の用紙に印刷するとき

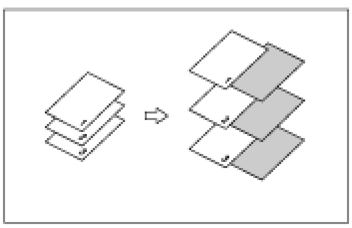


- 表紙用の用紙に印刷しないとき

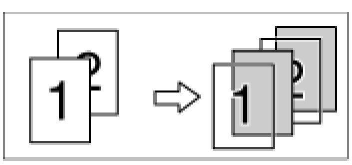


合紙について

ページごとに合紙を挿入します。



OHP フィルムに合紙用紙を入れるとき



補足

- 合紙用の用紙は印刷する用紙と同じサイズのものを同じ方向にセットします。
- ソートの設定はできません。
- 両面印刷のときは、合紙の挿入はできません。

メモリー容量と用紙サイズ

用紙サイズとデータの種類によって、本機に搭載されている標準メモリーに追加が必要になる場合があります。

片面印刷（600×600dpi の場合）

標準 128MB

- A3、B4、A4、B5、A5、ハガキ、11×17、8.5×14、8.5×11 の用紙サイズで印刷保証されます。
- 12×18 と長尺（最大 297×1260mm）の用紙サイズで印刷可能です。

64MB 追加した場合

- 12×18 の用紙サイズで印刷保証されます。

128MB 追加した場合

- 長尺（最大 297×1260mm）の用紙サイズで印刷保証されます。

片面印刷（1200×600dpi の場合）

標準 128MB

- A4、B5、A5、ハガキ、8.5×11 の用紙サイズで印刷保証されます。
- 12×18、A3、B4、11×17、8.5×14 の用紙サイズで印刷可能です。
- 長尺（最大 297×1260mm）の用紙サイズでは、画像データによってはきれいに印刷されない場合があります。

64MB 追加した場合

- 12×18、A3、B4、11×17、8.5×14 の用紙サイズで印刷保証されます。

128MB 追加した場合

- 長尺（最大 297×1260mm）の用紙サイズで印刷可能になりますが、256MB のメモリーを追加することによって印刷保証されます。

片面印刷（1200×1200dpi の場合）

標準 128MB

- 標準 128MB では、A5、ハガキの用紙サイズで印刷保証されます。
- A3、B4、A4、B5、11×17、8.5×14、8.5×11 の用紙サイズで印刷可能です。
- 12×18 の用紙サイズでは、画像データによってはきれいに印刷されない場合があります。
- 長尺（最大 297×1260mm）の用紙サイズには印刷できません。

64MB 追加した場合

- A4、B5、8.5×14、8.5×11 の用紙サイズで印刷保証されます。
- 12×18、A3、B4、11×17 の用紙サイズで印刷可能です。

128MB 追加した場合

- A3、B4、11×17 の用紙サイズで印刷保証されます。
- 長尺（最大 297×1260mm）の用紙サイズでは、画像データによってはきれいに印刷されない場合がありますが、256MB のメモリーを追加することによって印刷可能になります。

256MB 追加した場合

- 12×18 の用紙サイズで印刷保証されます。

両面印刷（600×600dpi の場合）

標準 128MB

- A4、B5、A5、8.5×11 の用紙サイズで印刷保証されます。
- A3、B4、11×17、8.5×14 の用紙サイズで印刷可能です。

64MB 追加した場合

- A3、B4、11×17、8.5×14 の用紙サイズで印刷保証されます。

両面印刷（1200×600dpi の場合）

標準 128MB

- A5 の用紙サイズで印刷保証されます。
- A3、B4、A4、B5、11×17、8.5×14、8.5×11 の用紙サイズで印刷可能です。

64MB 追加した場合

- A4、B5、8.5×14、8.5×11 の用紙サイズで印刷保証されます。

128MB 追加した場合

- A3、B4、11×17 の用紙サイズで印刷保証されます。

両面印刷（1200×1200dpi の場合）

標準 128MB

- A4、B5、A5、8.5×11 の用紙サイズで印刷可能です
- A3、B4、11×17、8.5×14 の用紙サイズでは、画像データによってはきれいに印刷されない場合があります。

64MB 追加した場合

- A5 の用紙サイズで印刷保証されます。
- A3、B4、11×17、8.5×14 の用紙サイズで印刷可能です。

128MB 追加した場合

- A4、B5、8.5×11 の用紙サイズで印刷保証されます。

256MB 追加した場合

- B4、8.5×14 の用紙サイズで印刷保証されます。

補足

- 12×18、ハガキ、長尺の両面印刷はできません。
- 手差しトレイから印刷する場合は、メモリー容量にかかわらず両面印刷の支持派解除され、片面のみに印刷されます。

5. 機器の状態表示と設定

Ridoc IO Navi を使用する

Ridoc IO Navi は、Peer-to-Peer プリント機能や機器監視機能などの機能を備えたソフトウェアです。本機をプリンターとしてご使用になるすべての方がインストールされることをお勧めします。

- 対象 OS：Windows 95/98/Me 日本語版

  プロトコルスタック：

  Windows 95/98/Me に同梱の TCP/IP プロトコル

  Windows 95/98/Me に同梱の NetBEUI プロトコル

  Windows 95/98/Me に同梱の IPX/SPX プロトコル

  NetWare Client32 for Windows 95

  IntraNetWare Client for Windows 95

  Novell Client for Windows 95
- 対象 OS：Windows 2000 日本語版

  プロトコルスタック：

  Windows 2000 に同梱の TCP/IP プロトコル

  Windows 2000 に同梱の NetBEUI プロトコル

  Windows 2000 に同梱の IPX/SPX トランスポート

  Novell Client for Windows NT/2000/XP
- 対象 OS：Windows Server 2003 日本語版

  プロトコルスタック：

  Windows Server 2003 に同梱の TCP/IP プロトコル

  Windows Server 2003 に同梱の IPX/SPX トランスポート

  Windows Server 2003 に同梱の NetWare 用クライアント
- 対象 OS：Windows XP 日本語版

  プロトコルスタック：

  Windows XP に同梱の TCP/IP プロトコル

  Windows XP に同梱の IPX/SPX プロトコル

  Novell Client for Windows NT/2000/XP
- 対象 OS：Windows NT 4.0 日本語版

  プロトコルスタック：

  Windows NT 4.0 に同梱の TCP/IP プロトコル

  Windows NT 4.0 に同梱の NetBEUI プロトコル

  Windows NT 4.0 に同梱の IPX/SPX トランスポート

  NetWare Client 32 for Windows NT

  IntraNetWare Client for Windows NT

Novell Client for Windows NT/2000/XP

どんなことができるのか？

Ridoc IO Navi では以下の操作ができます。

- Peer-to-Peer プリント機能
    - プリントサーバーがなくても、直接本機に印刷できます。
    - 本機が印刷中だったり、エラーが発生して印刷できないとき、代わりのプリンターに印刷できます（代行印刷）。
    - 複数部数の印刷を複数のプリンターに割り振って印刷できます（並行印刷）。
    - 並行印刷 / 代行印刷に指定するプリンターをあらかじめグループ登録できます。
- 印刷データを転送中または印刷中に本機にエラーが発生した場合、エラーメッセージを通知させることができます。
- 機器監視機能
    - 印刷中、用紙切れなど機器の情報をパソコン上で確認できます。
    - 複数台の機器を使い分けているときは、それらを同時に監視できます。
    - 機器のネットワークに関する設定や、装備に関する詳しい情報を確認できます。
    - ユーザー ID を使ったジョブの履歴を確認できます。
- 印刷が完了したときに、結果を通知することができます。
- 自分のジョブを 100 件まで一覧で表示することができます。
- Ridoc IO Navi で IPP ポートを作成し、Web ブラウザでサーバー証明などのセキュリティの設定をすると、SSL（暗号化通信）に対応します。

補足

- 代行印刷／並行印刷するプリンターと印刷指示をするプリンターのオプション構成を一致させてください。印刷に必要なオプション（例えばオプションのフィニッシャーなど）が代行プリンターに装着されていない場合、そのオプションを使用する機能は無効になります。
- 代行印刷／並行印刷するプリンターと印刷指示をするプリンターに同じサイズの用紙をセットしてください。特定の給紙トレイを指定して印刷するときは、同じトレイに同じサイズの用紙をセットしてください。
- 代行印刷／並行印刷するプリンターと印刷指示をするプリンターの機種や装備が違う場合、印刷結果が同じにならないことがあります。
- 試し印刷や機密印刷をする場合、代行印刷／並行印刷はできません。
- 代行印刷／並行印刷について詳しくは、Ridoc IO Navi のヘルプを参照してください。

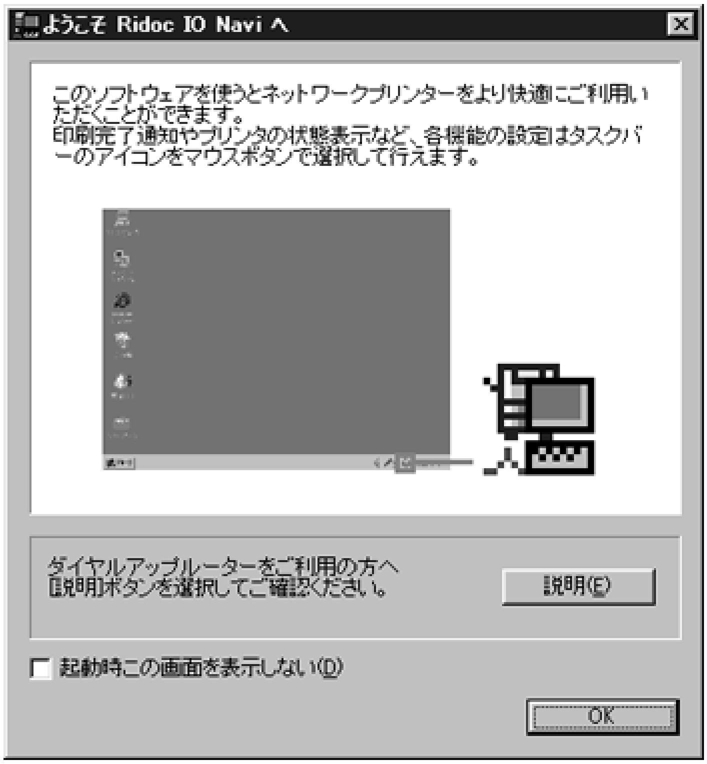
機器の監視を設定する

Ridoc IO Navi を使って機器の状態を確認できます。

Ridoc IO Navi を使用して機器の状態を表示させるには、あらかじめ状態を表示させたい機器を監視するように設定しておく必要があります。

1. Ridoc IO Navi を起動します。

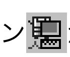
「ようこそ Ridoc IO Navi へ」の画面が表示されます。



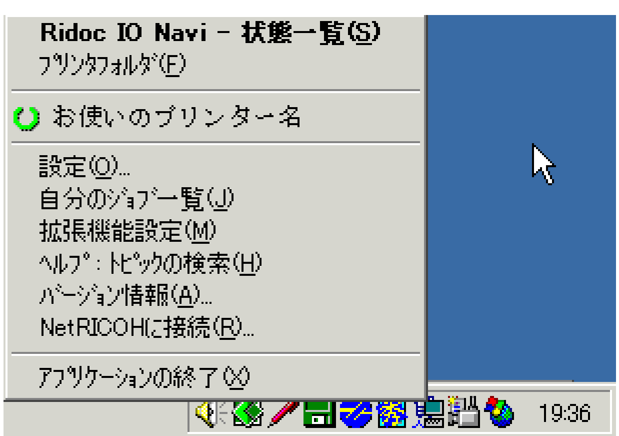
[起動時にこの画面を表示しない] をクリックすると、この画面は表示されなくなります。

本書では、以降、この画面を表示しない状態で説明します。

2. [OK] をクリックします。

タスクバーの右端に Ridoc IO Navi アイコンが表示されます。

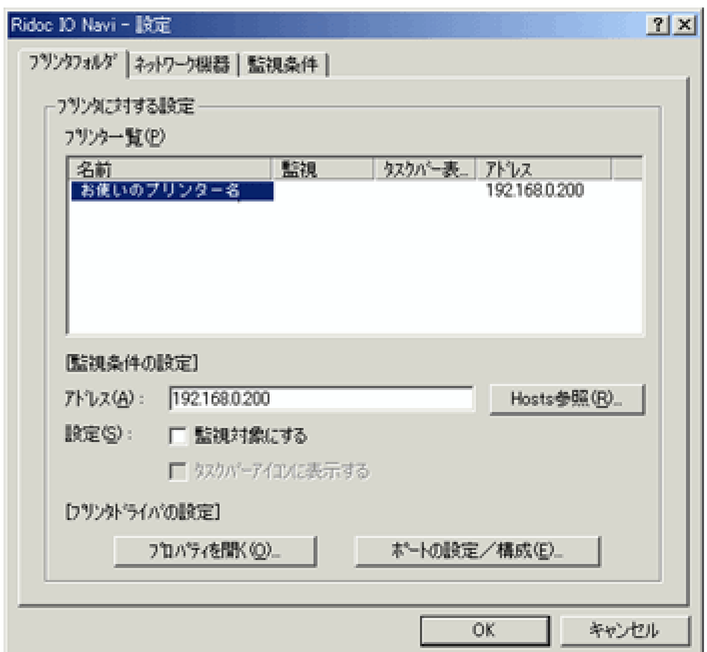
3. Ridoc IO Navi アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、表示されたポップアップメニューに目的の機器が設定されているかどうかを確認します。



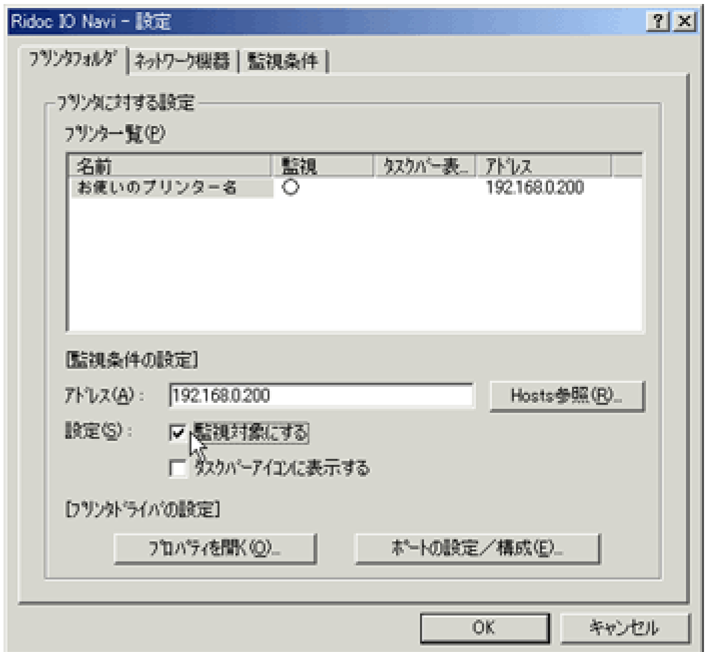
4. 目的の機器が設定されていない場合は、ポップアップメニューの [設定] をクリックします。



[Ridoc IO Navi- 設定] ダイアログが表示されます。



5. 監視する機器をクリックして反転表示させ、[設定] の [監視対象にする] にチェックを付けます。



[タスクバーアイコンに表示する] にチェックを付けると、タスクトレイの Ridoc IO Navi アイコンに機器の状態がアイコンで表示されるようになります。

6. [OK] をクリックします。

ダイアログが閉じ、設定した機器が監視の対象に含まれます。

補足

- 状態表示アイコンについて詳しくは、Ridoc IO Navi のヘルプを参照してください。

参照

- DHCP 環境で本機をご使用の場合、P.46「DHCP を使用する」を参照してください。

機器の状態を表示する

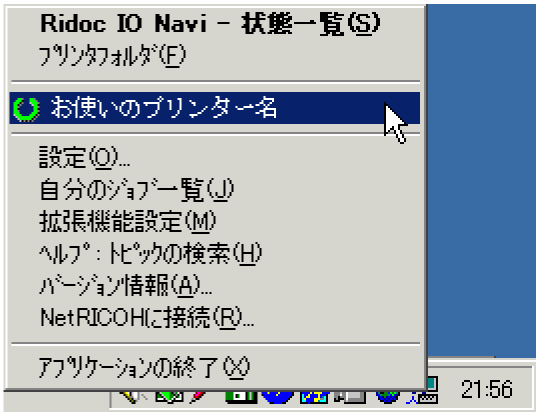
機器の状態を表示します。

1. Ridoc IO Navi を起動します。

2. Ridoc IO Navi アイコンをマウスの右ボタンでクリックします。

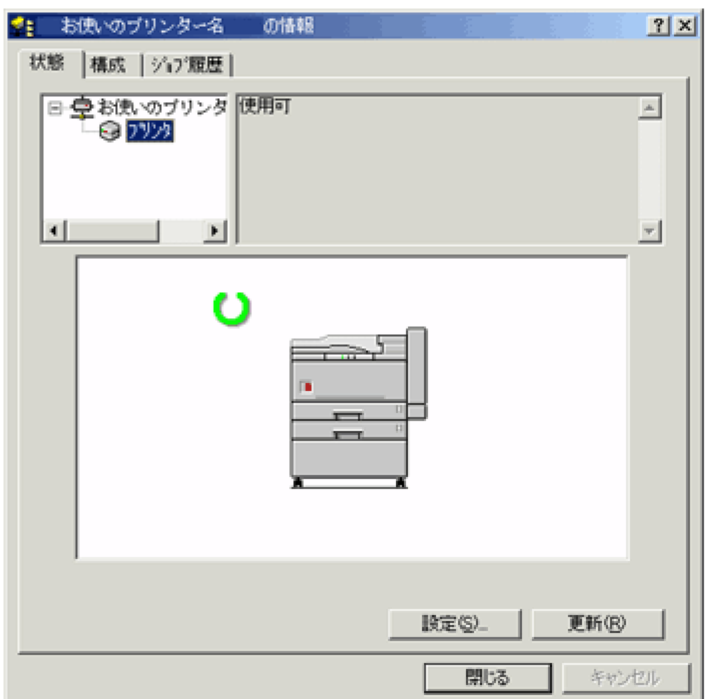
タスクトレイの Ridoc IO Navi アイコンに機器の状態が表示されます。

3. より詳しい状態を知りたい場合は、Ridoc IO Navi アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、状態を知りたい機器をクリックします。



4. [プリンタ] をクリックします。

機器の状態が、ダイアログに表示されます。



補足

- ダイアログの各項目について詳しくは、Ridoc IO Navi のヘルプを参照してください。
- 状態アイコンについて詳しくは、Ridoc IO Navi のヘルプを参照してください。

Ridoc IO Navi で IPP を使用する場合

Ridoc IO Navi で IPP を使用する際の注意事項です。

- 本機が受け付ける Ridoc IO Navi からの印刷ジョブは、1 件のみです。本機が印刷中のとき、他のユーザーが Ridoc IO Navi を使用して続けて接続しようとしても、先に行っている印刷が完了するまでは接続できません。この場合、後から接続しようとしたユーザーの Ridoc IO Navi は、リトライ設定時間経過ごとに接続を試みます。
- Ridoc IO Navi が本機に接続できずにタイムアウトになると、印刷ジョブが一時停止されます。この場合、プリンターウィンドウで一時停止を解除する必要があります。このとき、本機に接続し直されます。印刷ジョブは、プリンターウィンドウで取り消すことができますが、本機が印刷を開始してから印刷ジョブを取り消すと、この次にプリンターに接続したユーザーの印刷ジョブが正しく印刷できなくなる場合があります。
- Ridoc IO Navi からの印刷ジョブが途切れて印刷できなくなって本機により印刷ジョブが取り消された場合は、印刷の操作をもう一度やり直す必要があります。
- 他のパソコンから出された印刷ジョブは、プロトコルにかかわらず、プリンターのアイコンをダブルクリックして開くウィンドウに表示されません。
- 複数のユーザーが Ridoc IO Navi を使用して印刷しようとした場合、本機に接続しようとした順に印刷が始まらない場合があります。
- IPP の印刷ポート名に IP アドレスは使用できません。Ridoc IO Navi がポート名として IP アドレスを使用するため、ポートの競合が発生します。
- SSL を使用する場合、本機にアクセスするときは、「https://（本機のアドレス）/printer」と入力します。この場合、ご使用のパソコンに Internet Explorer がインストールされている必要があります。最新のバージョンをお使いください。Internet Explorer6.0 以降を推奨します。
- 本機にアクセスするとき、[セキュリティの警告] が表示された場合、ご使用のパソコンに証明書をインストールする必要があります。この場合、[証明書のインポートウィザード] で証明書ストアの場所は、[証明書をすべて次のストアに配置する] を選択し、[信頼されたルート] の [ローカルコンピュータ] を選択します。

参照

- SSL の設定（暗号化通信）について詳しくは、P.59「SSL（暗号化通信）の利用者側の設定」を参照してください。
- 証明書のインストール方法について詳しくは、P.56「SSL（暗号化通信）の設定」を参照してください。

Ridoc IO Admin を使用する

Ridoc IO Admin は TCP/IP プロトコル、IPX/SPX プロトコルを使ってネットワーク上の機器を監視するソフトウェアです。ネットワーク上の複数の機器の管理が可能です。ネットワーク管理者の方がお使いになることをお勧めします。

- 対象 OS：Windows 95/98/Me 日本語版

  プロトコルスタック：

  Windows 95/98/Me に同梱の TCP/IP プロトコル

  Windows 95/98/Me に同梱の IPX/SPX 互換プロトコル

  Windows 95/98/Me に同梱の NetWare ネットワーククライアント

  NetWare Client32 for Windows 95

  IntraNetWare Client for Windows 95

  Novell Client for Windows 95/98/Me

- 対象 OS：Windows 2000 日本語版

  プロトコルスタック：

  Windows 2000 に同梱の TCP/IP プロトコル

  Windows 2000 に同梱の IPX/SPX トランスポート

  Windows 2000 に同梱の NetWare 用クライアント

  Novell Client for Windows NT/2000/XP

- 対象 OS：Windows Server 2003 日本語版

  プロトコルスタック：

  Windows Server 2003 に同梱の TCP/IP プロトコル

  Windows Server 2003 に同梱の IPX/SPX トランスポート

- 対象 OS：Windows XP 日本語版

  プロトコルスタック：

  Windows XP に同梱の TCP/IP プロトコル

  Windows XP に同梱の IPX/SPX プロトコル

  Novell Client for Windows NT/2000/XP

- 対象 OS：Windows NT 4.0 日本語版

  プロトコルスタック：

  Windows NT 4.0 に同梱の TCP/IP プロトコル

  Windows NT 4.0 に同梱の IPX/SPX 互換プロトコル

  Windows NT 4.0 に同梱の Client Service for NetWare

  NetWare Client32 for Windows NT

  IntraNetWare Client for Windows NT

  Novell Client for Windows NT/2000/XP

どんなことができるのか？

Ridoc IO Admin では以下の操作ができます。

- 機器の操作部からの設定を制限し、一部の項目を変更できないようにします。
- 機器にセットされている用紙の種類を設定できます。
- 省エネモードへの切り替え、復帰などを設定できます。
- 印刷中、用紙切れなどの情報をパソコン上で確認できます。
- 同時に複数の機器を監視できます。機器の台数が多いときはグループを作り、管理しやすいように機器を分類できます。
- 機器のネットワークに関する設定や、装備に関する詳しい情報を確認できます。
- 機器のネットワークに関する設定を変更できます。
- パソコンから行ったジョブの結果を確認できます。
- 登録されたユーザーコードごとに、印刷の利用可・不可を管理できます。
- 機器の状態変化をグループごとに設定し、通知することができます。

補足

- 次の機能をお使いになる場合、パソコンと機器が TCP/IP プロトコルで通信できる環境が必要です。
- ツールを使用する。
    - 機器側操作部のメニューロック
    - 用紙種類設定
    - ユーザー情報管理ツール
    - アドレス情報管理
    - スプール印刷ジョブ一覧
- Ridoc IO Admin から Web ブラウザを開く。

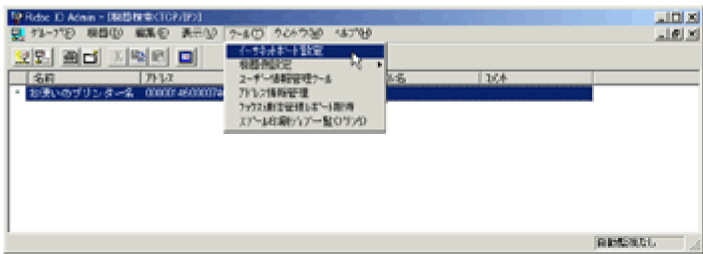
参照

- Ridoc IO Admin の機能や操作方法について詳しくは、Ridoc IO Admin のヘルプを参照してください。

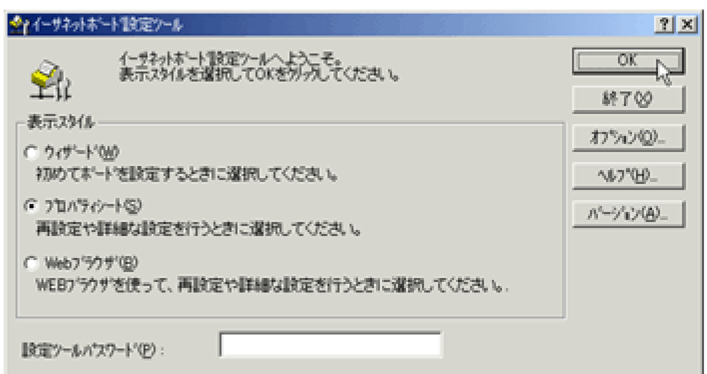
機器の名前とコメントを変更する

Ridoc IO Admin で一覧表示した機器を識別しやすくするために、表示される名前を変えたりコメントを付けたりすることができます。

1. **Ridoc IO Admin を起動します。**
2. **名前やコメントを変更したい機器をクリックして反転表示させ、[ツール] メニューの [イーサネットボード設定] をクリックします。**

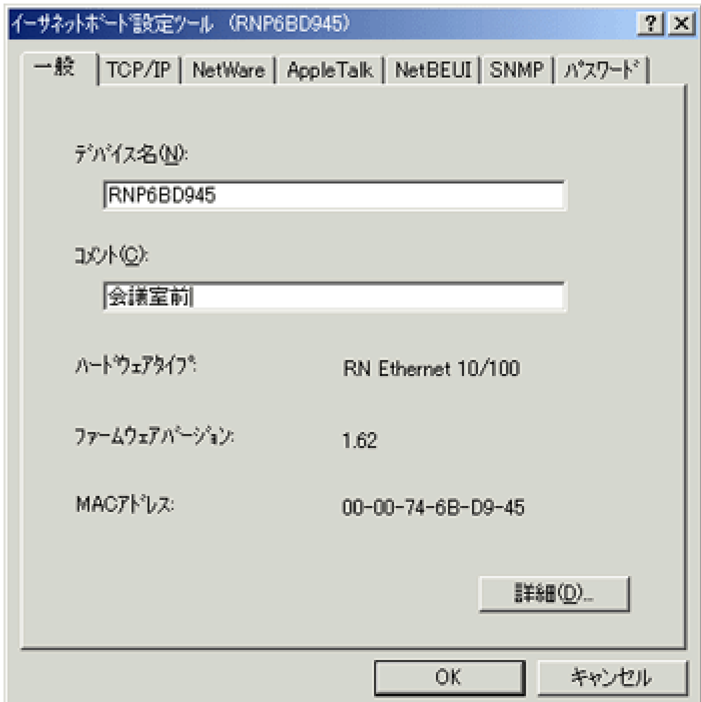


3. **[プロパティシート] をクリックし、[OK] をクリックします。**



4. **名前とコメントを変更します。**

使用しているネットワーク環境に応じて、名前とコメントを入力します。



名前、コメントおよびその他の設定項目について、詳しくはイーサネットボード設定ツールのヘルプを参照してください。

5. **[OK] をクリックします。**

イーサネットボード設定ツールが終了し、設定が機器に送信されます。

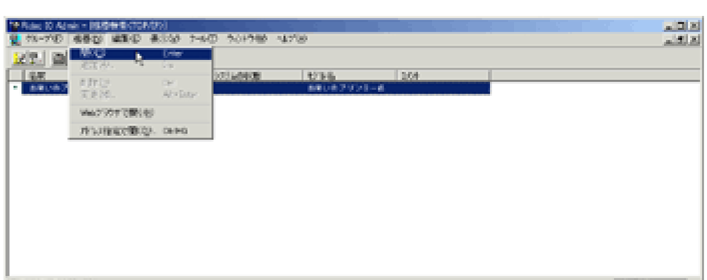
6. **Ridoc IO Admin を終了します。**

機器の状態を表示する

機器の状態を表示します。

1. **Ridoc IO Admin を起動します。**

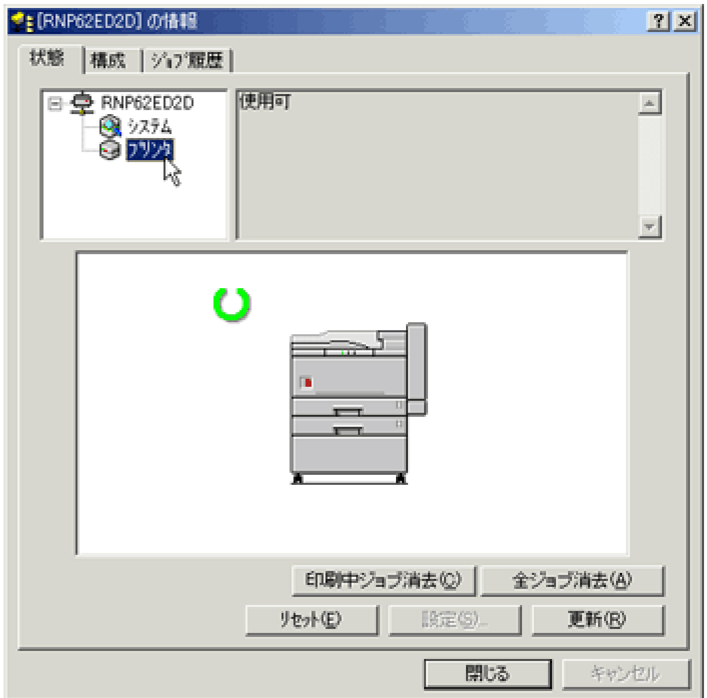
2. **より詳しい状態を知りたい場合は、一覧で状態を知りたい機器をクリックして反転表示させ、[機器] メニューの [開く] をクリックします。**



選択した機器の情報ダイアログが表示されます。

3. **[プリンタ] をクリックします。**

機器の状態が表示されます。



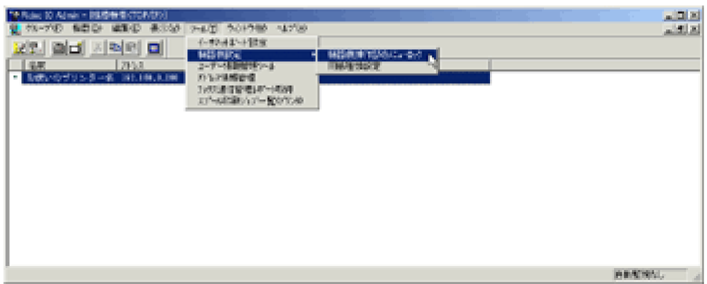
補足

- ダイアログの各項目について詳しくは、Ridoc IO Admin のヘルプを参照してください。

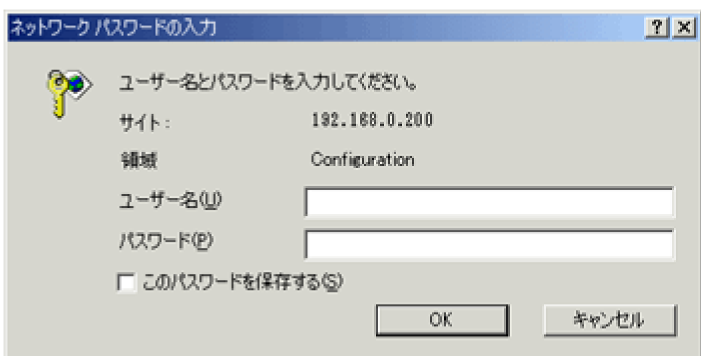
機器側操作部のメニューをロックする

機器側操作部のメニューをロックします。

1. **Ridoc IO Admin を起動します。**
2. **機器側操作部のメニューをロックしたい機器をクリックして反転表示させ、[ツール] メニューの [機器側設定] をポイントし、[機器側操作部のメニューロック] をクリックします。**



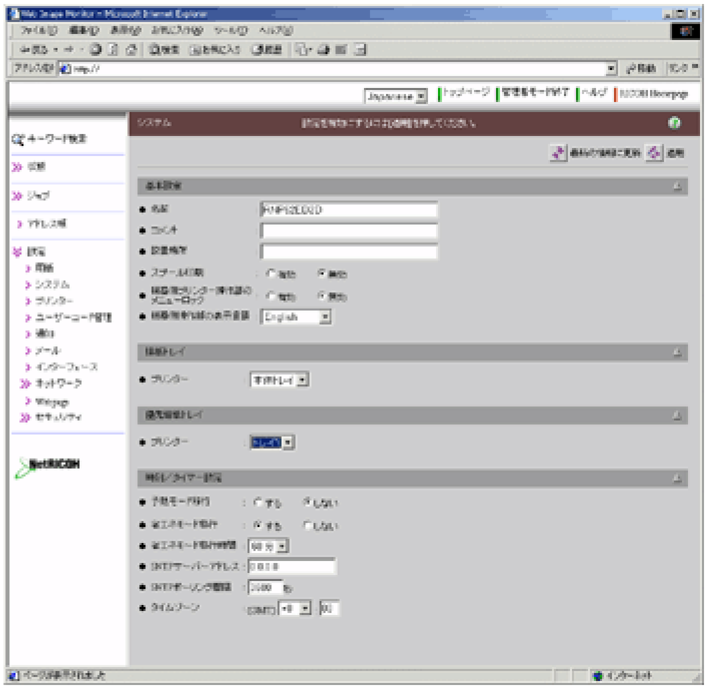
Web ブラウザが起動して、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。



3. **ユーザー名とパスワードを入力して [OK] をクリックします。**

ユーザー名は空欄のまま、パスワードには「ricoh」と入力します。パスワードの「ricoh」は工場出荷時の設定です。パスワードは変更してください。

Web ブラウザに機器設定エリアが表示されますので、設定を変更します。



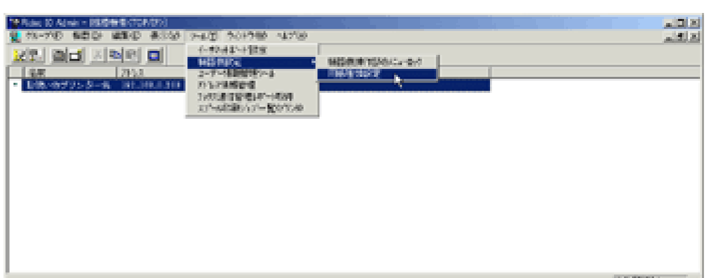
補足

- 機器設定エリアについて詳しくは、機器設定エリア内のヘルプを参照してください。

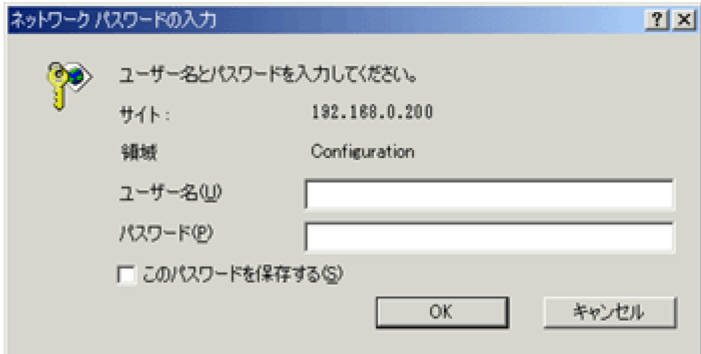
用紙種類を設定する

用紙種類を設定します。

1. **Ridoc IO Admin を起動します。**
2. **用紙種類を設定したい機器をクリックして反転表示させ、[ツール] メニューの [機器側設定] をポイントし、[用紙種類設定] をクリックします。**



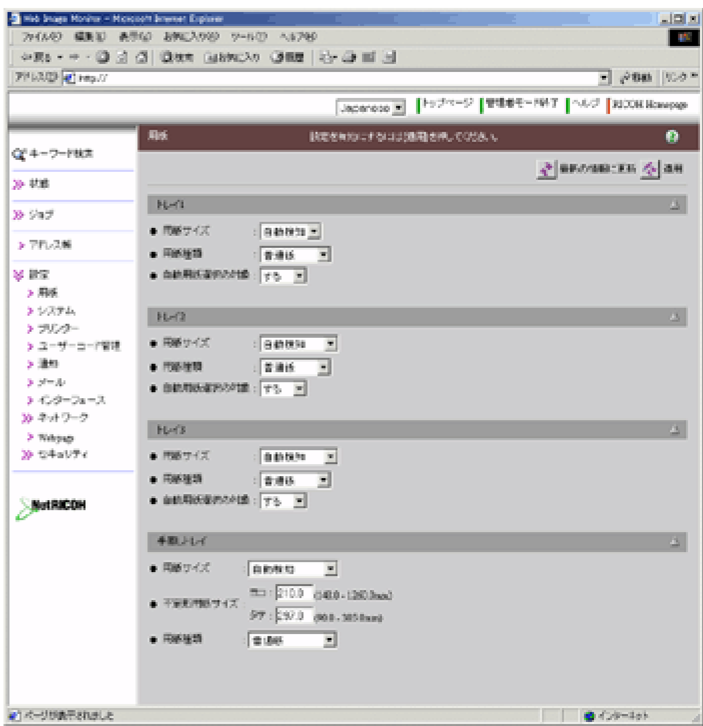
Web ブラウザが起動して、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。



3. ユーザー名とパスワードを入力して [OK] をクリックします。

ユーザー名は空欄のまま、パスワードには「ricoh」と入力します。パスワードの「ricoh」は工場出荷時の設定です。パスワードは変更してください。

Web ブラウザに機器設定エリアが表示されますので、設定を変更します。



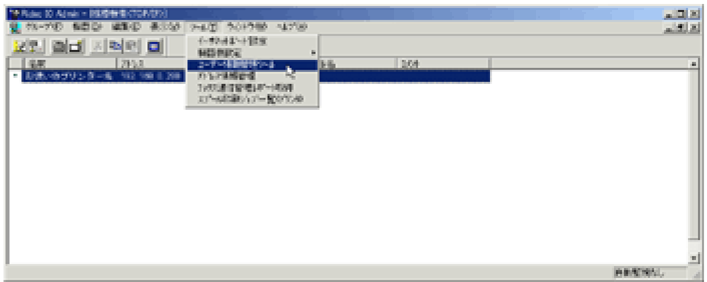
補足

- 機器設定エリアについて詳しくは、機器設定エリア内のヘルプを参照してください。

ユーザー情報を管理する

ユーザー情報を管理します。

1. **Ridoc IO Admin を起動します。**
2. **一覧からユーザー情報を管理する機器をクリックして反転表示させます。**
3. **[ツール] メニューの [ユーザー情報管理ツール] を選択します。**



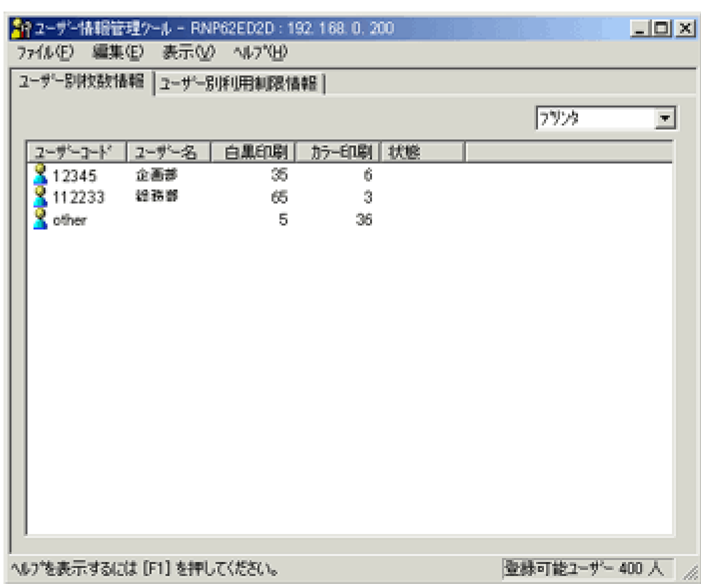
パスワードを入力する画面が表示されます。

4. **パスワードを入力して [OK] をクリックします。**



工場出荷時のパスワードは「ricoh」です。パスワードは変更してください。

ユーザー情報管理ツールが起動します。



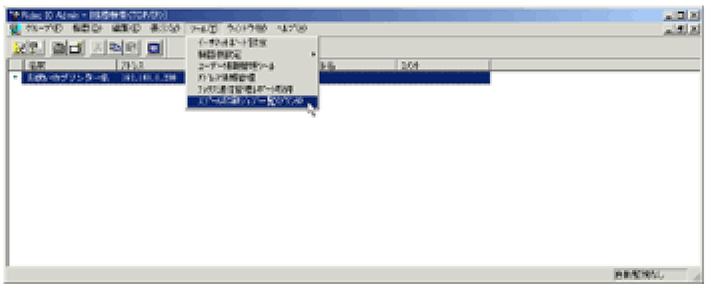
補足

- ユーザー情報管理ツールでは、ユーザー別枚数情報を確認したり、利用者制限を設定することができます。
- ユーザー情報管理ツールについて詳しくは、ユーザー情報管理ツールのヘルプを参照してください。

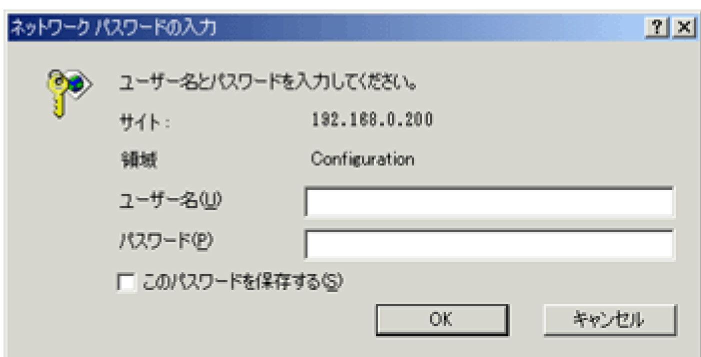
スプール印刷ジョブの一覧を印刷する

スプール印刷ジョブの一覧を印刷します。

1. **Ridoc IO Admin を起動します。**
2. **スプール印刷ジョブの一覧を印刷したい機器をクリックして反転表示させ、[ツール] メニューの [スプール印刷ジョブ一覧（プリンタ）] をクリックします。**



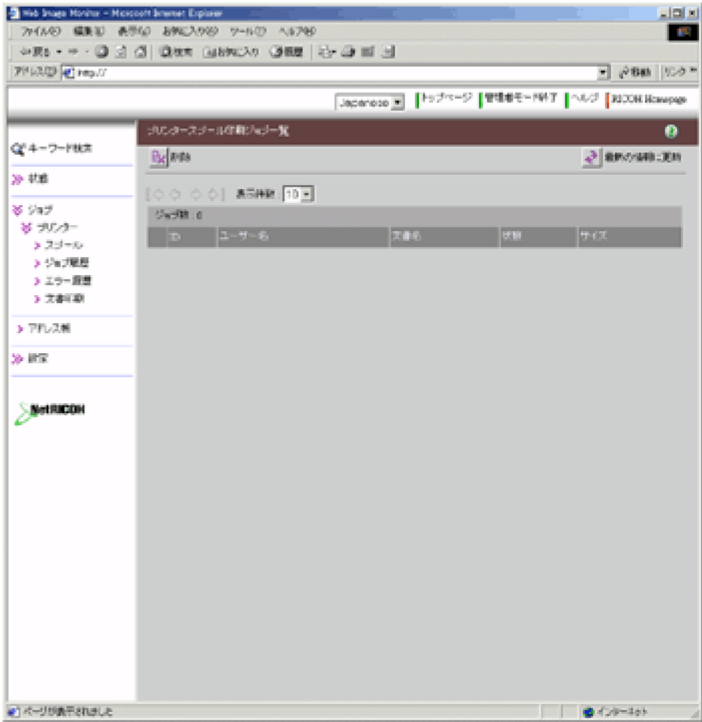
Web ブラウザが起動して、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。



3. **ユーザー名とパスワードを入力して [OK] をクリックします。**

ユーザー名は空欄のまま、パスワードには「ricoh」と入力します。パスワードの「ricoh」は工場出荷時の設定です。パスワードは変更してください。

Web ブラウザにスプール印刷ジョブ一覧が表示されますので、印刷してください。



詳しくは、スプール印刷ジョブ一覧エリア内のヘルプを参照してください。

補足

- スプール印刷ジョブ一覧を表示するためには、あらかじめ機器設定エリアでスプール印刷を [有効] に設定する必要があります。

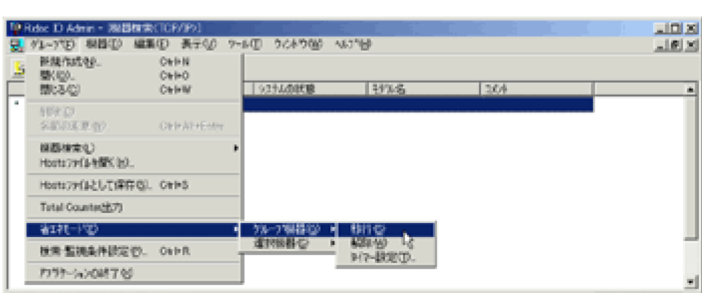
省エネモードを設定する

省エネモードを設定します。

1. Ridoc IO Admin を起動します。

2. [グループ] メニューをクリックし、[省エネモード] をポイントします。

グループ内の機器を全て設定する場合は [グループ機器] を選択します。選択した機器だけを設定する場合は [選択機器] を選択します。いずれの場合も表示されたメニューから設定したい省エネモードを選択します。



補足

- 設定値について詳しくは、Ridoc IO Admin のヘルプを参照してください。
- [選択機器] をポイントしたときは、[タイマー設定] は表示されません。

Web ブラウザを使用する

Web ブラウザを使って、本機の状態を確認したり、本機のネットワークに関する設定を変更することができます。

どんなことができるのか？

Web ブラウザは、離れた場所にある機器の状態確認や設定変更を、ネットワークを介したパソコンの Web ブラウザ上からできる機能です。

Web ブラウザでは以下の操作ができます。

- 機器の状態／設定の確認
- ジョブの状態／履歴の確認
- 印刷中ジョブの中止
- 本機のリセット
- メール通知機能の設定
- ネットワークプロトコルに関する設定
- セキュリティの設定

本機の環境設定

この機能は TCP/IP プロトコルを使って動作します。Web ブラウザを使用する場合は、本機で TCP/IP プロトコルの設定を行ってください。TCP/IP の設定が正しく行われると、この機能は自動的に有効になります。

推奨ブラウザ

- Windows 環境：

  Internet Explorer 5.5 以降

  Netscape 6.2 以降

- Macintosh 環境：

  Netscape 6.2 以降

  Safari 1.0 以降

補足

- 使用するブラウザのバージョンが推奨ブラウザより低い場合や、使用するブラウザの設定で、「JavaScript」、「Cookie の使用許可」が有効になっていない場合は、表示や操作に不具合が生じる場合があります。
- プロキシサーバーをご使用の場合、本機との接続にプロキシサーバーを経由しない設定にしてください。詳しくはネットワーク管理者の方に確認してください。
- ブラウザの [戻る] で前のページに戻れないことがあります。そのときはブラウザの [更新] または [再読み込み] をクリックしてください。
- Web ブラウザで取得できる情報は、自動的に更新されません。情報を更新する場合は、Web ブラウザの [更新]、[再読み込み]、または Web ブラウザのワークエリアに表示された [最新の情報に更新] をクリックしてください。

アドレス指定について

アドレスの指定は、「http://（本機のアドレス）/」と入力します。

SSL の設定を有効にしている場合、本機にアクセスするときは、「https://（本機のアドレス）/」と入力します。Netscape をご使用の場合、Netscape 7.0 以降がインストールされている必要があります。

DNS サーバー、WINS サーバーを使用し、本機のホスト名が設定されている場合、ホスト名を入力することができます。P.46「DHCP を使用する」

参照

- TCP/IP に関する設定方法について詳しくは、使用説明書<プリンター本体の操作>「プリンター本体の設定」を参照してください。
- SSL（暗号化通信）の設定方法については、P.56「SSL（暗号化通信）の設定」を参照してください。
- SSL（暗号化通信）の設定が有効な場合、本機にアクセスするとき、「セキュリティの警告」が表示されることがあります。この場合、P.59「SSL（暗号化通信）の利用者側の設定」を参照して、ご使用のパソコンに証明書を登録してください。

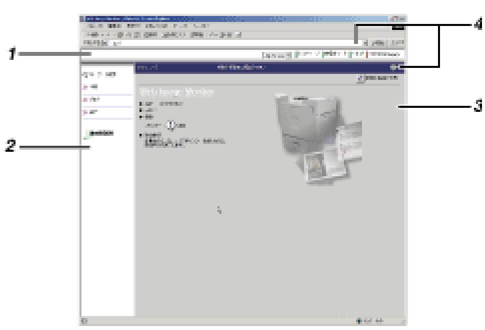
トップページを表示する

Web ブラウザの表示とメニュー構成の説明です。

Web ブラウザの表示

Web ブラウザのアドレスバーに「http://（本機のアドレス）/」と入力し、本機にアクセスします。

フレーム機能によって、次のエリアに分割表示されます。



1. **ヘッダーエリア**

   管理者モードへの切り替えやヘルプ、RICOH Homepage へのリンクが表示されます。

2. **メニューエリア**

   メニュー項目が表示されます。

   メニュー項目を選択すると、その内容をワークエリアに表示、またはサブメニューを表示します。

3. **ワークエリア**

   メニューエリアで選択された項目の内容を表示します。

   ワークエリア内の情報は自動的に更新されません。情報を更新したい場合は、同エリア右上の [最新の情報に更新] をクリックしてください。なお、Web ブラウザ画面全体を更新したい場合は、ブラウザの [更新] をクリックしてください。

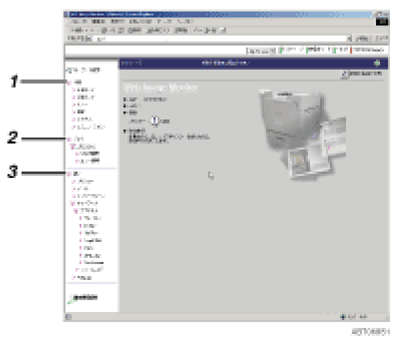
4. ヘルプ

ヘルプファイルを閲覧したり、ダウンロードしたりすることができます。

メニュー構成とモード

Web ブラウザには、ユーザーモードと管理者モードがあり、表示されるメニューが異なります。管理者モードでは、機器に関する各種の設定ができます。

ユーザーモード



1. 状態

給紙トレイ、排紙トレイおよびトナー残量の状態や、本機の機能とシステム情報および搭載されているエミュレーションが表示されます。

2. ジョブ

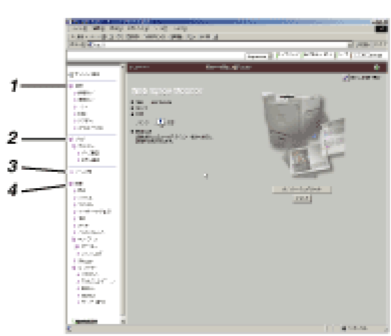
ジョブ履歴およびエラー履歴の一覧が表示されます。

3. 設定

現在の本機の設定内容およびネットワーク設定の内容が表示されます。

また、ヘルプファイルのダウンロードをすることができます。

管理者モード



1. 状態

給紙トレイ、排紙トレイおよびトナー残量の状態や、本機の機能とシステム情報および搭載されているエミュレーションが表示されます。

2. ジョブ

ジョブ履歴およびエラー履歴の一覧が表示されます。

3. アドレス帳

アドレス帳の変更、追加および削除ができます。

4. **設定**

本機の各種の設定や、ネットワークおよびセキュリティの設定ができます。また、ユーザーコードの管理やヘルプファイルのダウンロードができます。

参照

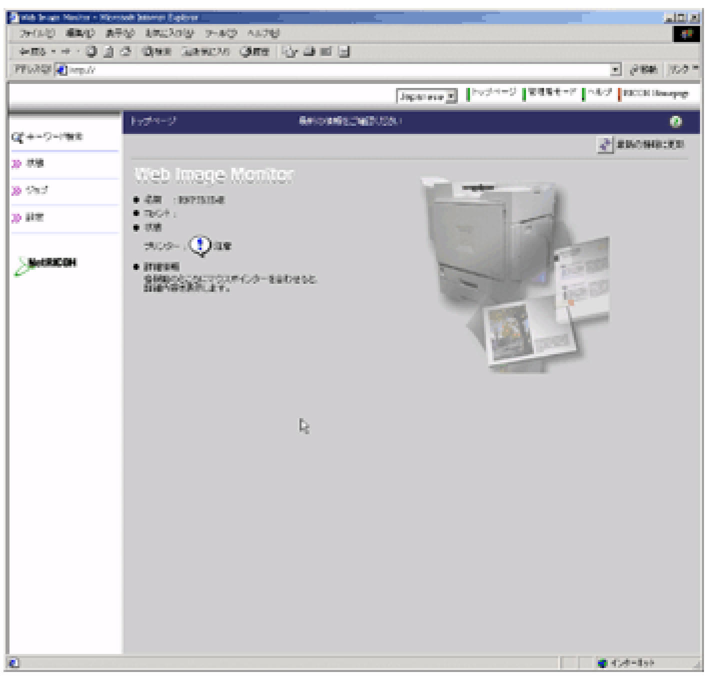
・ 表示や設定項目の詳細は、Web ブラウザのヘルプを参照してください。P.235「Web ブラウザのヘルプについて」

機器の状態を確認する

機器の状態を確認します。

1. **Web ブラウザを起動します。**
2. **アドレスに「http://（本機のアドレス）/」と入力します。**

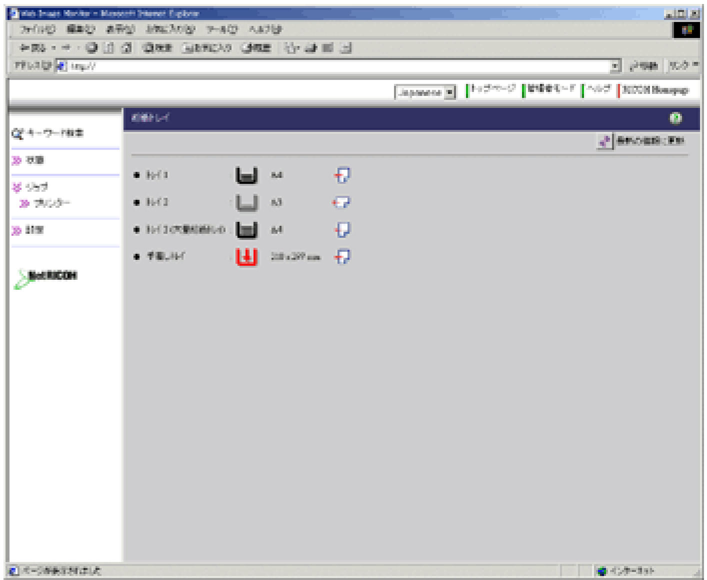
   Web ブラウザのトップページが表示されます。



SSL（暗号化通信）の設定を有効にしている場合は、「https://（本機のアドレス）/」と入力します。

3. **メニューエリアから目的のメニューをクリックします。**

   サブメニューが表示された場合は、さらにサブメニューをクリックします。



参照

- それぞれの項目について詳しくは、Web ブラウザのヘルプを参照してください。P.235「Web ブラウザのヘルプについて」

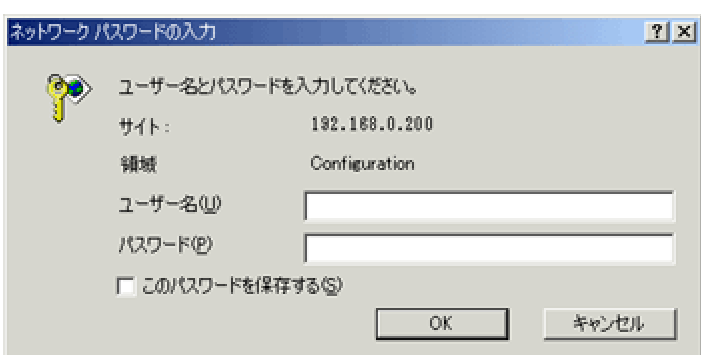
機器の設定を変更する

機器の設定を変更します。

1. **Web ブラウザを起動します。**
2. **アドレスに「http://（本機のアドレス）/」と入力します。**

   SSL（暗号化通信）の設定を有効にしている場合は、「https://（本機のアドレス）/」と入力します。
3. **[管理者モード] をクリックします。**

   ユーザー名とパスワードを入力するダイアログが表示されます。



4. **パスワードを入力し、[OK] をクリックします。**

ユーザー名は空欄のまま、パスワードには「ricoh」と入力します。パスワードの「ricoh」は工場出荷時の設定です。パスワードは変更してください。

5. メニューエリアから設定したい項目をクリックして、各種設定を行います。

6. [適用] をクリックします。

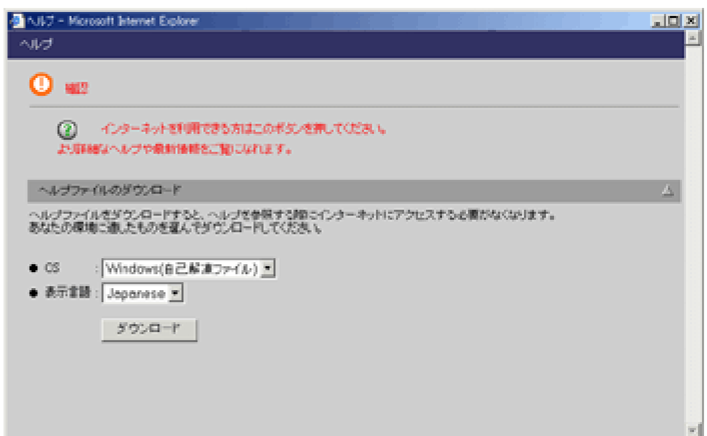
設定が送信されます。

参照

- 設定方法について詳しくは、ヘルプを参照してください。P.235「Web ブラウザのヘルプについて」

Web ブラウザのヘルプについて

Web ブラウザのヘルプをはじめてご使用になる場合、ヘッダーエリアに表示された [ヘルプ]、またはワークエリアに表示された？マークのアイコンをクリックすると次の画面が表示され、次の 2 種類の方法で Web ブラウザのヘルプを見ることができます。



インターネットの Web ブラウザのヘルプを見る

最新の Web ブラウザのヘルプを見ることができます。

Web ブラウザのヘルプをダウンロードして見る

Web ブラウザのヘルプをお使いのパソコンのローカルディスクへダウンロードして見ることができます。ヘルプの URL にローカルディスクのパスを指定すると、インターネットへ接続せずにヘルプを見ることができます。

補足

- ヘッダーエリアに表示された [ヘルプ] をクリックすると、通常は Web ブラウザのヘルプの目次を表示します。
- ワークエリアに表示された？マークのアイコンをクリックすると、通常はワークエリアに表示された内容についてのヘルプを表示します。

ヘルプのダウンロード

ヘルプをダウンロードします。

1. 使用している OS をドロップダウンメニューから選択します。

2. 使用している言語をドロップダウンメニューから選択します。

3. [ダウンロード] をクリックします。

4. 表示されるメッセージに従って、ヘルプファイルをダウンロードします。

5. ダウンロードした圧縮ファイルを任意の場所に保存し、解凍します。

補足

- ダウンロードした Web ブラウザのヘルプを見る場合は、解凍した場所のパスを設定してください。

ヘルプへのアドレス (URL) リンク

パソコンまたは Web サーバーのヘルプファイルに、ヘッダーエリアに表示された [ヘルプ] のアドレス (URL) を次の手順でリンクすることができます。

1. ヘッダーエリアの [管理者モード] をクリックします。

2. 表示された「ネットワークパスワードの入力」ダイアログでユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名は空欄のまま、パスワードには「ricoh」と入力します。パスワードの「ricoh」は工場出荷時の設定です。パスワードは変更してください。

3. [OK] をクリックします。

4. [設定] をクリックします。

5. [Webpage] をクリックします。

6. [ヘルプ URL] にヘルプファイルへのパスを入力します。

例えば、C:\HELP\JA にヘルプファイルをコピーしていた場合、「file://C:/HELP/」と入力します。また、Web サーバー上にファイルをコピーしていて URL が http://a.b.c.d/HELP/JA/index.html の場合、「http://a.b.c.d/HELP/」と入力します。

7. [適用] をクリックします。

機器の状態をメールで通知する

本機に用紙切れや紙詰まりなどのアラートが発生したときに、メール通知機能を使用して機器の状態を通知することができます。

必要な設定

本体操作部

[システム設定] メニューの [メール通知設定] を [する] に設定（工場出荷時は [する] に設定されています）

Web ブラウザ（管理者モード）

- [設定] メニューの [メール]

  管理者メールアドレス、SMTP サーバアドレスなどの設定

- [設定] メニューの [通知]

  通知先メールアドレス、通知項目、通知のタイミングなどの設定

通知できる内容

- 本機がサービスコールの状態になったとき、トナーなどの消耗品やメンテナンスキットの交換時期になったとき、用紙切れや紙づまりが発生したときに、項目ごとに機器の状態を通知することができます。
- トナーなどの消耗品は、「残りわずか」および「交換間近」と、「なし」および「交換時期」の項目に分けて通知することができます。
- 通知先を４つのグループに設定できます。また、各項目およびグループごとに通知の設定をすることができます。

参照

- 本体操作部の設定については、使用説明書＜プリンター本体の操作＞「プリンター本体の設定」を参照してください。
- Web ブラウザの各項目の設定については、Web ブラウザのヘルプを参照してください。

telnet によるリモートメンテナンス（mshell）

telnet を使って本機の状態や設定内容を確認や、各種の設定を行うことができます。

補足

- リモートメンテナンス（mshell）はネットワーク管理者だけが使用できるように、パスワードを設定して運用してください。
- パスワードは Web ブラウザによるネットワークインターフェースボード設定機能で使用するパスワードと共通です。mshell 上でパスワードを変更すると、他のパスワードも変更されます。

操作の流れ

telnet を起動してから終了するまでの手順の説明です。

1. **本機の IP アドレス（またはホスト名）を引数にして telnet を起動します。**

   % telnet 本機の IP アドレス

2. **パスワードを入力します。**

   工場出荷時のパスワードは「ricoh」に設定されています。パスワードは変更してください。

3. **コマンドを入力します。**
4. **telnet を終了します。**

   msh> logout

   設定が変更されていると変更内容を保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

5. **変更内容を保存するときは「yes」と入力し、Enter キーを押します。**

   変更内容を保存しないときは「no」と入力し、Enter キーを押します。コマンド入力を続けるときは「return」と入力し、Enter キーを押します。

補足

- リモートメンテナンスを同時に複数のユーザが使用することはできません。
- 「Can not write NVRAM information」とメッセージが表示されたとき、変更内容は保存されていません。もう一度操作し直してください。
- 変更内容を保存すると自動的にネットワークインターフェースボードがリセットされます。
- リセットしても Active 状態（印刷中、または印刷処理待ち）の印刷ジョブは印刷されますが、Waiting 状態（プリンターへのファイル転送待ち）のジョブは破棄されます。

参照

- 使用できるコマンドについて詳しくは、P.238「コマンド一覧」を参照してください。

コマンド一覧

リモートメンテナンスで使用できるコマンドの一覧です。

補足

- 「help」と入力すると使用できるコマンドの一覧が表示されます。

msh> help

- 「help コマンド名」と入力すると、入力したコマンド名の使い方が表示されます。

msh> help コマンド名

TCP/IP アドレス

TCP/IP（IP アドレス、サブネットマスク、ブロードキャストアドレス、デフォルトゲートウェイアドレス）の表示や設定を行うには ifconfig コマンドを使用します。

表示

msh> ifconfig

設定

msh> ifconfig インターフェース パラメーター アドレス

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	LAN インターフェース
ip1394	IEEE 1394 インターフェース
wlan	無線 LAN インターフェース

パラメーター	設定される項目
なし	IP アドレス
netmask	サブネットマスク
broadcast	ブロードキャストアドレス

補足

- インターフェース名を設定しない場合は、自動的にイーサネットインターフェースが設定されます。
- ip1394 の場合、拡張 1394 ボード（オプション）装着時に指定できます。
- wlan の場合、拡張無線 LAN ボード（オプション）装着時に指定できます。
- 設定するアドレスはネットワーク管理者に確認してください。
- 設定するアドレスがわからないときは、工場出荷時の設定のままご使用ください。
- 拡張 1394 ボード（オプション）装着時は、IEEE 1394 インターフェースと LAN インターフェースのサブネットが重複しないように設定してください
- TCP/IP の設定は LAN インターフェース、無線 LAN インターフェース共通です。インターフェースの切り替えを行った場合、設定は切り替えたインターフェースが引き継ぎます。

インターフェース切り替え

拡張無線 LAN ボード（オプション）接続時に、イーサネットと無線 LAN のどちらを使用するか指定することができます。

msh> ifconfig インターフェース up

補足

- 拡張 1394 ボード（ip1394）を指定することはできません。

（例）LAN インターフェースの IP アドレスを 192.168.15.16 に設定する

msh> ifconfig ether 192.168.15.16

（例）LAN インターフェースのサブネットマスクを 255.255.255.0 に設定する

msh> ifconfig ether netmask 255.255.255.0

補足

- パラメーターで指定した項目が指定したアドレスに設定されます。
- サブネットマスクは LAN インターフェース、無線 LAN インターフェースで共通です。
- アドレスを 16 進形式で設定する場合は先頭に「0x」を付けてください。

アクセスコントロール

アクセスコントロールの表示と設定を行うには access コマンドを使用します。また、アクセスレンジを複数設定することもできます。

表示

msh> access

設定

msh> access 対象番号 range 開始アドレス 終了アドレス

（例）アクセス可能な IP アドレスを 192.168.0.10 から 192.168.0.20 に設定する

msh> access 1 range 192.168.0.10 192.168.0.20

補足

- アクセスレンジは、印刷できるワークステーションを IP アドレスを使って制限するためのものです。印刷を制限する必要がない場合は、「0.0.0.0」を設定してください。
- 開始アドレスが終了アドレスよりも大きい場合、設定は無効となります。
- アクセスレンジは、5 件まで設定可能です。対象番号を省略した場合は、設定が無効になります。
- 制限された IP アドレスからは Web ブラウザおよび telnet にアクセスすることはできません。

アクセスコントロールの初期化

msh> access flush

補足

- 工場出荷時の設定に戻します。全てのアクセスレンジが「0.0.0.0」になります。

DHCP

DHCP の設定をするには dhcp コマンドを使用します。

表示

DHCP の設定値を表示します。

msh> dhcp

設定

DHCP 機能を設定します。

msh> dhcp インターフェース [on/off]

補足

- DHCP 機能を有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。

インターフェースの優先設定

DHCP パラメーターを取得するインターフェースの優先順位を設定することができます。

msh> dhcp priority インターフェース

補足

- 優先順位の設定は、複数のインターフェース装着時に有効です。
- インターフェースを指定しない場合、複数のインターフェース装着の有無に関わらず、現在の優先順位が表示されます。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース
ip1394	IEEE 1394 インターフェース
wlan	無線 LAN インターフェース

補足

- ip1394 の場合、拡張 1394 ボード（オプション）装着時に指定できます。
- wlan の場合、拡張無線 LAN ボード（オプション）装着時に指定できます。

参照

- DHCP 機能について詳しくは、P.46「DHCP を使用する」を参照してください。

DNS サーバアドレスの選択

DNS サーバのアドレスを DHCP サーバから取得するか、ユーザの設定値にするかを選択します。

msh>dhcp dnsaddr [dhcp/static]

補足

- DNS サーバのアドレスを DHCP サーバから取得する場合は「dhcp」、ユーザ設定値の場合は「static」を指定します。

参照

- DNS サーバーアドレスの設定については、P.255「DNS」を参照してください。

ドメイン名の選択

ドメイン名を DHCP サーバから取得するか、ユーザの設定値にするかを選択します。

msh>dhcp domainname [dhcp/static]

補足

- ドメイン名を DHCP サーバから取得する場合は「dhcp」、ユーザ設定値の場合は「static」を指定します。

参照

- ドメイン名の設定については、P.257「ドメイン名」を参照してください。

プロトコル

プロトコルの有効／無効を切り替えるには set コマンドを使用します。

表示

プロトコルの情報（有効／無効）を表示します。

msh> set プロトコル

プロトコル

tcpip appletalk netware smb scsiprint ip1394 protocol lpr ftp rsh diprint web snmp ssl ipp http rendezvous

補足

- scsiprint、ip1394 は拡張 1394 ボード（オプション）装着時に表示されます。
- protocol は、tcpip、appletalk、netware、smb の情報を表示します。

設定

プロトコルの有効／無効を設定します。

- msh> set プロトコ ル {up | down}

プロトコル	
tcpip appletalk netware smb scsiprint ip1394 lpr ftp rsh diprint web snmp ssl ipp http rendezvous	プロトコルを有効にするには「up」を、無効にするには「down」を指定します。

補足

- scsiprint、ip1394 では、拡張 1394 ボード（オプション）装着時に表示されます。
- TCP/IP を無効に設定してログアウトすると、このリモートメンテナンスそのものが使用できなくなります。誤って「無効」に設定したときは、本機の操作部を使って設定し直してください。

- TCP/IP を無効にすると、ip1394, lpr, ftp, rsh, diprint, web, snmp, ipp, ssl, rendevous も使用できなくなります。
- ipp を「down」に設定した場合、ipp プロトコルの 631 ポートが無効になります。

本機の状態

本機の状態を表示するには表示内容に応じたコマンドを使用します。

- msh> コマンド

コマンド	表示される内容
status	本機の状態（ステータス）と印刷ジョブの情報（印刷ジョブ情報）
info	給紙トレイ、排紙トレイ、およびエミュレーションの情報（プリンター情報）
prnlog [ID 番号]	これまでに印刷した 20 件分の記録（プリントログ情報）

補足

- prnlog で ID 番号を指定するとジョブのさらに詳しい情報が表示されます。

参照

- 表示される内容について詳しくは、P.263「取得情報の内容」を参照してください。

ネットワークインターフェースボードの情報

ネットワークインターフェースボードの設定状況を表示するには show コマンドを使用します。

- msh> show [-p]

補足

- -p オプションを付けると 1 画面ずつ表示されます。
- NetBEUI プロトコルでコンピュータ名、ワークグループ、コメントを日本語で入力しているときは、シフト JIS が表示できる環境で使用してください。

参照

- 表示される内容について詳しくは、P.274「ネットワークインターフェースボードの情報」を参照してください。

システムログ情報

本機のシステムログ情報として記録されたメッセージを表示するには syslog コマンドを使用します。

- msh> syslog

参照

- 表示される内容について詳しくは、P.279「システムログ情報」を参照してください。

SNMP

コミュニティ名など SNMP に関する表示と変更を行うには snmp コマンドを使用します。

補足

- IEEE 1394 インターフェース（オプション）は、TCP/IP プロトコルのみ有効です。
- 設定できる登録番号は 1 ～ 10 です。
- 登録番号の 1 ～ 10 に public が存在しない場合、Ridoc IO Admin や Ridoc IO Navi からプリンターを参照することはできません。コミュニティ名を変更した場合、Ridoc IO Admin とともにインストールされる「SNMP コミュニティ名設定ツール」で、プリンター側の設定に合わせてパソコンのコミュニティ名を変更してください。
- 登録番号 1 と 2 の工場出荷時の設定は次のとおりです。

登録番号	1	2
コミュニティ名	public	ricoh
IP アドレス	0.0.0.0	0.0.0.0
アクセスタイプ	read-only trap off	read-write trap off

表示

SNMP 情報と使用可能なプロトコルを表示します。

msh> snmp ?

指定した登録番号の設定状態を表示します。

msh> snmp [-p] [登録番号]

補足

- -p オプションを付けると 1 画面ずつ表示されます。
- 登録番号を省略すると、すべての番号の状態を表示します。

コミュニティ名設定

指定した登録番号のコミュニティ名を設定します。

msh> snmp 登録番号 name コミュニティ名

補足

- コミュニティ名は半角英数字で 15 バイト以内です。

アクセスタイプ設定

登録番号ごとにアクセスタイプを切り替えます。

msh> snmp 登録番号 type アクセスタイプ

アクセスタイプ	設定される内容
read	情報の読み出しのみ可能 (read-only)
write	情報の読み出しと書き込みが可能 (read-write)
trap	エラー情報を通知 (trap)
no	アクセスできません (not accessible)

プロトコル設定

使用可能なプロトコルを選択するには次のコマンドを使います。このコマンドで設定を無効にすると、すべての登録番号で使用できなくなります。

msh> snmp {ip|ipx} {on|off}

- TCP/IP の場合は「ip」、IPX/SPX の場合は「ipx」を指定します。
- プロトコルを有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。

登録番号ごとにプロトコルの設定を変えるには次のコマンドを使います。ただし、上のコマンドで無効にしたプロトコルは、このコマンドで有効にしても使用できません。

msh> snmp 登録番号 active {ip|ipx} {on|off}

アクセス設定

使用するプロトコルに応じたホストのアドレスを設定します。

「アクセスタイプ」を「read-only」または「read-write」に設定したときは、ここに入力したアドレスのホストからの要求だけを受け付けます。どのホストからの要求でも受け付けるようにするには、「0」を入力します。

「アクセスタイプ」を「trap」に設定したときは、情報を通知するホストのアドレスを入力します。

- TCP/IP のアドレス指定

  msh> snmp 登録番号 ip/addr アドレス

- IPX/SPX のアドレス指定

  msh> snmp 登録番号 ipx アドレス

補足

- TCP/IP を使用するときはアドレスとして IP アドレスを入力します。
- IPX/SPX を使用するときはアドレスとして IPX アドレスを入力します。IPX アドレスはホストが接続されているネットワークの番号とホストに取り付けられているネットワークインターフェースボードの MAC アドレス（物理アドレス）をコロン（:）で区切って入力します。

（例）登録番号 3 に IP アドレスを設定する（192.168.15.16）

msh> snmp 3 ip 192.168.15.16

（例）登録番号 3 に IPX アドレスを設定する（ネットワーク番号 =7390A448、MAC アドレス =00:00:74:62:5C:65）

msh> snmp 3 ipx 7390A448:000074625C65

IPP

IPP の使用環境を設定するには、IPP コマンドを使用します。

IPP の設定値表示

IPP の設定値を表示します。

msh> ipp

次の設定値が表示されます。

timeout=900(sec)
auth basic

- 「timeout」には、ネットワークプリンターに接続できない場合にリトライをやめて印刷ジョブを一時停止するまでの時間（タイムアウト）が表示されます。
- 「auth」には、ユーザー認証のモードが表示されます。

IPP タイムアウトの設定

印刷データが途切れた場合に、印刷ジョブを取り消すまでの時間を指定します。設定範囲は 30 〜 65535 秒です。

msh> ipp timeout {30 - 65535}

IPP ユーザー認証方式の設定

IPP ユーザー認証を行って、IPP を使って印刷できるユーザーを制限することができます。

工場出荷時はユーザー認証を行わない設定になっています。

msh> ipp auth {basic|digest|off}

- 「basic」または「digest」で、認証を行います。
- 「off」で、認証を行わなくなります。

補足

- ユーザー認証を行うように指定した場合、次の「IPP ユーザーの登録」を参照してユーザー名の登録を行ってください。ユーザーは 10 組まで登録できます。

IPP ユーザーの登録

IPP を使って印刷できるユーザーを登録できます。

msh> ipp user

次のメッセージが表示されます。

Input user number (1 to 10):

設定するユーザー番号を入力し、ユーザー名とパスワードを指定します。

IPP user name:user1
IPP password:*******

ユーザー名とパスワードが設定されると次のメッセージが表示されます。

User configuration changed.

ダイレクトプリント

パソコンから直接印刷を行うことができるダイレクトプリントポートの表示と設定を行うには diprint コマンドを使用します。

表示

ダイレクトプリントプロトコルの設定を表示します。

msh> diprint

次の設定値が表示されます。

port 9100
timeout=300(sec)
bidirect off

- 「Port」使用するポート番号が表示されます。
- 「bidirect」ダイレクトプリントポートが双方向通信に対応しているか表示されます。

タイムアウトの設定

ネットワークからデータを受信する際のタイムアウト時間を設定できます。

msh> diprint[30 ～ 65535]

補足

- 工場出荷時の設定値は 300（秒）です。

SMB

コンピュータ名やワークグループ名など NetBEUI 関連の項目を設定、削除するには smb コマンドを使用します。

NetBEUI 関連項目の設定

- msh> smb パラメーター

パラメーター	設定される項目
comp	コンピュータ名（15 バイト以下）
group	ワークグループ名（15 バイト以下）
comment	コメント（31 バイト以下）
notif {on ｜ off}	印刷完了通知をする場合は「on」、通知をしない場合は「off」を指定します。
clear comp	コンピュータ名のクリア
clear group	ワークグループのクリア
clear comment	コメントのクリア

プロトコルの設定

NetBEUI、および TCP/IP プロトコルの有効／無効を指定します。有効にする場合は「up」、無効にする場合は「down」を指定します。

msh>smb protocol [netbeui {up|down} ｜ tcpip {up|down}]

ROUTE

TCP/IP ルーティングテーブルの設定をするには route コマンドを使用します。

route コマンドを使うと、通常のネットワークではルーター装置等の環境により自動的に保守されているルーティングテーブルを手動で変更できます。

補足

- ルーティングテーブルの最大数は 16 です。

コマンド	設定される項目
route add [host|net] destination （IP アドレス）gateway （IP アドレス)	destination で表される host(or network) ルートおよび gateway で表される gateway アドレスをテーブルに追加します。host/net 省略時は host 設定となります。
route delete [host|net] destination （IP アドレス）	destination で表される host(or network) ルートをテーブルから削除します。host/net 省略時は host 設定となります。
route get [destination （IP アドレス）]	destination 指定時は該当 route 情報のみ表示します。destination 無指定時は全 route 情報を表示します。
route active [host|net] destination （IP アドレス）on/off	指定された destination の有効 / 無効を切り替えます。host/net 省略時は host 設定となります。
route add default gateway （IP アドレス）	デフォルトゲートウェイアドレスの設定
route flush	全 route 情報を削除します。

補足

- ルーターを越えて別のネットワークのワークステーションとやりとりするときは、ゲートウェイアドレスを設定してください。
- ゲートウェイアドレスは、すべてのインターフェース共通になります。

SLP

SLP の設定を変更するには、slp コマンドを使用します。

NetWare 5/5.1/6 の PureIP 環境でご使用の場合、SLP を用いて NetWare サーバを検索します。slp コマンドを使うと、SLP マルチキャストパケットが使用する TTL 値 (通過できるルーターの数 +1) を指定できます。

補足

- 工場出荷時の設定は 1 です。ローカルセグメント内のみで検索します。ただしこの TTL 値を増やした場合でもネットワーク環境で使用のルーター装置がマルチキャスト対応していなければ有効ではありません。
- 設定できる SLP パケットの TTL 値は 1 ～ 255 です。

msh> slp ttl ttl_val

sprint

IEEE 1394（SCSI print）の設定をするには sprint コマンドを使用します。

表示

IEEE 1394（SCSI print）の設定を表示します。

msh> sprint

双方向通信設定

IEEE 1394（SCSI print）とパソコン間の双方向通信を設定できます。工場出荷時の設定は "on" です。

msh> sprint bidi [on|off]

無線 LAN の設定

無線 LAN の設定をするには wiconfig コマンドを使用します。

- 拡張無線 LAN ボード（オプション）装着時に設定できます。

表示

無線 LAN の設定を表示します。

msh> wiconfig

拡張無線 LAN カードの情報を表示します。

msh> wiconfig cardinfo

補足

- 無線 LAN インターフェースが有効になっていない場合、拡張無線 LAN カードの情報は表示できません。

設定

msh> wiconfig パラメーター

パラメーター	設定される項目
mode [ap|adhoc|802.11adhoc]	インフラストラクチャーモード（ap）、802.11 アドホックモードまたはアドホックモード（adhoc）の設定ができます。 デフォルトは 802.11 アドホックモードです。
ssid 文字列	インフラストラクチャーモード時の SSID を設定できます。 SSID で使用できる文字は半角英数字と表示可能な半角記号で 32 バイトまでです。大文字と小文字も区別されます。空白の場合には自動で近くのアクセスポイントに接続します。 アドホックモード時には、インフラストラクチャーモード時と同じ値か、空白の場合「ASSID」という値が自動的に設定されます。
channel frequency	チャンネルを設定できます。 1-14 の間で設定できます。 使用する機器間で同じチャンネルを使用してください。

パラメーター	設定される項目
enc [on|off]	WEP 機能の有効 / 無効を設定できます。WEP 機能を有効にするには「on」無効にするには「off」を指定します。 有効にする場合は正しい WEP キーを入力してください。
key 文字列 val [1|2|3|4]	WEP を 16 進数で入力する場合に指定します。 64-bitWEP を使用する場合は、16 進数 10 桁の文字列が使用できます。128-bitWEP を使用する場合には、16 進数 26 桁の文字列が使用できます。 WEP は 4 つまで登録できます。val で登録する番号を指定します。 key で WEP を指定すると、keyphrase で指定した WEP は上書きされます。 この機能を使用する場合、互いに通信を行う端末すべてに同じ key 番号と WEP キーを設定してください。 val 以降の指定は省略可能です。省略した場合、key 番号は 1 になります。
keyphrase 文字列 val [1|2|3|4]	WEP キーを ACSII 入力する場合に指定します。 64-bit WEP を使用する場合は、英数字 5 バイト、128-bit WEP を使用する場合には、英数字 13 バイトの文字列が使用できます。 WEP は 4 つまで登録できます。val で登録する番号を指定します。 keyphrase で WEP を指定すると、key で指定した WEP は上書きされます。 この機能を使用する場合、互いに通信を行う端末すべてに同じ key 番号と WEP キーを設定してください。 val 以降の指定は省略可能です。省略した場合、key 番号は 1 になります。
encval [1|2|3|4]	4 つの WEP キーのどれを使用してパケットを暗号化するかを指定します。 番号を指定しない場合は「1」が設定されます。
auth [open|shared]	WEP 使用時の認証モードを設定できます。指定値と認証モードは次のとおりです。 open：オープンシステム認証 (デフォルト) shared：シェアードキー認証

パラメーター	設定される項目
rate [auto|11m|5.5m|2m|1m]	無線 LAN における通信速度を設定できます。 ここで設定する通信速度は送信時の速度ですので、受信時はすべての速度を受信できます。設定値と通信速度は次のとおりです。 auto: 自動設定（デフォルト） 11m:11Mbps 固定 5.5m:5.5Mbps 固定 2m:2Mbps 固定 1m:1Mbps 固定

スプール設定

スプール印刷の使用環境を設定するには、spoolsw コマンドを使用します。スプール印刷は「diprint」、「lpr」、「ipp」、「smb」および「BMLinkS」プロトコルに対応しています。

表示

スプール印刷設定の設定値を表示します。

msh> spoolsw

設定

msh> spoolsw spool {on|off}

補足

- スプール印刷機能を有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。

ジョブの初期化

本機の電源がスプールされたジョブの印刷中に切られた場合、プリンターの電源再投入時に、それまでスプールしていたジョブを印刷しなおすかどうか指定できます。

msh> spoolsw clearjob {on|off}

プロトコルの設定

プロトコルごとに設定を変えるには次のコマンドを使います。「diprint」、「lpr」、「ipp」、「smb」、「bmlinks」プロトコルごとの指定ができます。

- diprint

  msh> spoolsw diprint [on|off]

- lpr

  msh> spoolsw lpr {on|off}

- ipp

  msh> spoolsw ipp {on|off}

- smb

  msh> spoolsw smb {on|off}

- BMLinkS

  msh> spoolsw bmlinks [on|off]

本機の名前（ホスト名）の変更

本機の名前（ホスト名）を変更するには、hostname コマンドを使用します。

- msh> hostname インターフェース 本機の名前（ホスト名）

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース
ip1394	IEEE 1394 インターフェース
wlan	無線 LAN インターフェース

補足

- イーサネットインターフェースのインターフェースの指定は省略可能です。その場合、イーサネットインターフェースへ自動的に設定されます。
- ip1394 は、拡張 1394 ボード（オプション）装着時に指定できます。
- wlan は、拡張無線 LAN ボード（オプション）装着時に指定できます。
- 本機の名前（ホスト名）は、15 バイト以下で設定してください。
- RNP または rnp ではじまる名前は設定できません。
- イーサネットインターフェースと無線 LAN インターフェースは同じ名前になります。

WINS 機能の設定

WINS サーバーを指定するには、WINS コマンドを使用します。

WINS サーバーの設定値表示

WINS サーバーの IP アドレスを表示します。

msh> wins

次の設定値が表示されます。

msh> wins
WINS Configuration:
インターフェース名 :
WINS: On
primary server 0.0.0.0 secondary server 0.0.0.0
ScopeID
Current configuration:
primary server 0.0.0.0 secondary server 0.0.0.0
hostname ホスト名 ScopeID

補足

- DHCPから取得したIPアドレスとWINSのIPアドレスが異なった場合、DHCPから取得したIPアドレスが有効です。

WINS 機能を有効にする

msh> wins インターフェース {on|off}

- WINS 機能を有効するには「on」を、無効にするときは「off」を指定します。

WINS サーバーのアドレス設定

WINS サーバーのアドレスを設定できます。

msh> wins インターフェース {primary|secondary} アドレス

- 「primary」でプライマリ WINS サーバーのアドレスを設定できます。
- 「secondary」でセカンダリ WINS サーバーのアドレスを設定できます。

NBT(NetBIOS over TCP/IP) スコープ ID の設定

NBT スコープ ID を設定できます。

msh ＞ wins インターフェース scope スコープ ID

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース
ip1394	IEEE 1394 インターフェース
wlan	無線 LAN インターフェース

補足

- スコープ ID は、半角英数 31 文字までで入力してください。
- ip1394 は、拡張 1394 ボード（オプション）装着時に指定できます。
- wlan は、拡張無線 LAN ボード（オプション）装着時に指定できます。
- DHCP から取得したスコープ ID と WINS のスコープ ID が異なった場合、DHCP から取得したスコープ ID が有効です。

AutoNet

AutoNet 機能を使用するには、autonet コマンドを使用します。

表示

AutoNet の設定値を表示します。

msh> autonet

設定

AutoNet 機能を設定します。

msh> autonet {on|off}

- AutoNet 機能を有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。

インターフェースの優先設定

AutoNet パラメーターを取得するインターフェースの優先順位を設定することができます。

msh> autonet priority インターフェース

- 優先順位の設定は、複数のインターフェース装着時に有効です。
- インターフェースを指定しない場合、複数のインターフェース装着の有無に関わらず、現在の優先順位が表示されます。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース
ip1394	IEEE 1394 インターフェース

インターフェース	設定されるインターフェース
wlan	無線 LAN インターフェース

補足

- ip1394 は、拡張 1394 ボード（オプション）装着時に指定できます。
- 拡張無線 LAN ボード（オプション）装着時に指定できます。

参照

- AutoNet 機能について詳しくは、P.48「AutoNet 機能を使用する」を参照してください。

パスワードの変更

リモートメンテナンスのパスワードを変更するには passwd コマンドを使用します。

重要

- パスワードは控えを取るなどして忘れないようにしてください。

1. **passwd と入力します。**

   msh> passwd

2. **現在のパスワードを入力します。**

   Old password:

3. **新しいパスワードを入力します。**

   New password:

4. **新しいパスワードをもう一度入力します。**

   Retype new password:

補足

- パスワードの工場出荷時は「ricoh」に設定されています。パスワードは変更してください。
- パスワードで入力できるのは半角英数字と表示可能な半角記号で 3 〜 8 バイトの範囲です。大文字と小文字も区別されます。
- パスワードは Web ブラウザで使用するパスワードと共通です。mshell 上でパスワードを変更すると、他のパスワードも変更されます。

SNTP

SNTP（Simple Network Time Protocol）を使用して、NTP サーバーと本機の時間とを合わせることができます。

SNTP の設定を変更するには、sntp コマンドを使用します。

- サポートする NTP サーバーは xnptd V3 および xnptd V4 です。

表示

sntp の設定値を表示します。

msh> sntp

NTP サーバーのアドレス設定

NTP サーバーの IP アドレスを設定できます。

msh> sntp server アドレス

インターバルの設定

設定した NTP サーバーと同期を取る間隔を指定します。

msh> sntp interval インターバル値

補足

- 時計機能を内蔵しているプリンターの場合、SNTP コマンドは使用できません。
- 工場出荷時の設定値は 3600（秒）です。
- 設定できる値は 0.16 ～ 16384（秒）です。
- 0 を設定した場合には、本機の電源を入れたときに一度だけ NTP サーバーと同期を取ります。そのあとは同期を取りません。

タイムゾーンの設定

NTP サーバーから取得した時刻情報との時間差を設定できます。

msh> sntp timezone +/- 時間

補足

- 時間の書式は 24 時間単位となります。
- （例）時間差を +9 時間に設定する

msh> sntp timezone +09：00

DNS

DNS（Domain Name System）の表示や設定は、dns コマンドを使用します。

表示

dns の設定値を表示します。

msh> dns

DNS サーバーの設定

DNS サーバーアドレスを設定します。

msh> dns 対象番号 server アドレス

- 対象番号は 1 ～ 3 までです。3 件まで登録できます。
- 「255.255.255.255」は設定できません。

ダイナミック DNS 機能の設定

ダイナミック DNS 機能の有効／無効を指定します。

msh> dns インターフェース ddns [on|off]

- ダイナミック DNS 機能を有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース
ip1394	IEEE 1394 インターフェース
wlan	無線 LAN インターフェース

補足

- ip1394 は、拡張 1394 ボード装着時に指定できます。
- wlan は、拡張無線 LAN ボード装着時に指定できます。

レコード重複時の動作指定

レコードが重複したときの動作を指定します。

msh> dns overlap [update|add]

- update

  古いレコードを削除し、新しくレコードを登録するときに指定します。

- add

  古いレコードを残し、新しいレコードを追加登録するときに指定します。

補足

- CNAME の重複の場合は、設定にかかわらず更新を行います。

CNAME の登録

CNAME を登録するかどうかを指定します。

msh> dns cname [on|off]

- CNAME の登録を有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。

補足

- 登録される CNAME は RNP からはじまるデフォルトの名前です。CNAME は変更されません。

A レコードの登録

ダイナミック DNS 機能が有効で、かつ、DHCP を使用しているときの A レコードの登録方法を指定します。

msh> dns arecord [dhcp|own]

- dhcp

  本機を代行して、DHCP サーバが DNS クライアントとして A レコードの登録を行う場合に指定します。

- own

  本機が DNS クライアントとして A レコードの登録を行う場合に指定します。

補足

- 登録には、P.240「DHCP」で指定した「DNS サーバアドレスの選択」および「ドメイン名の選択」の値が使用されます。

レコードの更新間隔の設定

ダイナミック DNS 機能を使用しているときに、レコードを更新する間隔を指定します。

msh> dns interval 更新間隔時間

- 更新間隔を 1 時間単位で指定します。1 〜 255 の間で指定します。
- 初期値は「24」です。

ドメイン名

ドメイン名の表示や設定は、domainname コマンドを使用します。

イーサネットインターフェース、IEEE 1394 インターフェース、無線 LAN インターフェースごとに設定できます。

表示

ドメイン名を表示します。

msh> domainname

各インターフェースのドメイン名設定、削除

各インターフェースのドメイン名を設定、削除します。

- ドメイン名の設定

  msh> domainname インターフェース ドメイン名

  - ドメイン名は半角英数字 63 文字以下で指定します。
  - イーサネットインターフェースと無線LANインターフェースは同じドメイン名になります。

- ドメイン名の削除

  msh> domainname インターフェース clear

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース
ip1394	IEEE 1394 インターフェース
wlan	無線 LAN インターフェース

補足

- ip1394 は、拡張 1394 ボード装着時に指定できます。
- wlan は、拡張無線 LAN ボード装着時に指定できます。

Netware

プリントサーバ名、ファイルサーバ名などの Netware 関連の設定には、Netware コマンドを使用します。

msh> netware パラメータ

パラメータ	設定
pname	Netware プリントサーバ名を 47 文字以下で指定します。
fname	Netware ファイルサーバ名を 47 文字以下で指定します。
encap [802.3/802.2/s nap/ethernet2/auto]	encap タイプを指定します。
rnum	リモートプリンタ番号を指定します。
timeout	タイムアウト値を設定します。
mode pserver mode ps	プリントサーバモードに設定します。

パラメータ	設定
mode rprinter mode rp	リモートプリンタモードに設定します。
context	NDS コンテキスト名を設定します。
sap_interval	SAP インターバル値を指定します。0 ～ 3,600 秒の間で、1 秒単位で指定できます。
login server	ログインモードをファイルサーバ指定に設定します。
login tree	ログインモードを NDS ツリー指定に設定します。
tree NDS ツリー	ログインする NDS ツリー名を指定します。

Web

Web ブラウザ関連の表示と設定には、Web コマンドを使用します。

表示

msh> web

URL の設定

Web ブラウザにリンク先として登録する URL を設定します。

web url http:// リンク先の URL または IP アドレス /

リンク名の設定

Web ブラウザにリンク先として登録する URL のリンク名を設定します。

msh> web name リンク名

ヘルプの参照先の設定

Web ブラウザから参照するヘルプの URL を設定します。

msh> web help http:// ヘルプの URL または IP アドレス /help/

Rendezvous の設定

Rendezvous 関連の表示と設定には、rendezvous コマンドを使用します。

表示

Rendezvous 関連の設定一覧を表示します。

msh> rendezvous

Rendezvous コンピューター名の設定

Rendezvous のコンピューター名を設定します。

msh> rendezvous cname [文字列]

- コンピューター名は半角英数字 63 文字以下で指定します。
- コンピューター名を指定しない場合は、現在のコンピューター名が表示されます。

設置場所情報の設定

本機の設置場所に関する情報を設定します。

msh> rendezvous location [文字列]

- 設置場所の情報は英数字 32 文字以下で指定します。
- 設置場所情報を指定しない場合は、現在の設置場所情報が表示されます。

プロトコルごとの優先順位の設定

diprint、lpr、ipp それぞれの優先度を設定します。数字が小さいほど優先度が高くなります。

- diprint

  msh> rendezvous diprint [0 〜 99]

- lpr

  msh> rendezvous lpr [0 〜 99]

- ipp

  msh> rendezvous ipp [0 〜 99]

IP TTL 値の設定

IP TTL 値（越えられるルータの数）を設定します。

msh> rendezvous ipttl [1-255]

補足

- 初期値は 255 です。

コンピューター名と設置場所情報のリセット

コンピューター名と設置場所情報をリセットします。

msh> rendezvous clear [cname | location]

- cname

  コンピューター名をリセットします。本機を再起動すると、コンピューター名の表示は初期値になります。

- location

  設置場所情報をリセットします。設置場所情報の表示は空欄になります。

Bluetooth

Bluetooth™ インターフェースの設定を変更するには、btconfig コマンドを使用します。

表示

Bluetooth™ インターフェースの設定を表示します。

msh> btconfig

設定

動作モードを private か public に設定できます。

msh> btconfig [private|public]

補足

- 工場出荷時の設定は public です。

BMLinkS

BMLinkS の表示や設定は、bmlinks コマンドを使用します。

表示

bmlinks の設定値を表示します。

msh> bmlinks

動作モードの設定

BMLinkS の動作モードを設定します。

msh> bmlinks mode {on|off}

- BMLinkS を有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。
- 工場出荷時は「on」が設定されています。

設定

BMLinkS 関連の項目を設定します。

msh> bmlinks パラメーター

パラメーター	設定される項目
profile [1801-86400]	BMLinkS プロファイルの有効期限を秒数で設定します。デフォルトは 10800 です。
ttl [1-255]	Advertise パケットの TTL(Time To Live) を設定します。デフォルトは 4 です。
timeout [30-65535]	印刷データ受信タイムアウト時間を秒数で設定します。デフォルトは 900 です。
printer 文字列	BMLinkS プリンタサービス名を設定します。デフォルトは、RNPxxxxxx です。これは、システム設定リストの「インターフェース情報」に記載されている「プリンタ名」です。
country 文字列	国名情報を設定します。デフォルトは jp です。
orgnz 文字列	会社／組織名情報を設定します。デフォルトでは何も設定されていません。
branch 文字列	支店名情報を設定します。デフォルトでは何も設定されていません。
building 文字列	ビル名情報を設定します。デフォルトでは何も設定されていません。
floor 文字列	階数情報を設定します。デフォルトでは何も設定されていません。
block 文字列	ブロック名情報を設定します。デフォルトでは何も設定されていません。

補足

- BMLinkS 拡張エミュレーションカードを装着している場合に設定できます。
- 日本語での入力はできません。

SNMP

イーサネットインターフェース、無線 LAN インターフェースでは UDP と IPX 上で、IEEE 1394（IP over 1394）インターフェースでは UDP 上で動作する SNMP（Simple Network Management Protocol）エージェントが組み込まれています。SNMP マネージャを使って本機の情報を取得することができます。

工場出荷時のコミュニティ名には「public」と「ricoh」が設定されています。このコミュニティ名で MIB 情報を取得することができます。

★ 重要

- 機器のコミュニティ名を工場出荷時から変更した場合、SNMP コミュニティ名設定ツールを使用して接続する PC の設定を変更してください。詳しくは SNMP コミュニティ名設定ツールのヘルプを参照してください。

SNMP コミュニティ名設定ツールの起動

- Windows 95/98Me, Windows 2000, Windows NT 4.0:

  1. [スタート] ボタンをクリックします。
  2. [プログラム] から [Ridoc IO Admin] をポイントします。
  3. [SNMP コミュニティ名設定ツール] をクリックします。

- Windows XP:

  1. [スタート] ボタンをクリックします。
  2. [すべてのプログラム] から [Ridoc IO Admin] をポイントします。
  3. [SNMP コミュニティ名設定ツール] をクリックします。

サポートしている MIB

- MIB-II
- PrinterMIB
- HostResourceMIB
- RicohPrivateMIB（リコーオリジナル）

取得情報の内容

ネットワークインターフェースボードから取得できる情報の詳細です。

印刷ジョブ情報

印刷待ちのジョブの情報です。

- 次の方法で確認できます。
    - UNIX : lpq コマンド、rsh、rcp、ftp の stat パラメーターを使います。
    - mshell : status コマンドを使います。

項目名	意味
Rank	印刷ジョブの状態 ・Active 印刷中、または印刷処理待ち状態 ・Waiting プリンターへのファイル転送待ち状態
Owner	印刷要求元（ユーザー名、ワークステーション名、またはアドレス）
Job	印刷要求番号
Files	ファイル名
Total Size	印刷ジョブのデータサイズ（スプール時）常に「0 bytes」と表示。

プリントログ情報

これまでに印刷したジョブの記録です。過去 20 件分の記録が表示されます。

- 次の方法で確認できます。
    - UNIX : rsh、rcp、ftp の prnlog パラメーターを使います。
    - mshell : prnlog コマンドを使います。

項目名	意味
ID	印刷要求番号
User	印刷要求元（ユーザー名、ワークステーション名、またはアドレス）
Page	印刷したページ数

<table>
<tr><th>項目名</th><th>意味</th></tr>
<tr><td>Result</td><td>通信結果
・OK
通信上、印刷要求は正常に終了しました。ただしプリンター側の問題で印刷が正常に終了していない場合があります。
・NG
印刷が正常に終了しませんでした。
・Canceled
rcp、rsh、lpr コマンドの印刷要求が中止されました。印刷アプリケーションにより発生する場合があります。ftp、rprinter では発生しません。</td></tr>
<tr><td>Time</td><td>印刷要求受け付け時間</td></tr>
<tr><td>User ID</td><td>プリンタードライバーで設定された User ID</td></tr>
<tr><td>JobName</td><td>ファイル名</td></tr>
</table>

補足

- User ID、JobName は、ID を指定して info コマンドを入力した場合に表示されます。

機器の状態

機器の状態を確認できます。

- 次の方法で確認できます。
  - UNIX : lpq コマンド、rsh、rcp、ftp の stat パラメーターを使います。
  - mshell : status コマンドを使います。

Adjusting...

カラー調整中です。

Call Service Center

エンジン部、またはコントローラー部に異常が発生しました。

Canceling Job...

ジョブリセット中です。

Configuring...

設定変更中です。

Cover Open: Duplex Unit

両面反転ユニットのカバーが開いています。

Cover Open: Finisher

フィニッシャーカバーが開いています。

Cover Open: Finisher Front

2000 枚フィニッシャーの前カバーが開いています。

Cover Open: Finisher Upper-L

2000 枚フィニッシャーの上カバーが開いています。

Cover Open: Finisher Upper-R

2000 枚フィニッシャーの入り口カバーが開いています。

Cover Open: Front

本体前カバーが開いています。

Cover Open: Lower Right

オプションの給紙テーブルの右下カバーが開いています。

Cover Open: Mailbox

4 ビンプリントポストのカバーが開いています。

Cover Open: Right

本体給紙トレイの右カバーが開いています。

Cover Open: Upper Left

本体左上カバー（定着カバー）が開いています。

Cover Open: Upper Right

本体右上カバー（トナーカバー）が開いています。

Empty: Black Toner

ブラックトナーがなくなりました。

Empty: Cyan Toner

シアントナーがなくなりました。

Empty: Magenta Toner

マゼンタトナーがなくなりました。

Empty: Yellow Toner

イエロートナーがなくなりました。

Energy Saver Mode

省エネモード状態です。

Error: Ethernet Board

イーサネットボードに異常が発生しました。

Error: HDD Board

ハードディスクエラーが発生しました。

Error: IEEE1394 Board

拡張 1394 ボードにエラーが発生しました。

Error: Memory Switch

メモリースイッチエラーが発生しました。

Error: Optional Font

オプションのフォントに異常が発生しました。

Error: Optional RAM

オプションの SDRAM モジュールにエラーが発生しました。

Error: Parallel I/F Board

拡張 1284 ボードにエラーが発生しました。

Error: USB I/F

拡張 USB ボードにエラーが発生しました。

Error: Wireless Card

起動時に拡張無線 LAN カードまたはワイヤレスインターフェースカードがありませんでした。

拡張無線 LAN カードまたはワイヤレスインターフェースカードが起動後に抜かれました。

Error: Wireless Card or Board

拡張無線 LAN カードまたはワイヤレスインターフェースカードにエラーが発生しました。

拡張無線 LAN ボードまたはワイヤレスインターフェースボードにエラーが発生しました。

Full: Finisher

フィニッシャーのトレイが満杯です。

Full: Finisher Tray 1

2000 枚フィニッシャーのトレイ 1 が満杯です。

Full: Finisher Tray 2

2000 枚フィニッシャーのトレイ 2 が満杯です。

Full: Hole Punch Receptacle

2000 枚フィニッシャーのパンチくずが満杯になりました。

Full: Mailbox Tray 1

4 ビンプリントポストのトレイ 1 が満杯です。

Full: Mailbox Tray 2

4 ビンプリントポストのトレイ 2 が満杯です。

Full: Mailbox Tray 3

4 ビンプリントポストのトレイ 3 が満杯です。

Full: Mailbox Tray 4

4 ビンプリントポストのトレイ 4 が満杯です。

Full: Output Tray(s)

全ての排紙トレイが満杯です。

Full: Standard Tray

本体排紙トレイが満杯です。

Full: Waste Oil Bottle

廃オイルボトルが満杯になりました。

Full: Waste Toner Bottle

廃トナーボトルが満杯になりました。

Hex Dump Mode

ヘキサダンプモード中です。

Loading Toner...

トナー補給中です。

Low: Black Toner

ブラックトナーが残り少なくなりました。

Low: Cyan Toner

シアントナーが残り少なくなりました。

Low: Magenta Toner

マゼンタトナーが残り少なくなりました。

Low: Yellow Toner

イエロートナーが残り少なくなりました。

Malfunction: Finisher

フィニッシャーに異常が発生しました。

Malfunction: Stapler

ステープルユニットに異常が発生しました。

Malfunction: Tray 1

給紙トレイ 1 に異常が発生しました。

Malfunction: Tray 2

給紙トレイ 2 に異常が発生しました。

Malfunction: Tray 3

給紙トレイ 3 に異常が発生しました。

Malfunction: Tray 3 (LCT)

大量給紙トレイに異常が発生しました。

Malfunction: Tray 4

給紙トレイ 4 に異常が発生しました。

Mismatch: Paper Size

給紙トレイの用紙サイズが指定と違っています。

Mismatch: Paper Size and Type

給紙トレイの用紙サイズまたは用紙種類が指定と違っています。

自動トレイ選択が指定されていますが、用紙サイズと用紙種類が一致するトレイがありません。

Mismatch: Paper Type

給紙トレイの用紙種類が指定と違っています。

Near Replacing: Fuser Oil Unit

定着オイルユニットの交換が間近になりました。

Nearly Full: Waste Oil Bottle

廃オイルボトルがもうすぐ満杯です。

Nearly Full: Waste Toner Bottle

廃トナーボトルがもうすぐ満杯です。

Need more Staples

ステープルの針がなくなりました。

No Paper: Selected Tray

選択したトレイに用紙がありません。

No Paper: Tray 1

トレイ 1 に用紙がありません。

No Paper: Tray 2

トレイ 2 に用紙がありません。

No Paper: Tray 3

トレイ 3 に用紙がありません。

No Paper: Tray 3 (LCT)

大量給紙トレイに用紙がありません。

No Paper: Tray 4

トレイ 4 に用紙がありません。

Not Detected: Black Toner

ブラックトナーが正しくセットされていません。

Not Detected: Cyan Toner

シアントナーが正しくセットされていません。

Not Detected: Develop. Unit (C)

シアンの現像ユニットが正しくセットされていません。

Not Detected: Develop. Unit (K)

ブラックの現像ユニットが正しくセットされていません。

Not Detected: Develop. Unit (M)

マゼンタの現像ユニットが正しくセットされていません。

Not Detected: Develop. Unit (Y)

イエローの現像ユニットが正しくセットされていません。

Not Detected: Duplex Feed Unit

両面搬送ユニットが正しくセットされていません。

Not Detected: Finisher

フィニッシャーが正しくセットされていません。

Not Detected: Fuser Oil Unit

定着オイルユニットが正しくセットされていません。

Not Detected: Fusing Unit

定着ユニットが正しくセットされていません。

Not Detected: Input Tray

給紙トレイが正しくセットされていません。

Not Detected: Magenta Toner

マゼンタトナーが正しくセットされていません。

Not Detected: PCU (C)

シアンの感光体ユニットが正しくセットされていません。

Not Detected: PCU (K)

ブラックの感光体ユニットが正しくセットされていません。

Not Detected: PCU (M)

マゼンタの感光体ユニットが正しくセットされていません。

Not Detected: PCU (Y)

イエローの感光体ユニットが正しくセットされていません。

Not Detected: Tray 1

トレイ 1 が正しくセットされていません。

■ Not Detected: Tray 2

トレイ 2 が正しくセットされていません。

■ Not Detected: Tray 3

トレイ 3 が正しくセットされていません。

■ Not Detected: Tray 3 (LCT)

大量給紙トレイが正しくセットされていません。

■ Not Detected: Tray 4

トレイ 4 が正しくセットされていません。

■ Not Detected: Waste Oil Bottle

廃オイルボトルが正しくセットされていません。

■ Not Detected: WasteToner Bottle

廃トナーボトルが正しくセットされていません。

■ Not Detected: Yellow Toner

イエロートナーが正しくセットされていません。

■ Offline

オフラインです。

■ Paper in Finisher

フィニッシャーに用紙が残っています。

■ Paper Misfeed: Duplex Feed Unit

両面搬送ユニットで紙づまりが発生しました。

■ Paper Misfeed: Duplex Unit

両面反転ユニットで紙づまりが発生しました。

■ Paper Misfeed: Finisher

2000 枚フィニッシャーで紙づまりが発生しました。

■ Paper Misfeed: Fusing Unit

定着ユニットで紙づまりが発生しました。

■ Paper Misfeed: Input Tray

給紙トレイで紙づまりが発生しました。

■ Paper Misfeed: Mailbox

4 ビンプリントポストで紙づまりが発生しました。

■ Printing...

印刷中です。

Ready

正常です。

Replace Develop. Unit (Black)

ブラックの現像ユニットの交換時期です。

Replace Develop. Unit (Color)

カラーの現像ユニットの交換時期です。

Replace Feed Roller

給紙コロの交換時期です。

Replace Fuser Oil Unit

定着オイルユニットの交換時期です。

Replace Fusing Unit

定着ユニットの交換時期です。

Replace PCU (Black)

ブラックの感光体の交換時期です。

Replace PCU (Color)

カラーの感光体の交換時期です。

Replace Transfer Belt

転写ベルトの交換時期です。

Replace Transfer Cleaning Unit

転写クリーニングユニットの交換時期です。

SD Card Authentication failed

SD カードからの認証に失敗しました。

Supplies Order Call failed

消耗品発注コールに失敗しました。

Warming Up...

準備中です。

機器情報

機器の給紙トレイ、排紙トレイ、搭載しているエミュレーション、および登録しているプログラムの情報です。

- 次の方法で確認できます。
  - UNIX : rsh、rcp、ftp の info パラメーターを使います。
  - mshell : info コマンドを使います。

項目名	意味
Input Tray No. Name PageSize Status	 給紙トレイ番号 給紙トレイ名（別表参照） 用紙サイズ（給紙トレイの紙サイズ設定で指定したサイズが表示されます）（別表参照） 給紙トレイの状態（別表参照）
Output Tray No. Name Status	 排紙トレイ番号 排紙トレイ名（別表参照） 排紙トレイの状態（別表参照）
Emulation No. Name Version	 エミュレーション番号 エミュレーション名 エミュレーションのバージョン

別表

給紙トレイ名	意味 (Name)
Tray X	給紙トレイ（X は番号）
Tray3 （LCT）	大量給紙トレイ（オプション）
Bypass Tray	手差しトレイ

用紙サイズ	意味（Page size）
A3R	A3(ヨコ)
A4	A4(タテ)
A4R	A4(ヨコ)
A5	A5(タテ)
A5R	A5(ヨコ)
B4R	B4(ヨコ)
B5	B5(タテ)
B5R	B5(ヨコ)
B6R	B6(ヨコ)
A6R	A6(ヨコ)
HagakiR	はがき(ヨコ)
Oufuk-hagaki	Cd タテ（往復ハガキ)(タテ)
Oufuk-hagakiR	Cd ヨコ（往復ハガキ)(ヨコ)
11×17 inR	11×17(ヨコ)

用紙サイズ	意味（Page size）
$8^{1}/_{2}$×14 inR	$8^{1}/_{2}$×14（Legal）(ヨコ)
$8^{1}/_{2}$×11 in	$8^{1}/_{2}$×11（Letter）(タテ)
$8^{1}/_{2}$×11 inR	$8^{1}/_{2}$×11（Letter）(ヨコ)
$5^{1}/_{2}$×$8^{1}/_{2}$inR	$5^{1}/_{2}$×$8^{1}/_{2}$(ヨコ)
12×18 inR	12×18(ヨコ)
Unknown	トレイ未セット
aaa×bbb mm	不定形サイズ

給紙トレイの状態	意味 (Status)
Normal	通常状態
NoInputTray	トレイなし
PaperEnd	用紙なし

排紙トレイ名	意味 (Name)
Standard Tray	本体トレイ
External Tray	本体左上トレイ
Mailbox Tray 1 ～ 4	4 ビンプリントポスト上トレイ 1 ～ 4
Finisher Shift Tray1	2000 枚フィニッシャートレイ 1
Finisher Shift Tray2	2000 枚フィニッシャートレイ 2

排紙トレイの状態	意味 (Status)
Normal	正常
PaperExist	用紙あり
OverFlow	用紙が満杯
Error	その他エラー

ネットワークインターフェースボードの情報

ネットワークインターフェースボードに設定してある内容の情報です。

- 次の方法で確認できます。
  - mshell show コマンドを使います。

項目名	意味
Common	
Mode	
Protocol Up/Down	プロトコルの有効 (Up)、無効 (Down)
AppleTalk	
TCP/IP	
NetWare	
SMB	
IP over 1394	
SCSI print	
Ethernet interface	内部的なバージョン番号
Syslog priority	
NVRAM version	内部的なバージョン番号
Device name	プリンタ名
Comment	コメント
Location	SNMP 情報での設置場所
Contact	SNMP 情報での管理者や連絡先
Soft switch	
AppleTalk	
Mode	選択中の AppleTalk プロトコル
Net	ネットワーク番号
Object	Macintosh 上からのプリンター名
Type	プリンターのタイプ名
Zone	所属しているゾーン名
TCP/IP	
Mode	コマンドの有効 (Up)、無効 (Down)
ftp	
lpr	
rsh	

項目名	意味
telnet	
diprint	
web	
http	
ftpc	
snmp	
ipp	
autonet	
rendezvous	
ssl	
EncapType	フレームタイプ
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の有効 / 無効
Address	IP アドレス
Netmask	サブネットマスク
Broadcast	ブロードキャストアドレス
DNS Domain	DNS ドメインの種類
Gateway	デフォルトゲートウェイアドレス
AccessRange [X]:	アクセスコントロールレンジ (X には 1 ～ 5 の数字)
Time server	NTP サーバーアドレス
Time Zone	NTP サーバーとの時間差
Time server polling time	NTP サーバーとのインターバル間隔
SYSLOG server	
Home page URL	ホームページの URL
Home page link name	ホームページの URL 名
Help page URL	ヘルプページの URL
SNMP protocol	SNMP で使用するプロトコル
NetWare	
EncapType	フレームタイプ
RPRINTER number	リモートプリンタ番号
Print server name	プリントサーバ名
File server name	接続するファイルサーバ名
Context name	プリントサーバのコンテキスト

項目名	意味
Switch	
Mode	動作モード
NDS/Bindery	（この値は固定です）
Packet negotiation	（この値は固定です）
Login Mode	ログインモード
Print job timeout	パケットタイムアウト
Protocol	使用できるプロトコル名
SAP interval time	SAP 機能のインターバル間隔
NDS Tree Name	NDS ツリー名
SMB	
Switch	
Mode	（この値は固定です）
Direct print	（この値は固定です）
Notification	印刷完了通知
Workgroup name	ワークグループ名
Computer name	コンピュータ名
Comment	コメント
Share name[1]	共有名（プリンターの機種名です）
Protocol	使用できるプロトコル名
IP over 1394	
Device name	プリンタ名
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の有効 / 無効
Address	IP アドレス
Netmask	サブネットマスク
Broadcast	ブロードキャストアドレス
DNS Domain	DNS ドメインの種類
SCSI print	
Bidi	双方向通信設定 (on/off).
IEEE 802.11b	
Device name	プリンタ名
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の有効 / 無効
Address	IP アドレス

項目名	意味
Netmask	サブネットマスク
Broadcast	ブロードキャストアドレス
SSID	現在使用中の SSID
Channel range	使用可能なチャンネル範囲
Channel	現在使用中のチャンネル
Communication mode	無線 LAN の通信モード
Authentication	WEP 使用時の認証モード設定の有効（valid）、無効（Invalid）
Tx Rate	無線 LAN の通信速度
WEP encryption	WEP の有効（On）、無効（Off）
Encryption key	WEP キー
Bluetooth	
Bluetooth mode	Bluetooth の接続モード
DNS	
Server[☆]	DNS サーバー☆のアドレス（☆には 1 〜 3 までの数字）
Selected DNS Server	DNS サーバーアドレスの設定値
Domain name	
ether	イーサネットのドメイン名
ip1394	IEEE 1394(IP over 1394) のドメイン名
wlan	IEEE 802.11b（無線 LAN）のドメイン名
Rendezvous	
Computer Name	プリンター名
Rendezvous Name (ether)	イーサネット接続での Rendezvos で表示するプリンター名
Rendezvous Name (ip1394)	IP over 1394 接続での Rendezvos で表示するプリンター名
Location	プリンターの場所
Priority (diprint)	diprint の優先順位
Priority (lpr)	lpr の優先順位
Priority (ipp)	ipp の優先順位
DDNS	
ether	イーサネット接続でのダイナミック DNS 機能の使用／不使用

項目名	意味
ip1394	IP over 1394 接続でのダイナミック DNS 機能の使用／不使用
WINS	
ether	イーサネットでの WINS の有効 / 無効
Primary WINS	プライマリ WINS サーバー名
Secondary WINS	セカンダリ WINS サーバー名
ip1394	IEEE 1394 での WINS の有効 / 無効
Primary WINS	プライマリ WINS サーバー名
Secondary WINS	セカンダリ WINS サーバー名
wlan	IEEE 802.11b（無線 LAN）での WINS の有効 / 無効
Primary WINS	プライマリ WINS サーバー名
Secondary WINS	セカンダリ WINS サーバー名
BMLinkS	BMLinkS プリントサービス
Mode	動作モード
UUID	UUID
Profile	プロファイルの有効期限
TTL	Advertise パケットの TTL
Timeout	印刷データ受信タイムアウト時間
Printer	プリントサービス名（デバイス名）
Country	国名
Organization	会社・組織名
Branch	支店名
Building	ビル名
Floor	階数
Block	ブロック名
Shell mode	リモートメンテナンスツールのモード

補足

- IP over 1394、Common の IP over 1394 と SCSI print、Domain name の ip1394、WINS の ip1394 は拡張 1394 ボード装着時に表示されます。
- IEEE 802.11b、Domain name の wlan、WINS の wlan は、拡張無線 LAN ボード装着時に表示されます。
- BMLinkS は、BMLinkS カード装着時に表示されます。

システムログ情報

システムログ情報が確認できます。

- システムログ情報は次の方法で確認できます。
  - UNIX rshrcpftp の syslog パラメーターを使います。P.140「本機の状態表示」
  - mshell syslog コマンドを使います。

Access to NetWare server < ファイルサーバ名 > denied. Either there is no account for this print server or the NetWare server on the password was incorrect.

（プリントサーバ動作時）ファイルサーバにログインできません。< ファイルサーバ > 上にプリントサーバが登録されているか確認してください。プリントサーバにパスワードを設定している場合はパスワードを削除してください。

add_sess:bad trap addr:<IpAddress>, community:< コミュニティ名 >

コミュニティのアクセスタイプが Trap の場合、IP アドレス 0.0.0.0 は無効です。Trap 送信先ホストの IP アドレスを指定してください。

add_sess: community < コミュニティ名 > already defined.

コミュニティ名が重複しています。他のコミュニティ名と重複しない名前を設定してください。

add_sess_ipx: bad trap addr: <IPX アドレス >, community:< コミュニティ名 >

コミュニティのアクセスタイプが Trap の場合、IPX アドレス 00:00:00:00:00:00 は無効です。
Trap 送信先ホストの IPX アドレスを指定してください。

add_sess_ipx: community < コミュニティ名 > already defined.

コミュニティ名が重複しています。他のコミュニティ名と重複しないコミュニティ名を設定してください。

ANONYMOUS FTP LOGIN FROM <IP アドレス >, < パスワード >

ホスト <IP アドレス > よりパスワード < パスワード > で anonymous ログインされました。

anpd start. (AppleTalk)

anpd(AppleTalk Network Package Daemon) を起動しました。

Attach FileServer=< ファイルサーバー >

ニアレストサーバーとして < ファイルサーバー > にアタッチしました。

Attach to print queue < プリントキュー名 >

（プリントサーバ動作時）< プリントキュー名 > にアタッチしました。

Cannot create service connection

(リモートプリンタ起動時) ファイルサーバとコネクションを確立できません。ファイルサーバのユーザ制限を越えている場合があります。

(リモートプリンタ起動時)< プリントサーバ名 > 上に < プリンター番号 > のプリンターがありません。プリントサーバに登録されているプリンターのプリンター番号を確認してください。

Cannot find rprinter(< プリントサーバ名 >/< プリンター番号 >)

プリントサーバに登録されているプリンターのプリンター番号を確認してください。

Change IP address from DHCP Server.

本機が DHCP サーバーからの IP アドレスのリース更新時に、使用していた IP アドレスが変更されました。毎回同じ IP アドレスが割り当てられるように、DHCP サーバーを設定してください。

child process exec error! （プロセス名）

本機がネットワーク関連の起動に失敗しました。電源再投入しても回復しない場合は、サービス実施店に連絡してください。

Connected DHCP Server（<DHCP サーバーアドレス >）.

DHCP サーバーからの IP アドレス取得に成功しました。

connection from <IP アドレス >

ホスト <IP アドレス > よりログインされました。

Could not attach to PServer < プリントサーバ名 >

(リモートプリンタ起動時) プリントサーバにアタッチできません。プリントサーバが何らかの理由で接続を拒否しています。

プリントサーバの設定を確認してください。

Could not attach to FileServer < エラー番号 >

(リモートプリンタ起動時) ファイルサーバにアタッチできません。ファイルサーバが何らかの理由で接続を拒否しています。

ファイルサーバの設定を確認してください。

Current Interface Speed : <EthernetI/F 速度 >

現在の Ethernet I/F の速度です。(10Mbps または 100Mbps)。

Current IP address（< 現在の IP アドレス >）.

DHCP サーバーから取得した < 現在の IP アドレス > で動作します。

Current IPX address <IPX アドレス >

IPX アドレスが <IPX アドレス > です。

DHCP lease time expired.

DHCP リース切れになりました。DHCP Discover を再び行います。なお、使用していた IP アドレスが使用できなくなります。

DHCP server not found.

DHCP サーバーが見つかりませんでした。ネットワーク上に DHCP サーバーが起動していることを確認してください。

dhcpcd start.

dhcpcd（DHCP クライアントサーバー）を起動しました。

Duplicate IP=<IP アドレス >（from <MAC アドレス >）.

本機に設定された IP アドレスが重複して使用されています。IP アドレスはそれぞれ固有でなければなりません。表示された MAC アドレスの機器をチェックしてください。

Established SPX Connection with PServer, （RPSocket=< ソケット番号 >, connID=< コネクション ID>）

（リモートプリンタ起動時）プリントサーバと接続を確立しました。

exiting

lpd のサービスを終了しました。

Exit pserver

（プリントサーバー動作時）必要な設定がされていないため、プリントサーバーを終了しました。

Frametype=< フレームタイプ名 >

NetWare で使用するフレームタイプを < フレームタイプ名 > に設定しました。

httpd start.

httpd が起動しました。

IEEE 802.11b < 通信モード > mode

IEEE 802.11b の通信モードです。

例）：IEEE 802.11b [infrastructure] mode ：インフラストラクチャーモード時

IEEE 802.11b [ad hoc] mode ：アドホックモード時

IEEE 802.11b current channel < チャンネル番号 >

現在動作中のチャンネルが表示されます。アドホックモードの場合はユーザーが選択した番号が表示されます。インフラストラクチャーモードの場合は接続したアクセスポイントの使用チャンネルが表示されます。例）：IEEE 802.11b current channel 11

IEEE 802.11b Card Firmware REV.< バージョン >

IEEE 802.11b 無線 LAN カードファームウェアのバージョンです。

例）：IEEE 802.11b CardFirmware REV.0.8.3

IEEE 802.11b MAC Address = <MAC アドレス >

IEEE 802.11b I/F の MAC アドレスが表示されます。例）：IEEE 802.11b MAC Address = 00:00:74:XX:XX:XX

IEEE 802.11b SSID <ssid> (AP MAC Address <MAC アドレス >)

インフラストラクチャーモードの場合に接続したアクセスポイントの SSID およびアクセスポイントの MAC アドレスが表示されます。例）：IEEE 802.11b SSID test-ssid (AP MAC Address xx:xx:xx:xx:xx:xx)

IEEE 802.11b Tx Rate < 送信速度 >

IEEE 802.11b 送信速度 (設定値) が表示されます。例）：IEEE 802.11b Tx Rate 11Mbps

inetd start.

inetd を開始します。

<Interface> started with IP: <IP アドレス >

<Interface> に <IP アドレス > が設定されて、動作を開始しました。

<Interface>: Subnet overlap.

<Interface> に設定しようとしたサブネット範囲が、ほかのインターフェースのサブネット範囲と重なっています。各インターフェースのサブネット範囲が重ならないように設定してください。

IPP cancel-job: permission denied.

ジョブのキャンセル時にユーザ名による認証に失敗しました。

ipp disable.

IPP 機能は利用できません。

ipp enable.

IPP 機能が利用可能です。

IPP job canceled. jobid=%d.

エラーあるいはユーザ要求により、スプールされたジョブがキャンセルされる場合に表示されます。

job canceled. jobid=%d.

エラーあるいはユーザ要求により、スプールされたジョブがキャンセルされる場合に表示されます。

LeaseTime=< リース時間 >(sec), RenewTime=< 更新間隔 >(sec).

DHCP サーバーから取得した IP アドレスのリース時間は < リース時間 > 秒、更新時間は < 更新間隔 > 秒で表示されます。

Login to fileserver < ファイルサーバ名 >（<IPX|IP>,<NDS|BINDERY>）

（プリントサーバ動作時）本機が < ファイルサーバ > に NDS、または BINDERY モードでログインしました。使用しているトランスポートプロトコルも表示されます。

multid start.

マルチプロトコル用データ処理サービスを起動しました。

Name registration failed. name=<NetBIOS 名 >

<NetBIOS 名 > の名前登録が失敗しました。NetBIOS 名を別の名前に変更してください。

Name registration success in Broadcast name=<NetBIOS 名 >

ブロードキャストによる <NetBIOS 名 > の名前登録が成功しました。

Name registration success. WINS Server=<WINS サーバーアドレス > NetBIOS Name=<NetBIOS 名 >

<WINS サーバーアドレス > への <NetBIOS 名 > の名前登録が成功しました。

nbstart start.(NetBEUI)

NetBEUI プロトコルスタック設定サーバが起動しました。

nbtd start.

nbtd(NetBIOS over TCP/IP Daemon) を起動しました。（本サービスは DHCP モード時のみ起動されます。）

NetBEUI Computer Name=< コンピュータ名 >

NetBEUI のコンピュータ名を決定しました。

nmsd start. (NetBEUI)

nmsd(Name Server Daemon) を起動しました。

nprinter start. (NetWare)

（リモートプリンタ動作時）NetWare サービスをリモートプリンタモードで起動しました。

nwstart start. (NetWare)

NetWare プロトコルスタック設定サーバが起動しました。

Open log file < ファイル名 >

（プリントサーバー動作時）監視ログファイルをオープンしました。

papd start. (AppleTalk)

papd(Printer Access Protocol Daemon) を起動しました。

permission denied.

ジョブのキャンセル時にユーザ名やホストアドレスによるチェックで権限なしと判定された場合（ROOT 権限を除く）に表示されます。

phy release file open failed.

ネットワークボードに異常が発生している可能性があります。

Print queue < プリントキュー名 > cannot be serviced by printer 0, < プリントサーバー名 >

（プリントサーバー動作時）< プリントキュー名 > を確認できません。プリントキューのボリュームが設定したファイルサーバー上に存在するか確認してください。

Print server < プリントサーバ名 > has no printer

（プリントサーバ動作時）< プリントサーバ名 > にプリンタが割り当てられていません。
NetWare アドミニストレータで割り当て後、プリンタを再起動してください。

print sessions full

印刷要求が最大セッション数に達しています。しばらくしてから再接続してください。

Printer < プリンタ名 > has no queue

（プリントサーバー動作時）< プリンタ名 > にプリントキューが割り当てられていません。NetWare アドミニストレータで割り当て後、プリンターを再起動してください。

pserver start. (NetWare)

（プリントサーバ動作時）NetWare サービスをプリントサーバモードで起動しました。

Required computer name（< コンピュータ名 >）is duplicate name

ネットワーク上に同じ（< コンピュータ名 >）のプリンター名を検出しました。起動処理は、（< コンピュータ名 >）にサフィックス（0、1・・・）を追加して（< コンピュータ名 >）を決めます。重複しないコンピュータ名を設定してください。

Required file server（< ファイルサーバー名 >）not found

< ファイルサーバー名 > で設定されたファイルサーバーが見つかりませんでした。

restarted.

lpd のサービスを開始しました。

sap enable, saptype=<SAP タイプ >, sapname=<SAP 名 >

SAP 機能が起動されました。SAP（SAP タイプ、SAP 名）パケットを発行し、NetWare サーバ上の SAP テーブルにサービスの存在を登録します。

session < コミュニティ名 > not defined.

認証不可のコミュニティ名で、設定要求を受けました。

session_ipx < コミュニティ名 > not defined.

認証不可のコミュニティ名で、設定要求を受けました。

Set context to <NDS コンテキスト名 >

<NDS コンテキスト名 > を設定しました。

shutdown signal received. network service rebooting...

ネットワークのリブート処理を行います。

smbd start. (NetBEUI)

smbd(Server Message Block Daemon) が起動しました。

Snmp over ip is ready.

tcp/ip 上での通信が可能です。

Snmp over IP over 1394 is ready.

IP over 1394 上での通信が可能です。

Snmp over ipx is ready.

IPX 上での通信が可能です。

snmpd start.

Snmpd を開始しました。

started.

ダイレクトプリントサービスを開始しました。

Started.

Rendezvous 機能が起動しました。

Terminated.

Rendezvous 機能が終了しました。

Terminated. (PS not found)

PS が見つからないため、Rendezvous が終了しました。

The print server received error < エラー番号 > during attempt to log in to the network. Access to the network was denied. Verify that the print server name and password are correct.

プリントサーバーが登録されていないか、パスワードが与えられています。プリントサーバーをパスワードなしで登録してください。

SMTPC: failed to get smtp server ip-address.

SMTP サーバーの IP アドレスを取得できません。次の原因が考えられます。

- DNS サーバーを探せない。

  ネットワークに接続されていない。

  指定した DNS サーバーに接続できない。

  DNS サーバーの指定が間違っている。

- DNS サーバーに、指定された SMTP サーバの IP アドレスがない。

SMTPC: failed to connect smtp server. timeout.

応答待ちでタイムアウトしたため、SMTP サーバーに接続できません。次の原因が考えられます。

- SMTP サーバー名が間違っている。
- ネットワークに接続されていない。
- ネットワークの設定が間違っており、SMTP サーバーからの応答を取得できない。

SMTPC: refused connect by smtp server.

SMTP サーバーへの接続を拒絶されました。次の原因が考えられます。

- SMTP サーバーではないサーバーを指定した。
- SMTP サーバーのポート番号が間違っている。

SMTPC: no smtp server. connection close.

SMTP プロトコルの応答が返ってこないため、SMTP サーバーに接続できません。次の原因が考えられます。

- SMTP サーバーではないサーバーを指定した。
- SMTP サーバーのポート番号が間違っている。

SMTPC: failed to connect smtp server.

SMTP サーバーに接続できません。次の原因が考えられます。

- ネットワークに接続されていない。
- ネットワークの設定が間違っており、SMTP サーバーからの応答を取得できない。
- SMTP サーバー名が間違っている。
- SMTP サーバーの指定が間違っている。
- DNS サーバーに、指定された SMTP サーバーの IP アドレスがない。
- SMTP サーバーではないサーバーを指定した。
- SMTP サーバーのポート番号が間違っている。

SMTPC: username or password wasn't correct.

SMTP サーバーに認証接続できません。次の原因が考えられます。

- SMTP ユーザー名の指定が間違っている。
- SMTP パスワードの指定が間違っている。

SMTP ユーザー名、SMTP パスワードを確認してください。

WINS name registration: No responce to server(WINS サーバーアドレス)

登録処理に対する応答がサーバーからありません。WINS サーバーアドレスに誤りがないか確認してください。または、WINS サーバーが正常に動作しているか確認してください。

WINS name registration/refresh error code(エラー番号)

名前の登録、または更新に失敗しました。

重複しない Net BIOS 名を設定してください。または、WINS サーバアドレスに誤りがないか確認してください。または、WIN サーバが正常に動作しているか確認してください。

WINS wrong scopeID=< スコープ ID>

不正なスコープ ID が使用されています。正常なスコープ ID を設定してください。

write error occurred.(diskfull)

スプールファイル書き込み中に HDD の空き容量がなくなりました。印刷処理が進み、HDD の空き容量が増えるのをお待ちください。

write error occurred.(fatal)

スプールファイル書き込み中に致命的なエラーが発生しました。本機の電源を切ってから、もう一度電源を入れてください。それでもメッセージが消えないときは、サービ実施店に連絡してください。

6. 付録

搭載されているソフトウェアの著作権等に関する情報

搭載されているソフトウェアの著作権等に関する情報です。

expat（Ver 1.95.2）について

本製品に搭載しているコントローラー等のソフトウェア（以下、ソフトウェア）には expat Ver 1.95.2（以下 expat1.95.2）を下記の条件のもとで使用しています。

- expat1.95.2を含むソフトウェアに関するサポートと保証等は株式会社リコーが行うものであり、expat1.95.2 の作者および著作権者には一切の責任および義務はありません。

補足

- expat1.95.2 に関する情報は次の URL が示す WWW サイトより入手が可能です。http://expat.sourceforge.net/

NetBSD について

本製品に搭載しているコントローラー等のソフトウェアには、NetBSD operating system を使用しています。

1. Copyright Notice of NetBSD

   For all users to use this product:

   This product contains NetBSD operating system:

   For the most part, the software constituting the NetBSD operating system is not in the public domain; its authors retain their copyright.

   The following text shows the copyright notice used for many of the NetBSD source code. For exact copyright notice applicable for each of the files/binaries, the source code tree must be consulted.

   A full source code can be found at http://www.netbsd.org/.

1.Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.

4. Neither the name of The NetBSD Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE NETBSD FOUNDATION, INC. AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

2. Authors Name List

All product names mentioned herein are trademarks of their respective owners.

The following notices are required to satisfy the license terms of the software that we have mentioned in this document:

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

This product includes software developed by Jonathan R. Stone for the NetBSD Project.

This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.

This product includes software developed by Manuel Bouyer.

This product includes software developed by Charles Hannum.

This product includes software developed by Charles M. Hannum.

This product includes software developed by Christopher G. Demetriou.

This product includes software developed by TooLs GmbH.

This product includes software developed by Terrence R. Lambert.

This product includes software developed by Adam Glass and Charles Hannum.

This product includes software developed by Theo de Raadt.

This product includes software developed by Jonathan Stone and Jason R. Thorpe for the NetBSD Project.

This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory and its contributors.

This product includes software developed by Christos Zoulas.

This product includes software developed by Christopher G. Demetriou for the NetBSD Project.

This product includes software developed by Paul Kranenburg.

This product includes software developed by Adam Glass.

This product includes software developed by Jonathan Stone.

This product includes software developed by Jonathan Stone for the NetBSD Project.

This product includes software developed by Winning Strategies, Inc.

This product includes software developed by Frank van der Linden for the NetBSD Project.

This product includes software developed for the NetBSD Project by Frank van der Linden

This product includes software developed for the NetBSD Project by Jason R. Thorpe.

The software was developed by the University of California, Berkeley.

This product includes software developed by Chris Provenzano, the University of California, Berkeley, and contributors.

JPEG LIBRARY について

- The software installed on this product is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

RSA® BSAFE™

- This product includes RSA® BSAFE™ cryptographic or security protocol software from RSA Security Inc.
- RSA is a registered trademark and BSAFE is a registered trademark of RSA Security Inc.in the United States and/or other countries.
-